

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
国語 I				グローバル情報学科1年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	2	通年	講義	大崎富雄			
キーワード		科目概要					
思考力 読解力 記述力 分析批評		基本的な国語の能力を高め、表現と理解を通して自我意識を覚醒し、社会的な認識の拡充をはかる。現代文では、論理的文章の構成に留意し、語句を正しく把握しながら正確に読解することを目的とする。古典文藝においては読解に際し必要不可欠な基本的知識を理解し、中古・中世文藝の特質を学ぶ。漢文で訓点・用字法・句法を学び、古代中国思想の特質を理解することを目的とする。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「新精選国語総合」久保田淳、明治書院 ②「新訂総合国語便覧」竹盛天雄、第一学習社		①「書き込み式漢字ベーシック」明治書院		科目：国語Ⅱ、国語Ⅲ、日本語スキルズ、文化・芸術・思想Ⅲ 資格：日本語検定			
評価方法 (％)							
評価項目	定期試験	小テスト	課題 レポート	学習態度		計	学年評価に対する割合
春学期	60	15	20	5		100	25
夏学期	60	15	20	5		100	25
秋学期	60	15	20	5		100	25
冬学期	60	15	20	5		100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	成績は定期試験・小テスト・課題・レポート・学習態度等を総合的に判断して評価する。						
受講上のアドバイス							
<ul style="list-style-type: none"> ・ノートは板書したものだけでなく、口頭での説明も書くようにすること。 ・課題は必ず実行すること。 ・辞書は必ず用意すること。また、辞書を常に引くように心がけ、知らない言葉を確認し、着実に身に付けること。 ・対象作品は徹底的に読み込むこと。 							
科目の達成目標							
①	文章の構成・展開の特色を把握し、正確に読解できる。						
②	古典文藝を正確に読解することができる。						
③	漢文を正確に訓読し、内容を理解できる。						
④							
⑤							
⑥							
関連する本校の学習・教育目標			人間性				
問い合わせ・質問先			1階104室 (教員室)				
オフィスアワー			月曜16:30～17:30				

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～2回	読解・分析について	読解・分析の方法論を理解できる。		0	
				読解・分析法をノートで確認し理解する。	15	
	第3～4回	評論「水の東西」 I	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品を読解する。	15	
				語句の整理、作者の年譜的事実を把握する。	15	
	第5～6回	評論「水の東西」 II	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品の要旨をまとめる。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第7～8回	評論「水の東西」 III	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品の主題を設定する。	15	
				作品の総体をノートで確認する。	15	
	第9回～ 10回	評論「働くことの意味」 I	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品を読解する。	15	
				語句の整理、作者の年譜的事実を把握する。	15	
	第11～ 13回	評論「働くことの意味」 II	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品を読解する。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第14～ 16回	評論「働くことの意味」 III	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品の要旨をまとめる。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第17～ 18回	評論「働くことの意味」 IV	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品の主題を設定する。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第19回	評論「働くことの意味」 V	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品の主題を再検討する。	15	
				第2～19回の内容を整理し、理解・検討する。	15	
		定期試験				
	第20回	答案返却 自己点検	答案返却・解説および修学成果について、自己点検評価する。		0	
試験を再検討する。				15		

夏学期	第1～2回	小説「羅生門」Ⅰ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	語句の整理、作者の年譜的事実を把握する。	15	
	第3～4回	小説「羅生門」Ⅱ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品を読解し、語句を整理する。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第5～6回	小説「羅生門」Ⅲ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品を読解する。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第7～8回	小説「羅生門」Ⅳ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品の要旨をまとめる。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第9～10回	小説「羅生門」Ⅴ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。	作品の主題を設定する。	15	
				作品の総体をノートで確認する。	15	
		定期試験				

秋学期	第1～2回	古典の基礎知識	古文読解に必要な基本的知識を理解できる。	「新訂総合国語便覧」p2～p53を読み、確認する。 古典の基礎的事項をノートで確認し、熟読する。	15		
	第3～4回	「徒然草」Ⅰ	中世文藝の特質を理解できる。	「新訂総合国語便覧」p129～p131を読み、確認する。 作者の年譜的事実、時代背景を理解する。	15		
	第5～6回	「徒然草」Ⅱ	「つれづれなるままに」を正確に読解できる。	教科書p238を読解し、語句を調べ口語訳する。 分析された事項をノートで確認し理解する。	15		
	第7～8回	「徒然草」Ⅲ	「名を聞くより」を正確に読解できる。	教科書p239を読解し、語句を調べ口語訳する。 分析された事項をノートで確認し理解する。	15		
	第9～10回	「徒然草」Ⅳ	「花は盛りに」を正確に読解できる。	教科書p244～245を読解し、語句を調べ分析された事項をノートで確認し理解する。	15		
	第11～12回	「徒然草」Ⅴ	「花は盛りに」を正確に読解できる。	本文前半を口語訳する。 分析された事項をノートで確認し理解する。	15		
	第13～14回	「徒然草」Ⅵ	「花は盛りに」を正確に読解できる。	本文後半を口語訳する。 第1～14回の内容を整理し、理解・検討する。	15		
		定期試験					
	冬学期	第1回	答案返却 自己点検	答案返却・解説および修学成果について、自己点検評価する。	試験を再検討する。	0	
		第2～3回	漢文の基礎知識	漢文訓読の基本を理解できる。	「新訂総合国語便覧」p394～415を読み、確認する。 漢文の基礎的事項をノートで確認し、熟読する。	15	
第4～5回		「論語」Ⅰ	古代中国の思想（諸子百家）の特質を理解できる。	「新訂総合国語便覧」p368～369を読み、確認する。 作者の年譜的事実、時代背景を理解する。	15		
第6～7回		「論語」Ⅱ	「論語」（学問）を正確に訓読し、内容を理解できる。	[学問]の項目を読解し、語句を調べ分析された事項をノートで確認し理解する。	15		
第8～9回		「論語」Ⅲ	「論語」（学問）を正確に訓読し、内容を理解できる。	[学問]の項目を読解し、語句を調べる。 分析された事項をノートで確認し理解する。	15		
第10～12回		「論語」Ⅳ	「論語」（人間）を正確に訓読し、内容を理解できる。	[人生]の項目を読解し、語句を調べる。 分析された事項をノートで確認し理解する。	15		
第13～15回		「論語」Ⅴ	「論語」（人間）を正確に訓読し、内容を理解できる。	[人生]の項目を読解し、語句を調べる。 分析された事項をノートで確認し理解する。	15		
第16回		「論語」Ⅵ	「論語」（人間）を正確に訓読し、内容を理解できる。	[人生]の項目を読解し、語句を調べる。 第1～16回の内容を整理し、理解・検討する。	15		
		定期試験					

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
歴史 I				グローバル情報学科 1年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修2	通年	講義	宮野純光			
キーワード		科目概要					
日本文化, 摂関政治, 院政, 武家政権, 織豊政権		日本の歴史・文化について学習することにより、我々が生まれ育った日本に関心を持ち、理解を深めるとともに、日本人としての自覚を身につけることを目的とする。自らの生まれ育った国の歴史や文化を知りその特徴を理解することは、他国の理解にもつながり、グローバル化する社会の中で必要不可欠な要素である。この点に留意しながら、時代ごとにポイントを絞り、その時代の特徴をつかみ、時代の移り変わりを理解できるように講義を進め、学生の知識と意識を高める。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「最新日本史」, 村尾次郎ほか, 明成社 ②「山川ビジュアル版日本史図録」, 同編集委員会, 山川出版社				科目: 歴史 II 資格: 歴史能力検定 1 級日本史 歴史能力検定 2 級日本史			
評価方法 (%)							
評価項目	定期試験	課題	授業態度	出席		計	学年評価に対する割合
春学期	50	30	15	5		100	25
夏学期	50	30	15	5		100	25
秋学期	50	30	15	5		100	25
冬学期	50	30	15	5		100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	定期試験試験によって到達度を量るが、成績は課題、学習態度、出席状況を加味し、総合的に評価する。学習態度、出席状況は不良のものについて減点していく。年に数回のノート提出を課し、学習態度の一部として評価する。学年末の評価は各学期の成績合計の平均とする。						
受講上のアドバイス							
①課題は必ず提出すること。 ②ノートはしっかりととり、自己の学習に利用すること。 ③わからないこと、興味を持ったことがあれば(授業中・授業外とも)気軽に質問すること。							
科目の達成目標							
①	日本の旧国名を知っている。						
②	摂関政治・院政・平氏政権の仕組み・特色について理解している。						
③	摂関政治・院政・平氏政権の仕組み・特色について理解している。						
④	室町幕府成立から滅亡の流れ、幕府の機構・仕組みを理解している。						
⑤	戦国大名から信長・秀吉の政策を理解している。						
⑥	日本の文化や人物について自分で調べることができる。						
関連する本校の学習・教育目標			人間性				
問い合わせ・質問先			1階104室(教員室)				
オフィスアワー			水・木 16:00~17:00				

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1・2回	日本史学習のための基礎知識	日本史を学習上の基礎知識を理解することができる。 配付プリントを見直す。	— 15		
	第3・4回	律令政治の再建	奈良から平安への推移を理解できる。 教科書P. 50・51を読む。 練習問題集P1【1】を実施する。	15 15		
	第5・6回	弘仁・貞観文化	弘仁・貞観文化の特色を理解できる。 教科書P51・52を読む。 練習問題集P1【2】を実施する。	15 15		
	第7～10回	摂関政治とその推移	摂関政治の仕組みと変遷を理解できる。 教科書P53・54を読む。 練習問題集P2を実施する。	15 15		
	第11・12回	国風文化の隆盛	国風文化の特色を理解できる。 教科書P58～62を読む。 練習問題集P3を実施する。	15 15		
	第13～16回	院政と源平の盛衰	院政と平氏政権の仕組みについて理解できる。 教科書P68・69、P71・72を読む。 練習問題集P4・P5【2】・P17を実施する。	15 15		
	第17・18回	鎌倉幕府の成立①	鎌倉幕府成立の過程を理解できる。 教科書P74を読む。 練習問題集P5【1】を実施する。	15 15		
		定期試験				
	第19回	自己点検	答案返却・解説及び自己点検 試験問題を見直す。	— 15		
	第20回	鎌倉幕府の成立②	鎌倉幕府成立の過程を理解できる。 教科書P76を読む。 練習問題集P6【2】を実施する。	15 15		
夏学期	第1～3回	鎌倉幕府の成立③	鎌倉幕府の仕組みを理解できる。 教科書P75を読む。 練習問題集P6【3】を実施する。	15 15		
	第4・5回	北条氏の台頭	北条氏の勢力伸長過程を理解できる。 教科書P77・78を読む。 練習問題集P7【1】を実施する。	15 15		
	第6・7回	承久の乱と執権政治	承久の乱の意義と執権政治の仕組みを理解できる。 教科書P78・79を読む。 練習問題集P7【2】を実施する。	15 15		
	第8・9回	元寇と得宗専制の確立	元寇の影響と得宗専制政治の仕組みを理解できる。 教科書P88-90を読む。 練習問題集P8【3】・P17を実施する。	15 15		
	第10回	鎌倉時代の文化①	鎌倉文化の特色を理解できる。 教科書P85・86を読む。 練習問題集P8【1】を実施する。	15 15		
		定期試験				

秋学期	第1回	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	—	—
				試験問題を見直す。	15
	第2～4回	鎌倉時代の文化②	鎌倉仏教の特色を理解できる。	教科書P82-84を読む。	15
				練習問題集P9【2】を実施する。	15
	第5～7回	鎌倉幕府の滅亡	鎌倉幕府滅亡の背景と過程を理解できる。	教科書P91・92を読む。	15
				練習問題集P10【1】・11【2】を実施する。	15
	第8・9回	建武の新政	建武の新政の過程を理解できる。	教科書P92を読む。	15
				練習問題集P11【1】を実施する。	15
第10・11回	南北朝の動乱	南北朝の動乱の流れをつかむことができる。	教科書P93・94を読む。	15	
			練習問題集P12【2】を実施する。	15	
第12回	室町幕府の確立	室町幕府の成立過程を理解できる。	教科書P97を読む。	15	
			練習問題集P13【1】・P17を実施する。	15	
第13・14回	室町幕府の政治機構	室町幕府の政治機構を理解できる。	教科書P98を読む。	15	
			練習問題集P13【2】を実施する。	15	
		定期試験			
冬学期	第1回	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	—	—
				試験問題を見直す。	15
	第2・3回	室町幕府の財政基盤	室町幕府の財政基盤を理解できる。	教科書P98を読む。	15
				練習問題集P13【2】を実施する。	15
	第4～6回	幕府の衰退と下剋上	幕府権力の推移を理解できる。	教科書P104-106を読む。	15
				練習問題集P14【3】を実施する。	15
	第7・8回	室町時代の文化	室町文化の特色を理解できる。	教科書P108・110を読む。	15
				練習問題集P15【1】を実施する。	15
	第9～11回	戦国大名の支配	戦国大名の支配の仕組みを理解できる。	教科書P112-114を読む。	15
				練習問題集P15【1】を実施する。	15
第12・13回	織田信長の統一事業	信長による統一政策を理解できる。	教科書P122・123を読む。	15	
			練習問題集P16【1】を実施する。	15	
第14～16回	豊臣秀吉の天下統一	秀吉による統一政策を理解できる。	教科書P123-125を読む。	15	
			練習問題集P16【1】・P17を実施する。	15	
		定期試験			
第17回	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	—	—	
			試験問題を見直す。	15	

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
基礎数学 I				グローバル情報学科 1年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修 2	通年	講義	中泉俊一				
キーワード		科目概要						
集合、場合の数、確率 点と直線、円、軌跡と領域		数学的に事象を考察し、処理するための土台となる集合と場合の数や、不確定な事象を数量的にとらえる確率についての知識を習得し、その理解を深めることおよび、座標・方程式を利用して、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を学び、そのことの有用性を認識するとともに、事象の考察に生かすことができるようになることを目的とする。						
教科書		参考書		関連する科目・資格				
① 「数学A」 河野俊丈編、東京書籍 ② 「数学II」 河野俊丈編、東京書籍		侯野博/ ① 「ニューアシスト 新編 数学I+A」 東京書籍編集部編、東京書籍 ② 「ニューアシスト 新編 数学II+B」 東京書籍編集部編、東京書籍		科目：線形代数 I				
評価方法							(%)	
評価項目	定期試験	小テスト	課題・宿題	授業態度		計	学年評価に対する割合	
春学期	40	30	20	10		100	25	
夏学期	40	30	20	10		100	25	
秋学期	40	30	20	10		100	25	
冬学期	40	30	20	10		100	25	
学年評価 (評価は春、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)							100	100
備考	<p>年度末の評価は、各学期の平均したもので、60点以上を合格とする。 各学期の評価で60点に満たない学生は補習をする。 年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。 「定期試験」(100点満点)及び「小テスト」(10点満点)で通常の学習の成果を評価する。 「課題・宿題」は日常の努力を評価するもので提出物の内容で評価する。 「授業態度」は授業の取り組み意欲を評価するもので、授業態度や出席状況が不良の者については評価からの減点を行う。また、定期試験後にノートを提出してもらい、その内容を評価する。</p>							
受講上のアドバイス								
<p>基礎を固める意味で、授業は講義と問題演習を運動して行う。そこで、授業に向けて次の①～③に心がける。 ①授業用プリントを整理し、試験の際に有意義に活用するために、フラットファイルを準備すること。 ②授業中に終了しなかった問題は、その日のうちに家庭にて終了させる努力をすること。 ③小テスト後は、自分の苦手な分野・理解不十分と思われる内容が明確になるので、間違えた部分や、自信のない部分を重点的に復習すること。</p>								
科目の達成目標								
①	順列・組み合わせを用いて様々な場合の数を求めることができる。							
②	確率の基本性質を理解させ、加法定理や余事象の確率を求めることができる。							
③	反復試行の確率、条件付き確率と乗法定理の考えを理解させ、複雑な事象の確率を求めることができる。							
④	平面座標を用いて、2点間の距離や線分の内分点、外分点、三角形の重心の座標を求めることができる。							
⑤	平面座標において、図形とその方程式の関係を明らかにして、公式を利用して図形問題を解くことができる。							
⑥	不等式が座標平面の一部である領域を表すことを理解し、不等式の表す領域を求められるようになる。							
関連する本校の学習・教育目標		基礎力						
問い合わせ・質問先		2階215室 (数理教員室)						
オフィスアワー		火曜日 8時限						

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～2回	集合①	集合に関する用語・記号を理解し、適切に使える。	教科書 p. 48～p. 54 (数学 I) を熟読する	20	
			問題集 p. 16の A 問題を解く	20		
	第3～4回	集合②	集合の包含関係・共通部分、和集合・空集合・補集合とド・モルガンの法則について理解できる。	教科書 p. 6～P. 9(数学A)を熟読する	20	
				問題集 p. 16の B 問題を解く	20	
	第5～6回	有限集合の要素の個数	有限集合の和集合の要素の個数を求められる。	教科書 p. 10～p. 13を熟読する	20	
				問題集 p. 56の A 問題を解く	20	
	第7～8回	場合の数	樹形図等を利用して、和の法則・積の法則を理解し場合の数を求められる。	教科書 p. 14～p. 17を熟読する	20	
				問題集 p. 57の A 問題を解く	20	
	第9～10回	順列①	順列の意味と記号を理解し、その計算ができる。	教科書 p. 18～p. 19を熟読する	20	
				問題集 p. 59の A17～22番の問題を解く	20	
第11～12回	順列②	順列を用いてさまざまな場合の数を求められる。	教科書 p. 20～p. 22を熟読する	20		
			問題集 p. 59の A23～24番の問題を解く	20		
第13～14回	組合せ①	組合せの意味と記号を理解し、その計算ができる。	教科書 p. 23～p. 25を熟読する	20		
			問題集 p. 61の A28～34番の問題を解く	20		
第15～16回	組合せ②	組合せを用いてさまざまな場合の数を求められる。	教科書 p. 30～p. 33を熟読する	20		
			問題集 p. 61～62の A35～38番総合復習問題を解く	20		
第17～18回	事象と確率	不確定な事象が数量的に表現できることを理解できる。	教科書 p. 34～p. 36を熟読する	20		
			問題集 p. 63の A 問題を解く	20		
	定期試験					
第19回	自己点検	試験の結果から理解の不十分な内容を把握し、それを習得するように努める				
			問題集 p. 64～p. 65の A 問題を解く	20		
第20回	確率の基本性質①	積事象・和事象・排反事象と確率の基本性質、を理解し、和事象の確率を集合と確率を関連付けて求めることができる。	教科書 p. 37～p. 39を熟読する	20		
			問題集 p. 64～p. 65の A 問題を解く	20		
夏学期	第1～2回	確率の基本性質②	余事象の確率を求めることができる。	教科書 p. 41～p. 44を熟読する	20	
			問題集 p. 66の A 問題を解く	20		
	第3～4回	独立な試行の確率	独立な試行の意味を理解し、その確率を求められる。	教科書 p. 45～p. 47を熟読する	20	
				問題集 p. 67の A を解く	20	
	第5～6回	反復試行の確率	反復試行の意味を理解し、組合せを用いて、その確率を求められる。	教科書 p. 49～p. 51を熟読する	20	
				問題集 p. 68の 問題を解く	20	
	第7～9回	複雑な事象の確率	条件付き確率と乗法定理を学び、複雑な事象の確率を考察できる。	教科書 p. 51～p. 52を熟読する	20	
				問題集 p. 70～p72 の問題を解く	20	
	第10回	総合演習	確率に関する問題を解くことができる。	—		
				教科書の p 5 3 章末問題を解く	20	
	定期試験					

秋学期	第1～3回	(数学Ⅱ) 2点間の距離	2点間の距離を計算で求めることができる。	教科書 p. 64～p. 70を熟読する	20
				問題集 p. 22 の A 問題を解く	20
	第4～7回	内分点・外分点	内分点・外分点、さらに、重心等の座標を求めることができる。	教科書 p. 71～p. 73を熟読する	20
				問題集 p. 23～p. 24の問題を解く	20
	第8～10回	直線の方程式	与えられた条件を活用して直線の方程式を求めることができる。	教科書 p. 74～p. 75を熟読する	20
				問題集 p. 25の A 問題を解く	20
	第11～12回	2直線の関係 (1)	平行・垂直条件を理解し、活用して問題を解くことができる。	教科書 p. 76～p. 80を熟読する	20
				問題集 p. 26 の A 問題を解く	20
	第13～14回	2直線の関係 (2)	2直線の交点上の直線、点と直線の距離を求めることができる。	教科書 p. 83～p. 85を熟読する	20
				問題集 p. 27 の問題を解く	20
		定期試験			
冬学期	第1回	自己点検	試験の結果から理解の不十分な内容を把握し、それを習得するように努める	試験の間違った問題を見直す。	20
	第2～3回	円の方程式	円の方程式を求めることができる	教科書 p. 86～p. 91を熟読する	20
				問題集 p. 28の A 問題を解く	20
	第4～7回	円と直線	円と直線の共有点、接線、弧の長さを求めることができる。	教科書 p. 94～p. 96を熟読する	20
				問題集 p. 30 の A 問題を解く	20
	第8～11回	軌跡の方程式	与えられた条件を満たす軌跡を、方程式で表すことができる	教科書 p. 97～p. 99を熟読する	20
				問題集 p. 32の A 問題を解く	20
	第12～13回	不等式の表す領域	不等式の満たす領域を図示することができる。	教科書 p. 100～p. 101を熟読する	20
			問題集 p. 34 の A 問題を解く	20	
第14～15回	連立不等式の表す領域	連立不等式の満たす領域を図示することができる。	教科書 p. 102～p. 103を熟読する	20	
			問題集 p. 35 の A 問題を解く	20	
第16回	線形計画法	領域の最大値、最小値を求めることができる。	教科書 p. 108を熟読する	20	
			問題集 p. 36 の問題を解く	20	
		定期試験			

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
基礎数学Ⅱ				グローバル情報学科 1年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修 4	通年	講義	木原 均				
キーワード		科目概要						
数と式、方程式と不等式、2次関数、三角比、三角関数		<p>数学の中で最も基本的な部分である数と式、方程式と不等式、2次関数、図形と計量についての知識を習得し、その理解を深めることを目的とする。図形と計量に関しては1年生の段階で三角比の概念を三角関数にまで拡張し、専門の授業内容への対応を図るものとする。</p>						
教科書			参考書		関連する科目・資格			
①「数学Ⅰ」、飯高茂/松本幸夫編、東京書籍 ①「数学Ⅱ」、飯高茂/松本幸夫編、東京書籍			① 「改訂版ニューアシスト新編 数学Ⅰ+A」、 ② 「改訂版ニューアシスト新編 数学Ⅱ+B」		科目：微分積分Ⅰ・Ⅱ、 応用数学Ⅰ・Ⅱ			
評価方法								
評価項目	定期試験	課題 授業態度				各学期小計	評価	学期の割合
春学期	55	45				100	100	25%
夏学期	55	45				100	100	25%
秋学期	55	45				100	100	25%
冬学期	55	45				100		25%
学 年 評 価							100	100%
備 考	<p>定期試験：授業における講義内容の理解と演習の成果を総合的に判断することを主とする。</p> <p>課題：毎時限の授業用プリントの内容によって評価を行う。また、長期休みには宿題を出し、その内容によって評価を行う。</p> <p>授業態度：授業態度や出席状況が不良の者については評価から減点を行う。</p>							
受講上のアドバイス								
1. ノートは大学ノートを使用すること。ルーズリーフは極力使用しないでください。 2. 授業用プリントの整理のため、フラットファイルを準備して下さい。 3. 質問はいつでも遠慮なくして下さい。分からないことはそのままにしないよう心がけて下さい。								
科目の達成目標								
①	文字式の展開や因数分解ができる							
②	平方根の計算や分母の有理化ができる							
③	1次不等式・連立1次不等式が解ける							
④	2次関数のグラフを書くことができる							
⑤	正弦定理や余弦定理をもちいて辺と角の大きさを求めることができる							
⑥	加法定理を用いて2倍角・半角の計算ができる							
関連する本校の学習・教育目標	基礎力							
問い合わせ・質問先	2階地域連携センター							
オフィスアワー	月～金 16:30～17:30							

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春 学 期	第1-4回	整式	整式に関する用語や性質を理解できる	教科書pp. 6-7を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第5-8回	整式の加法・減法・乗法	計算法則や展開公式を用いて計算ができる	教科書pp. 8-13を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第9-12回	因数分解	因数分解ができる	教科書pp. 14-19を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第13-16回	実数	自然数、整数、有理数、無理数の意味が理解できる	教科書pp. 22-26を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第17-20回	平方根	平方根の計算と分母の有理化ができる	教科書pp. 27-30を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第21-24回	不等式	不等式を使うことができる	教科書pp. 32-36を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
第25-28回	不等式の応用	1次不等式・連立不等式を解くことができる	教科書pp. 37-40を読む	10		
			ノート・プリントを見直す	15		
第29-32回	命題と論証	対偶や背理法の証明ができる	教科書pp. 55-63を読む	10		
			ノート・プリントを見直す	15		
	定期試験					
第33-36回	2次関数のグラフ	グラフを書くことができる	教科書pp. 70-77を読む	10		
			試験の間違った問題を見直す	15		
第37-40回	2次関数の最大と最小	最大値と最小値を求めることができる	教科書pp. 82-84を読む	10		
			ノート・プリントを見直す	15		
夏 学 期	第1-4回	2次関数の決定	2次関数を定めることができる	教科書pp. 86-93を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第5-12回	2次方程式	実数解の個数と判別式の関係を使うことができる	教科書pp. 86-93を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第13-17回	グラフと共有点	X軸の共有点と判別式の関係を使うことができる	教科書pp. 94-99を読む	10	
ノート・プリントを見直す				15		
第17-20回	2次不等式の応用	2次不等式の解を求めることができる	教科書pp. 100-108を読む	10		
			ノート・プリントを見直す	15		
	定期試験					

秋学期	第1-4回	直角三角形と正接・正弦・余弦	正接、正弦、余弦の値を求めることができる	教科書pp. 116-121を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第5-8回	三角比の相互関係	三角比の関係を鈍角に拡張することができる	教科書pp. 122-125を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第9-12回	三角比の性質	三角比の値を計算することができる	教科書pp. 126-134を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第13-19回	正弦定理	正弦定理を使って、辺と角の大きさを求めることができる	教科書pp. 136-139を読む	10	
ノート・プリントを見直す				15		
第20-24回	余弦定理	余弦定理を使って、辺と角の大きさを求めることができる	教科書pp. 140-143を読む	10		
			ノート・プリントを見直す	15		
第25-28回	三角形の面積	正弦定理や余弦定理を使って、三角形の面積を求めることができる	教科書pp. 144-151を読む	10		
			ノート・プリントを見直す	15		
	定期試験					
冬学期	第1-8回	一般角と三角関数	一般角と弧度法を使うことができる	教科書pp. 110-115を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第9-12回	三角関数の性質	三角比と三角関数の関係を理解できる	教科書pp. 116-119を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第13-20回	三角関数のグラフ	三角関数のグラフを書くことができる	教科書pp. 120-125を読む	10	
				ノート・プリントを見直す	15	
	第21-24回	三角関数の方程式・不等式	三角関数の方程式や不等式を解くことができる	教科書pp. 126-129を読む	10	
ノート・プリントを見直す				15		
第25-28回	加法定理とその応用	加法定理や2倍角、半角の公式を使うことができる	教科書pp. 132-139を読む	10		
			ノート・プリントを見直す	15		
第29-32回	三角関数の合成	三角関数を合成することができる	教科書pp. 140-141を読む	10		
			ノート・プリントを見直す	15		
	定期試験					

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
物理・化学 I				グローバル情報学科 1年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	高橋丈雄			
キーワード		科目概要					
速度・加速度、重力、運動方程式、摩擦、仕事、エネルギー		物理学における基本的な考え方を、特殊な問題ではなく身近に体験できる現象として理解し、また、測定値や単位の取り扱い方などを含めて講義を聴き、運動やエネルギーに関する基本的な解法を身につけ、それに関する問題をその意味も考えながら解く。実験道具を使い、目で見える講義も実施する。これらにより専門科目への導入の足がかりとする。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①「新編物理基礎」三浦 登他、東京書籍 ②「ニューアチーブ 物理基礎」東京書籍編集部、東京書籍			なし		科目：物理・化学Ⅱ、 応用物理Ⅰ・Ⅱ 資格：電気工事士		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	小テスト	課題・宿題	授業態度	計		学年評価に対する割合
春学期	40	30	25	5	100		25
夏学期	40	30	25	5	100		25
秋学期	40	30	25	5	100		25
冬学期	40	30	25	5	100		25
学年評価(評価は春,夏,秋,冬学期で行い、通知表は春,夏,秋,学年評価で示す。)							100
備考	各学期の評価で評価し、60点に満たない者は補習する。 年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。 定期試験および小テストの内容は、通常の学習の成果を測定することを主とする。 宿題・課題は家庭での努力を測定するものである。 授業態度は、授業中の積極性を測定する。						
受講上のアドバイス							
物理Ⅱ、応用物理とさらに進んでいくので、ここで理解できないと卒業まで苦しくなる。従って、授業中には遠慮せず質問すること。それでも理解できないときは放課後に来て、納得するまで取り組むこと。							
科目の達成目標							
①	速度や加速度、重力加速度について、説明できる。						
②	質量と重力の大きさの違いを説明できる。						
③	運動方程式を立て、問題を解くことができる。						
④	摩擦力について説明できる。						
⑤	仕事、仕事率および仕事の原理について説明できる。						
⑥	エネルギーの問題を解くことができる。						
関連する本校の学習・教育目標			基礎力				
問い合わせ・質問先			2階205室 (地域連携教育センター)				
オフィスアワー			月～金 16:30～17:30				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～3回	ガイダンス 中学校の復習	分数小数正負の数の四則演算ができる。単位の換算ができる。	演習プリントに取り組む	10	
			演習プリントを見直す	10		
	第4回	速さと速度	速さと速度の違いが理解できる。	教科書P8～11を読む	10	
				教科書の問1～4を解く	20	
	第5回	等速直線運動	等速直線運動の問題をとくことができる。	教科書P12～13を読む	10	
				問題集P2～3を解く	20	
	第6回	合成速度と相対速度	速度の合成と相対速度を求めることができる。	教科書P14～15を読む	10	
				問題集P4～5を解く	20	
	第7～8回	問題演習	速度に関する問題を解くことができる。	演習プリントに取り組む	20	
				演習プリントを見直す	10	
第9～13回	加速度 等加速度運動	等加速度運動の公式を適切に適用し、問題を解くことができる。	教科書P16～21を読む	10		
			問題集P6-9を解く	20		
第14～15回	力 力のつり合い	力を図示できる。力のつり合いを示すことができる。	教科書P24～27を読む	10		
			教科書の問1を解く	10		
第16～18回	力の合成と分解	力の合成および分解の作図および大きさを求めることができる。	教科書P28～29を読む	10		
			問題集P12～15を解く	20		
	定期試験					
第19回	自己点検	春学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	—	—		
			試験の間違った問題を見直す	20		
第20回	運動の第一法則	慣性の法則を理解することができる。	教科書P30～31を読む	10		
			問題集P16～17の該当問題を解く	10		
夏学期	第1回	運動の第二法則	運動の法則を理解することができる。	教科書P32～35を読む	10	
			問題集P16～17の該当問題を解く	10		
	第2回	運動の第三法則	作用反作用の法則を理解することができる。	教科書P36～37を読む	10	
				問題集P16～17の該当問題を解く	10	
	第3～5回	力と物体の運動	運動方程式を立て、解くことができる。	教科書P46～49を読む	15	
				問題集P22～25を解く	20	
	第6～10回	自由落下 鉛直投射	自由落下の問題を解くことができる。	教科書P38～41を読む	10	
				問題集P18～19、演習プリントを解く	20	
		定期試験				

秋学期	第1～4回	放物運動	水平投射、斜方投射の問題を解くことができる。	教科書P42～43を読む	10	
				演習プリントを解く	60	
	第5～6回	摩擦力	静止摩擦力、動摩擦力を理解することができる。	教科書P52～53を読む	10	
				問題集P20～21を解く	30	
	第7～9回	摩擦力と運動方程式	摩擦力がはたらく場合の運動方程式を立て、解くことができる。	演習プリントに取り組む	20	
				演習プリントを見直す	20	
	第10～11回	液体や気体から受ける力	水圧や浮力について理解することができる。	教科書P54～55を読む	10	
問題集P26～27を解く				30		
第12回	抵抗のある運動	抵抗のある場合の運動について理解することができる。	教科書P56～57を読む	10		
			演習プリントを解く	10		
第13～14回	問題演習	圧力や浮力の問題について解くことができる。	演習プリントに取り組む	30		
			演習プリントを見直す	30		
		定期試験				
冬学期	第1回	自己点検	秋学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	—		
				試験の間違った問題を見直す		
	第2～5回	仕事・仕事率 仕事の原理	仕事・仕事率・仕事の原理について理解し、問題を解くことができる。	教科書P60～63を読む	10	
				問題集P30～31を解く	30	
	第6～8回	位置エネルギー	重力および弾性力による位置エネルギーについて理解することができる。	教科書P64～67を読む	10	
				問題集P34～35を解く	30	
	第9回	運動エネルギー	運動エネルギーについて理解することができる。	教科書P68～69を読む	10	
				問題集P32～33を解く	20	
	第10～11回	問題演習	位置エネルギーや運動エネルギーを求めることができる。	演習プリントに取り組む	30	
				演習プリントを見直す	30	
	第12～13回	力学的エネルギー保存の法則	力学的エネルギー保存の法則を理解することができる。	教科書P70～72を読む	10	
				問題集P36～37を解く	30	
	第14回	力学的エネルギー保存が成り立たない場合	力学的エネルギー保存が成り立たない場合があることを理解することができる。	教科書P73を読む	10	
				問題集P38を解く	20	
	第15～16回	問題演習	エネルギー保存に関する問題を解くことができる。	演習プリントに取り組む	30	
		定期試験				

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
保健体育 I (保健)				グローバル情報学科 1年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必須	履修1 (3)	通年	講義	山口真史				
キーワード		科目概要						
健康問題、生涯スポーツ		現代社会と健康 : 現代社会における健康問題について学習する。 生涯を通じる健康 : 思春期における心や性の問題について学習する。						
教科書		参考書			関連する科目・資格			
「現代高等保健体育」和唐正勝ほか、大修館書店		なし			なし			
評価方法								(%)
評価項目	定期試験	小テスト	提出物	学習態度	出席状況		計	学年評価に対する割合
春学期	0	60	20	10	10		100	25
夏学期	60	0	20	10	10		100	25
秋学期	0	60	20	10	10		100	25
冬学期	60	0	20	10	10		100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)								100
備考	成績評価は、評価項目にしたがって評価する。学習態度が悪い、遅刻、欠席をした場合は減点する。尚、保健体育 I の評価は実技と保健の相加平均とする。							
受講上のアドバイス								
保健は、生涯を通しての自らの健康についての基礎知識を学ぶ大切な授業です。授業を通し、自らの健康を見つめ直して、生涯にわたり健康的な生活を送れるように考えましょう。レポート作成は授業時間内で行います。授業時間内で終わるように集中して取り組みましょう。プリント、レポートは必ず提出すること。								
科目の達成目標								
①	現代社会と健康について理解を深め、その対策を考える。							
②	生涯を通じる健康について理解を深める。							
③								
④								
⑤								
⑥								
関連する本校の学習・教育目標			人間性					
問い合わせ・質問先			1階 104室 (教員室) 体育館教員室					
オフィスアワー			水曜日 16:30~17:30					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春 学 期	第1回	私たちの健康のすがた	現在の日本の健康水準をとらえる 生涯スポーツについて深く理解する	0		
				15		
	第2回	健康のとらえ方	「健康とは何か」という質問に答えられるようになる	教科書p. 8-9を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第3回	健康と意思決定・行動選択	健康と意思決定・行動選択の重要性について理解を深める	教科書p. 10-11を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第4回	健康に関する環境づくり	健康に影響を与えているものについて理解を深める	教科書p. 12-13を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第5回	生活習慣病とその予防	現在の行動が将来の生活習慣病を引き起こす原因になっていることについて理解を深める	教科書p. 16-17を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
第6回	食事と健康	健康に生きるための基礎が毎日の食事ということを理解する	教科書p. 18-19を熟読する	15		
			配布プリントをおこなう	15		
第7回	運動と健康	健康によい運動とはどのようなものか理解を深める	教科書p. 20-21を熟読する	15		
			配布プリントをおこなう	15		
第8回	休養・睡眠と健康	健康によい休養・睡眠とはどのようなものか理解を深める	教科書p. 22-23を熟読する	15		
			配布プリントをおこなう	15		
第9回	小テスト	小テストを行い、学習した内容を確認する	教科書 p 8-23を熟読する	15		
			小テストで間違えた箇所をサイド見直す	15		
第10回	健康についてのレポート	健康について自学調査をし、レポートを作成する	健康についてのレポートの資料を熟読する	15		
			レポートを作成する	15		
夏 学 期	第1回	健康についてのレポート	健康について自学調査をし、レポートを作成する	健康についてのレポートの資料を熟読する	15	
				レポートを作成する	15	
	第2回	健康についてのレポート	健康について自学調査をし、レポートを作成する	健康についてのレポートの資料を熟読する	15	
				レポートを作成する	15	
	第3回	喫煙と健康	喫煙の問題について理解を深める	教科書p. 24-25を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第4回	飲酒と健康	飲酒の問題について理解を深める	教科書p. 26-27を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第5回	薬物乱用と健康	薬物の問題について理解を深める	教科書p. 28-29を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	定期試験					
第6回	自己点検	テストを返却し、それをもとに前期の学習を復習する	-	0		
			試験で間違えたところを再度見直す	20		

秋学期	第1回	現代の感染症	感染症の状況の変化、予防の大切さを理解する	教科書p. 32-35を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第2回	性感染症・エイズとその予防	性感染症、エイズの予防の大切さを理解する	教科書p. 36-37を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第3回	欲求と適応機制	さまざまな欲求、欲求不満と適応機制について理解を深める	教科書p. 38-39を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第4回	心身相関とストレス	心と体のかかわりについて理解を深める	教科書p. 40-43を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
第5回	心の健康と自己実現	自己実現について理解を深める	教科書p. 46-47を熟読する	15		
			配布プリントをおこなう	15		
第6回	交通事故の現状と要因	交通事故の現状と要因を理解する	教科書p. 48-49を熟読する	15		
			配布プリントをおこなう	15		
第7回	小テスト	小テストを行い、学習した内容を確認する	教科書p. 32-53を熟読する	15		
			配布プリントをおこなう	15		
冬学期	第1回	応急手当の意義とその基本	応急手当の意義について理解する	教科書p. 56-57を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第2回	心肺蘇生法	心肺蘇生法の実演をみて手順を理解する	教科書p. 58-61を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第3回	思春期と健康	思春期の体の変化、心の不安や悩みについて理解する	教科書p. 64-65を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第4回	性意識と性行動選択	性行動を選択する前に考えるべきことについて理解する	教科書p. 66-67を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
	第5回	妊娠・出産と健康	母体の健康の維持について理解する	教科書をp. 70-71を熟読する	15	
				配布プリントをおこなう	15	
第6回	家族計画と人工妊娠中絶	安全で確実な避妊法を学び正しい選択ができるようにする	教科書をp. 72-73を熟読する	15		
			配布プリントをおこなう	15		
第7回	生涯を通じる健康	思春期から中高年期までの健康にかかわることがらについて学び理解する	教科書を熟読する	15		
			本時の授業を振り返る	15		
第8回	総合学習	秋、冬学期を総合的に学び、理解を深める	教科書をp. 32-73を熟読する	15		
			本時の授業を振り返る	15		
	定期試験					
第9回	自己点検	テストを返却し、それをもとに後期の学習を復習する	-	0		
			試験で間違えたところを再度見直す	20		

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
保健体育 I (体育)				グローバル情報学科 1年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必須	履修2 (3)	通年	実技	山口真史				
キーワード		科目概要						
安全、協調性、生涯スポーツ、 ルールの遵守		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体力テスト：背筋力、握力、反復横跳び、伏臥上体そらし、長座体前屈、踏み台昇降運動 ・ 陸上競技：ハードル走、走り高跳び ・ 剣道：礼法、構え、素振り、切り返し、掛かり稽古 ・ 器械運動：マット運動、鉄棒 ・ 球技：ドッジボール 						
教科書		参考書		関連する科目・資格				
なし		アクティブスポーツ2015		なし				
評価方法 (％)								
評価項目	実技評価	学習態度	出席状況				計	学年評価に対する割合
春学期	40	30	30				100	25
夏学期	40	30	30				100	25
秋学期	40	30	30				100	25
冬学期	40	30	30				100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)								100
備考	実技評価は競技種目ごとに試験を行う。 学習態度は協調性、ルールの遵守、服装、遅刻、見学等から評価する。 出席状況は欠席の場合減点とする。 尚、保健体育の評価は実技と保健の相加平均とする。							
受講上のアドバイス								
1、ジャージ、シューズは指定のもの以外認めない。 2、安全に留意すること。 3、生涯スポーツについて理解すること。								
科目の達成目標								
①	一生涯スポーツに関わる基礎を構築する。							
②	基礎体力の向上を図る。							
③	スポーツを通じて、協調性を身につける。							
④	陸上競技について理解を深める。							
⑤	武道について理解を深める。							
⑥	機械体操について理解を深める。							
関連する本校の学習・教育目標			人間性					
問い合わせ・質問先			1階 104室 (教員室) 体育館教員室					
オフィスアワー			水曜日 16:30～17:30					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1回	体力測定	自己の体力を把握する	-	0	
				体力測定の結果から自己の体力を振り返る	10	
	第2回	集団行動	整列、姿勢、準備体操など集団行動ができる	整列方法、準備体操などの集団行動について考える	10	
				集団行動の重要性を振り返る	10	
	第3回	球技の練習	各種球技の理解を深める	体育大会で自分の出場する競技を知り、ルールを理解する	10	
				体育大会がスムーズに進行できるように振り返る	10	
	第4～5回	陸上競技（ハードル）	ハードルについて理解を深める	ハードルの基本動作を調査する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			50mハードル走を自己到達目標タイムで走ることができる	測定時の目標を設定する	10	
				目標に達成したか振り返る	10	
第6～7回	陸上競技（走り高跳び）	走り高跳びについて理解を深める	走り高跳びの基本動作を調査する	10		
			本時の基本動作を振り返る	10		
		走り高跳びの自己到達目標の高さを跳ぶことができる	測定時の目標を設定する	10		
			目標に達成したか振り返る	10		
第8～9回	機械体操（鉄棒運動）	安全に鉄棒を組み立てられることができる	鉄棒運動の基本動作について調査をする	10		
			本時の基本動作を振り返る	10		
		逆上がり、前方支持回転、後方支持回転、横跳び越しおりができる	先週の課題について調査する	10		
			本時の課題が達成できたか振り返る	10		
第10回	機械体操（鉄棒運動）	逆上がり、前方支持回転、後方支持回転、横跳び越しおりができる	先週の課題について調査する	10		
			本時の課題が達成できたか振り返る	10		
夏学期	第1～2回	機械体操（鉄棒運動）	片ひざ掛け上がり、け上がりができる	先週の課題について調査する	10	
				本時の課題が達成できたか振り返る	10	
			鉄棒の試験を通して理解を深める	試験課題を練習する	10	
				課題が達成できたか振り返る	10	
	第4～5回	機械体操（マット運動）	前転、後転、倒立、側転ができる	マット運動の基本動作について調査をする	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			開脚前転、開脚後転、倒立、側転、頭はねおきができる	先週の課題について調査する	10	
				本時の課題が達成できたか振り返る	10	

秋学期	第1～3回	機械体操（マット運動）	倒立前転、後転倒立、はねおき、ハンドスプリングができる	先週の課題について調査する	10	
				本時の課題が達成できたか振り返る	10	
			倒立前転、後転倒立、はねおき、ハンドスプリングができる	先週の課題について調査する	10	
				本時の課題が達成できたか振り返る	10	
			マット運動の試験を通して理解を深める	試験課題を練習する	10	
				課題が達成できたか振り返る	10	
	第4回	剣道	特性、礼法、形について理解を深める	剣道の礼法について調査する	10	
	本時の礼法を振り返る	10				
	第5回	球技の練習	各種球技の理解を深める	球技大会で自分の出場する競技を知り、ルールを理解する	10	
	球技大会がスムーズに進行できるように振り返る	10				
	第6～第7回	剣道	構え、素振りについて理解を深める	基本動作を調査する（構え、握り、素振り）	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
剣道の試験を通して理解を深める			試験である素振り課題を練習する	10		
			課題が達成できたか振り返る	10		
冬学期	第1～2回	剣道	正しく防具をつけることができる	防具の付け方について調査する	10	
				防具の付け方を振り返り、正しく記憶する	10	
			防具をつけて素振り、相互に基本技ができる	基本動作を調査する（打ち方・打たせ方）	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
	第3～8回	ドッジボール	ドッジボールのルールを理解できる	ドッジボールのルール、展開を調査する	10	
				本時のルール、展開について振り返る	10	
			基本的な技能の投げる、捕るなどができる	ドッジボールの基本動作を調査する（投げる・捕る）	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			チームを作り、協調性をもって競技ができる	チームに分かれ、戦略を考える	10	
				チームごとに反省点を考える	10	
			チームを作り、協調性をもって競技ができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10	
				チームごとに反省点を考える	10	
チームを作り、協調性をもって競技ができる			先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10		
			チームごとに反省点を考える	10		
ドッジボールの試験を通して理解を深める	試験である投球、捕る動作を練習する	10				
	課題が達成できたか振り返る	10				
第9回	自己点検自己評価	1年間の授業について振り返り理解を深める	-	0		
			生涯スポーツについて振り返る	10		

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
総合英語 I (R)				グローバル情報学科 1年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	向井 守			
キーワード		科目概要					
読解力、語彙力、速読、英文、推測		<p>平明な文章で構成された読みもの(250~300)を出来る限り速く読み、その内容を様々な練習問題を通して理解していく。極力、日本語を介することなく教員と学生同志とのQs+As, Comprehension Questions, True or False, Matching, Multiple Choicesなどの理解チェックのための練習問題を解くことで英文内容を理解する。文脈から英文の意味を推測する練習も行う。また語彙力のために新出単語を用いて新しい文を作る英文の練習も行う。</p>					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
① <i>Weaving It Together 1</i> , Milada Broukal, HEINLE CENGAGE Learning		①「ジーニアス英和辞典」, 小西友七・南出康也, 大修館		科目: 総合英語 I I			
評価方法							
評価項目	定期試験	クイズ	授業内発表	授業態度	提出物	評価	学年評価に対する割合
春学期	50	20	10	10	10	100	25%
夏学期	50	20	10	10	10	100	25%
秋学期	50	20	10	10	10	100	25%
冬学期	50	20	10	10	10	100	25%
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)							100
備考	<p>定期試験: 学習した範囲の理解度を図るため、定期試験を実施する。 クイズ: Chapterを2つ学習する度に語彙習得のクイズを行う。 授業内発表: 口語でのQs + AsやComprehensionQsの解答の板書などに活発に参加することを要求している。 授業態度: 忘れ物、居眠り、ノートテーキングなどの態度を重視する。 提出物: Chapter毎に英文内容の要旨を書いて提出することが要求される。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>①各チャプターに入る前に家庭でその英文を音読することをすすめる。声をだして3度読むと少しではあるが、その内容が頭に描かれる。 ②音読の後、黙読をする。出来る限り速く読んでみる。自分の知っている語彙力を使って英文内容の推測してみるもの効果的である。 ③授業で学んだ単語はもう一度ノートで整理し自分の例文を作ってみる。この時、自信がない時は必ず辞書を利用すること。 ④授業では間違いを恐れずとにかく発言、発表をしてみよう。 ⑤口語でのQs+Asは文でなくても単語一語でもいいから答えてみよう。少しずつ自信がつくはずである</p>							
科目の達成目標							
①	新出単語で文を作ることができるようになる。						
②	新出単語を理解し語彙力を増強できるようになる。						
③	英文を少しずつ速く読んで理解できるようになる。						
④	英文を前後の文脈や知っている単語などからその意味を推測できるようになる。						
⑤	英文読解後、その要旨が書くことができるようになる。						
⑥	英語を楽しく読む態度を身につけることができるようになる。						
関連する本校の学習・教育目標			国際性				
問い合わせ・質問先			1階教員室(103室)				
オフィスアワー			木曜日8限				

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春 学 期	第1回	授業概要の説明	どの様な態度で授業に臨むことが期待されているかを理解する	—		
	第2～3回	Chapter 1 Birthday around the World	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 1を音読し、単語を調べる P. 4～P. 11の指示された問題を行う	各10分 各20分	
	第4回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認 単語の例文作り	10分 20分	
	第5～6回	Chapter 2 Happy New Year!	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 2を音読し、単語を調べる P. 13～P. 24の指示された問題を行う	各10分 各20分	
	第7回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認 単語の例文作り	10分 20分	
	第8回	単語クイズ	Chapter 1, 2の単語を理解したかを確認する	クイズの準備 クイズの復習	10分 20分	
	第9～10回	Chapter 3 Dubai:Modern City in the Desert	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 3を音読し、単語を調べる P. 27～P. 36の指示された問題を行う	各10分 各20分	
	第11回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認 単語の例文作り	10分 20分	
	第12～13回	Chapter 4 Life is Good in Iceland	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 4を音読し、単語を調べる P. 38～P. 50の指示された問題を行う	各10分 各20分	
	第14回	単語クイズ	Chapter 3, 4の単語を理解したかを確認する	クイズの準備 クイズの復習	10分 20分	
	第15～16回	Chapter 5 Go to Sleep!	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 5を音読し、単語を調べる P. 53～P. 60の指示された問題を行う	各10分 各20分	
	第17回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認 単語の例文作り	10分 20分	
		定期試験				
	第18回	自己点検	答案返却、解説および自己点検	試験問題を再度解いて間違いを見直す	20分	
	第19～20回	様々な読解活動に 挑戦	様々なタイプの速読、読解の問題を行い、各自の読解力を確認する	速読練習をする 速読を時間を計って行う	各10分 各20分	
	第1～2回	Chapter 6 Laughing Out Loud	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 4を音読し、単語を調べる P. 62～P. 72の指示された問題を行う	各10分 各20分	
	第3回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認 単語の例文作り	10分 20分	
	第4～5回	Chapter 7 What to Name the Baby	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 4を音読し、単語を調べる P. 75～P. 84の指示された問題を行う	各10分 各20分	

夏学期	第6回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認	10分	
				単語の例文作り	20分	
	第7回	単語クイズ	Chapter 6,7の単語を理解したかを確認する	クイズの準備	10分	
				クイズの復習	20分	
第8~10回	様々な読解活動に挑戦	様々なタイプの速読、読解の問題を行い、各自の読解力を確認する	速読練習をする	10分		
			速読を時間を計って行う	20分		
	定期試験					
秋学期	第1~2回	Chapter 8 Eat, Drink, and Know the Customs	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 8を音読し、単語を調べる	各10分	
				P. 86~P. 95の指示された問題を行う	各20分	
	第3回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認	10分	
				単語の例文作り	20分	
	第4~5回	Chapter 9 For the Love of	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 9を音読し、単語を調べる	各10分	
				P. 99~P. 108の指示された問題を行う	各20分	
	第6回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認	10分	
				単語の例文作り	20分	
	第7回	単語クイズ	Chapter 8,9の単語を理解したかを確認する	クイズの準備	10分	
				クイズの復習	20分	
	第8~9回	Chapter 10 Coffee: The World'd Most Popular Drink	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 10を音読し、単語を調べる	各10分	
				P. 110~P. 118の指示された問題を行う	各20分	
	第10回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認	10分	
				単語の例文作り	20分	
第11~13回	Chapter 11 Dinner Fresh form the Freezer	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 11を音読し、単語を調べる	各10分		
			P. 121~P. 130の指示された問題を行う	各20分		
第14回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認	10分		
			単語の例文作り	20分		
	定期試験					
冬学期	第1回	自己点検	答案返却、解説および自己点検			
				試験問題を再度解いて間違いを見直す	20分	
	第2~3回	Chapter 12 A Sharp Idea from King Grillette	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 12を音読し、単語を調べる	各10分	
				P. 132~P. 144の指示された問題を行う	各20分	
	第4回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認	10分	
				単語の例文作り	20分	
	第5~6回	Chapter 13 Barack Obama's Road to the Presidency	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 13を音読し、単語を調べる	各10分	
				P. 147 ~P. 155の指示された問題を行う	各20分	
	第7回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認	10分	
				単語の例文作り	20分	
	第8回	単語クイズ	Chapter 12,13の単語を理解したかを確認する	クイズの準備	10分	
				クイズの復習	20分	
	第9~10回	Chapter 14 Junko Tobei: Climb to the top	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 14を音読し、単語を調べる	各10分	
				P. 157 ~P. 168の指示された問題を行う	各20分	

第11回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認	10分	
			単語の例文作り	20分	
第12~13回	Chapter 15, 16 Readings from Literature	英文内容を黙読、Q s + A s, 練習問題及び、単語の学習を通して理解する	Chapter 15, 16を音読し、単語を調べる	各10分	
			P. 171~P. 187の問題を行う	各20分	
第14回	Review	単語整理と要旨箇条書き	単語の意味確認	10分	
			単語の例文作り	20分	
第15回	単語クイズ	Chapter 14, 15, 16の単語を理解したかを確認する	クイズの準備	10分	
			クイズの復習	20分	
第16回	読解活動のまとめ	様々なタイプの速読、読解の練習問題を行い、各自の読解力を確認する	読解速読練習をする	各10分	
			読解速読を時間を計っておこなう	各20分	
	定期試験				

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
総合英語 I (G)				グローバル情報学科 1年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 3	通年	講義	大原しのぶ・宇都宮隆子			
キーワード			科目概要				
語順、時制、疑問文、否定文、基本動詞			英語の語順、疑問文、否定文の形を理解し、基本動詞の意味、不規則動詞の過去形・過去分詞形の復習を徹底的に行っていく。その後、比較級、最上級、助動詞、受動態といった文法事項に発展させていく。				
教科書			参考書		関連する科目・資格		
① Basic English Grammar Volume A, Betty Schramper Azar/ Stacy A. Hagen, Pearson ② 配布プリント			① ジーニアス英和辞典 大修館書店		科目：総合英語II 資格：英検3級、準2級		
評価方法							
評価項目	定期試験	小テスト	課題・宿題	授業態度		評価	学年評価に対する割合
春学期	40	35	15	10		100	25%
夏学期	40	35	15	10		100	25%
秋学期	40	35	15	10		100	25%
冬学期	40	35	15	10		100	25%
学年評価（評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。）							100
備考	各学期の評価で、60点に満たない者に対しては補習を行う。 年度末の「学年評価」は各学期の「評価」に「学期の割合」を掛けたものの和とする。 定期試験および小テストの内容は、日ごろの学習成果を測定することを主とする。 宿題・課題は、授業外での能動的な勉強、努力が必要であり、指示通りできているかを評価する。提出期限を守ることも大事なことである。 授業態度は、授業中の積極性を評価する（遅刻、忘れ物、居眠りは随時減点。10%以上の減点もありうる）。						
受講上のアドバイス							
①積極的に課題や練習問題に取り組み、わからない箇所は遠慮なく質問すること。 ②宿題として出される単語プリントをしっかりと学習し、小テストに備えること。 ③小テスト実施日に欠席した場合、公欠でない限り、原則として小テストを受けることはできない。							
科目の達成目標							
①	「基本動詞（意味、過去形、過去分詞形含む）・形容詞」を理解し正しく使うことができる。						
②	「現在形・過去形・未来形」の形と用法を理解し、適切に使い分けられることができる。						
③	「現在進行形」の形と用法を理解し使うことができる。						
④	「現在完了形」の形と用法を理解し使うことができる。						
⑤	「比較級・最上級・同等比較」の形と用法を理解し、適切に使い分けられることができる。						
⑥	「助動詞」の種類と用法を理解し使うことができる。						
関連する本校の学習・教育目標			国際性				
問い合わせ・質問先			1階 教員室(31-103)				
オフィスアワー			木曜日8限目				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検	
春学期	第1回	授業概要の説明	どの様な態度で授業に臨むことを期待されているか理解する	学習支援計画書の内容の確認	10分	
	第2-3回	Word Order	英語と日本語の語順の違いを理解できる	英語と日本語の語順の違いについて考える Word Orderのハンドアウトを理解しているか確認する	各10分 各15分	
	第4-6回	Simple Present	現在形の用法を理解し活用することができる。	基本動詞No. 1の意味を把握する 現在形のハンドアウトを理解しているか確認する	各30分 各15分	
	第7-9回	Simple Past	過去形の用法を理解し活用することができる。	基本動詞No. 2の意味を把握する 過去形のハンドアウトを理解しているか確認する	各30分 各15分	
	第10回	Word Order, Present & Past Review Quiz	語順、現在形、過去形を理解しているかを確認する。	小テストの範囲を理解しているか確認する 小テストで間違った箇所を見直す	15分 30分	
	第11-13回	Yes-No Questions	Yes-No疑問文の用法を理解し活用することができる	基本動詞No. 3の意味を把握する Yes-No疑問文のハンドアウトを理解しているか確認する	各30分 各15分	
	第14-16回	Negative Sentences	否定文の用法を理解し活用することができる。	基本動詞No. 5の意味を把握する 否定文のハンドアウトを理解しているか確認する	各30分 各15分	
	第17回	Yes-No Questions, Negative Review Quiz	疑問文、否定文を理解しているかを確認する。	小テストの範囲を理解しているか確認する 小テストで間違った箇所を見直す	30分 15分	
	第18-20回	Wh-Questions	疑問詞の用法を理解し活用することができる。	基本動詞No. 6の意味を把握する 疑問詞のハンドアウトを理解しているか確認する	各30分 各15分	
	第21-24回	How + adjective ~?	How + 形容詞~の用法を理解し活用することができる。	基本動詞No. 7の意味を把握する How+形容詞~?のハンドアウトを理解しているか確認する	各30分 各15分	
	第25回	Wh-Questions, How+adjective Review Quiz	疑問詞、How + 形容詞~?を理解しているかを確認する。	小テストの範囲を理解しているか確認する 小テストで間違った箇所を見直す	30分 15分	
	第26-27回	Review	学習した文法事項を理解しているか確認する。	期末試験の範囲の復習 期末試験の範囲を理解しているか確認する	各30分 各60分	
		定期試験				
	第28回	自己点検	答案返却・解説および自己点検する	試験で間違えたところを再度見直す	15分	
	第29-30回	Present Progressive	現在進行形の形と用法を理解し活用することができる。	不規則動詞No. 1の過去形を理解する 現在進行形のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分 各15分	

夏学期	第1~3回	Present Progressive V. S. Simple Present	現在進行形と現在形の違いを理解し使い分けることができる。	不規則動詞No. 2の過去形を理解する	各15分	
				現在進行形のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第4回	Present Progressive Review Quiz	現在進行形を理解しているか確認する	小テストの範囲を理解しているか確認する	30分	
				小テストで間違った箇所を見直す	15分	
	第5-7回	Future	未来形の形と用法を理解し活用することができる。	未来形の形を把握する	各15分	
				未来形のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第8-10回	Simple Present Simple Past Future	現在形、過去形、未来形の違いを理解し使い分けることができる。	現在形、過去形、未来形の違いを把握する	各15分	
				現在形、過去形、未来形のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第11回	Tenses Review Quiz	現在形、過去形、未来形の違いを理解しているか確認する。	小テストの範囲を理解しているか確認する	30分	
				小テストで間違った箇所を見直す	15分	
	第12-13回	Past Participles	過去分詞 (A-A-A型、A-B-A型、A-B-B型、A-B-C型)を理解する。	A-A-A型、A-B-A型、A-B-B型、A-B-C型を把握する	各30分	
				不規則動詞No. 1・2の過去分詞を理解する	各15分	
	第14回	Past Participles Review Quiz	過去分詞を理解しているか確認する。	小テストの範囲を理解しているか確認する	30分	
				小テストで間違った箇所を見直す	15分	
	第15回	Review	学習した文法事項を理解しているか確認する。	期末試験の範囲の復習	30分	
期末試験の範囲を理解しているか確認する				60分		
	定期試験					
秋学期	第1-3回	Present Perfect①	現在完了形の形を理解し活用することができる。	現在完了形の形を把握する	各15分	
				現在完了形のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第4-6回	Present Perfect②	現在完了形の用法を理解し活用することができる。	現在完了形の用法を把握する	各15分	
				現在完了形の用法のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第7-9回	Present Perfect V. S. Simple Past	現在完了形と過去形の違いを理解し使い分けることができる。	現在完了形と過去形の違いを考える	各15分	
				現在完了形と過去形の違いのハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第10回	Present Perfect Review Quiz	現在完了形を理解しているか確認する。	小テストの範囲を理解しているか確認する	30分	
				小テストで間違った箇所を見直す	15分	
	第11-13回	Comparatives (-er / more)	比較級の形と用法を理解し活用することができる。	比較級の形を考える	各15分	
				比較級のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第14-16回	Superlatives (-est / most)	最上級の形と用法を理解し活用することができる。	形容詞No. 1の意味を理解する	各15分	
				最上級のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第17-19回	Equatives (as...as)	同等比較の形と用法を理解し活用することができる。	形容詞No. 2の意味を理解する	各15分	
				同等比較のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	

第20回	Comparatives, Superlatives, Equatives Review Quiz	比較級、最上級、同等比較を理解しているか確認する。	小テストの範囲を理解してるか確認する	30分		
			小テストで間違った箇所を見直す	15分		
第21回	Review	学習した文法事項を理解しているか確認する。	期末試験の範囲の復習	30分		
			期末試験の範囲を理解しているか確認する	60分		
定期試験						
冬学期	第1回	自己点検	答案返却・解説および自己点検する			
				試験で間違えたところを再度見直す	15分	
	第2-3回	Modals① (ability)	能力を表す助動詞(can, could, be able to~)を理解し活用することができる。	中学校で習った助動詞を把握する	各15分	
				能力を表す助動詞のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第4-6回	Modals② (Necessity, Prohibition)	必要性、禁止を表す助動詞(must, have to~)を理解し活用することができる。	必要性、禁止を表す助動詞を把握する	各15分	
				必要性、禁止を表す助動詞のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第7-9回	Modals③ (Probability)	推量を表す助動詞(may, might, could, must)を理解し活用することができる。	推量を表す助動詞を把握する	各15分	
				推量を表す助動詞のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第10-12回	Modals④ (Advice)	アドバイスを表す助動詞(should, had better)を理解し活用することができる。	アドバイスを表す助動詞を把握する	各15分	
				アドバイスを表す助動詞のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第13-15回	Modals⑤ (Permission, Request)	許可・依頼を表す助動詞(May, Could, Can, Will, Would)を理解し活用することができる。	許可・依頼を表す助動詞を把握する	各15分	
				許可・依頼を表す助動詞のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分	
	第16回	Modals Review Quiz	学習した助動詞を理解しているか確認する。	小テストの範囲を理解してるか確認する	30分	
				小テストで間違った箇所を見直す	15分	
第17-19回	Passive Voice	受動態の形と用法を理解し活用することができる。	受動態の形と用法を把握する	各15分		
			受動態の形と用法のハンドアウトを理解しているか確認する	各15分		
第20-22回	Passive Voice V. S. Active Voice	受動態と能動態の違いを理解し使い分けることができる。	受動態と能動態の違いを把握する	各15分		
			受動態と能動態の違いのハンドアウトを理解しているか確認する	各15分		
第23回	Passive Voice Review Quiz	受動態を理解しているか確認する。	小テストの範囲を理解してるか確認する	30分		
			小テストで間違った箇所を見直す	15分		
第24回	Review	学習した文法事項を理解しているか確認する。	期末試験の範囲の復習	30分		
			期末試験の範囲を理解しているか確認する	60分		
定期試験						

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
Skills 1(英語スキルズI)				グローバル情報学科 1年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Required	履修 3	All Year	Lecture	Sarah Lubold, Ian Stevenson (Spring, Summer, Fall, Winter), Nhung Le (Spring, Fall, Winter)		
キーワード		科目概要				
Project Based Learning, Communication Skills, Presentation Skills, Teamwork, Team building		Students will take part in activities to acquire and develop their English skills such as self-introductions, discussing daily life/routine, getting and giving information, describing people or things, talking about what happened in the past, what is happening now, what will happen in the future, making comparisons, talking about ability, making polite invitations and requests and expressing opinions. Students will study and practice these topics individually and in groups in order to build and improve their English and teamwork skills.				
教科書			参考書	関連する科目・資格		
① <i>Smart Choice Student Book 1, 2nd Edition</i> K. Wilson and T. Healy, Oxford ② <i>Smart Choice Workbook 1, 2nd Edition</i> K. Wilson, T. Falla, and P. Davis, Oxford			① Handouts	科目: 英語スキルズII		
評価方法						
評価項目	Tests/Projects	Classwork	Participation		評価	学期の割合
春学期	30	50	20		100	2/6
夏学期	30	50	20		100	1/6
秋学期	30	50	20		100	1.5/6
冬学期	30	50	20		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> Students will be evaluated using written and spoken tests and project rubrics. Students will be evaluated on the accuracy and completion of class handouts and participation in class activities. Students will be evaluated using a participation rubric. 					
受講上のアドバイス						
<ul style="list-style-type: none"> Come to class on time and prepared with your books, binders, pencils/pens and a good attitude. Be friendly and respectful with the teacher and the other students. Do not worry about making mistakes when you speak English, but try to learn from them. Ask questions when you don't understand or need something. Say <i>hello</i> and <i>goodbye</i> to the teacher in and outside of class. 						
科目の達成目標						
①	Students will be able to use present, present progressive, future (be going to+) and past verb tenses.					
②	Students will be able to use comparatives and superlatives to describe people, places, things and actions					
③	Students will be able to use prepositions of location to describe where places are					
④	Students will be able to use adverbs of frequency to describe when actions happen and how often					
⑤	Students will be able to work in teams towards a common goal					
⑥	Students will be able to ask and answer classroom questions in English					
関連する本校の学習・教育目標			国際性			
問い合わせ・質問先			KTC 31-103			
オフィスアワー			Monday 4-5			

クラス番号 _____ 氏名 _____

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検			
春学期	第1-3回	Classroom English	Students will be able to introduce themselves, understand and use Classroom English.	Get a 30 ring binder	15			
	第4-6回	Unit 1 and 2	Students will be able to talk about themselves, others, jobs and form wh-questions.	Review Classroom English	15			
				Think about how to describe yourself	15			
	Think about wh- ?s to ask friends			15				
	Reflect on differences and similarities between yourself and classmates			15				
	第7-9回	Doraemon Machine	Students (in a team) will be able to design and describe an original Doraemon Machine.	Think about Doraemon Machines	15			
				Reflect on project	15			
	第10-12回	Unit 3 and 4	Students will be able to talk about food likes and dislikes and daily schedules, using adjectives and adverbs of frequency.	Preview unit vocabulary and grammar	15			
				Review your food likes and dislikes	15			
	Think about reasons why you like/dislike certain foods			15				
	Think about how often you eat certain foods			15				
	Review your typical daily schedule			15				
	Reflect on your food likes and dislikes and your reasons why.			15				
	第13-15回			Unit 5, 12	Students will be able to use present and <i>going to</i> + verb future to talk about current activities and future plans.	Preview unit vocabulary and grammar	15	
						Think about your summer plans	15	
	第16-18回	Dream Vacation	Students will be able to design and describe their dream vacation.	Review unit vocabulary and grammar	15			
				Reflect on what you are currently doing and your future dreams	15			
	第19-21回	Dream Vacation	Students will be able to design and describe their dream vacation.	Think about your Dream Vacation	15			
Reflect on project				15				
第22-24回	Skills1,Summer: Kanazawa Places of Interest	<i>Students will develop research skills;</i> Communicate with group members through team building and English communication skills; Research Kanazawa places of interest on the internet.	Reflect on the team building activities you did in class, and note your role within your group. <i>How will you support your senior classmates and be a good team mate?</i>	15				
			Review the research skills you learned in class, and practice gathering information about a place of interest around Ishikawa.	15				
第24-27回	Skills1,Summer: Kanazawa Places of Interest	<i>Students will be able to</i> choose and research a Kanazawa place of interest, taking into consideration their individual role with their group; Take notes in English on their research findings.	Review your notes, and finish any research you need about your group's Kanazawa place of interest.	15				
第28-30回	Skills1,Summer: Kanazawa Places of Interest	<i>Students will be able to</i> choose and research a Kanazawa place of interest, taking into consideration their individual role with their group; Take notes in English on their research findings.						
夏学期	第1~3回	Skills1,Summer: Kanazawa Places of Interest	<i>Students will be able to</i> choose and research a Kanazawa place of interest, taking into consideration their individual role with their group; Take notes in English on their research findings.					
第4-5回	Skills1,Summer: Kanazawa Places of Interest	<i>Students will be able to</i> choose and research a Kanazawa place of interest, taking into consideration their individual role with their group; Take notes in English on their research findings.						

	第6-8回		<p><i>Students will be able to research and write a rough draft of their group's presentation;</i> Develop speaking presentation skills; Assign and practice their roles within their group.</p>	Review your notes and think about how you would present this information.	15			
				Review the speaking skills you learned in class <i>and give feedback to your group members about how the presentation can be improved.</i>	15			
	第9-10回		<p><i>Students will be able to give meaningful feedback to team members that will improve the presentation;</i> Demonstrate speaking presentation skills by practicing presenting their findings within their own group, and for another group.</p>	What makes a good speaking presentation? Brainstorm ideas, note your <i>group's strengths and areas for improvement and share them with the group.</i>	15			
				Practice the speaking skills you learned in class, while <i>rehearsing your role</i> prior to your visit to your Kanazawa place of interest and <i>how you can best support your senior group members.</i>	15			
	第11-13回		<p><i>Students will be able to support their team members to ensure that they can complete an onsite recorded presentation and interview with visitors at their Kanazawa place of interest. This will include camera work, notecards and prompting.</i></p>	Practice your role, <i>support your senior students</i> and finish any work before going out into the community.	15			
				Reflect on your role within your group during the recording day in Kanazawa. <i>Did you provide support to your senior students during filming to ensure a successful presentation?</i>	15			
	第14-15回		<p><i>Students will be able to</i> reflect, in English, upon their <i>research skills learned while making their</i> Kanazawa place of interest video; Share feedback with other groups about different Kanazawa places of interest videos they see.</p>	Review the speaking skills and project notes you've made. <i>Focus on what how you can support your group members.</i>	15			
				Review feedback you received from other group members about your group video. What was a strong point for YOUR work, and <i>how you can improve your research skills</i> during the second half of the year?	15			
	秋学期		第1-3回	Unit 6 and 11	Students will be able to describe past events and activities	Preview unit vocabulary and grammar	15	
						Think about what you did over summer	15	
						Review unit vocabulary and grammar	15	
Preview the differences in the regular and irregular forms of the past tense.		15						
Review unit vocabulary and grammar		15						
Reflect on what you did during summer vacation		15						
第4-6回		Unit 7 and 8	Students will be able to describe appearance, personality and activities using the comparative and superlative form.	Preview unit vocabulary and grammar	15			
				Think about your appearance, ability and personality in comparison to others	15			
				Review unit vocabulary and grammar	15			
第7-9回		Unit 7 and 8	Students will be able to describe appearance, personality and activities using the comparative and superlative form.	Reflect on the differences between yourself and your classmates	15			
第10-12回				Preview unit vocabulary and grammar	15			
				Think about your appearance, ability and personality in comparison to others	15			
第13-15回	Unit 7 and 8	Students will be able to describe appearance, personality and activities using the comparative and superlative form.	Review unit vocabulary and grammar	15				
			Reflect on the differences between yourself and your classmates	15				
第16-18回	Unit 7 and 8	Students will be able to describe appearance, personality and activities using the comparative and superlative form.	Review unit vocabulary and grammar	15				
			Reflect on the differences between yourself and your classmates	15				
第19-21回	TV News	Students (in a team) will be able to make a TV newscast that describes a past event and compares it to other events.	Think about your TV News program	15				
			Reflect on project	15				

冬学期	第1-3回	Unit 9 and 10	Students will be able to talk about places in town, what people can and can't do there and use prepositions of location to describe them	Preview unit vocabulary and grammar	15	
	第4-6回			Think about your neighborhood, the buildings in it and their location	15	
				Review unit vocabulary and grammar	15	
	第7-9回			Think about what you can or can't do at specific places	15	
				Review prepositions of location	15	
				Reflect on the differences between neighborhoods	15	
	第10-12回	Dream City	Students (in a team) will be able to design a dream city and make a Power Point presentation about their city.	Think about your dream neighborhood	15	
	第13-15回			Think about your dream place in the neighborhood	15	
				Think about what makes this place special	15	
	第16-18回			Think about your Power Point presentation	15	
				Think about ways to improve your Power Point presentation	15	
				Reflect on project	15	
	第19-21回	Movie	Students will be able to, from a movie seen in class, answer comprehension questions and make predictions. Students will then create an original sequel to the movie they saw.	Think about and make predictions about the movie based on movie title, poster and trailer	15	
	第22-24回			Think about the movie and characters	15	
				Think about your original sequel	15	
Reflect on project and school year				15		

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
人間と自然 I				グローバル情報学科 1年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 1	集中講義	講義	木原 均・菅原光彦・渡邊 勲・中部 宏・米倉幸増			
キーワード		科目概要					
人間力		穴水湾自然学苑において、海洋活動、講話、クラスミーティングなどを一体的に行う。団体活動を通じ、思いやりの心の必要性や協力し合うことの重要性を理解する。海洋活動などのグループ活動によりチームワークの大切さを体験し、仲間作りのきっかけを得る。また、朝・夕べの集いにおける国旗の掲揚・降納、国歌の斉唱を通じ、日本人としての自覚を深める。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
なし			①学生便覧2015		科目：人間と自然Ⅱ 人間と自然Ⅲ 資格：なし		
評価方法 (％)							
評価項目	海洋活動	研修レポート	生活態度	出席状況		計	学年評価に対する割合
春学期	20	15	15	50		100	100
夏学期							
秋学期							
冬学期							
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	研修2日目16:30まで出席した者について、本科目の履修を認め成績評価を行う。出席は2日目16:30までの出席で30点および3日間出席で50点を付与する。海洋活動は受講態度が悪い者は、10点を上限とし減点する。研修レポートは研修の理解度、取り組みの程度、誤字、提出遅れなどにより7点を上限とし減点する。また生活態度が悪い者は7点を上限とし減点する。研修活動に体調不良等で欠席した場合は、海洋活動は午前、午後各3点、その他授業明細の項目については各1点を減点する。なお見学は出席とする。学生便覧2015規則集中の生活規定等に違反した場合は退苑させることがあり、評定2(不可)とする。						
受講上のアドバイス							
①別に配布する穴水湾自然学苑研修の資料をよく読み、忘れ物のないように注意する。 ②健康管理に十分留意し研修に臨むこと。体調不良の場合は、本校集合時に必ず申し出ること。 ③団体生活を通して、他の人への思いやりを体得してください。 ④穴水湾自然学苑周辺の大自然に大いに親しんでください。							
科目の達成目標							
①							
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
関連する本校の学習・教育目標			人間性				
問い合わせ・質問先			(授業開講時) 穴水湾自然学苑1階教員室・中部まで (それ以外) 高専2階31.205室・木原まで				
オフィスアワー							

回	授業項目	授業の達成目標	点検
春学期	1	オリエンテーション	緊急時における非常口の場所など安全の確保に関することおよび研修期間中における基本的なルールなどについて理解できる。
	2	朝の集い	国歌の斉唱と国旗・校旗の掲揚を行い、掲揚時のマナーについて理解できる。
	3	夕べの集い	国歌の斉唱と国旗、校旗の降納を行い、降納時のマナーについて理解できる。
	4	校長講話	講話を通じ、学生生活上の指針を理解できる。
	5	海洋活動	カッター漕艇、調査研究船アルタイルによる港湾見学、ロープワークおよびカッターレースを行なう。これらのグループ活動を通して、チームワークの重要性を理解できる。
	6	団体生活	団体生活を通して、人間的な触れ合いや思いやりの心の大切さを知るとともに、協力し合うおよび挨拶や時間を守るという基本的な生活規範を身に付けることができる。
	7	クラスミーティング	自己紹介を通じクラスの団結を深め、これからの学生生活への意欲を高めることができる。
	8	学年ミーティング	校歌練習および学生生活ガイダンスを通じ、金沢高専生としての自覚を深めることができる。
	9	科長講話	講話を通じ、学生生活上の指針を理解できる。
	10	研修レポートの作成	「人間と自然Ⅰ」で学んだ以下の項目について、文章として表現できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・チームワークの大切さについて。 ・団体生活での思いやりの心の大切さおよび挨拶や時間を守ることについて。 ・海洋活動(カッター漕艇、港湾見学、ロープワーク)について。 ・校長講話および科長講話について。

点検(自己評価):授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
コンピュータリテラシー I				グローバル情報学科 1年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 1	春夏	講義	田村景明・マシューベイリー			
キーワード		科目概要					
情報リテラシー 情報倫理 情報技術		パーソナルコンピュータ(パソコン)の仕組みとその能力・可能性を理解することを目的とする。その上で学生として、また社会人となってパソコンを教育・研究・技術開発などに活用するための基礎的能力を修得する。タッチタイピングを学び、パソコンの入力操作を円滑にすることから始める。Windowsおよびその動作環境を理解し、ハードウェア/ソフトウェアのインストール方法を習得する。パソコンを適切に管理し運用できる技術を身につける。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①「ポイントでマスター 基礎からはじめる情報リテラシー (Office2013対応版)」, 杉本くみ子, 大澤栄子著, 実教出版 ②配付資料			とくになし。		科目: コンピュータリテラシーII 資格: MOS試験		
評価方法							(%)
評価項目	期末試験	課題	取り組み点			計	学年評価に対する割合
春学期	60	30	10			100	25
夏学期	60	30	10			100	25
秋学期	60	30	10			100	25
冬学期	60	30	10			100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬で行い, 通知表は春, 夏, 秋, 学年評価示す。)							100
備考	<ul style="list-style-type: none"> 貸与パソコンを学内に接続するためには、「INFOSS情報倫理」の修了テストに合格しなければならない。他の授業の支障とならないように時間内に合格するよう努めること。 演習に対して、積極的に取り組むことが前提となっている。出欠に関して、各学期について、欠課(50分授業)、遅刻、早退それぞれ1回につき、評価項目に関係なく4点減点する。学生便覧の諸規則を全うしない学生について、注意しても改善が見られない場合は、評価項目に関係なく減点する。減点について、特別な理由がある場合、校長の指示に従う。 						
受講上のアドバイス							
<p>ここから本格的なコンピュータとの付き合いが始まります。コンピュータとの良い関係を築いていけるように、着実に基本的なスキルを身につけていきましょう。なお、受講上の注意点を以下に示します。これらは必ず守って下さい。</p> <p>①課題の提出期限は必ず守ること。 ②課題には必ず納得するまで取り組むこと。 ③質問は遠慮なくすること。</p>							
科目の達成目標							
①	キーボードを見なくてもタッチタイピングができること。						
②	INFOSSに合格できること。						
③	コンピュータの基本操作について理解できること。						
④	コンピュータの管理ができること。						
⑤	ネットワーク基礎が理解できること。						
⑥	PowerPointアプリケーションによりプレゼンテーション資料が作成できること。						
関連する本校の学習・教育目標			専門力				
問い合わせ・質問先			31号館209号室, 210号室				
オフィスアワー			16:30~17:30				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～2回	ガイダンス 初期設定	---	15分		
			コンピュータの起動・終了手順を理解する。	15分		
	第3～4回	タッチタイプ (1)	タッチタイプ学習ソフトの利用方法について理解できる。	タッチタイプを調べる。	15分	
				タッチタイプソフトを理解。	15分	
	第5～6回	タッチタイプ (2)	アルファベットのキーの位置がわかる。	上達するように練習する。	15分	
				上達するように練習する。	15分	
	第7～8回	情報倫理 (1)	「INFOSS情報倫理」の第1章～第3章の内容が理解できる。	情報倫理について調べる。	15分	
				情報倫理を理解する。	15分	
	第9～10回	情報倫理 (2)	「INFOSS情報倫理」の第4章～第6章の内容が理解できる。	情報倫理について調べる。	15分	
				INFOSS合格の勉強する。	15分	
	第11～12回	基本操作	コンピュータの基本操作について理解できる。	教科書指定部分を熟読する。	15分	
				基本操作を習得する。	15分	
第13～14回	日本語入力	日本語入力ができる。	ローマ字を調べる。	15分		
			日本語入力を練習する。	15分		
第15～16回	アプリケーションのインストール	Officeをインストールすることができる。	Officeについて調査する。	15分		
			インストール後、起動できるか確認する。	15分		
第17～18回	ネットワーク演習 (1)	学内ネットワークの接続方法が理解できる。	配布資料を熟読する。	15分		
			接続を確認する。	15分		
	定期試験					
第19～20回	ネットワーク演習 (2)	ウイルス対策ソフトのインストールができる。	配布資料を熟読する。	15分		
			ソフトの動作確認をする。	15分		
夏学期	第1～2回	Windowsの機能 (1)	配布資料を熟読する。	15分		
			仕組みを理解する。	15分		
	第3～4回	Windowsの機能 (2)	コントロールパネルの仕組みがわかる。	配布資料を熟読する。	15分	
				仕組みを理解する。	15分	
	第5～6回	Windowsの機能 (3)	コンピュータの管理方法の概要がわかる。	配布資料を熟読する。	15分	
				管理方法を理解する。	15分	
第7～8回	PowerPoint 操作 (1)	PowerPointの基本操作がわかる。	教科書指定箇所を熟読する。	15分		
			基本操作を練習する。	15分		
第9～10回	PowerPoint 操作 (2)	簡単なプレゼンテーション資料を作成できる。	教科書指定箇所を熟読する。	15分		
			プレゼン資料を完成させる。	60分		
	定期試験					

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
プログラミング基礎				グローバル情報学科 1年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	秋冬	講義	藤澤武, ソンガー・ロバート			
キーワード		科目概要					
Scratch, プログラミング		本科目では、プログラムを学習することで、物事を注意深く観察する能力、論理立てて物事を考える能力、新しい思考回路脳を養うことを目的とする					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「小学生からはじめるわくわくプログラミング」, 阿部和宏, 日経BP ② オンライン教材		①「スクラッチアイデアブック」, 石原正雄, カットシステム		コンピュータ演習 I・II			
評価方法							(%)
評価項目	期末試験	評価課題				計	学年評価に対する割合
春学期							
夏学期							
秋学期	60	40				100	50
冬学期	60	40				100	50
学年評価 (評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)							100
備考	<p>評価課題とは授業項目にある評価課題および、評価対象にすると明示されたその他の課題やテストのことである。未提出の場合は0点となる。学習態度の評価として、以下の行為があった場合、1回につき最大2点の減点を行う。評価課題の採点基準は別途定める。</p> <p>1)遅刻, 途中退席, 2)教科書やノートPCなどの授業に必要な用品の不携帯, 3)その他, 授業態度として不適切と判断される行動や態度</p> <p>また、自由課題などを出すことがある。これらに取り組んだ場合には指定する学期の評価に加点する。</p>						
受講上のアドバイス							
教科書とノートPC, そして講義内容を記録するためにノートと筆記用具は必ず毎回持参すること。課題の提出期限は必ず守ること。							
科目の達成目標							
①	変数のとは何かを説明できる						
②	リストとは何かを説明できる						
③	四則演算子, 論理演算子, 比較演算子を正しく用いることができる						
④	メッセージ送信を使ったプログラムが作れる						
⑤	Identify important programming words in English						
⑥	Explain how inputs and sprites interact to create a game						
関連する本校の学習・教育目標	専門力, 創造性						
問い合わせ・質問先	2階209・211室						
オフィスアワー	金曜日8限						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期						
		定期試験				
夏学期						
		定期試験				

秋学期	第1~4回	概論	scratchで出来ることを説明できる	記録したノートを見返す	20	
	第5~8回	物語メーカー	プログラムの基本とリストを説明できる	教科書の該当ページを熟読する	30	
				自力で同プログラムを作成する	20	
	第9~12回	フィズバズ	変数とはなにか説明できる	教科書の該当ページを熟読する	30	
				自力で同プログラムを作成する	20	
	第13~16回	何でもクイズ	入出力のあるプログラムを作成できる	教科書の該当ページを熟読する	30	
				自力で同プログラムを作成する	20	
	第17~20回	100mハードル	Scratchの機能全般をつかったプログラムが作成出来る	教科書の該当ページを熟読する	30	
自力で同プログラムを作成する				20		
第21~24回	課題1	じゃんけんプログラムの作成	これまでの作品を見返す	30		
第25~28回	課題1の評価	じゃんけんプログラムの発表	審査結果から課題を見つける	30		
	定期試験					
冬学期	第1~4回	課題2	電卓プログラムの作成	これまでの作品を見返す	30	
	第5~8回	課題2の評価	電卓プログラムの発表	審査結果から課題を見つける	30	
	第9~12回	様々な言語	Scratch以外のプログラミング言語の開発環境を操作できる	ネット等で調査しておく	30	
				記録したノートを見返す	30	
	第13~14回	Programming Adventure	Introduction to Scratch programming in English	Look up any words you do not understand	10	
	第15~18回	Server Defense Game	Make a game with keyboard and mouse input, and collision	Review your notes on Scratch and English programming words	10	
				Finish your game and look up new English words	30	
	第19~22回	Egyptian Maze	Design an interactive maze with edge detection	Review your notes on Scratch and English programming words	10	
				Finish your maze and look up new English words	30	
第23~30回	Final Stage - Boss Battle	Create a fighting game with animated moves	Review your notes on Scratch and English programming words	10		
			Finish your game and look up new English words	30		
第31~32回	Game Show	Present the final game and its features to the class	Prepare to talk about your game to your classmates	20		
			Study for the final exam	30		
	定期試験					
	自己点検	テストを見直す				

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
情報処理 I				グローバル情報学科 1年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	坂倉忠和			
キーワード		科目概要					
ハードウェア、ソフトウェア、情報セキュリティ		情報技術者が身につけておくべき情報工学の基礎知識修得を目指し、ハードウェア（データの内部表現、コンピュータの構成要素、動作原理）、ソフトウェア（流れ図の表現方法やアルゴリズムの基本的な考え方）、情報セキュリティなどの基礎知識を学習する。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①「やさしいITパスポート講座」, 高橋麻奈, SBクリエイティブ			指定なし		科目: 情報処理II 資格: ITパスポート		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	課題・宿題				計	学年評価に対する割合
春学期	60	40				100	35
夏学期	60	40				100	15
秋学期	60	40				100	25
冬学期	60	40				100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	定期試験は各学期末に実施する。演習に対して、積極的に取り組むことが前提となっているため、取り組みに関する評価項目を設定しない。そのような取り組み姿勢が見られない場合には、全体の評価から減点する。課題や宿題においてコピーなどの不正が発覚した場合には全体の評価の評価から大幅に減点する。また、自学自習を目的として、授業の設定水準よりも高度な自由課題を出すことがある。これらに取り組んだ場合には全体の評価に加点する。						
受講上のアドバイス							
①ノートおよび演習プリントなどを綴じるためのファイルを用意すること。 ②演習課題や宿題の提出期限は必ず守ること。 ③演習には必ず納得するまで取り組むこと。 ④宿題などは完成させてから提出すること。							
科目の達成目標							
①	2進数・10進数・16進数の基数変換ができるようになる。						
②	コンピュータの五大要素の概要が分かるようになる。						
③	OSの役割の概要が分かるようになる。						
④	簡単なフローチャートが描けるようになる。						
⑤	基本的なアルゴリズムが分かるようになる。						
⑥	情報セキュリティの概要が分かるようになる。						
関連する本校の学習・教育目標			専門力, 創造性				
問い合わせ・質問先			2階206室				
オフィスアワー			金曜日16:30~17:30				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検	
春学期	第1～2回	ITとコンピュータを学ぼう	コンピュータの種類が分かる。 — 教科書P2～6を復習する。	15		
				30		
	第3～4回	ビットとバイトを学ぼう	ビットとバイトの概念が分かる。 教科書P7～11を熟読する。	15		
				30		
	第5～6回	2進数について学ぼう	2進数と10進数の基数変換の方法が分かる。 教科書P12～13を熟読する。	15		
				30		
	第7～8回	16進数について学ぼう	16進数と10進数の基数変換の方法が分かる。 講義資料No.01を熟読する。	15		
				30		
	第9～10回	総合演習(1)	基数変換の方法を定着させる。 —	総合演習(1)の内容を見直す	30	
	第11～12回	2進数の計算について学ぼう	2進数同士の加算、減算、乗算ができる。 講義資料No.02を熟読する。	15		
				30		
第13～14回	16進数の計算について学ぼう	16進数同士の加算、減算ができる。 講義資料No.03を熟読する。	15			
			30			
第15～16回	文字の表現を学ぼう	文字の表現方法が分かる。 教科書P18～24を熟読する。	15			
			30			
第17～18回	総合演習(2)	第1回から第16回までの内容を定着させる。 —	春学期の内容を復習する。	60		
	定期試験					
第19～20回	マルチメディアの表現を学ぼう	マルチメディアの表現方法が分かる。 教科書P25～31を熟読する。	15			
			30			
夏学期	第1～2回	数値の表現方法を学ぼう	2の補数を用いた負の数の表現方法が分かる。 教科書P32～37を熟読する。	15		
				30		
	第3～4回	論理演算を学ぼう	8ビット符号なし整数に対する論理演算が分かる。 講義資料No.03を熟読する。	15		
				30		
	第5～6回	ハードウェアを分類しよう	コンピュータの構成要素が分かる。 教科書P40～42を熟読する。	15		
				15		
	第7～8回	CPUの働きを学ぼう	CPUの働きの概要が分かる。 教科書P43～44を熟読する。	15		
				15		
	第9～10回	総合演習(3)	第1回から第8回までの内容を定着させる。 —	夏学期の内容を復習する。	60	
		定期試験				

秋学期	第1～2回	記憶装置について学ぼう	メモリの働きが分かる。	教科書P45～49を熟読する。	15	
				演習問題を見直す。	15	
	第3～4回		ハードディスク装置の働きが分かる。	教科書P50～58を熟読する。	15	
				演習問題を見直す。	15	
	第5～6回	周辺機器について学ぼう	様々な周辺装置の特徴が分かる。	教科書P59～71を熟読する。	30	
				演習問題を見直す。	15	
	第7～8回	命令実行の仕組みを学ぼう	マシンサイクルの概要が分かる。	講義資料No. 04を熟読する。	15	
				演習問題を見直す。	15	
	第9～10回	OSについて学ぼう	OSの役割が分かる。	教科書P72～81を熟読する。	15	
				演習問題を見直す。	15	
第11～12回		絶対パスおよび相対パスが分かる。	講義資料No. 05を熟読する。	15		
			演習問題を見直す。	15		
第13～14回	総合演習(4)	第1回から第12回までの内容を定着させる。	—			
			秋学期の内容を復習する。	60		
	定期試験					
冬学期	第1～2回		フローチャートの構成要素が分かる。	講義資料No. 06を熟読する。	15	
				宿題(4.1)を実施する。	30	
	第3～4回		簡単な計算のアルゴリズムが分かる。	講義資料No. 07を熟読する。	15	
				宿題(4.2)を実施する。	30	
	第5～6回	アルゴリズムについて学ぼう	最大値や最小値を求めるアルゴリズムが分かる。	講義資料No. 08を熟読する。	15	
				宿題(4.3)を実施する。	30	
	第7～8回		合計を求めるアルゴリズムが分かる。	講義資料No. 09を熟読する。	15	
				宿題(4.4)を実施する。	30	
	第9～10回		簡単な並び替えのアルゴリズムが分かる。	講義資料No. 10を熟読する。	15	
				宿題(4.5)を実施する。	30	
第11～12回	セキュリティについて学ぼう	ネットワークにおける脅威が分かる。	教科書P185～195を熟読する。	15		
			演習問題を見直す。	15		
第13～14回	暗号技術を学ぼう	暗号化技術の概要が分かる。	教科書P196～203を熟読する。	15		
			演習問題を見直す。	15		
第15～16回	総合演習(5)	第1回から第14回までの内容を定着させる。	—			
			冬学期の内容を復習する。	60		
	定期試験					

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
創造設計 I				グローバル情報学科 1年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	実技	竹俣一也 藤澤武 小高有普 松下臣仁			
キーワード		科目概要					
画像作成処理、画像表現制作、メディアデザイン、ロボット、プログラミング		「モノを考え、生み出し、形にする」というエンジニアとしての一連の作業をキーワードとし、ものづくりを行う演習課題を通して学生がものづくりによる楽しさと、ものづくり基盤技術とは何かを体感することを目的とする。本科目では、情報産業の分野に限定しない、ものづくり基盤産業全般に関連する汎用的なテーマを演習課題に設定し、そのテーマと表現手段を学生に指定する。学生は学んだ表現手法を用いて自分の発想・考えをペーパーワークなどによって表現する。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「30時間でマスター Photoshop Elements」、実教出版 ②「60時間でエキスパートメディアデザイン」、実教出版		なし		科目：創造実験Ⅱ			
評価方法 (％)							
評価項目	基礎演習	成果課題	演習・課題	レポート	授業態度	計	学年評価に対する割合
春学期	80				20	100	25
夏学期	40	40			20	100	25
秋学期			50	40	10	100	25
冬学期			50	40	10	100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<p>グラフィック (前半グループ：春7週、春3週+夏5週、後半グループ：秋7週、冬8週で評価) 演習・課題データは授業終わりに提出。後半学期には実技修得度を見る成果課題を実施する。欠席・遅刻ごとに減点。評価方法は春学期、夏学期を参照。</p> <p>ロボット (前半グループ：春7週、春3週+夏5週、後半グループ：秋7週、冬8週で評価) 演習・課題データはテーマごとに提出。全体の50%評価とする。実技修得度を見るレポートを全体の40%評価とする。レポート提出遅延は減点。授業中の学習態度を全体の10%評価とする。欠席・遅刻ごとに減点。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>①毎回の順序ステップの積み重ねを踏んで習得するためその都度出される演習課題は授業中にこなすこと。 ②演習課題データは授業終わりに提出のこと。 ③実験機材は大切に扱うこと。 ④実験ノートを準備すること。</p>							
科目の達成目標							
①	photoshop elements、illustrator CS 6 の基本的な操作を理解し、画像作成や基本的な作図ができる						
②	グラフィックソフトで何が出来るかを理解し、多様な場面で利用することができる						
③	メディアデザインのプロセスを通じて作業を行い、分かりやすい資料やデータを作る思考を養うことができる						
④	自分のアイデアをロボットの動作を通して表現できる						
⑤	チームで話し合いながらロボットの制御プログラムを作ることができる						
⑥							
関連する本校の学習・教育目標		創造性、専門力					
問い合わせ・質問先		グラフィックス：3階315室 (小高)、ロボット：3階315室 (竹俣)					
オフィスアワー		水曜日17:30まで					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題	時間 (分/回)	点検
春 学 期	第1,2回	授業概要	画像ソフトの基礎知識を学ぶ 第1,2回で与えられたプリントの見返し	10	
	第3,4回	ペイント技法	基本操作を理解し、演習データを作成することができる。	第3,4回の実習内容教科書 p.26~42に目を通しておく	10
				第3,4回課題を仕上げる	10
	第5,6回	画像の補正と解像度	基本操作を理解し、演習データを作成することができる。	第5,6回の実習内容教科書 p.44~50に目を通しておく	10
				第5,6回課題を仕上げる	10
	第7,8回	画像の合成	基本操作を理解し、演習データを作成することができる。	第7,8回の実習内容教科書 p.52~60に目を通しておく	10
				第7,8回課題を仕上げる	10
	第9,10回	画像のレタッチ	基本操作を理解し、演習データを作成することができる。	第9,10回の実習内容教科書 p.62~70に目を通しておく	10
				第9,10回課題を仕上げる	10
	第11,12回	中間課題（色調補正）	基本操作を理解し、演習データを作成することができる。	第11,12回の実習内容教科書 p.72~80に目を通しておく	10
第11,12回課題を仕上げる				10	
第13,14回	印刷物データ作成	基本操作を理解し、演習データを作成することができる。	第13,14回の実習内容教科書 p.96~117に目を通しておく	10	
			第13,14回課題を仕上げる	10	
第15,16回	イラストレータ1（線のデータ）	基本操作を理解し、演習データを作成することができる。	第15,16回の実習内容②教科書 p.42~52に目を通しておく	10	
			第15,16回課題を仕上げる	10	
第17,18回	イラストレータ2（基本図形）	基本操作を理解し、演習データを作成することができる。	第17,18回の実習内容②教科書 p.53~61に目を通しておく	10	
			第17,18回課題を仕上げる	10	
第19,20回	イラストレータ3（トレース）	基本操作を理解し、演習データを作成することができる。	第19,20回の実習内容②教科書 p.62~67に目を通しておく	10	
			第19,20回課題を仕上げる	10	
夏 学 期	第21,22回	イラストレータ4（画像配置）	基本操作を理解し、演習データを作成することができる。	第21,22回の実習内容②教科書 p.68~73に目を通しておく	10
				第21,22回課題を仕上げる	10
	第23,24回	応用	アイデア案出し、素材作成	制作の計画をたてる	10
				テーマに添ったアイデアを完成させておく	10
	第25,26回	応用	作品データを作成する	製作物についての部品を揃えておく	10
				第25,26回の予定内容を仕上げる	10
第27,28回	応用	作品データを作成する	第27,28回の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
			第27,28回の予定内容を仕上げる	10	
第29,30回	応用	作品データを作成する	第29,30回の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
			提出物の振り返り	10	

秋学期	第31, 32回	授業概要	ソフトウェアのインストール	第31, 32回でインストールしたソフトを確認する		
	第33, 34回	ロボット製作①	Legoブロックのパーツ確認と簡単なロボットが製作できる	第33, 34回で使うソフトウェアの確認する 第33, 34回で学んだことをノートまとめる		
	第35, 36回	ロボット製作②	レーシングロボットが製作できる	第35, 36回で使うソフトウェアの確認する 第35, 36回で学んだことをノートまとめる		
	第37, 38回	ロボット製作③	ライトレーザーロボットが製作できる	第37, 38回で使うソフトウェアの確認する 第37, 38回で学んだことをノートまとめる		
	第39, 40回		より早いライトレーザーロボットが製作できる	第39, 40回で使うソフトウェアの確認する 第39, 40回で学んだことをノートまとめる、レポートをまとめる		
	第41, 42回	ロボット製作④	横断歩道用信号機を製作できる	第41, 42回で使うソフトウェアの確認する 第41, 42回で学んだことをノートまとめる		
	第43, 44回		横断歩道用信号機を改善できる	第43, 44回で使うソフトウェアの確認する 第43, 44回で学んだことをノートまとめる		
冬学期	第45, 46回	ロボット製作⑤	盲導犬ロボットを製作できる	第45, 46回で使うソフトウェアの確認する 第45, 46回で学んだことをノートまとめる		
	第47, 48回		盲導犬ロボットを改善できる	第47, 48回で使うソフトウェアの確認する 第47, 48回で学んだことをノートまとめる		
	第49, 50回	ロボット製作⑥	オリジナルロボットのコンセプトを考案することができる	第49, 50回で使うソフトウェアの確認する 第49, 50回で学んだことをノートまとめる		
	第51, 52回		オリジナルロボットをデザインできる	第51, 52回で使うソフトウェアの確認する 第51, 52回で学んだことをノートまとめる		
	第53, 54回		オリジナルロボットを製作できる	第53, 54回で使うソフトウェアの確認する 第53, 54回で学んだことをノートまとめる		
	第55, 56回		オリジナルロボットの説明資料を作成できる	第55, 56回で使うソフトウェアの確認する 第55, 56回で学んだことをノートまとめる		
	第57, 58回		オリジナルロボットを用いてプレゼンテーションを実施できる	第57, 58回で使うソフトウェアの確認する 第57, 58回で学んだことをノートまとめる		
	第59, 60回	機材の整理整頓	使用した機材(Legoブロック等)を整理整頓し、次のグループが活用できるようにする	第59, 60回の活動に必要な事柄を整理しておく 提出物の振り返り		

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
デザインメソッドI				グローバル情報学科 1年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修 1	春・夏	実技	松下臣仁、山下栄俊				
キーワード		科目概要						
問題解決、 人間中心デザイン、 感じる力、 発想、 アイデアを形にする手法		問題解決のための人間中心デザインについての理解を深め、着想・共感・分析・発想・作成・評価、という一連のデザインプロセスについて演習活動を通して体験する。ここでは、身近なモノをテーマに、常識に捉われない自由な発想を促す活動を通して、新たな視点でモノ・コトを感じる力を育み、アイデアを発想しカタチにする楽しさを体感する。誰のために何をつくるべきであるかを考えながら発想する手法、より早く効果的にアイデアを形にする手法を身に付けることを目的とする。						
教科書			参考書		関連する科目・資格			
適宜、プリント配布			なし		科目：デザインメソッドII デザインメソッドIII			
評価方法							(%)	
評価項目	基礎課題	成果課題	発表	学習態度			計	学年評価に対する割合
春学期	60	30		10			100	50
夏学期		70	20	10			100	50
秋学期								
冬学期								
学年評価（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）								100
備考	<ol style="list-style-type: none"> 春学期第7週までの発想活動や基礎的活動（プリント含む）を基礎課題、構造デザインを成果課題として評価する。 春学期第8週から夏学期の応用課題（プリント含む）を成果課題とし評価する 発表は成果課題の発表として評価する。 各自の発想とそれを表現したモデルにより、評価をする。 未提出の成果課題が1つでもある場合は、当該科目の単位を認定しない。 提出期限を守れなかった場合、欠席・遅刻ごとに減点します。 							
受講上のアドバイス								
<p>発想活動に限界を設けず、自由に色々な切り口からモノゴトを考えてみてください。 発想、モデル作成方法等、迷いや不明な点は授業中に質問し解決して下さい。 モデル作成に必要な道具：カッター、はさみ、定規、のり、コンパスは学校で用意します。 提出物は期限を守って下さい。</p>								
科目の達成目標								
①	問題解決のための人間中心デザインについて説明できる。							
②	他者との対話から、問題点を抽出することができる。							
③	問題点を理解し、新しいアイデアを発想することができる。							
④	アイデアを簡易モックアップとして具現化することができる。							
⑤	他者へアイデアを正確に伝えることができる。							
⑥	他者と協働しアイデアを発展させることができる。							
関連する本校の学習・教育目標			創造性					
問い合わせ・質問先			2階211（松下）、3階315（小高：山下代理）					
オフィスアワー			月～金 16:30～17:30（松下）、月～水 16:30～17:30（小高：山下代理）					

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検
春学期	第1~2回	ガイダンス 発散と収束思考	自分と他者の共通点を視覚化できる。 振り返りシート作成	10	
	第3~4回	デザインシンキングについて	人間中心デザインプロセスについて理解することができる。 振り返りシート作成	10	
			10		
	第5~6回	ペーパープロトタイプ	アイデアをペーパーモデルで表現できる。 振り返りシート作成	10	
			10		
	第7~8回	逆転の発想	ネガティブな要素をポジティブに変換することができる。 振り返りシート作成	10	
			10		
	第9~14回	構造デザイン基礎①	スチレンボードによる構造モデル作成の基本ができる。 展開図を考察する	10	
モデルを完成させる				10	
第15~16回	定性的情報収集と分析	インタビューを通して情報を収集することができる。 定性的情報を分析しアイデアを出すことができる。 振り返りシート作成	10		
			10		
第17~20回	構造デザイン応用①	アイデアを具現化する構造モデルを作成できる。 アイデア展開プリントを読む	10		
			モデルを予定まですすめる	10	
夏学期	第1~4回	構造デザイン応用②	アイデア展開プリントを修正	10	
			モデルを完成させる。	10	
	第5~8回	構造デザイン応用③	作成用展開図を考察する	10	
			作成用考察図を修正する	10	
	第9~10回	成果発表	最終課題について合評ができる。 未提出課題の確認	10	
			活動全体について振り返る	10	

点検（自己評価）：授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
情報修学基礎 I				グローバル情報学科 1年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 1	通年	講義	田村景明			
キーワード			科目概要				
学生 マナー 読み・書き・計算 学習 態度			本校での学習や生活に意欲的に取り組むための学習や生活スタイルを身につけ実践することが目的である。共同の実践を通して自ら学び考えることの重要性を認識する。学生として求められる学習や生活に取り組む正しい能力を身につけることを学ぶ。所属する学科の専門領域を理解し、学習目標の設定と達成のための計画を設計し、キャリアデザインの意識を高め自己実現に向かって積極的に行動する態度、そして、時間・期限を守る、ルール・マナーを守る、グループ活動での協調学習を維持する習慣を身につける。				
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①2017年度版サクセス！SPI頻出度順問題集，新星出版社 ②配付資料			とくになし。		科目：情報修学基礎Ⅱ 資格：日本語検定，数学検定 秘書検定 ビジネス実務マナー検定		
評価方法							(%)
評価項目	期末試験	課題	取り組み点			計	学年評価に対する割合
春学期	40	40	20			100	25
夏学期	40	40	20			100	25
秋学期	40	40	20			100	25
冬学期	40	40	20			100	25
学年評価（評価は春，夏，秋，冬で行い，通知表は春，夏，秋，学年評価示す。）							100
備考	春夏学期の期間はそれぞれ7週，8週である。期末試験は授業内容の理解度確認試験である。本科目は学習や生活に意欲的に取り組むための学習や生活スタイルを身につけ実践することが目的となっている。出欠に関して，各学期について，欠課（50分授業），遅刻，早退1回につき，評価項目に関係なくそれぞれ4点減点する。学生便覧の諸規則を全うしない学生について，注意しても改善が見られない場合は，評価項目に関係なく減点する。また謹慎処分，厳重注意など他の教員からの注意に対しても減点の対象とする。 なお，減点事項について，特別な理由がある場合，校長の指示に従う。						
受講上のアドバイス							
これからの高専5年間にわたり、学校や家庭での生活態度が非常に重要になります。次の事項を守り、がんばりましょう。 ①皆勤賞を目指そう。 ②何事にも積極的に取り組もう。 ③課題の提出期限は必ず守ろう。 ④基礎学力をつけよう。							
科目の達成目標							
①	授業・部活動など何事にも意欲的に取り組む事ができる。						
②	長期・短期の学習目標を設定できる。						
③	学習計画を作成する事ができる。						
④	欠席・遅刻・早退をしないことができる。						
⑤	期限をまもることができる。						
⑥	読み書き計算の基礎能力を身につけることができる。						
関連する本校の学習・教育目標			人間性，基礎力				
問い合わせ・質問先			31号館210号室				
オフィスアワー			16：30～17：30				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1回	ガイダンス 部活動	授業の概要を理解できる。 部活動について理解できる。	—	15分	
			授業概要を理解する。	15分		
	第2回	・資格 ・プロジェクト	資格取得計画に役立てることができる	指定の資料を見る。	15分	
				資格の種類を確認する。	15分	
	第3回	修学（注意点）	勉強方法について理解できる。	学生便覧の指定箇所を読む。	15分	
				勉強方法を理解する。	15分	
	第4回	情報機器との良い関係	情報機器依存症を理解できる。	配布資料を確認する。	15分	
				正しい使用方法を理解する。	15分	
	第5回	読み書き基礎力の確認	日本語力を確認できる。	練習問題を熟読する。	15分	
				問題を理解する。	15分	
第6回	計算基礎力の確認	算数計算力を確認できる。	練習問題を熟読	15分		
			問題を理解する。	15分		
第7回	文章・計算基礎能力の自己点検・自己評価	日本語力、計算力を確認できる。	—	15分		
			自己点検・自己評価を確認し、今後に役立てる。	15分		
第8回	試験の準備計画 文章・計算能力	期末試験の学習計画を立てることができる。	試験の資料整理	15分		
			試験勉強計画を確認する。	15分		
第9回	企業見学 まとめ	企業見学の意義を理解できる。 期末試験の内容をまとめることができる。	試験範囲の資料を整理する。	15分		
			計画的に勉強する。	120分		
	定期試験					
第10回	自己点検 自己評価	自己点検・自己評価できる。	—	15分		
			反省点を改善する。	15分		
夏学期	第1回	長期休暇に向けて 文章・計算能力	夏休みの計画を立てることができる。	夏休み計画を検討する。	15分	
			計画表を作成する。	15分		
	第2回	J科の専門科目 文章・計算能力	専門科目全体を把握できる。	指定資料を見る。	15分	
				専門科目全体像を把握する。	15分	
	第3回	授業内容と仕事 文章・計算能力	社会人のための基礎力を理解できる。	仕事について考える。	15分	
				仕事について理解する。	15分	
第4回	プログラミング 試験の学習計画	ビデオからプログラミングの考え方を理解できる。 試験の学習計画を立てることができる。	指定資料を見る。	15分		
			プログラミングの考え方を理解する。	15分		
第5回	まとめ	試験範囲をまとめる。	試験範囲の資料を整理する。	15分		
			試験勉強する。	180分		
	定期試験					

秋学期	第1回	自己点検 自己評価	試験結果を確認できる。	—	---	
				結果を理解する。	15分	
	第2回	春夏学期の反省	これまでの学業・部活動等を反省し、今後の計画を考えることができる。	成績表を確認する。	15分	
				今後の計画を作成する。	15分	
	第3回	役に立つ社会人	社会人について理解できる。	資料を見る。	15分	
				社会人について理解できる。	15分	
	第4回	SPI問題1 文章作成力1	社会人としての基礎力を理解できる。	教科書を準備する。	15分	
				基礎力を理解する。	15分	
第5回	SPI問題2 文章作成力2	自学自習の習慣をつけることができる。文章・計算力を向上することができる。	教科書の指定箇所を見る。	15分		
			問題を理解する。	15分		
第6回	SPI問題3 文章作成力3	自学自習の習慣をつけることができる。文章・計算力を向上することができる。試験学習計画を立案できる。	教科書の指定箇所を見る。	30分		
			問題を理解する。	15分		
			試験学習計画を作成する。			
第7回	まとめ	試験範囲まとめることができる。	試験範囲の資料を準備する。	15分		
			試験勉強する。	180分		
		定期試験				
冬学期	第1回	自己点検 自己評価	試験結果を確認でき、反省点を今後に生かすことができる。	—	15分	
				結果を理解する。	15分	
	第2回	SPI問題4 文章作成力4	自学自習の習慣をつけることができる。文章・計算力を向上することができる。	教科書の指定箇所を見る。	15分	
				問題を理解する。	15分	
	第3回	SPI問題5 文章作成力5	自学自習の習慣をつけることができる。文章・計算力を向上することができる。	教科書の指定箇所を見る。	30分	
				問題を理解する。	15分	
	第4回	SPI問題6 文章作成力6	自学自習の習慣をつけることができる。文章・計算力を向上することができる。	教科書の指定箇所を見る。	15分	
				問題を理解する。	15分	
	第5回	論理パズル1	情報技術者のための基礎力を理解できる。その資質を向上させることができる。	資料の指定箇所を見る。	15分	
				考え方を理解する。	15分	
第6回	論理パズル2	情報技術者のための基礎力を向上させることができる。	資料の指定箇所を見る。	15分		
			考え方を理解する。	15分		
第7回	論理パズル3	情報技術者のための基礎力を向上させることができる。試験学習計画を立案することができる。	資料の指定箇所を見る。	15分		
			考え方を理解する。	15分		
			学習計画を作成する。			
第8回	・春休みに向けて ・まとめ	試験範囲をまとめることができる。	試験範囲の資料を整理する。	15分		
			試験勉強する。	180分		
		定期試験				
第9回	自己点検 自己評価	自己点検、自己評価を確認できる。	—	15分		
			自己評価を確認する。	15分		

点検(自己評価):授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
国語Ⅱ				グローバル情報工学科 2年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	黒田譜美			
キーワード		科目概要					
思考力 読解力 記述力		歴史や人間への認識を深め、表現力・認識力を伸ばす。現代文においては人間や自然に関する深い洞察力に基づく思考内容を、明快な文章構成や語彙力で表現できることを目的とする。古典・漢文では、作品内容を的確に捉え、そこに表れた人間、社会、自然に対する思想や感情を読み取ることを目的とする。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「精選現代文B」中島国彦、明治書院 ②「高等学校古典B」久保田淳、明治書院 ③「新訂総合国語便覧」竹盛天雄、		①「書き込み式漢字ベーシック」明治書院		科目：国語Ⅰ、国語Ⅲ、日本語スキルズ、文化・芸術・思想Ⅲ 資格：日本語検定			
評価方法 (％)							
評価項目	定期試験	小テスト	課題	学習態度		計	学年評価に対する割合
春学期	60	15	20	5		100	25%
夏学期	60	15	20	5		100	25%
秋学期	60	15	20	5		100	25%
冬学期	60	15	20	5		100	25%
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	成績は定期試験・小テスト・課題・レポート・学習態度等を総合的に判断して評価する。						
受講上のアドバイス							
<ul style="list-style-type: none"> ・ノートは板書したものだけではなく、口頭での説明も書くようにすること。 ・課題は必ず実行すること。 ・辞書は必ず用意すること。また、辞書を常に引くように心がけ、知らない言葉を確認し、着実に身に付けること。 ・対象作品は徹底的に読み込むこと。 ・さまざまなジャンルの書物を読むよう心がけること。 							
科目の達成目標							
①	文章の構成・展開の特色を把握し、正確に読解できる。						
②	古典文藝を正確に読解することができる。						
③	漢文を正確に訓読し、内容を理解できる。						
④							
⑤							
⑥							
関連する本校の学習・教育目標		人間性					
問い合わせ・質問先		1階104室 (教員室)					
オフィスアワー		月曜16:30~17:30					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～2回	読解について	読解の方法を理解できる。 読解の方法をノートで確認し理解する。	0 15		
	第3～4回	小説「山月記」Ⅰ	作者の年譜的事実を把握し、理解できる。 作品を読解する。	15 15		
	第5～6回	小説「山月記」Ⅱ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15 15		
	第7～8回	小説「山月記」Ⅲ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15 15		
	第9～10回	小説「山月記」Ⅳ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15 15		
	第11～12回	小説「山月記」Ⅴ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 読解された事項をノートで確認し理解する。	15 15		
	第13～14回	小説「山月記」Ⅵ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15 15		
	第15～17回	小説「山月記」Ⅶ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 読解された事項をノートで確認し理解する。	15 15		
	第18～19回	小説「山月記」Ⅷ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 作品の主題を設定する。	15 15		
		定期試験				
	第20回	答案返却 自己点検	答案返却・解説および修学成果について、自己点検評価する。 試験を再検討する。	0 15		
夏学期	第1～2回	評論「脳の中の古い水路」Ⅰ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 作品を読解する。	15 15		
	第3～4回	評論「脳の中の古い水路」Ⅱ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 読解された事項をノートで確認し理解する。	15 15		
	第5～6回	評論「脳の中の古い水路」Ⅲ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 作品の要旨をまとめる。	15 15		
	第7～8回	評論「脳の中の古い水路」Ⅳ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 作品の主題を設定する。	15 15		
	第9～10回	評論「脳の中の古い水路」Ⅴ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 読解された事項をノートで確認し理解する。	15 15		
		定期試験				

秋学期	第1～2回	小説「こころ」Ⅰ	作者の年譜的事実を把握し、理解できる。	作品を読解する。	15	
				語句の整理、作者の年譜的事実を把握する。	15	
	第3～4回	小説「こころ」Ⅱ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第5～6回	小説「こころ」Ⅲ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第7～8回	小説「こころ」Ⅳ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第9～10回	小説「こころ」Ⅴ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第11～12回	小説「こころ」Ⅵ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第13～14回	小説「こころ」Ⅶ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	作品の主題を設定する。	15	
				作品の総体をノートで確認する。	15	
		定期試験				
冬学期	第1回	答案返却 自己点検	答案返却・解説および修学成果について、自己点検評価する。		0	
				試験を再検討する。	15	
	第2～3回	「史記」Ⅰ	漢文の読解に必要な基本知識を理解できる。	便覧p394～401を読み、確認する。	15	
				漢文の基礎的事項をノートで確認し、熟読する。	15	
	第4～5回	「史記」Ⅱ	「史記」の基本知識を理解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第6～7回	「史記」Ⅲ	「鴻門之会」を正確に読解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第8～9回	「史記」Ⅳ	「鴻門之会」を正確に読解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第10～11回	「史記」Ⅴ	「鴻門之会」を正確に読解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第12～13回	「史記」Ⅵ	「鴻門之会」を正確に読解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
第14～16回	「史記」Ⅶ	「鴻門之会」を正確に読解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15		
			第1～16回の内容を整理し、理解・検討する。	15		
		定期試験				

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
線形代数 I				グローバル情報工学科 2年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 3	通年	講義	中谷亮子			
キーワード		科目概要					
点・直線・円、軌跡と領域、ベクトル、数列		線形代数は、理工系学生にとっては微分積分と並んで習得しなければならない数学の分野である。その基本概念である「ベクトル」を理解するために、まず平面における点と直線・円について学習し、これらの内容を発展させる形で平面ベクトル・空間ベクトルへと進むことで、「平面および空間の幾何学」への理解を深める。また、ベクトルと合わせて「数列」についてもその基本概念を習得し、数列に関する計算に習熟する。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「数学Ⅱ」、侯野博／河野俊丈編、東京書籍 ②「数学B」、侯野博／河野俊丈編、東京書籍		①「ニューアシスト 新編数学Ⅱ+B」、東京書籍編集部編、東京書籍 高等学校[数学Ⅱ][数学B]に該当するもの		科目：基礎数学Ⅱ [1年次]、線形代数Ⅱ [3年次] 資格：実用数学技能検定 (2級)			
評価方法							(%)
評価項目	定期試験等	小テスト	課題 家庭学習	授業態度		計	学年評価に対する割合
春学期	70	20		10		100	25
夏学期	70	20		10		100	25
秋学期	70	20		10		100	25
冬学期	70	20		10		100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	定期試験等：授業内容と演習の成果を総合的に判断するため、各学期に1回実施（秋学期のみ2回）。 小テスト：苦手な分野・理解が十分でない内容を早期に見つけ対応することを目的として、単元ごとに実施する。 課題：授業内容に準じて適宜実施し、その提出状況・内容を評価する。また、自学自習を促すため、家庭学習を推奨し、評価に加える。 授業態度：出席が80%を超える学生に対し、5点を付与する。授業への積極性、演習・課題等に忍耐強く取り組む姿勢、他の学生との協同作業における協調性等に優れている場合には5点を上限として加点する。また、授業態度が良好でない学生は、5点を上限として減点する。						
受講上のアドバイス							
①授業用プリントを整理し、試験の際に有意義に活用するために、フラットファイルを準備すること。 ②授業中に終了しなかった問題は、その日のうちに家庭にて終了させる努力をすること。 ③小テスト後は、間違えた部分や、自信のない部分を重点的に復習すること。 ④質問は遠慮なくすること。 ⑤課題・家庭学習は、必ず実行し、提出期限は守ること。							
科目の達成目標							
①	円や直線の式から、図形の関係をイメージしたり、実際に作図することができる。						
②	等差数列・等比数列の定義を理解し、その一般項や和を求めることができる。						
③	和の記号シグマの性質を用いて、数列の和を計算することができる。						
④	ベクトルの簡単な計算（和、差、実数倍）ができる。						
⑤	ベクトルの内積やなす角を求めることができる。						
⑥	位置ベクトルを理解し、図形に応用することができる。						
関連する本校の学習・教育目標			基礎力				
問い合わせ・質問先			2階215室（数理教員室）				
オフィスアワー			月曜8限				

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1回	ガイダンス				
	第2～4回	(数学Ⅱ) 2点間の距離	2点間の距離を計算で求めることができる。	教科書P64～65を熟読する。	15	
				ニューアシストの117、123～125 (P22, 23) を解く。	15	
	第5～7回	内分点・外分点	内分点・外分点、さらに、重心等の座標を求めることができる。	教科書P66～70を熟読する。	20	
				ニューアシストの118～121、126～128 (P22, 23) を解く。	20	
	第8～10回	直線の方程式	与えられた条件を活用して直線の方程式を求めることができる。	教科書P71～73を熟読する。	15	
				ニューアシストの135～138 (P22, 23) を解く。	15	
	第11～14回	2直線の関係	平行・垂直条件を理解し、活用して問題を解くことができる。2直線の交点上の直線、点と直線の距離を求めることができる。	教科書P74～80を熟読する。	20	
				ニューアシストの143～147 (P26, 27) を解く。	20	
	第15～21回	円と直線	円と直線の共有点、接線、弧の長さを求めることができる。	教科書P86～91を熟読する。	20	
				ニューアシストの155～160、165～169 (P28, 30) を解く。	20	
	第22～24回	不等式の表す領域	不等式、連立不等式の満たす領域を図示することができる。	教科書P97～101を熟読する。	20	
ニューアシストの186、188、189、191～193 (P34, 35) を解く。				20		
第25～27回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	教科書P82、93、104の問題、P106～107の練習問題を解く。	30		
			ニューアシストのB問題 (P22～35) を解く。	30		
	定期試験		試験範囲の復習を行い、試験に備える。			
第28回	自己点検 自己評価 ガイダンス	答案の返却・解説、および、自己点検をおこなう。	教科書P64～107の例題を中心に見直す。	30		
			試験で間違えた箇所を再度見直す。	30		
第29～30回	軌跡の方程式	与えられた条件を満たす軌跡を、方程式で表すことができる。	教科書P94～96を熟読する。	20		
			ニューアシストの176～180 (P32) を解く。	20		
夏学期	第1回	(数学B) ベクトルの意味	ベクトルの定義や用語を理解することができる。	教科書P48～49を熟読する。	15	
				ニューアシストの95、96 (P95) を解く。	15	
	第2～4回	ベクトルの加法・減法・実数倍	ベクトルの代数的な演算(加法・減法・実数倍)ができる。	教科書P50～55を熟読する。	20	
				ニューアシストの98～106 (P96, 97) を解く。	20	
	第5～6回	ベクトルの成分	成分で表示されたベクトルを用いて、さまざまな計算ができる。	教科書P56～60を熟読する。	20	
				ニューアシストの110～117 (P98, 99) を解く。	20	
	第7～10回	ベクトルの内積	ベクトルの内積の定義を理解し、その計算ができる。	教科書P61～66を熟読する。	20	
				ニューアシストの123、125～129、131～134 (P100, 101) を解く。	20	
	第11～12回	位置ベクトル	位置ベクトルを理解し、それを図形の問題に活用できる。	教科書P68～69、72～73を熟読する。	15	
				ニューアシストの143～145 (P103) を解く。	20	
	第13～14回	図形のベクトル方程式	方向ベクトルと法線ベクトルを用いて直線を表すことができる。	教科書P74～76、81を熟読する。	15	
				ニューアシストの158、160～162 (P106, 107) を解く。	20	
第15回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	教科書P67、82の問題を解く。	30		
			ニューアシストのB問題 (P95～107) を解く。	30		
	定期試験		試験範囲の復習を行い、試験に備える。			

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
秋学期	第1～2回	ガイダンス (数学B) 空間座標	空間において点を座標を用いて表現することができる。	教科書P83～85を熟読する。	15	
				ニューアシストの167、168 (P108、107)を解く。	15	
	第3～6回	空間におけるベクトル	空間におけるベクトルの定義を理解することができる。さらに、ベクトルを成分で表示し、さまざまな計算ができる。	教科書P86～93を熟読する。	20	
				ニューアシストの173、175、176、177 (P109、110)を解く。	15	
	第5～10回	位置ベクトルと空間の図形	空間における位置ベクトルを図形の問題に活用できる。	教科書P95～99を熟読する。	15	
				ニューアシストの199、200、201、202 (P114)を解く。	20	
	第11回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	教科書P100の問題、P102-103の練習問題を解く。	30	
				ニューアシストのB問題 (P95～107)を解く。	30	
	第12回	試験		試験範囲の復習を行い、試験に備える。		
	第13～14回	(数学B) 数列	数列の定義や用語を理解することができる。	教科書P6～7を熟読する。	15	
ニューアシストの1～4 (P78)を解く。				15		
第15～17回	等差数列	等差数列の定義を理解し、その一般項を求めることができる。	教科書P8～10を熟読する。	15		
			ニューアシストの6～11 (P79)を解く。	20		
第18～20回	等差数列の和	等差数列の和の求め方を理解し、その値を求めることができる。	教科書P11～13を熟読する。	15		
			ニューアシストの19～23 (P81)を解く。	20		
第21回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	教科書P6～13の例題・問を確認する。	30		
			ニューアシストのB問題 (P78～81)を解く。	30		
	定期試験		試験範囲の復習を行い、試験に備える。			
冬学期	第1回	自己点検 自己評価 ガイダンス	答案の返却・解説、および、自己点検をおこなう。	試験範囲の例題を中心に見直す。	30	
				試験で間違えた箇所を再度見直す。	30	
	第2～3回	等比数列	等比数列の定義を理解し、その一般項を求めることができる。	教科書P14～16を熟読する。	15	
				ニューアシストの31、32、33 (P83)を解く。	15	
	第4～6回	等比数列の和	等比数列の和の求め方を理解し、その値を求めることができる。	教科書P17～19を熟読する。	15	
				ニューアシストの34、35、36 (P83、84)を解く。	15	
	第7～10回	和の記号 Σ	和の記号 Σ の性質を用いて、数列の和を計算することができる。	教科書P20～23を熟読する。	20	
				ニューアシストの43、44、45、46、47、48、49 (P85、86)を解く。	20	
	第11～15回	いろいろな数列	等差・等比数列ではない数列の一般項を求めることができる。	教科書P24～28を熟読する。	20	
				ニューアシストの50、51、59、60 (P86、88)を解く。	20	
第16～19回	漸化式	漸化式で表現された数列の一般項を求めることができる。	教科書P31～34を熟読する。	20		
			ニューアシストの64、65、66、67 (P89)を解く。	20		
第20～23回	数学的帰納法	数学的帰納法を用いた簡単な証明を理解することができる。	教科書P36～39を熟読する。	20		
			ニューアシストの72、73 (P91)を解く。	20		
第24回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	教科書P30、40の問題、P42～43の練習問題を解く。	30		
			ニューアシストのB問題 (P83～91)を解く。	30		
	定期試験		試験範囲の復習を行い、試験に備える。			

点検(自己評価)：授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス	
微分積分 I				グローバル情報工学科 2年	
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員	
必修	履修 3	通年	講義	江川幸夫	
キーワード		科目概要			
方程式、式と証明、指数関数、対数関数、微分、積分		線形代数の基本概念であるベクトルを理解するために、平面および空間の幾何学を学習し、それらをもとにベクトルの理解を深めて、ベクトルに関する計算に習熟することを目的とする。さらに、行列式についての基本的な性質とそれを使った計算方法を具体的に学び、さらに行列の応用として重要な線形変換と固有値についても学ぶ。専門科目で必要となる数学的手法や計算技術を習得するためにも、演習を交えながら実践力を強化する。基本的な考え方を理解し、基礎学力と問題解決能力を身につけさせることを目標とする。			
教科書		参考書	関連する科目・資格		
①「数学Ⅱ」 俣野博／河野俊丈編、東京書籍		①「ニューアシスト新編数学Ⅱ＋B」 東京書籍編集部編、東京書籍 ② 高等学校[数学Ⅱ]の内容が記載されている書籍等	科目：基礎数学Ⅱ [1年次] 微分積分Ⅱ [3年次] 資格：実用数学技能検定（2級）		
評価方法 (％)					
評価項目	定期試験等	課題・小テスト・授業態度等		計	学年評価に対する割合
春学期	60	40		100	25
夏学期	60	40		100	25
秋学期	60	40		100	25
冬学期	60	40		100	25
学年評価（評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。）					100
備考	<p>学期末試験・中間試験：授業における講義内容と演習の成果を総合的に判断することを目的として、複数回の試験を実施する。これらの試験（100点満点）の平均の6割5分を評価に加える。</p> <p>演習課題・家庭学習：授業における内容の理解度や演習量を把握するために、演習課題は適時回収し、評価する。また、通常、試験後に提出してもらった授業ノート・自学自習ノートの内容も評価に加えるものとする。さらに、長期休暇期間中には課題を出し、その内容によって評価を行う。</p> <p>授業態度：授業を遅刻・早退・欠席した者、授業態度が不良の者については評価からの減点を行う。</p>				
受講上のアドバイス					
<p>授業は講義と問題演習を連動して行います。問題演習では、教科書の問題を中心とした授業用プリントを毎時限り、授業終了後提出してもらいます。</p> <p>この科目を受講する上で、以下のことを守ってください。</p> <p>①ノートは大学ノートを使用すること。ルーズリーフは極力使用しないでください。</p> <p>②授業用プリントを整理し、試験の際、有意義に活用するために、フラットファイルを準備すること。</p> <p>③質問は何時でも遠慮なくしてください。よくわからないことがあったら、必ず質問して、そのままにしないよう心がけてください。</p>					
科目の達成目標					
①	整式・分数式の基本計算が確実にできる。				
②	剰余の定理を理解し、因数定理の活用ができる。				
③	等式・不等式を理解する。				
④	指数関数・対数関数を理解し、そのグラフが書ける。				
⑤	微分の意味を理解し、その応用ができる。				
⑥	積分の意味を理解し、その応用ができる。				
関連する本校の学習・教育目標		基礎力			
問い合わせ・質問先		2階215室（数理教員室）		※不在時は、同室の松本昇久先生まで	
オフィスアワー		火曜日 8限目			

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春 学 期	第1回	ガイダンス				
	第2～3回	整式の乗法と因数分解	展開や因数分解の計算ができる。	教科書pp. 6-11を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第4～6回	整式の除法	整式の割り算ができる。	教科書pp. 12-14を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第7～9回	分数式とその計算	分数式の約分・通分・加減乗除の計算ができる。	教科書pp. 15-20を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第10～12回	複素数とその計算	複素数の性質を理解し、その計算ができる。	教科書pp. 21-25を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第13～15回	解の公式	2次方程式を解の公式を利用して求めることができる。また、判別式を利用して、2次方程式の解を判別することができる。	教科書pp. 26-29を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第16～18回	解と係数の関係	2次方程式の解と係数の関係を用いて、因数分解ができる。	教科書pp. 30-37を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第19～21回	剰余の定理	剰余の定理を用いて、割り算の余りを求めることができる。	教科書pp. 38-39を熟読する。	10	
ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。				15		
第22～24回	因数定理	因数定理を用いて、因数分解ができる。	教科書pp. 40を熟読する。	10		
			ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15		
第25～27回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	既習範囲の教科書、ノート、プリントを読み、復習を行う。	30		
			教科書の章末の練習問題を解き、これまで解けなかった問題を再度、考察してみる。	60		
	定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。				
第28回	自己点検	試験結果から理解が不十分な内容を把握し、それを習得するよう努める。	試験の間違った問題を見直す。	30		
第29～30回	簡単な高次方程式	簡単な高次方程式を解くことができる。	教科書pp. 41-45を熟読する。	10		
			ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15		
夏 学 期	第2～3回	恒等式	恒等式の係数を比較することができる。	教科書pp. 46-50を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第4～6回	不等式	不等式の基本的な性質を理解し、計算することができる。	教科書pp. 51を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第7～9回	等式の証明	等式の証明ができる。	教科書pp. 52-62を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第10～12回	不等式の証明	不等式の証明ができる。	教科書pp. 52-62を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第13～15回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	既習範囲の教科書、ノート、プリントを読み、復習を行う。	30	
				教科書の章末の練習問題を解き、これまで解けなかった問題を再度、考察してみる。	60	
		定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。			

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
秋学期	第2～3回	指数法則	指数法則を理解し、その計算ができる	教科書pp. 150-151を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第4～6回	累乗根	累乗根の性質を理解し、その計算ができる。	教科書pp. 152-153を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第7～9回	指数の拡張	有理数を指数とする数の計算ができる。	教科書pp. 154-155を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第10～12回	指数関数のグラフ	指数関数のグラフを描くことができる。	教科書pp. 156-161を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
第13～15回	対数とその性質	対数と指数との関係を理解し、その計算ができる。	教科書pp. 162-165を熟読する。	10		
			ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15		
第16～18回	対数関数のグラフ	対数関数のグラフを描くことができる。	教科書pp. 166-170を熟読する。	10		
			ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15		
第19～21回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	既習範囲の教科書、ノート、プリントを読み、復習を行う。	30		
			教科書の章末の練習問題を解き、これまで解けなかった問題を再度、考察してみる。	60		
	定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。				
冬学期	第1回	自己点検	試験結果から理解が不十分な内容を把握し、それを習得するよう努める。			
	第2～3回	微分係数	平均変化率や微分係数などの定義を理解できる。	試験の間違った問題を見直す。	30	
				教科書pp. 178-182を熟読する。	10	
	第4～7回	導関数	公式を用いて、導関数を求めることができる。	ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
				教科書pp. 183-188を熟読する。	10	
	第8～9回	接線	接線の方程式を求めることができる。	ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
				教科書pp. 190-191を熟読する。	10	
	第10～14回	関数の増減と極大・極小 関数の最大・最小	関数のグラフを描くことができる。さらに、関数の最大と最小を求めることができる。	教科書pp. 192-198を熟読する。	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15	
	第15～17回	不定積分	不定積分を求めることができる。	教科書pp. 204-207を熟読する	10	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く	15	
	第18～20回	定積分	定積分の値を求めることができる。	教科書pp. 208-213を熟読する。	10	
ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。				15		
第21～22回	定積分と面積	図形の面積を定積分を用いて求めることができる。	教科書pp. 214-219を熟読する。	10		
			ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	15		
第23～24回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	既習範囲の教科書、ノート、プリントを読み、復習を行う。	30		
			教科書の章末の練習問題を解き、これまで解けなかった問題を再度、考察してみる。	60		
	定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。				

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
物理・化学Ⅱ				グローバル情報工学科 2年			
開講学期	種別	担当教員	種別	担当教員			
必修	履修 3	通年	講義	原 孝美			
キーワード		科目概要					
熱、熱量、波、固有振動数、波長、原子量、分子量、化学反応式、物質質量		物理学や化学における基本的な考え方を、特殊な問題ではなく身の回りに起こる現象として理解し、1年次で学習したことをもとにさらに高度な問題を週3時間の時間をかけて学習する。高学年での専門科目で必要な基本的な問題の解法を身につけ、専門科目へとつなげる。夏学期には、2-3種目の実験を行い、自然科学への理解を深める。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「新編物理基礎」三浦 登他，東京書籍 ②「高校化学基礎」三浦 登他，東京書籍 ③新編「化学基礎準拠ノート」数研出							
評価方法 (%)							
評価項目	定期試験	小テスト	課題・宿題	出欠・態度		評価	学年評価に対する割合
春学期	50	25	15	10		100	25%
夏学期	50	25	15	10		100	25%
秋学期	50	25	15	10		100	25%
冬学期	50	25	15	10		100	25%
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<p>評価は各学期それぞれの成績を平均したものとす。</p> <p>定期試験および小テストの内容は、通常の学習の成果を測定することを主とする。</p> <p>宿題・課題は家庭での努力を測定するものである。</p> <p>授業態度の著しく悪い時は、たとえ出席していてもその点数がゼロになることがあるので注意すること。</p> <p>演習プリントは課題・宿題点になる。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>① 問題練習を行ったものを保管しておくようにファイルを用意すること。</p> <p>② 問題には納得するまで取り組み、理解できない問題は問題解説の際にしっかり確認し、質問すること。</p> <p>③ 宿題・課題は必ず提出すること。</p> <p>④ 予習、復習リストを参考に、予復習に取り組むこと。</p>							
科目の達成目標							
①	物質の状態や熱について、説明できる。						
②	波や音の性質について、説明できる。						
③	原子・分子の構造が理解でき、分子量の計算ができ、物質質量が理解できる。						
④	酸や塩基を理解し、中和反応の計算式が理解できる。						
⑤	酸化・還元反応について理解し、電池の仕組みが理解できる。						
関連する本校の学習・教育目標		基礎力					
問い合わせ・質問先		2階215室 (数理教員室)					
オフィスアワー		火曜 8限					

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 分/回	点検	
春学期	第1～3回	ガイダンス 熱と温度 物質の三態	熱と温度の違いを理解し、説明することができる。潜熱を理解することで、状態変化における熱量の計算ができる。	教科書p88～91を熟読する。	10	
			教科書の問題を解く。	20		
	第4～5回	熱の移動と保存 熱と仕事	熱量保存則や熱力学第一法則を理解し説明できる。	教科書p92～95を熟読する。	10	
				教科書の問題を解く。	20	
	第6～7回	熱効率と不可逆 変化 問題演習	熱機関を理解し、熱効率の計算ができる。熱に関する総合問題が解ける。	教科書p96～97を熟読する	10	
				教科書の問題を解く。	20	
	第8～11回	波とは何か	波の特徴や振動の仕方を理解し、速さや振動数の計算ができる。	教科書p102～107を熟読する。	10	
				教科書の問題を解く。	20	
	第12～16回	波の重ね合わせ 波の反射 定常波	重ね合わせの原理が理解でき、自由端、固定端反射の作図と、定常波の説明ができる。	教科書p108～113を熟読する。	10	
				教科書の問題を解く。	20	
	第17回	音の伝わり方	音速が求められ、うなりが理解できる。	教科書p114～115を熟読する。	10	
				教科書の問題を解く。	10	
第18～22回	振動する弦 振動する気柱	固有振動が理解でき、弦や気柱の固有振動数を求めることができる。	教科書p116～119を熟読する。	10		
			教科書の問題を解く。	20		
第23～27回	ドップラー効果	音源や観測が動く場合のドップラー効果について理解できる。	教科書p150～156を熟読する。	10		
			教科書の問題を解く。	30		
	定期試験					
第28回	自己点検	春学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	—	—		
			試験の間違った問題を見直す	20		
第29～30回	速度・加速度 仕事・仕事率	1年次に学習した速度・加速度・仕事・仕事率の計算ができる。	演習プリントを解く。	10		
			演習プリントを見直す。	10		
夏学期	第1～3回	実験の諸注意 誤差・有効数字 レポートの書き方	測定における誤差や有効数字を理解することができる。見やすいレポートを書くことができる。	配布プリントを読む	10	
			演習プリントを解く	10		
	第4～6回	【実験】速度と 加速度の測定	実験を通して、速度加速度を理解し、説明することができる。	実験プリントを読み、手順を理解する。	10	
				実験レポートを作成する。	60	
	第7～9回	【実験】重力加 速度gの測定	実験を通して、重力加速度を理解し、説明することができる。	実験プリントを読み、手順を理解する。	10	
				実験レポートを作成する。	60	
	第10～15回	【実験】仕事・ 仕事率の測定 まとめと演習	実験を通して、仕事と仕事率を理解し、説明することができる。	実験プリントを読み、手順を理解する。	10	
				実験レポートを作成する。	60	
		定期試験				

秋学期	第1～3回	化学入門 物質の成分、単体 と混合物の分離	物質を純物質（単体・化合物）と混合物に分類することができる。 混合物の分離の方法を知る	教科書P6～21を読む	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	20	
	第4回	物質の三態と熱運動	物質の三態を理解し、熱運動を説明できる。	教科書P22～25を読む	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	10	
	第5～9回	原子と原子の構造 電子配置と周期表	原子とその構造を理解し、説明することができる。 原子の電子配置を理解することで、 周期表を理解できる。	教科書P26～29を読む	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	30	
	第10～11回	イオン	イオンとは何か、その成り立ちを理解し、イオン式を覚える。	教科書P34～35を読む	15	
				教科書及び問題集の問題を解く	15	
第12～17回	物質の結合の仕方	物質には3種類の結合方法があり、その結合の仕方や特徴とそれぞれの結晶を理解する。	教科書P36～45を読む	15		
			教科書及び問題集の問題を解く	15		
第18～19回	極性と分子間力	極性を理解し、分子間力を知る。	教科書P40～41を読む	10		
			教科書及び問題集の問題を解く	10		
第20～21回	総合問題演習	総合的に演習する。	演習プリントに取り組む	50		
			演習プリントを見直す	40		
	定期試験					
冬学期	第1回	自己点検	秋学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	—	—	
				試験の間違った問題を見直す	20	
	第2～4回	物質の利用	金属や高分子の利用について理解し、その利用方法を知る。	教科書P46～49を読む	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	15	
	第6～7回	原子量	原子量を理解し、覚える。	教科書P56を読む	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	10	
	第8～11回	分子量や式量	原子量を使用し、分子量や式量が計算できる。	教科書P56～57を読む	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	30	
	第12～16回	物質とその計算	物質の概念を知り、その計算ができる。	教科書P58～59を読む	20	
				教科書及び問題集の問題を解く	40	
第17～18回	化学反応と反応式	化学反応式が書ける。	教科書P60～61を読む	15		
			教科書及び問題集の問題を解く	30		
第19～22回	化学反応の量的関係	化学反応の量的な関係を理解して、その計算ができる。	教科書P62～63を読む	20		
			教科書及び問題集の問題を解く	40		
第23～24回	総合問題演習	総合的に演習する。	演習プリントに取り組む	50		
			演習プリントを見直す	40		
	定期試験					

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
保健体育Ⅱ				グローバル情報工学科 2年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修2	通年	実技	瀧本明弘				
キーワード		科目概要						
生涯スポーツ、協調性、ルール順守、安全		・体力テスト ・バレーボール ・ハンドボール ・トレーニング						
教科書			参考書		関連する科目・資格			
なし			アクティブスポーツ2015		なし			
評価方法 (％)								
評価項目	レポート	リー戦成績	学習態度	出席状況			計	学年評価に対する割合
春学期	20	20	30	30			100	25
夏学期	20	20	30	30			100	25
秋学期	20	20	30	30			100	25
冬学期	20	20	30	30			100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)								100
備考								
受講上のアドバイス								
1、ジャージ、シューズは指定のもの以外は認めない 2、安全に留意する事 3、生涯スポーツについて理解する事								
科目の達成目標								
①	生涯スポーツに関わる基礎を構築する							
②	基礎体力の向上を図る							
③	スポーツを通じて協調性を身につける							
④	バレーボールについて理解を深める							
⑤	ハンドボールについて理解を深める							
⑥	トレーニングについて理解を深める							
関連する本校の学習・教育目標			人間性の向上					
問い合わせ・質問先			地域連携教育センター、第二体育館					
オフィスアワー			水曜日 16:30~17:30					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1回	体力測定	自己の体力を把握する	-	0	
				体力測定の結果から自己の体力を振り返る	10	
	第2回	集団行動	整列、姿勢、準備体操などの集団行動ができる	整列方法、準備体操などの集団行動について考える	10	
				集団行動の重要性を振り返る	10	
	第3回	体育大会の練習	体育大会の種目の理解を深める	体育大会で自分の出場する競技を知り、ルールを理解する	10	
				体育大会がスムーズに進行できるように振り返る	10	
	第4回～9回	バレーボール	サーブ及びパスについて理解を深める	サーブ及びパスを調査する	30	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			サーブ及びパスができる	サーブ及びパスを復習する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
スパイクについて理解を深める			スパイクを調査する	10		
			本時の基本動作を振り返る	10		
スパイクができる			スパイクを復習する	10		
			本時の基本動作を振り返る	10		
チームプレーについて理解を深める	チームプレーを調査する	10				
	チームごとに反省点を考える	10				
チームプレーができる	チームごとに戦略を考える	10				
	チームごとに反省点を考える	10				
第10回	バレーボール	リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	チームごとに戦略を考える	10		
			チームごとに反省点を考える	10		
夏学期	第1回～2回	バレーボール	リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	30		
			チームごとに反省点を考える	10		
		リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	チームごとに戦略を考える	10		
			チームごとに反省点を考える	10		
	第3回～5回	ハンドボール	キャッチボール、シュートができる	キャッチボール、シュートを調査する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			ランニングパスができる	ランニングパスを調査する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
	ランニングパスからシュートができる	ランニングパスからのシュートを調査する	10			
		本時の基本動作を振り返る	10			
第6回	ハンドボール	試合形式の練習でチームプレーについて理解を深める	チームプレーを調査する	10		
			試合形式の練習をの反省をする	10		

秋学期	第1回~4回	ハンドボール	リーグ形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			リーグ形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			リーグ形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	30			
				チームごとに反省点を考える	10			
			第5回	球技大会の練習	各種球技の理解を深める	球技大会で自分の出場する競技を知り、ルールを理解する	10	
			球技大会がスムーズに進行できるように振り返る	10				
第6回~7回	ハンドボール	リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	前の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10				
			チームごとに反省点を考える	10				
		リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10				
			チームごとに反省点を考える	10				
冬学期	第1回~8回	トレーニング	トレーニングマシンを正しく利用できる	トレーニングマシンの利用方法を調査する	10			
				トレーニングマシンの利用について反省する	10			
			筋力トレーニングについて理解を深める	筋力トレーニングについて調査する	10			
				筋力トレーニングについて復習する	10			
			最大筋力の測定を行い自分の筋力を把握する	最大筋力の測定方法を調査する	10			
				最大筋力の測定について復習する	10			
			自己のトレーニングプログラムを作製する	トレーニングプログラムについて調査する	10			
				作製した自己のトレーニングプログラムについて復習する	10			
			自己のトレーニングプログラムを実践する	筋持久力トレーニングのプログラムについて予習しておく	10			
				筋持久力トレーニングのプログラムについて復習する	10			
			自己のトレーニングプログラムを実践する	筋パワートレーニングのプログラムについて予習しておく	10			
				筋パワートレーニングのプログラムについて復習する	10			
			持久力トレーニングについて理解を深める	持久力トレーニングについて調査する	10			
				持久力トレーニングについて復習する	10			
			トレーニングについてのレポートを作成する	トレーニングについて予習をする	10			
				トレーニングについて復習をする	10			
第9回	自己点検自己評価	1年間の授業について振り返り理解を深める	-	0				
			生涯スポーツについて振り返る	10				

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
総合英語II				グローバル情報工学科 2年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 3	通年	講義	津田明洋			
キーワード			科目概要				
読解力, 語彙力, 知的好奇心, 不定詞, 動名詞, 関係詞, 仮定法			平明な文章で書かれた英文をより速く、より多く読む訓練を通して読解力、語彙力の増強を図るとともに、教材に取り扱われる自然界での出来事、人々の考え方、行き方、さまざまな国の文化、食習慣などの話題に触れ、今までに意識しなかったことに関心を持ち、知的好奇心を高めることを目的とする。また不定詞、動名詞、関係詞、仮定法などの文法を学習することにより英文の仕組みとそのルールを理解し、今後の英語学習の支柱となるよう演習を通してそれらを身につける。				
教科書			参考書		関連する科目・資格		
① <i>New Password 2</i> , Linda Butler, Pearson Longman			① 「ジーニアス英和辞典」小西友七・南出康也, 大修館書店		科目: 総合英語 I、総合英語III 資格: 英検準2級		
評価方法							
評価項目	定期試験	小テスト	提出物	授業態度		評価	学年評価に対する割合
春学期	50	25	15	10		100	33%
夏学期	50	25	15	10		100	17%
秋学期	50	25	15	10		100	25%
冬学期	50	25	15	10		100	25%
学年評価 (評価は春、夏、秋、冬で行い、通知表は春、夏、秋、学年評定で示す)							100
備考	<p>定期試験: 学習した範囲の理解度を図るため、定期試験を実施する。</p> <p>小テスト: テキストの各単元終了後の小テストと文法の小テストとする。</p> <p>提出物: ほぼ毎授業後提出するハンドアウト、夏休みの宿題等</p> <p>授業態度: 忘れ物、授業中の居眠りなど。5点以上の減点もある。(10%の中に春学期の発表が5%含まれる)</p> <p>総合成績の比率は2(春):1(夏):1.5(秋):1.5(冬)に計算される。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>1、音読は英語学習の上で重要かつ効果的である。自宅で教科書の英文を時間を決めて読み終える練習をすすめる。5分が4分、3分と段々と読むスピードが速くなり同時に内容理解も確実に伸びるはずだ。</p> <p>2、本文を聞いたり、読んだりする時は語順を意識して前から前から内容を理解するようにする。</p> <p>3、ハンドアウトはファイルして丁寧に整理し復習や小テスト、中間試験や期末試験に役立てる。</p> <p>4、単語の学習は語源を意識し、その単語を用いた英文を自分で作成し、学習することを強くすすめます。</p> <p>5、教科書のトピックに興味を持ち、楽しみながら読み、リーディング力を向上させるよう努めて下さい。</p>							
科目の達成目標							
①	教科書に出てくる新出単語を意欲的に学習することができる						
②	本文の内容についての知識を増やすことができる						
③	文法事項の不定詞・動名詞について理解できる						
④	文法事項の仮定法・関係代名詞について理解できる						
⑤	新しい内容に入る前の導入を行うことで内容に対して興味を持つことができる						
⑥	授業で習った内容から自分の視野を広げることができる						
関連する本校の学習・教育目標			国際性				
問い合わせ・質問先			1階教員室(103室)				
オフィスアワー			木曜日8限				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検
春学期	第1回	授業概要の説明	どの様な態度で授業に臨むことを期待されているか理解する	—	0
	第2~8回	Chapter5: Antarctica	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる。	学習支援計画書の内容の確認	10分
				Chapter5の本文の単語を確認する。	各10分
	第9回	Chapter5: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	教科書pp. 40-46の問題を理解しているか確認する。	各20分
				小テストの準備	10分
	第10~16回	Chapter6: The Galapagos	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる。	小テストの復習	20分
				Chapter6の本文の単語を確認する。	各10分
	第17回	Chapter6: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているか確認する。	教科書pp. 47-55の問題を理解しているか確認する。	各20分
				小テストの準備	10分
	第18~21回	不定詞	不定詞の名詞的・副詞的・形容詞的用法の違いが理解できる。	小テストの復習	20分
				中学校でどんな不定詞を習ったかを確認する	各10分
	第22~25回	動名詞	動名詞の基本的用法を理解し、動名詞を伴う動詞を習得できる。	不定詞のハンドアウトを理解しているか確認する	各20分
				不定詞と動名詞の違いを考える	各10分
	第26回	不定詞・動名詞 Review Quiz	学習した文法事項を理解しているか確認する。	動名詞のハンドアウトを理解しているか確認する	各20分
小テストの準備				10分	
第27回	Review	学習した単語、本文の内容、文法を理解しているかを確認する	小テストの復習	20分	
			学習した範囲で不明な点がないか確認する	10分	
第28回	自己点検	答案返却・解説および自己点検。	試験で間違えたところを再度見直す	20分	
第29~30回	Activity	ユニットに関連したテーマでの活動	定期テスト範囲内の内容を復習する	20分	
			—	—	
夏学期	第1~7回	Chapter7: San Marino	課題活動についての下調べ	各10分	
			発表等のまとめ	各20分	
	第8回	Chapter7: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	Chapter7の本文の単語を確認する。	各10分
				教科書pp. 56-63の問題を理解しているか確認する。	各20分
	第9~14回	Chapter:8: Mount Fuji	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる	小テストの準備	10分
				小テストの復習	20分
	第15回	Chapter:8: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	Chapter8の本文の単語を確認する。	各10分
				教科書pp. 64-71の問題を理解しているか確認する。	各20分
第15回	Chapter:8: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分	
			小テストの復習	20分	

	夏学期試験					
第1~7回	Chapter9: Your Sense of Taste	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる	Chapter9の本文の単語を確認する。	各10分		
			教科書pp. 80-87の問題を理解しているか確認する。	各20分		
第8回	Chapter9: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分		
			小テストの復習	20分		
第9~13回	仮定法	条件節の形と意味を理解できる。仮定法過去の形を意味を理解できる。	条件節（直説法）と仮定法の違いを考える	各10分		
			仮定法過去を使つての英文を考える。	各20分		
第14回	仮定法 Review Quiz	学習した文法事項を理解しているか確認する。	小テストの準備	10分		
			小テストの復習	20分		
第15~20回	Chapter10: Bones	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる	Chapter10の本文の単語を確認する。	各10分		
			教科書pp. 88-95の問題を理解しているか確認する。	各20分		
第21回	Chapter10: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分		
			小テストの復習	20分		
	秋学期試験					
冬学期	第1回	自己点検	答案返却・解説および自己点検。	—	—	
				試験で間違えたところを再度見直す	20分	
	第2~7回	Chapter11: Giving Blood	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる	Chapter11の本文の単語を確認する。	各10分	
				教科書pp. 96-103の問題を理解しているか確認する。	各20分	
	第8回	Chapter11: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第9~14回	関係代名詞	関係代名詞の基本的用法を理解できる。	関係代名詞とは何かを考える。	各10分	
				関係代名詞を使つての英文を考える。	各20分	
	第15回	関係代名詞 Review Quiz	学習した文法事項を理解して様々な問題を解くことができる。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第16~22回	Chapter12: Can you give me a hand?	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる	Chapter12の本文の単語を確認する。	各10分	
				教科書pp. 104-111の問題を理解しているか確認する。	各20分	
	第23回	Chapter12: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第24回	Review	学習した単語、本文の内容、文法を理解しているかを確認する	学習した範囲で不明な点がないか確認する	10分	
—				20分		
	冬学期試験					

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
Skills II (英語スキルズ I I)				グローバル情報工学科 2年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Required	履修 3	All year	Lecture	Nate Lurie, Nhung Le (Spring, Summer, Fall, Winter), Nicholas Duff (Spring)		
キーワード		科目概要				
Communicative competence; Teamwork; Communication skills; Project-based learning		The purpose of this class is to help students build confidence in their communicative English skills. Students will learn and interact with their classmates through a variety of meaningful activities focused on topics of interest to students. In completing these activities, students will practice grammar, English expressions, vocabulary, pronunciation and comprehension. These activities will also serve to familiarize students with foreign cultures.				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
① <i>Conversations in Class 3rd Edition</i> Bruno Vannieu, Stephen Richmond Alma		① <i>Postcards 2</i> , Video 1 ② Classroom hand-outs		英語スキルズ I, I I I		
評価方法						
評価項目	Class Work	Participation	Tests/Projects		評価	学期の割合
春学期	40	30	30		100	2/6
夏学期	40	30	30		100	1/6
秋学期	40	30	30		100	1.5/6
冬学期	40	30	30		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> • Students will be evaluated on the accuracy and completion of class handouts and in class activities. • Students will be evaluated using a participation rubric. • Students will be evaluated using written and spoken tests and project rubrics. 					
受講上のアドバイス						
<ul style="list-style-type: none"> • Come to class on time with your binder, notebook, and pencil • Say hello and good-bye with a smile and good eye contact • Don't worry about making mistakes, try your best to talk • Relax, have fun and smile • Ask questions if you don't understand instructions or classwork • Be respectful and friendly to everyone in your class • Be responsible for making up missed work and finishing assignments 						
科目の達成目標						
①	Describe themselves, their preferences, and other people.					
②	Talk about future plans and intent using the modal verb <i>will</i> and <i>going to</i> .					
③	Use prepositions to describe their surroundings and basic placement of objects.					
④	Express their opinions and answer comprehension questions about the plot of a tele-drama.					
⑤	Work in teams towards a common goal.					
⑥	Talk about past experiences using the present perfect.					
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		KTC 31-103				
オフィスアワー		Monday 4-5				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to:	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検	
春学期	第1-3回	Orientation & Introductions About Me	Learn about class and classmates' names; Complete a questionnaire; Practice asking for help in English.	-	-	
				Review syllabus and think about language learning goals.	10	
	第4-6回	About Me	Introduce yourself; Ask for and give personal information	Think about how to introduce yourself in English.	10	
				Practice introducing yourself.	10	
	第7-9回	Me & My Classmates	Practice talking about likes/dislikes, hobbies, and interests.	Think about kinds of food, movies, etc. you like/don't like.	10	
				Practice saying sentences using, "Me, too."	10	
	第10-12回	Me & My Classmates	Agree/disagree with your classmates	Write about three things you like and don't like.	10	
				Practice asking people about their interests.	10	
	第13-14回	My Family	Learn family vocabulary and how to talk about family.	Think about how to describe your family in English.	10	
				Write as many words as you can to describe family members.	10	
	第15-18回	My Family	Practice talking about family; Describe what people look like.	Think about questions to ask your classmates about family.	10	
				Practice telling about your family.	10	
	第19-21回	People I Admire	Talk about people you admire and learn vocabulary to talk about what people look like.	Describe what someone you admire looks like.	10	
				Write a paragraph describing your favorite actor/ actress.	10	
	第22-24回	My Active Life	Learn sports you go/play/do; discuss sports and exercise habits	Write three sentences about your favorite sport.	10	
				Ask a classmate, in English, about sports they like.	10	
第25-27回	My Future	Talk about future plans using "will" and "going to"	Think about your future plans.	10		
			Talk to a classmate about your weekend plans in English.	10		
第28-30回	My Future	Share summer plans using future tense; Read sample postcard	Think about your summer plans.	10		
			Talk to a classmate about your summer plans in English.	10		

夏 学 期	Skills 2 Summer: Kanazawa Places of Interest	<p><i>Students will learn how to build a team and serve as a facilitator between year 1 and year 3 students; Communicate with group members through team building and English communication skills; Research Kanazawa places of interest on the internet.</i></p>						
			第 1 – 3 回	Reflect on the team building activities you did in class, and note your role within your group. <u>How will you facilitate co-operation between 1st and 3rd year students?</u>	15			
			第 4 – 5 回	Review the <u>team building skills</u> you learned in class, and practice gathering <u>and sharing</u> information about a place of interest around Ishikawa.	15			
				Review your notes, and finish any research <u>and share the information gathered with your group members</u> about your group's Kanazawa place of interest.	15			
			第 6 – 8 回	<p><i>Students will be able to coordinate year 1 and year 3 students work to ensure the group's work is complete; Develop speaking presentation skills; Assign and practice their roles within their group.</i></p>	Review your notes <u>and discuss with other group members</u> about how you would present this information.	15		
					Review the speaking skills you learned in class, <u>give feedback think about how the group can best give the presentation and share this with your group.</u>	15		
			第9-10回	<p><i>Students will be able to give feedback to other group members; Demonstrate speaking presentation skills by practicing presenting their findings within their own group, and for another group.</i></p>	What makes a good speaking presentation? Brainstorm ideas, note your <u>group's strengths and areas for improvement and give feedback to your senior and junior group members.</u>	15		
					Practice the speaking skills you learned in class to <u>support your senior students, rehearse your role and provide support to your junior students</u> prior visit to your Kanazawa place of interest.	15		
			第11-13回	<p><i>Students will be able to ensure that the team completes an onsite recorded presentation and interview with visitors at their Kanazawa place of interest. This will include camera work, notecards and prompting.</i></p>	Practice your role, <u>provide support and feedback to your junior and senior students</u> and finish any work before going out into the community.	15		
					Reflect on your role within your group during the recording day in Kanazawa. <u>Did you work with your senior and junior group members to ensure success?</u>	15		
			第14-15回	<p><i>Students will be able to reflect, in English, upon their support and team building skills in making their Kanazawa place of interest video; Share feedback with other groups about different Kanazawa places of interest videos they see.</i></p>	Review the speaking skills and project notes you've made. <u>Focus on how you can work with team members from different groups.</u>	15		
					Review feedback you received from classmates about your group video. What was a strong point for YOUR work, <u>and how you can improve your team building skills</u> during the second half of the year?	15		

秋学期	第 1 – 3回	Postcards Intro Episode 1 & 2: Who are they?	Get to know the characters: Sarah, Chris, Kim and Adam	Think about your image of American high school.	10
				Review the characters' names and what you know about them.	10
	第 4 – 6回	Episode 3: High-School	Practice school vocabulary: schedules & subjects	Think about your daily schedule.	10
				Practice asking your classmates about their schedules.	10
	第 7 – 9回	Episode 4: A Secret Plan	Create a comic to tell about what's happening in the story	Think about your favorite actors, musicians, and artists.	10
				Predict what may happen in the next part of the <i>Postcards</i> story.	10
	第10-12回	Episode 5 & 6: Drama!	Review the story with a listening cloze; Unscramble dialogue	Think about what the <i>Postcards</i> characters like, hate, love.	10
				Write about what you like and don't like in the <i>Postcards</i> video.	10
第13-14回	Episode 7 & 8: The End	Make guesses about the end of the story; Give opinions about the story; Review for quiz	Ask a classmate, in English, about their favorite character.	10	
			Think about how you want the <i>Postcards</i> story to end.	10	
第15-18回	<i>Postcards</i> : Quiz & Project	Complete a quiz about <i>Postcards</i> story and choose a project	Think about which project you want to do. (<i>Postcards</i> workbook p. 18 – 19)	10	
			Review your project work with your partner/teammates.	10	
第19-21回	<i>Postcards</i> : Project	Finish and present projects	Find new words in your <i>Postcards</i> workbook for your project.	10	
			Write about the good and bad points of your project.	10	
冬学期	第 1 – 3回	Christmas/ New Year's	Christmas Activities/Movie/Year- in-Review	Think about how winter holidays are celebrated around the world and in Japan.	10
				Practice explaining the story of <i>Elf</i> in English. Review 2015 Japan & world news events.	10
	第 4 – 6回	My Room	Use prepositions to describe the basic placement of objects and surroundings	Think about your bedroom. What's in it? Where is it?	10
				Practice describing where things are.	10
	第 7 – 9回	My World	Talk about world geography, countries, nationalities and languages; Discuss food, landmarks, and activities	Look at a world map and try to say the countries in English.	10
				Think of an overseas trip you have made or would like to make.	10
	第10-12回	My World Experiences	Review present perfect vs. past tense and practice	Review the nationalities and languages spoken in the countries studied in class.	10
				Write/talk about what you learned about different countries.	10

第13-14回	My World Experiences	Talk about experiences using world knowledge	Think of a country you would most like to visit. What would you do and eat there?	10	
			Talk to a classmate about an overseas trip you have made or would like to make.	10	
第15-16回	Unit Project	Complete a project to tell and ask about world experiences	Think of what your ideal country would be like. What could you do, eat, and see?	10	
			Review the grammar and vocabulary practiced this past unit.	10	
第17-21回	Final Review	Review of content and grammar used in My World Experiences unit.	Write down any questions you have about the vocabulary or grammar of this unit.	10	
			Reflect on your progress this year in English class.	10	
第22-24回	Self-Evaluation Year in Review	Review learning this year; Complete class questionnaire	Reflect on what you have learned this year in English class.	10	
			-	-	

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
計算機システム I				グローバル情報工学科 2年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	坂倉忠和・田村景明			
キーワード		科目概要					
パソコン組み立て、ネットワーク構築、デジタル回路		パソコン組み立ての体験を通じて、コンピュータの仕組みを学習する。また、ネットワーク演習により、ネットワークの基礎知識やリテラシ、および実際の設定方法を学習する。さらに、電子メール送受信、FTP転送、デジタル回路の各実験を行い、ネットワーク通信と、コンピュータの演算・記憶で利用される論理素子について理解を深める。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
必要に応じてプリントを配布する。			指定なし		科目： 情報処理II 資格： インターネット検定.com Master Basic、パソコン整備士		
評価方法							(%)
評価項目	達成度試験	課題	活動週報			計	学年評価に対する割合
春学期	30	35	35			100	25
夏学期	30	35	35			100	25
秋学期	30	35	35			100	25
冬学期	30	35	35			100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<p>この授業は2つのグループに分かれて、テーマ1「パソコン組み立てとデジタル回路の基礎(田村)」およびテーマ2「ネットワーク構築、および関連するトラブル対処(坂倉)」を実施する。春学期は第1回～第14回を評価対象とし、第15回～第20回は夏学期の評価に含めるものとする。</p> <p>授業態度が不良の場合や積極的な取り組み姿勢が見られない場合には、評価項目に関係なく各学期の全体評価から減点する。また、欠課1回(50分)、遅刻・早退1回、作業着の忘れ1回はそれぞれ4点の減点とする。また、自学自習を目的として自由課題などを出すことがある。これらに取り組んだ場合には全体の評価に加点する。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>① 演習時には必ず作業服を着用すること。</p> <p>② 配布プリントを綴じるためのファイルを用意すること。また、参照しやすいように整理しておき、授業時には必ず持参すること。</p> <p>③ 演習は必ず納得するまで取り組むこと。</p>							
科目の達成目標							
①	パソコンを組み立てることができる。						
②	Windowsをインストールすることができる。						
③	電球ON、OFFによる信号伝送の仕組みを理解できる。						
④	メールを利用するための設定ができるようになる。						
⑤	IPアドレスやサブネットマスクを設定できるようになる。						
⑥	ハブやルーターを使って、実際にネットワークを構築できるようになる。						
関連する本校の学習・教育目標			専門力、創造性				
問い合わせ・質問先			2階206室(坂倉)、2階210室(田村)				
オフィスアワー			火曜日16:30～17:30(坂倉)				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検	
春学期	第1～2回	パソコン組み立て	パソコンの全体像と各 부품の役割を理解できる	指示された宿題を行う。	15	
	第3～4回		自分でパソコンを組み立てることができる。	組み立てプリントを熟読する。 指示された宿題を行う。	15 15	
	第5～6回		組み立て時のトラブルを適切に解決できる。	指示されたページを熟読する。 指示された宿題を行う。	15 15	
	第7～8回	ハードウェアトラブルの解決	組み立て後のシステムのトラブルを適切に解決できる。	第1～3回の内容を勉強する。 指示された宿題を行う。	20 15	
	第9～10回	システムの性能評価	性能評価ソフトウェアを実行し、システムを評価できる。	メモリ関連の資料を熟読する。 指示された宿題を行う。	15 15	
	第11～12回	システムトラブルの対処	システムの復元を実行できる。	システム復元資料を熟読する。 指示された宿題を行う。	15 15	
	第13～14回	拡張カード	グラフィックスカードを取り付けることができる。	第4～5回の内容を勉強する。 指示された宿題を行う。	20 15	
	第15～16回	情報セキュリティ	情報セキュリティの重要性を理解できる。	ファイルの暗号化資料を熟読する。 指示された宿題を行う。	15 15	
	第17～18回	ハードディスクのメンテナンス	ハードディスクに関するメンテナンスツールを実行できる。	システムツール資料を熟読する。 指示された宿題を行う。	15 15	
	第19～20回	パソコン通信に利用されているシリアル通信	シリアル通信のしくみを理解できる。	ファイルのシリアル通信を熟読する。 指示された宿題を行う。	15 15	
	第1～2回			2, 3人でシリアル通信を体験できる。	ファイルのシリアル通信を熟読する。 指示された宿題を行う。	15 15
	夏学期	第3～4回	パソコンに使われているデジタル回路	基本素子 (AND, OR, NOT) の機能を理解できる。	ファイルのシリアル通信を熟読する。 指示された宿題を行う。	15 15
第5～6回		ブレッドボードを使って基本素子の回路を作成できる。		ファイルのシリアル通信を熟読する。 指示された宿題を行う。	15 15	
第7～8回		基本素子の機能を実験できる。		ファイルのシリアル通信を熟読する。 指示された宿題を行う。	15 15	
第9～10回		自己点検・自己評価		テーマ1に関する理解度を把握できる。	— 振り返りシートを作成する。	30

秋学期	第1～2回	電子メール	メール転送の仕組みを理解できる。	—		
				活動週報で振り返りを行う。	15	
	第3～4回		メールソフトの基本的な設定ができる。	講義資料No.02を熟読する。	15	
				活動週報で振り返りを行う。	15	
	第5～6回		メールソフトの応用的な使用方法が分かる。	講義資料No.03を熟読する。	15	
				活動週報で振り返りを行う。	15	
	第7～8回	FTP	FTPの概要が分かる。	講義資料No.04を熟読する。	15	
				活動週報で振り返りを行う。	15	
第9～10回		FTPを用いてファイル転送を行うことができる。	講義資料No.05を熟読する。	15		
			活動週報で振り返りを行う。	15		
第11～12回	基数変換	8ビット符号なし整数に対する論理演算が分かる。	講義資料No.06を熟読する。	15		
			演習問題の復習をする。	15		
第13～14回	ネットワークの構築(1)	IPアドレスなどの設定方法が分かる。	講義資料No.07を熟読する。	15		
			活動週報で振り返りを行う。	15		
冬学期	第1～2回	ネットワークアドレス	ネットワークアドレスが計算できる。	講義資料No.08を熟読する。	15	
				演習問題の復習をする。	15	
	第3～4回	ネットワーク共有	ネットワーク共有機能を利用できる。	講義資料No.09を熟読する。	15	
				活動週報で振り返りを行う。	15	
	第5～6回	ルーター	ルーターの役割が分かる。	講義資料No.10を熟読する。	15	
				活動週報で振り返りを行う。	15	
	第7～8回	ネットワーク構築(2)	ルーターのWAN型の設定方法が分かる。	講義資料No.11を熟読する。	15	
				活動週報で振り返りを行う。	15	
	第9～10回		ルーターのLAN型の設定方法が分かる。	講義資料No.12を熟読する。	15	
				活動週報で振り返りを行う。	15	
第11～12回		無線LAN親機の設定ができる。	講義資料No.13を熟読する。	15		
			活動週報で振り返りを行う。	15		
第13～14回	ネットワーク実践演習	ネットワークで生じたトラブルの原因を推測できる。	—			
			演習問題の復習をする。	15		
第15～16回	自己点検・自己評価	テーマ2に関する理解度を把握できる。	—			
			振り返りシートを作成する。	30		

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
コンピュータ演習 I				グローバル情報工学科 2年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	井上恵介・田村景明			
キーワード		科目概要					
コンピュータ、プログラム、グラフィクス		コンピュータを活用した問題解決へ向けて基礎的な知識と技能の習得を目指す。プログラミング言語 Processing を用いてプログラミングの面白さを体験するとともに、演習課題を通じて変数や制御構造といった基本的な概念について理解を深める。さらに、3年次の授業への橋渡しとして、簡単なプログラムを設計・実装し、コンピュータによるプログラムの実行、結果の出力、結果に関する報告書の作成というプログラム開発の一連の流れを学習する。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
① Processingをはじめよう、オーム社（オライリー・ジャパン）			指定しない		科目： コンピュータ演習Ⅱ 資格： 基本情報技術者		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	課題	小テスト			計	学年評価に対する割合
春学期	60	20	20			100	25
夏学期	60	20	20			100	25
秋学期	60	20	20			100	25
冬学期	60	20	20			100	25
学年評価（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）							100
備考	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻、早退、それぞれ1回（50分）につき学期評価から4点減点（学年評価に換算すると1点の減点）。 欠課1回（50分）につき学期評価から8点減点（学年評価に換算すると2点の減点）。 						
受講上のアドバイス							
安全に注意し全力を尽くすこと。							
科目の達成目標							
①	Processingを起動できる。						
②	Processingを実行できる。						
③	Processingを終了できる。						
④	点を描くことができる。						
⑤	色をつけることができる。						
⑥	線の太さを変えることができる。						
関連する本校の学習・教育目標			創造性、専門力				
問い合わせ・質問先			2階210室				
オフィスアワー			授業中に予約して下さい。				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～2回	点	点を描ける。 指示された課題を行う。	20		
	第3～4回	輪郭線	輪郭線に色を付けられる。 輪郭線の太さを変えられる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
	第5～6回	線	線を描ける。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
	第7～8回	三角形	三角形を描ける。三角形の内部を塗りつぶせる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
	第9～10回	総合演習	小テストによって理解度を確認できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
	第11～12回	四辺形	四辺形を描ける。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
	第13～14回	長方形	長方形を描ける。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
	第15～16回	多角形	多角形を描ける。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
	第17～18回	総合演習	今までの知識を復習できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
		定期試験				
	第19～20回	だ円	だ円を描ける。 指示された課題を行う。	20		
	夏学期	第1～2回	円弧	円弧を描ける。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
第3～4回		図形の性質	図形の性質を理解できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
第5～6回		総合演習	小テストによって理解度を確認できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
第7～8回		変数とは	変数の意味を理解できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
第9～10回		変数の基礎	変数を用いて点を描画できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20		
		定期試験				

秋学期	第1～2回	変数の応用	変数を用いて線を描画できる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第3～4回	ブーリアンとは	ブーリアンとは何か理解できる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第5～6回	ブーリアンの基礎	ブーリアンの基礎を理解できる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第7～8回	総合演習	小テストによって理解度を確認できる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第9～10回	I F文とは	I F文とは何か理解できる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第11～12回	I F文の基礎	I F文の基礎が理解できる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第13～14回	I F文の応用	I F文の応用ができる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
		定期試験				
冬学期	第1～2回	I F文の活用	I F文の活用ができる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第3～4回	FOR文とは	FOR文とは何か理解できる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第5～6回	FOR文の基礎	FOR文の基礎を理解できる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第7～8回	FOR文の応用	FOR文の応用ができる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第9～10回	FOR文の活用	FOR文の活用ができる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第11～12回	総合演習(1)	小テストによって理解度を確認できる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第13～14回	総合演習(2)	今までの知識を復習できる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
	第15～16回	総合演習(3)	今までの知識を復習できる。	教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20	
		定期試験				

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
情報処理Ⅱa				グローバル情報工学科 2年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	竹俣一也			
キーワード			科目概要				
情報基礎、ITパスポート			情報処理Ⅱaでは、職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎知識の修得を目指し、コンピュータ内部でのデータ表現、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、情報セキュリティなどの基礎を学習する。これにより、ITパスポート試験取得のための土台を固める。				
教科書		参考書		関連する科目・資格			
「やさしいITパスポート講座」、高橋麻奈、ソフトバンククリエイティブ 「ITパスポート試験 書いて覚える学		「キタミ式イラストIT塾 ITパスポート」、きたみりゅうじ、技術評論社		科目：情報処理Ⅰ、情報処理Ⅱb、計算機システムⅠ 資格：ITパスポート			
評価方法 (％)							
評価項目	学期末試験	演習・宿題	小テスト	学習態度		計	学年評価に対する割合
春学期	40	20	30	10		100	33
夏学期	40	20	30	10		100	17
秋学期	40	20	30	10		100	23
冬学期	40	20	30	10		100	27
学年評価 (評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)							100
備考	<p>成績は「情報処理Ⅱa」と「情報処理Ⅱb」を総合的に評価して「情報処理Ⅱ」として評価する。演習・宿題は学習内容の理解度を促進するために実施する。宿題(課題)は各自で実施し、提出したかどうかの確認のみを行う。なお、期限に遅れた場合は評価しない。宿題(課題)提出後、これらの宿題(課題)を各自で成し遂げたかを調べるために小テスト(ノート課題、提出遅延については評価しない)を実施し、各自の理解度を評価する。さらに期末試験で総合的な理解度を評価する。</p> <p>※欠席・遅刻毎に減点する(15分以上の遅刻は欠席扱いとする)。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>この授業ではITパスポート試験試験範囲の一部を学習します。授業の範囲外についても積極的に勉強し、ITパスポート試験の早期取得をお勧めします。なお、受講上の注意点を以下に示します。これらは必ず守って下さい。</p> <p>① 宿題の提出期限は必ず守ること。 ② 宿題などは完成させてから提出すること。 ③ 授業用ノートとは別に課題提出用ノートを準備すること。</p>							
科目の達成目標							
①	2進数・10進数・16進数の取り扱いが理解できる						
②	コンピュータの構成要素について説明できる						
③	様々な周辺装置の特徴について説明できる						
④	ネットワークの構成について説明できる						
⑤	情報セキュリティについて説明できる						
⑥							
関連する本校の学習・教育目標		創造性、専門力					
問い合わせ・質問先		3階315室(竹俣)					
オフィスアワー		水曜日17:30まで					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1,2回	授業概要	講義の目的を理解する	第1,2回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第3,4回	I Tとコンピュータ (1)	ビットとバイトの概念が分かる。	テキストの該当するページを読む	10	
	第5,6回		2進数と10進数の基数変換の方法が分かる。	第3,4回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第7,8回	I Tとコンピュータ (2)	16進数と10進数の基数変換の方法が分かる。	テキストの該当するページを読む	10	
	第9,10回		2進数同士や16進数同士の加算、減算ができる。 □ 文字の表現方法が分かる。	第7,8回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第11,12回	I Tとコンピュータ (3)	マルチメディアの表現方法が分かる。	テキストの該当するページを読む	10	
	第13,14回		2の補数を用いた負の数の表現方法が分かる。	第11,12回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第15,16回	総合演習	第1回から第14回までの内容を定着させる。	テキストの該当するページを読む	10	
	第17,18回			第15,16回のスライドで説明された宿題をする	10	
	定期試験					
第19,20回	ハードウェアとソフトウェア (1)	コンピュータの構成要素が分かる。	ここまで学んだことを整理する			
第21,22回		CPU・メモリの働きの概要が分かる。	第19,20回のスライドで説明された宿題をする			
第23,24回	ハードウェアとソフトウェア (2)	様々な周辺装置の特徴が分かる。	テキストの該当するページを読む	10		
第25,26回		OSの働きが分かる。	第23,24回のスライドで説明された宿題をする	10		
夏学期	第27,28回	総合演習	第19回から第30回までの内容を定着させる。	テキストの該当するページを読む	10	
	第29,30回			第27,28回のスライドで説明された宿題をする	10	
	定期試験					

秋学期	第31, 32回	ネットワークとセキュリティ (1)	クライアントとサーバの関係が分かる。 転送速度を計算することができる。	テキストの該当するページを読む		
				第31, 32回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第33, 34回			テキストの該当するページを読む	10	
				第33, 34回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第35, 36回			テキストの該当するページを読む	10	
				第35, 36回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第37, 38回	ネットワークとセキュリティ (2)	LANの基本が分かる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第37, 38回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第39, 40回			テキストの該当するページを読む	10	
				第39, 40回のスライドで説明された宿題をする	10	
第41, 42回	総合演習	第31回から第40回までの内容を定着させる。	テキストの該当するページを読む	10		
			第41, 42回のスライドで説明された宿題をする	10		
第43, 44回			ここまで学んだことを整理する	10		
			第43, 44回のスライドで説明された宿題をする	10		
	定期試験					
冬学期	第45, 46回	ネットワークとセキュリティ (3)	電子メールの仕組みが分かる。 Webの仕組みが分かる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第45, 46回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第47, 48回			テキストの該当するページを読む	10	
				第47, 48回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第49, 50回	ネットワークとセキュリティ (4)	グローバルIPとプライベートIPの違いが分かる。 ネットワークにおける脅威が分かる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第49, 50回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第51, 52回			テキストの該当するページを読む	10	
				第51, 52回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第53, 54回	ネットワークとセキュリティ (5)	セキュリティに関連した技術の一部をプログラミングできる	テキストの該当するページを読む	10	
				第53, 54回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第55, 56回			テキストの該当するページを読む	10	
				第55, 56回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第57, 58回	総合演習	第45回から第56回までの内容を定着させる。	テキストの該当するページを読む	10	
	第57, 58回のスライドで説明された宿題をする			10		
第59, 60回	ここまで学んだことを整理する			10		
	定期試験					

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
情報処理Ⅱb				グローバル情報工学科 2年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	谷口萌未			
キーワード		科目概要					
表計算、関数、データベース		ビジネス活動に備えておくべき情報技術に関する基礎知識の修得を目標に、表計算、データベースの基礎を学習する。これらの知識を活用できるように、ビジネスソフトウェアであるExcelの基本操作スキルを身に付けることにより、ITパスポート試験やMOS試験に備える。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①「30時間でマスター Excel2010」、実教出版 ②「やさしいITパスポート講座」、高橋麻奈、ソフトバンククリエイティブ					科目：情報処理Ⅱa 資格：MOS (Excel) 試験 IT パスポート試験		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	小テスト	課題・宿題	授業態度		計	学年評価に対する割合
春学期	40	20	30	10		100	30
夏学期	50		40	10		100	15
秋学期	40	20	30	10		100	20
冬学期	40	20	30	10		100	35
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。 定期試験及び小テストは学習の成果を測定することを主とする。 課題・宿題は提出状況と完成度を測定するものである。 授業態度は授業への積極的な参加を測定する。						
受講上のアドバイス							
1. 予習、復習を必ず行うこと。 2. 授業中、まじめに講義を聞き、しっかり演習を行うこと。 3. 不明な点や分からないことがあれば、溜めずに先生に聞くこと。 4. 提出物は〆切厳守を徹底すること。							
科目の達成目標							
①	Excelで表を素早く作成できる。						
②	Excelでグラフを作成できる。						
③	Excelの一般的な関数を使える。						
④	Excelの検索、抽出、集計処理ができる。						
⑤	データベースの形式を理解し、簡単な統計処理ができる。						
⑥	習ったテクニックを実問題に応用できる。						
関連する本校の学習・教育目標			E：専門力、B：創造性				
問い合わせ・質問先			31号館(207)				
オフィスアワー			随時				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段: 予習・下段: 復習)	時間	点検	
春学期	第1・2回	ガイダンス	授業の範囲、概要、到達目標を理解できる。 授業の範囲、概要、到達目標を確認する。	15		
	第3・4回	Excelの基礎 知識・操作	Excelの基本操作ができる。	教科書 pp.22-45を読む。	30	
				教科書実習問題1～4を行う。	60	
	第5・6回	ワークシートの 活用(1)	編集機能を活用し、データ加工ができる。	教科書 pp.48-66を読む。	15	
				教科書実習問題5,6を行う。	30	
	第7・8回			教科書 pp.67-72を読む。	15	
				教科書実習問題7～10を行う。	60	
	第9・10回			教科書 pp.74-81を読む。	15	
				教科書実習問題11～14を行う。	60	
	第11・12回	ワークシートの 活用(2)	絶対参照、簡単な関数等を利用できる。	教科書 pp.84-87を読む。	15	
				教科書実習問題15,16を行う。	30	
	第13・14回			教科書 pp.90-103を読む。	15	
				教科書実習問題17～20を行う。	60	
	第15～18回	総合演習 (1)	実問題に適應できる。	実習問題の確認による復習をする。	90	
		定期試験	(試験)			
第19・20回	春学期点検	学習の達成度を確認できる。	試験問題を見直し、標準解答を作る。	60		
夏学期	第1・2回	グラフ作成	様々なグラフを作成・加工できる。	教科書 pp.105-121を読む。	15	
				教科書実習問題21～26を行う。	90	
	第3・4回			教科書 pp.124-145を読む。	15	
				教科書実習問題27～33を行う。	120	
	第5・6回	データベース	データベースの基本操作ができる。	教科書 pp.146-170を読む。	30	
				教科書実習問題34,35を行う。	30	
	第7・8回			教科書 pp.172-178を読む。	20	
				教科書実習問題36を行う。	15	
第9・10回	まとめ	夏学期で学習した内容をまとめることができる。	実習問題の確認による復習をする。	90		
	定期試験	(試験)				

秋学期	第1・2回	Excelの応用 (1)	順位付けなどの処理が分かる。 行・列の検索ができる。	教科書 pp.180-182を読む。	20	
				教科書実習問題37を行う。	15	
	第3・4回			教科書 pp.184-190を読む。	30	
				教科書実習問題38～42を行う。	60	
	第5・6回	Excelの応用 (2)	文字操作ができる。	教科書 pp.194-197を読む。	20	
				教科書実習問題43,44を行う。	20	
	第7・8回	Excelの応用 (3)	DB関数と条件付き関数の使い分けができる。	教科書 pp.200-208を読む。	30	
				教科書実習問題45を行う。	15	
	第9・10回			教科書 pp.210-213を読む。	15	
				教科書実習問題46を行う。	20	
第11・12回			講義資料を読む。	15		
			配布された演習問題を行う。	30		
第13・14回	Excelの応用 (4)	シート間の操作ができる。	教科書 pp.214-220を読む。	20		
			教科書実習問題47を行う。	15		
	定期試験	(試験)				
冬学期	第1・2回	表計算ソフト	表計算のしくみを理解できる。 ITパスポートの問題を理解できる。	教科書の関連ページを読む。	20	
				教科書過去問題を行う。	20	
	第3・4回	データベースの概要	データベースの概要を理解できる。	教科書の関連ページを読む。	20	
				教科書過去問題を行う。	20	
	第5・6回	データベースの演算	データベースの基本機能を理解できる。	教科書の関連ページを読む。	20	
				教科書過去問題を行う。	20	
	第7・8回	データベースの検索	I Tパスポートの問題を理解できる。	教科書の関連ページを読む。	20	
				教科書過去問題を行う。	20	
第9～14回	総合演習 (2)	様々な帳票を作れる。	ネット上の関連内容を調べる。	180		
第15・16回	まとめ	冬学期に勉強した内容をまとめられる。	実習問題の確認による復習をする。	90		
	定期試験	(試験)				

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
創造実験Ⅱ				グローバル情報学科 2年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	実技	竹俣一也 今澤明男 谷口萌未 サラ・ジャクソン			
キーワード		科目概要					
Robot, LEGO Mindstorms, Java Web Pages, HTML, CSS		Students will learn the basics of general programming through the development of web pages and the creation of LEGO Mindstorms control programs. In the LEGO Mindstorms programming experiments, students will learn the basics of structured programming for making a robot move. For web page development, the students will learn the basic structure of web pages while creating HTML documents.					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
なし		なし		科目：創造実験Ⅰ・Ⅲ、 コンピュータ演習Ⅰ			
評価方法 (％)							
評価項目	Assignments	Presentations	Programs	Participation		計	学年評価に対する割合
春学期	80			20		100	25
夏学期	70	10		20		100	25
秋学期	40		40	20		100	25
冬学期	40		40	20		100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<p>(前半グループ: 春7週、春3週+夏5週 後半グループ: 秋7週、冬8週で評価)</p> <p>In the web page development class, grading of assignments and projects will be done based on effort, correctness and adherence to standards and whether the students fulfilled the requirements of the assignment. Grading standards will be cumulative and correct use of content that the students learn earlier in the semester will be a requirement for later assignments and projects. There will be a presentation for the final website project at the end of the semester that will be evaluated based on presentation skill and content. Participation will be evaluated based on attendance record, active listening and participation in class activities.</p> <p>In the robot building class, students will be evaluated based on their written programs and reports, submitted throughout the class. Programs will be graded according to effective use of the topics presented in class. Reports will be used for feedback on student progress and communication ability. Finally, participation will be evaluated based on student attendance and attention to bringing their laptops and</p>						
受講上のアドバイス							
<p>Students should make an effort to do the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Be on time for class • Listen attentively to the teachers' lecture • Actively participate in class activities • Bring their computers and tools for writing to class every week • Ask for help when they are having trouble <p>The class will be split into two groups. Sara Jackson and Moemi Taniguchi will teach the web page group each semester. Kazuya Takemata and Akio Imazawa will teach the robot group each semester.</p>							
科目の達成目標							
①	The students can create basic web pages using HTML.						
②	The students can change the design of web pages using CSS.						
③	The students can build maze solving robots.						
④	The students can control the LEGO NXT robot using a JAVA programming.						
⑤							
⑥							
関連する本校の学習・教育目標		創造性、専門力					
問い合わせ・質問先		Takemata: 31.315, Sara & Taniguchi: 31.207					
オフィスアワー		Takemata: Wednesday 8th period, Sara & Taniguchi: by appointment.					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題	時間 (分/回)	点検
春 学 期	第1,2回	Course Introduction and Software Install	Students understand the goals of the course, requirements and at a high level how a web page is made. Review course overview	10	
	第3,4回	Basic HTML Introduction	Students can understand the basics of HTML tag structure. Preview Basic HTML content Review Basic HTML content	10 10	
	第5,6回	Block Elements Tables and Images	Students can use the Table and Image tags. Preview what an HTML Block Element is. Review Table and Image tag use.	10 10	
	第7,8回	Inline Elements and Bad Tags	Students understand how to use inline elements and understand what HTML elements should not be used. Preview what an HTML Inline Element is Review HTML Inline Element Use.	10 10	
	第9,10回	CSS Introduction	Students have a basic understanding of what CSS can do and how it is integrated into the page. Preview What CSS is used for. Review how to add CSS to a web page.	10 10	
	第11,12回	CSS Classes and IDs	Students can understand how to apply CSS to HTML elements using classes or IDs. Preview what CSS classes and IDs are. Review how to use CSS classes and IDs	10 10	
	第13,14回	Div Introduction	Students understand how to use Div to logically divide their page. Preview what the DIV tag is used for. Review how to use the DIV tag in conjunction with CSS	10 10	
	第15,16回	CSS Positioning 1	Students understand basic positioning using CSS Preview what kind of positioning you can do with CSS Review Basic CSS positioning.	10 10	
	第17,18回	CSS Positioning 2	Students can understand how to position elements on the page using CSS. Recall previous week's content about CSS positioning. Review the remainder of basic CSS positioning content.	10 10	
	第19,20回	Original Web Page Concept Planning	Students can make a concept document for their original web page. Consider Ideas for an Original Web Page. Review your Original Web Page Concept.	10 10	
夏 学 期	第21,22回	Original Web Page Development	Students can make an original web page. Recall your Original Web Page Concept and your progress to date on the implementation. Review progress to date on Original Web Page implementation and the remaining work to be	10 10	
	第23,24回	Original Web Page Development	Students can make an original web page. Recall your Original Web Page Concept and your progress to date on the implementation. Review progress to date on Original Web Page implementation and the remaining work to be	10 10	
	第25,26回	Original Web Page Development	Students can make an original web page. Recall your Original Web Page Concept and your progress to date on the implementation. Review progress to date on Original Web Page implementation and the remaining work to be	10 10	
	第27,28回	Original Web Page Development	Students can make an original web page and a presentation about that web page. Recall presentation skills. Review presentation skills and prepare for presentation.	10 10	
	第29,30回	Original Web Page Presentations	Students can present their web page to the class. Review Presentation Skills before class.	10 10	

秋学期	第31, 32回	Introduction and Equipment	Cover the important points and materials for LEGO robot programming.	Take note of new English words from the class.	10		
	第33, 34回	Building the Basic Robot	Count the LEGO parts and build the basic driving robot.	Review the outline of the class. Take note of new English words from the class.	10 10		
	第35, 36回	Processing Environment	Setup the programming environment and connect to the NXT.	Review the installation of Processing on the computer. Take note of new English words from the class.	10 10		
	第37, 38回	Basic Controls	<ul style="list-style-type: none"> Practice using motor functions to control the robot's movement. Record values for different degrees of steering with two motors. 	Recall how to connect and run a program on the NXT. Take note of new English words from the class.	10 10		
	第39, 40回			Review notes about controlling the NXT robot. Take note of new English words from the class.	10 10		
	第41, 42回	Inputs & Outputs	<ul style="list-style-type: none"> Capture input from sensors and display it on the screen. Measure and record values for the light sensor; create a report. 	Review notes about controlling the NXT robot. Take note of new English words from the class.	10 10		
	第43, 44回			Review notes about controlling the NXT robot. Write the report of sensors and measurements.	10 10		
					10		
	冬学期	第45, 46回	Conditional Behavior	<ul style="list-style-type: none"> Create conditional statements that change robot behavior. Use continuous loops for repeatedly checking input. 	Review notes about controlling the NXT robot. Take note of new English words from the class.	10 10	
		第47, 48回			Review notes about controlling the NXT robot. Take note of new English words from the class.	10 10	
第49, 50回		Maze Navigation Challenge	<ul style="list-style-type: none"> Decide on sensors to use for navigating a given maze. Design and build a robot to find a path through the maze. Program the robot with effective values for inputs and outputs. Test the robot in the maze and improve its performance. 	Review notes about controlling the NXT robot. Work on the design of the maze navigation robot.	10 10		
第51, 52回				Prepare to continue work on the maze navigation robot. Work on the design of the maze navigation robot.	10 10		
第53, 54回				Prepare to continue work on the maze navigation robot. Think about improvements to the maze navigation robot.	10 10		
第55, 56回				Prepare to continue work on the maze navigation robot. Think about improvements to the maze navigation robot.	10 10		
第57, 58回		Time Trial	Race the robot through the maze and write a report.	Prepare the robot for a time trial maze run. Write the report of the maze navigation robot.	10 10		
第59, 60回		Self-evaluation/Closing	Prepare LEGO kits for the next class.	Finish and turn in the report of the maze robot.	10		

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
外国事情				グローバル情報工学科 2年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	松下 臣仁			
キーワード		科目概要					
文化、暮らし、習慣、多様性		英語で書かれたテキストおよび関連する映像などを通じて、世界の主要な国、都市の文化、暮らし、習慣などを日本との違いに注目しながら学び、日本以外の国に対する理解と知識を深め、世界における文化の多様性を実感する機会とする。また各自が関心を持つ国、都市について調べ、レポートにまとめプレゼンテーションを行うことで、学生同士による知識の共有を図る。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
① 「On Board for More World Adventures」 Scott Berlin, Megumi Kobayashi、KINSEIDO			なし		科目：日本文化		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	小テスト	発表・レポート	課題	授業態度	計	学年評価に対する割合
春学期	40	20		30	10	100	30
夏学期	40	20	20	10	10	100	20
秋学期	40	20		30	10	100	25
冬学期	40	20	20	10	10	100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	定期試験、小テストは授業で学んだことについての内容理解度、単語習得度を測るものとする。発表・レポートは、パワーポイント発表及び発表内容のレポート提出を合わせて評価する。課題は、各ユニットにおける課題プリントの提出とする。授業態度は、積極的な授業参加、出席状況を評価する。						
受講上のアドバイス							
日本の外に目を向けて、様々な国の習慣、歴史的背景、特徴などを深く学び、視野を広げてモノゴトを捉えることを心がけてください。 発表は、1人または2人で行う。1人の場合は3分～5分、2人の場合は5分～7分の発表時間とします。							
科目の達成目標							
①	世界の都市に関する文化、社会、習慣に関する基本的なキーワードの英語表現を理解できる。						
②	世界の都市に関する英文の大意について理解することができる。						
③	世界の都市に関する視覚教材を通して、重要な情報を聞きとることができる。						
④	世界の都市に関する情報を収集し、他者へ伝えるために効果的な資料を作成することができる。						
⑤	世界の都市に関する特徴を認識することができる。						
⑥	日本と他の国との違いについて認識し他者へ伝えることができる。						
関連する本校の学習・教育目標			国際性				
問い合わせ・質問先			2階211室				
オフィスアワー			月～金 16:30～17:30				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～2回	ガイダンス	世界の都市について、興味ある事柄を伝えることができる。	発表内容に関するアウトラインを作成する	15	
	第3～7回	Australia	オーストラリアに関する英語表現を認識できる。 オーストラリアに関する英文の大意を読解できる。	教科書 pp. 2を熟読する	15	
				教科書p. 1-5の重要単語を習得する。	20	
	第8～12回	Indonesia	インドネシアに関する英語表現を認識できる。 インドネシアに関する英文の大意を読解できる。	教科書 pp. 8を熟読する	15	
				教科書p. 7-11の重要単語を習得する。	20	
	第13～17回	Singapore	インドネシアに関する英語表現を認識できる。 インドネシアに関する英文の大意を読解できる。	教科書 pp. 14を熟読する	15	
				教科書p. 13-17の重要単語を習得する。	20	
	第18～20回	China	中国に関する英語表現を認識できる。	教科書 pp. 20を熟読する	15	
				教科書p. 19-23の重要単語を習得する。	20	
		定期試験				
第19回	自己点検	定期試験の見直し自己点検	試験で間違った箇所を見直す			
第20回	China	中国に関する英文の大意を読解できる。	教科書 pp. 20を熟読する	20		
夏学期	第1～5回	Mexico	メキシコに関する英語表現を認識できる。 メキシコに関する英文の大意を読解できる。	教科書 pp. 32を熟読する	15	
				教科書p. 31-35の重要単語を習得する。	20	
	第6～10回	Germany 発表	ドイツに関する英語表現を認識できる。 ドイツに関する英文の大意を読解できる。 割り当てられた国に関する発表	教科書 pp. 38を熟読する 発表準備をする	30	
				教科書p. 37-41の重要単語を習得する。 レポート作成	40	
	定期試験					

秋学期	第1～5回	Finland	フィンランドに関する英語表現を認識できる。 フィンランドに関する英文の大意を読解できる。	教科書 pp. 44を熟読する	15	
				教科書p. 43-47の重要単語を習得する。	20	
	第6～10回	Spain	スペインに関する英語表現を認識できる。 スペインに関する英文の大意を読解できる。	教科書 pp. 56を熟読する	15	
				教科書p. 55-59の重要単語を習得する。	20	
	第11～14回	Greece	ギリシャに関する英語表現を認識できる。 ギリシャに関する英文の大意を読解できる。	教科書 pp. 62を熟読する	15	
教科書p. 61-65の重要単語を習得する。				20		
		定期試験				
冬学期	第1回	自己点検	定期試験の見直し自己点検			
	第2～6回	Kenya	ケニアに関する英語表現を認識できる。 ケニアに関する英文の大意を読解できる。	試験で間違った箇所を見直す	10	
				教科書 pp. 68を熟読する	15	
	第7～11回	Morocco	モロッコに関する英語表現を認識できる。 モロッコに関する英文の大意を読解できる。	教科書p. 67-71の重要単語を習得する。	20	
				教科書 pp. 74を熟読する	15	
	第12～16回	Kuwait 発表	クウェートに関する英語表現を認識できる。 クウェートに関する英文の大意を読解できる。 各自発表テーマを設定	教科書p. 73-77の重要単語を習得する。	20	
教科書 pp. 86を熟読する 発表準備				30		
		定期試験				
			教科書p. 85-89の重要単語を習得する。 発表レポート作成	40		

点検（自己評価）：授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
電気電子工学 I				グローバル情報工学科 2年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	履修 2	通年	講義	表 義憲			
キーワード		科目概要					
電圧、電流、抵抗、電力、交流、周波数、位相、ダイオード、トランシスタ、F E T		コンピュータをはじめ全ての電気機器は電気の物理現象を利用している。それらの電気現象はどのようにして起こるかを理解するとともに、電気現象を量的に扱う方法を学ぶ。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「精選電気基礎 新訂版」実教出版 ②「電子技術」実教出版		①「電気基礎 I」実教出版		科目：電気電子工学Ⅱ、システム制御 資格：第二種電気工事士、基本情報技術者			
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	小テスト	演習・課題	授業態度		計	学年評価に対する割合
春学期	50	20	20	10		100	25%
夏学期	50	20	20	10		100	25%
秋学期	50	20	20	10		100	25%
冬学期	50	20	20	10		100	25%
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	各自がノートを用意し、授業中はノートをとる。毎回の小テストをノートに解答し、理解の程度を毎回評価する。演習や課題をノートに解答し、ノートは授業終了時に毎回提出する。定期試験や小テスト、演習、課題、授業態度などを総合して評価する。						
受講上のアドバイス							
授業中は各自がノートをとると講義に集中できる。現象を十分理解した法則は忘れません。課題や小テスト、紙上の実験といわれる演習をノートに解答して、毎回、授業終了時に提出する。ノートは年度末に小テスト・演習・課題・宿題のエビデンスとして回収する。							
科目の達成目標							
①	オームの法則を利用して計算できる。						
②	抵抗の直並列接続について理解できる。						
③	電圧・電流による仕事や電力、電力量を理解できる。						
④	正弦波交流の周期と周波数、位相を理解できる。						
⑤	ダイオードの動作原理を理解できる。						
⑥	F E Tの構造と記号、動作原理を理解できる。						
関連する本校の学習・教育目標	基礎力、専門力						
問い合わせ・質問先	2階31-218室(非常勤講師室) 不在時は2階31-208室・土地先生まで						
オフィスアワー	水曜日 7限						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 分/回	点検
春 学 期	第1～2回	ガイダンス 基礎数学	ノートの取り方と基礎数学が理解できる。 演習問題を解答する。	10	
	第3～4回	電気回路	電気回路とは何か理解できる。 教科書P1～2を読み理解する。 節末問題P9-2を解答する。	10 10	
	第5～6回	電流と電圧	電流や電圧、抵抗を理解する。 教科書P3～4を読み理解する。 節末問題P9-3を解答する。	10 10	
	第7～8回	オームの法則	オームの法則を利用し計算できる。 教科書P5～6を読み理解する。 節末問題P9-5を解答する。	10 10	
	第9～10回	電圧降下	抵抗の電圧降下を理解できる。 教科書P7～8を読み理解する。 節末問題P9-7を解答する。	10 10	
	第11～12回	直列接続	抵抗の直列接続を理解できる。 教科書P10～11を読み理解する。 節末問題P20-1を解答する。	10 10	
	第13～14回	並列接続	抵抗の並列接続を理解できる。 教科書P12～13を読み理解する。 節末問題P20-4を解答する。	10 10	
	第15～16回	直並列接続	抵抗の直並列接続を理解できる。 教科書P15～16を読み理解する。 演習問題(1)1～3を解答する。	10 20	
	第17～18回	まとめと演習	春学期で学習した範囲のまとめと演習ができる。 演習問題(1)4～6を解答する。 演習問題(1)7～9を解答する。	20 20	
		定期試験			
夏 学 期	第19～20回	自己点検 抵抗率	春学期の学習点検を行う。抵抗の抵抗率や導電率が理解できる。 教科書P22～23を読み理解する。 節末問題P27-2を解答する。	10 10	
	第1～2回	抵抗の温度係数	温度上昇による抵抗の変化が理解できる。 教科書P24～25を読み理解する。 節末問題P27-4を解答する。	10 10	
	第3～4回	電力	電圧・電流による仕事や電力を理解できる。 教科書P26～28を読み理解する。 節末問題P35-2を解答する。	10 10	
	第5～6回	電力量	電圧・電流による仕事量・エネルギー量が理解できる。 教科書P28～29を読み理解する。 節末問題P35-4を解答する。	10 10	
	第7～8回	ジュールの法則	電流によって発生する熱量が理解できる。 教科書P31～32を読み理解する。 演習問題(2)1～3を解答する。	10 20	
	第9～10回	まとめと演習	夏学期で学習した範囲のまとめと演習ができる。 演習問題(2)4～6を解答する。 演習問題(2)7～9を解答する。	20 20	

		定期試験				
		自己点検	夏学期の学習点検を行う。			
秋学期	第1～2回	フレミングの左手の法則	フレミングの左手の法則が理解できる。	教科書P63～64を読み理解する	10	
				節末問題P71-1を解答する。	10	
	第3～4回	コイルに働くトルク	コイルに働く回転力を理解できる	教科書P65～66を読み理解する	10	
				節末問題P71-2を解答する。	10	
	第5～6回	電動機の原理	モーターの原理を理解できる。	教科書P67～68を読み理解する	10	
				節末問題P71-3を解答する。	10	
	第7～8回	正弦波交流	正弦波交流の発生を理解できる。	教科書P113～114を読み理解する	10	
				節末問題P121-2を解答する。	10	
第9～10回	周期と周波数	正弦波交流の周期と周波数を理解できる。	教科書P115～116を読み理解する	10		
			節末問題P121-3を解答する。	10		
第11～12回	位相と位相差	正弦波交流の位相と位相差を理解できる。	教科書P117～119を読み理解する	10		
			演習問題(3)1～3を解答する。	20		
第13～14回	まとめと演習	秋学期で学習した範囲のまとめと演習ができる。	演習問題(3)4～6を解答する。	20		
			演習問題(3)7～9を解答する。	20		
		定期試験				
冬学期	第1～2回	自己点検 原子と電子	秋学期の学習点検を行う。価電子・自由電子・正孔が理解できる	教科書P11～13を読み理解する	10	
				章末問題P34-1を解答する。	10	
	第3～4回	半導体	N形とP形半導体を理解できる。	教科書P14～15を読み理解する	10	
				章末問題P34-2を解答する。	10	
	第5～6回	ダイオード	ダイオードの動作原理を理解できる	教科書P16～18を読み理解する	10	
				章末問題P34-3を解答する。	10	
	第7～8回	トランジスタ	トランジスタの動作原理を理解できる。	教科書P20～22を読み理解する	10	
				章末問題P34-5を解答する。	10	
	第9～10回	電界効果トランジスタ	電界効果トランジスタの動作原理を理解できる。	教科書P24～25を読み理解する	10	
				章末問題P34-6を解答する。	10	
	第11～12回	FETの構造と動作	FETの種類と構造と動作原理を理解できる。	教科書P26～28を読み理解する	10	
				章末問題P34-7を解答する。	10	
	第13～14回	各種半導体素子	各種の半導体素子の動作原理を理解できる。	教科書P29～32を読み理解する	10	
				演習問題(4)1～3を解答する。	20	
第15～16回	まとめと演習	冬学期で学習した範囲のまとめと演習ができる。	演習問題(4)4～6を解答する。	20		
			演習問題(4)7～9を解答する。	20		

	定期試験				
	自己点検	冬学期の学習点検を行う。			

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
日本文化				グローバル情報工学科 2年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
選択	履修 2	通年	講義	松下 臣仁				
キーワード		科目概要						
日本の文化、社会習慣、英語で紹介、文化比較、アイデンティティー		日本の文化、風習、社会状況、人々などについて学習する。日本人が受け継いできた文化やすぐれた社会習慣などの理解を深めながら、トピックに応じて日本文化を英語で世界の人々に紹介する方法についても学習する。また、アメリカ文化と比較しながら日本についての理解を深め、日本人としてのアイデンティティーを高めること目的とする。						
教科書		参考書		関連する科目・資格				
① 「Spotlight on America and Japan」 Joshua Cohenほか3名、NAN' UN-DO		なし		科目：外国事情				
評価方法								
							(%)	
評価項目	定期試験	小テスト	課題	授業態度			計	学年評価に対する割合
春学期	40	20	30	10			100	30
夏学期	40	20	30	10			100	20
秋学期	40	20	30	10			100	25
冬学期	40	20	30	10			100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)								100
備考	定期試験、小テストは授業で学んだことについての内容理解度、単語習得度を測るものとする。 課題は、各ユニットにおける発表や課題プリントの提出とする。 授業態度は、積極的な授業参加、出席状況を評価する。							
受講上のアドバイス								
普段何気なく生活しているなかに、日本独特の文化や風習を見かけることができます。気になることをノートに書き留めたり、意識することでより日本について再認識することができると思います。日本と世界の事象の違いを理解し、それらを受け入れていく姿勢をもつことをすすめます。								
科目の達成目標								
①	日本の文化、社会、習慣に関する基本的なキーワードの英語表現を理解できる。							
②	日本の文化について、英語表現のキーワードを用いて他者へ伝えることができる。							
③	異なる文化背景のマナーの違いを理解し、日本のマナーについて説明ができる。							
④	様々な文化的情報を収集し、他者へ伝えるために効果的な資料を作成することができる。							
⑤	自分自身や日本についての理解を深め、それらを英語で伝えることができる。							
⑥	文化的内容を含む英文の大意について理解することができる。							
関連する本校の学習・教育目標		国際性						
問い合わせ・質問先		2階211室						
オフィスアワー		月～金 16:30～17:30						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～4回	Cherry Blossoms①	日本におけるサクラが象徴することについて英語で説明できる。 教科書 pp. 6-7を熟読する	15		
	第5～6回	Cherry Blossoms②	サクラ、自然に関する英語表現を認識できる。 サクラに関する情報をまとめ、他者へ伝えることができる。 日本、世界の桜について調べ発表準備をする。 教科書p. 6-7の重要単語を習得する。	15 20		
	第7～10回	Names①	英語による名前の呼び方の違いについて認識できる。 教科書 pp. 10-11を熟読する	15 10		
	第11～12回	Names②	名前に関する英語表現を認識できる。 自分の名前の由来を英語で説明できる。 自分の名前の由来を英語で説明できる。 教科書 pp. 10-11の重要単語を習得する。	15 20		
	第13～16回	Shaking Hands ①	様々な挨拶の仕方の違いを認識できる。 教科書 pp. 30-31を熟読する	15 10		
	第17～18回	Shaking Hands ②	英語で自己紹介ができる。 挨拶に関する英語表現を認識できる。 自己紹介の内容について考える。 教科書 pp. 14-15の重要単語を習得する。	10 20		
		定期試験				
	第19～20回	自己点検	春学期で学習した内容の確認及び自己点検	試験で間違った箇所を見直す		
	夏学期	第1～2回	Movies①	日米における映画の楽しみ方の違いについて説明できる。 教科書 pp. 22-23を熟読する	15 10	
		第3～4回	Movies②	映画に関する英語表現を認識できる。 日本とアメリカの映画鑑賞に関する違いをまとめる 教科書 pp. 22-23の重要単語を習得する	10 20	
第5～6回		Karaoke①	日米におけるカラオケの楽しみ方の違いについて説明できる。 教科書 pp. 26-27を熟読する	15 10		
第7～8回		Karaoke②	カラオケに関する英語表現を認識できる。 自身のカラオケ・音楽にまつわる体験をまとめる 教科書 pp. 26-27の重要単語を習得する	10 20		
第9～10回		Sports	スポーツに関する英語表現を認識できる。 教科書 pp. 14-15を熟読する	15 10		
		定期試験				

秋学期	第1～2回	DRIVING OR PUBLIC TRANSPORTATION①	日米の交通事情の違いについて説明できる。	教科書 pp. 58-59を熟読する	15	
				課題プリントを解く	10	
	第3～4回	DRIVING OR PUBLIC TRANSPORTATION②	他国の公共交通機関の特徴について説明できる。	日本と世界の交通事情に調べ、発表準備をする	15	
				教科書 pp. 58-59の重要単語を習得する	20	
	第5～6回	AMERICAN FOOD	ファーストフードの特徴を英語で説明できる。	教科書 pp. 62-63を熟読する	15	
				課題プリントを解く	10	
冬学期	第7～10回	Japanese Food	和食の特徴について英語で説明できる。	和食の特徴についてまとめる	10	
				教科書 pp. 62-63の重要単語を習得する	20	
	第11～14回	ANIME IN THE USA	世界で認識されている日本のポップカルチャーについて英語で説明できる。	教科書 pp. 70-71を熟読する	15	
				教科書 pp. 70-71の重要単語を習得する	20	
		定期試験				
冬学期	第1回	自己点検	秋学期で学習した内容の確認及び自己点検			
				試験で間違った箇所を見直す		
	第2～4回	POLITENESS①	日米における食事のマナーの違いについて説明できる。	教科書 pp. 82-83を熟読する	15	
				課題プリントを解く	10	
	第5～6回	POLITENESS②	日本におけるマナーについて英語で説明できる。	日本の特徴的なマナーについて調べる	15	
				教科書 pp. 82-83の重要単語を習得する	20	
	第7～8回	BATHROOMS: WET OR DRY?①	日米のバスルームの違いについて英語で説明できる。	教科書 pp. 98-99を熟読する	15	
				課題プリントを解く	10	
	第9回	Traditional Japanese Houses	伝統的な日本家屋に関する英語表現を認識できる。	課題プリントを熟読する	10	
				日本家屋に関する英語表現を習得する。	15	
第10～12回	Japanese Cultures①	日本特有な文化、風習について情報を収集し、まとめることができる。	日本の伝統的な事柄について調べる	15		
			調べた情報のポイントを簡潔にまとめる。	10		
第13～14回	Japanese Cultures②	日本特有な文化、風習について英語で説明することができる。	伝えたい内容に関する英語表現を調べる。	15		
			情報を伝えたい順序にまとめる。	15		
第15～16回	Japanese Cultures③	日本特有な文化、風習について英語で効率的に伝える資料を作成することができる。	情報を録音する。	20		
			作成資料を点検する。	10		
	定期試験					

点検（自己評価）：授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
国語Ⅲ				グローバル情報工学科 3年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	黒田譜美			
キーワード		科目概要					
思考力 読解力 記述力		現代文では作品の分析・読解方法を習得し、多角的観点から表現されている思考・感情を理解する。また目的に応じて効果的な形式方法で自己の考えを客観的・論理的に表現する。古典・漢文では、作品内容を的確に捉え、そこに表れた人間、社会、自然に対する思想や感情を読み取ることを目的とする。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「精選現代文B」中島国彦、明治書院 ②「高等学校古典B」久保田淳、明治書院 ③「新国語総合ガイド」京都書房		①「書き込み式漢字ベーシック」明治書院		科目：国語Ⅰ、国語Ⅱ、日本語スキルズ、文化・芸術・思想Ⅲ 資格：日本語検定			
評価方法 (％)							
評価項目	定期試験	小テスト	課題	学習態度		計	学年評価に対する割合
春学期	60	15	20	5		100	25%
夏学期	60	15	20	5		100	25%
秋学期	60	15	20	5		100	25%
冬学期	60	15	20	5		100	25%
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	成績は定期試験・小テスト・課題・レポート・学習態度等を総合的に判断して評価する。						
受講上のアドバイス							
<ul style="list-style-type: none"> ・ノートは板書したものだけではなく、口頭での説明も書くようにすること。 ・課題は必ず実行すること。 ・辞書は必ず用意すること。また、辞書を常に引くように心がけ、知らない言葉を確認し、着実に身に付けること。 ・対象作品は徹底的に読み込むこと。 ・さまざまなジャンルの書物を読むよう心がけること。 							
科目の達成目標							
①	文章の構成・展開の特色を把握し、正確に読解できる。						
②	古典文藝を正確に読解することができる。						
③	漢文を正確に訓読し、内容を理解できる。						
④							
⑤							
⑥							
関連する本校の学習・教育目標		人間性					
問い合わせ・質問先		1階104室 (教員室)					
オフィスアワー		月曜16:30～17:30					



回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検
春学期	第1回	読解・分析について	読解・分析の方法論を理解できる。 読解・分析法をノートで確認し理解する。	0 15	
	第2～3回	評論「脳の中の古い水路」Ⅰ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。 作品を読解する。 分析された事項をノートで確認し理解する。	15 15	
	第4～5回	評論「脳の中の古い水路」Ⅱ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。 作品の要旨をまとめる。 分析された事項をノートで確認し理解する。	15 15	
	第6～7回	評論「脳の中の古い水路」Ⅲ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。 作品の主題を設定する。 分析された事項をノートで確認し理解する。	15 15	
	第8～9回	評論「脳の中の古い水路」Ⅳ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。 作品の主題を再検討する。 第1～9回の内容を整理し、理解・検討する。	15 15	
	第10～11回	評論「「である」ことと「すること」Ⅰ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。 作品を読解する。 語句の整理、作者の年譜的事実を把握する。	15 15	
	第12～13回	評論「「である」ことと「すること」Ⅱ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。 作品を読解する。 分析された事項をノートで確認し理解する。	15 15	
	第14～16回	評論「「である」ことと「すること」Ⅲ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。 作品の要旨をまとめる。 分析された事項をノートで確認し理解する。	15 15	
	第17～19回	評論「「である」ことと「すること」Ⅳ	構成、展開の特色を把握し、正確に分析できる。 作品の主題を再検討する。 第10～17回の内容を整理し、理解・検討する。	15 15	
		定期試験			
第20回	答案返却 自己点検	答案返却・解説および修学成果について、自己点検評価する。		0 15	
夏学期	第1～2回	小説「檸檬」Ⅰ	近代文学の概略と作者について理解できる。 「新国語総合ガイド」と教科書本文を読み、確認する。 語句の整理、作者の年譜的事実を把握する。	15 15	
	第3～4回	小説「檸檬」Ⅱ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。 読解された事項をノートで確認し理解する。	15 15	
	第5～6回	小説「檸檬」Ⅲ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。 読解された事項をノートで確認し理解する。	15 15	
	第7～8回	小説「檸檬」Ⅳ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。 読解された事項をノートで確認し理解する。	15 15	
	第9～10回	小説「檸檬」Ⅴ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。 作品の主題を検討する。 第1～10回の内容を整理し、理解・検討する。	15 15	
		定期試験			

秋学期	第1～2回	「方丈記」Ⅰ	「ゆく河の流れ」を正確に読解できる。	昨年度の学習内容を確認する。	15	
				作者の年譜的事実、時代背景を理解する。	15	
	第3～4回	「方丈記」Ⅱ	「ゆく河の流れ」を正確に読解できる。	教科書p33～34を読解し、語句を調べ口語訳をする。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第5～6回	「方丈記」Ⅲ	「ゆく河の流れ」を正確に読解できる。	本文を再度読解する。	15	
				第1～6回の内容を整理し、理解・検討する。	15	
	第7～8回	「源氏物語」Ⅰ	「光源氏誕生」を正確に読解できる。	本文第1段落を読解し、語句を調べ口語訳をする。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第9～10回	「源氏物語」Ⅱ	「光源氏誕生」を正確に読解できる。	本文第1段落を読解し、語句を調べ口語訳をする。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第11～12回	「源氏物語」Ⅲ	「光源氏誕生」を正確に読解できる。	本文第2段落を読解し、語句を調べ口語訳をする。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第13～14回	「源氏物語」Ⅳ	「光源氏誕生」を正確に読解できる。	本文第3段落を読解し、語句を調べ口語訳をする。	15	
				第7～14回の内容を整理し、理解・検討する。	15	
		定期試験				
冬学期	第1回	答案返却 自己点検	答案返却・解説および修学成果について、自己点検評価する。		0	
				試験を再検討する。	15	
	第2～3回	「老子」Ⅰ	漢文読解に必要な基本知識を理解できる。	便覧で諸子百家を調べる。	15	
				作者の年譜的事実、時代背景を理解する。	15	
	第4～5回	「老子」Ⅱ	第十八章を正確に読解できる。	教科書p260を読解する。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第6～7回	「老子」Ⅲ	第八十章を正確に読解できる。	教科書p261を読解する。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第8～9回	「老子」Ⅳ	第八十章を正確に読解できる。	教科書p261を読解する。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第10～11回	「莊子」Ⅰ	秋水篇を正確に読解できる。	教科書p262～263を読解する。	15	
				分析された事項をノートで確認し理解する。	15	
第12～13回	「莊子」Ⅱ	秋水篇を正確に読解できる。	教科書p262～263を読解する。	15		
			分析された事項をノートで確認し理解する。	15		
第14～16回	「莊子」Ⅲ	秋水篇を正確に読解できる。	老荘思想についてまとめる。	15		
			第1～16回の内容を整理し、理解・検討する。	15		
		定期試験				

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
歴史Ⅱ				グローバル情報工学科 3年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	平泉紀房			
キーワード		科目概要					
漢王朝、匈奴、三国志 ビザンツ帝国、十字軍		我々が生活している世界は、将来どのような方向に進んでいくのか。このことを考え理解するために必要不可欠な、世界の歴史と文化についての理解を深めることを目的とする。この授業ではヨーロッパと東アジアを題材とする。ヨーロッパではオリエント・ローマの授業からヨーロッパ世界の成立について、東アジアでは中国を中心とする東アジア世界の変遷について学習する。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「世界史B」、尾形勇ほか、東京書籍 ②「明解世界史図説エスカリエ 七訂版」、帝国書院編集部、帝国書院		①「興亡の世界史04 地中海世界とローマ帝国」、木村凌二、講談社 ②「中国の歴史04 三国志の世界」、金文京、講談社		科目：歴史Ⅰ 資格：歴史能力検定1級世界史、 歴史能力検定2級世界史			
評価方法 (％)							
評価項目	定期試験	課題	学習態度			計	学年評価に対する割合
春学期	60	20	20			100	25
夏学期	60	20	20			100	25
秋学期	60	20	20			100	25
冬学期	60	20	20			100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<p>成績については定期試験の結果に、課題及び学習態度を加味して評価する。 なお、学年末評価は各学期の平均とする。</p> <p>学習態度について、講義内容に関わる積極的な発言については、これを評価する。 欠席や居眠り、課題の未提出など受講態度不良の者については減点の対象とする。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>授業の際にはあらかじめ本計画書に記載されている教科書の該当部分に目を通しておくこと。 授業内容について、理解が不十分と感じるところがあれば積極的に質問すること。 ノート作りは板書のみならず、口頭での説明も含めて各自で補完すること。</p>							
科目の達成目標							
①	楚漢戦争の概略が理解できる。						
②	漢帝国の対匈奴政策について理解できる。						
③	三国志の世界について理解できる。						
④	ゲルマン人の大移動が地中海世界に与えた影響について理解できる。						
⑤	ビザンツ帝国の成立とその政治について理解できる。						
⑥	十字軍遠征について理解できる。						
関連する本校の学習・教育目標			人間性				
問い合わせ・質問先			1階104室 (教員室)				
オフィスアワー			火曜日 16:30～17:30				

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検		
春学期	第1～2回	中国王朝の誕生	古代中国に誕生した王朝について理解できる。	教科書p.76～79を読む	10		
				ノートを見直して補完する	10		
	第3～4回	秦王朝の成立	始皇帝即位に至る経緯とその政治について理解できる。	教科書p.80を読む	10		
					ノートを見直して補完する		10
	第5～6回	項羽と劉邦	劉邦の挙兵と秦王朝の滅亡について理解できる。	劉邦について調べる	10		
					ノートを見直して補完する		10
	第7～8回		楚漢戦争の概略が理解できる。	項羽について調べる	10		
					ノートを見直して補完する		10
	第9～10回	前漢の時代	漢帝国が敷いた国家体制について理解できる。	教科書p.80～81を読む	10		
					ノートを見直して補完する		10
	第11～12回		呂后による劉氏排斥政策について理解できる。	呂后について調べる	10		
					ノートを見直して補完する		10
	第13～14回		文景の世に実施された政治改革について理解できる。	文帝と景帝について調べる	10		
					ノートを見直して補完する		10
	第15～16回		匈奴の世界	漢北方の遊牧民族である匈奴の習俗について理解できる。	匈奴について調べる	10	
						ノートを見直して補完する	
	第17～18回		武帝の政治	漢帝国の対匈奴政策について理解できる。	教科書p.81を読む	10	
						ノートを見直して補完する	
		定期試験					
	第19回	自己点検	春学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服する事ができる。	—	—		
				試験の間違った問題を見直す	10		
第20回	新王朝の成立	王莽による王朝篡奪とその政治について理解できる。	教科書p.81を読む	10			
				ノートを見直して補完する		10	
夏学期	第1～2回	後漢の時代	光武帝による漢王朝再興について理解できる。	教科書p.81を読む	10		
				ノートを見直して補完する	10		
	第3～4回	三国志の世界	黄巾の乱から董卓討伐までの流れが理解できる。	教科書p.82を読む	10		
					ノートを見直して補完する		10
	第5～6回		官渡の戦いから赤壁の戦いまでの流れが理解できる。	赤壁の戦いについて調べる	10		
					ノートを見直して補完する		10
	第7～8回	劉備の即位と三国鼎立について理解できる。	教科書p.83を読む	10			
				ノートを見直して補完する		10	
	第9～10回	晋王朝の成立	三国時代の終焉とその後について理解できる。	教科書p.83～84を読む	10		
					ノートを見直して補完する		10
	定期試験						

秋学期	第1回	自己点検	夏学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	—	—	
				試験の間違った問題を見直す	10	
	第2～3回	地中海の世界	ローマ共和制の成立について理解できる。	教科書p. 48を読む	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第4～5回	帝政ローマ	ポエニ戦争の概略が理解できる。	教科書p. 48～50を読む	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第6～8回		五賢帝時代に実施された政策について理解できる。	教科書p. 50～54を読む	10	
				ノートを見直して補完する	10	
第9～10回	キリスト教	キリスト教の成立について理解できる。	教科書p. 54を読む	10		
			ノートを見直して補完する	10		
第11～12回	帝国の変容	コンスタンティヌスの実施した政策について理解できる。	教科書p. 55を読む	10		
			ノートを見直して補完する	10		
第13～14回	ゲルマン人	ゲルマン人の大移動が地中海世界に与えた影響について理解できる。	教科書p. 58を読む	10		
			ノートを見直して補完する	10		
		定期試験				
冬学期	第1回	自己点検	秋学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	—	—	
				試験の間違った問題を見直す	10	
	第2～4回	ビザンツ帝国	ビザンツ帝国の成立とその政治について理解できる。	教科書p. 59を読む	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第5～6回	イスラム教	イスラム教の成立について理解できる。	教科書p. 114を読む	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第7～8回	フランク王国	フランク王国の成立とカール大帝の即位について理解できる。	教科書p. 136～137を読む	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第9～10回	神聖ローマ帝国	神聖ローマ帝国の成立と聖職叙任権闘争について理解できる。	教科書p. 138～139を読む	10	
				ノートを見直して補完する	10	
第11～12回	十字軍遠征	第1回～第2回十字軍遠征の概要が理解できる。	教科書p. 147～148を読む	10		
			ノートを見直して補完する	10		
第13～14回		サラディン登場から第3回十字軍遠征までの流れが理解できる。	教科書p. 120を読む	10		
			ノートを見直して補完する	10		
第15～16回		第4回十字軍とラテン帝国の成立について理解できる。	教科書p. 148を読む	10		
			ノートを見直して補完する	10		
		定期試験				
第17回	自己点検	冬学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	—	—		
			試験の間違った問題を見直す	10		

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
社会科学 I				グローバル情報工学科 3年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修2	通年	講義	宮野純光			
キーワード		科目概要					
日本国憲法, 日本の政治制度, 選挙制度, 資本主義, 市場経済, 社会保障		我々の日常生活は、国内外における政治や経済の影響を受けていることは言うまでもない。我々が現代社会の一員として社会の中で生きていくには、政治・経済に関する共通の認識を持つことが必要不可欠なのである。本科目では現代社会で生きていくために必要となる基本的な政治・経済の知識の習得を目的とする。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「政治・経済」, 間宮陽介ほか, 東京書籍 ②「政治・経済資料2015」, 東京法令出版							
評価方法 (%)							
評価項目	定期試験	課題	授業態度	出席		計	学年評価に対する割合
春学期	50	30	15	5		100	25
夏学期	50	30	15	5		100	25
秋学期	50	30	15	5		100	25
冬学期	50	30	15	5		100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	定期試験試験によって到達度を量るが、成績は課題、学習態度、出席状況を加味し、総合的に評価する。学習態度、出席状況は不良のものについて減点していく。年に数回のノート提出を課し、学習態度の一部として評価する。学年末の評価は各学期の成績合計の平均とする。						
受講上のアドバイス							
①課題は必ず提出すること。 ②ノートはしっかりととり、自己の学習に利用すること。 ③わからないこと、興味を持ったことがあれば(授業中・授業外とも)気軽に質問すること。							
科目の達成目標							
①	社会人として必要な政治・経済の知識を身につける。						
②	現代の政治・経済に興味を持ち、新聞などで学ぶことができる。						
③	日本国憲法の3原則を理解している。						
④	室町幕府日本の政治機構の仕組み(国会・内閣・裁判所)を理解している。						
⑤	資本主義経済の成立過程を理解している。						
⑥	日日本の経済の仕組みを理解している。						
関連する本校の学習・教育目標			人間性				
問い合わせ・質問先			1階104室(教員室)				
オフィスアワー			水・木 16:00~17:00				

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1・2回	民主政治の成立	民主政治の特質について理解できる。	教科書P6-9を読む。	15	
					15	
	第3~6回	法の支配と人権の確立	法の支配の意味と人権の変遷が理解できる。	教科書P10-14を読む。	15	
				練習問題集該当範囲を実施する。	15	
	第7~9回	世界の主な政治体制	世界の主な国々の政治体制を理解できる。	教科書P18-21を読む。	15	
				練習問題集該当範囲を実施する。	15	
	第10~13回	日本国憲法の制定と基本原理	大日本帝国憲法、日本国憲法の基本原理を理解できる。	教科書P24-27を読む。	15	
				練習問題集該当範囲を実施する。	15	
	第14~16回	基本的人権の保障	基本的人権の内容を理解できる。	教科書P30-37を読む。	15	
				練習問題集該当範囲を実施する。	15	
第17回	新しい人権	新しい人権の内容を理解できる。	教科書P38-40を読む。	15		
			練習問題集該当範囲を実施する。	15		
第18回	平和主義	平和主義の意味を理解できる。	教科書P42-44を読む。	15		
			練習問題集該当範囲を実施する。	15		
	定期試験					
第19回	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	—	—		
			試験問題を見直す。	15		
第20回	国会と立法①	日本における国会の地位を理解できる。	教科書P48・49を読む。	15		
			練習問題集該当範囲を実施する。	15		
夏学期	第1~3回	国会と立法②	国会の仕組みを理解できる。	教科書P50・51を読む。	15	
				練習問題集該当範囲を実施する。	15	
	第4~6回	内閣と行政	内閣の仕組みを理解できる。	教科書P52-55を読む。	15	
				練習問題集該当範囲を実施する。	15	
	第7・8回	裁判所と司法	裁判所の仕組みを理解できる。	教科書P56-61を読む。	15	
				練習問題集該当範囲を実施する。	15	
	第9・10回	選挙と政治意識	選挙制度を理解し、問題点を考えることができる。	教科書P70-72を読む。	15	
				練習問題集該当範囲を実施する。	15	
		定期試験				

秋学期	第1回	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	—	—
				試験問題を見直す。	15
	第2～5回	資本主義体制の成立と発展	資本主義の成立過程を理解できる。	教科書P106-108を読む。	15
				練習問題集該当範囲を実施する。	15
	第6回	資本主義の変容	資本主義の発展・変容について理解できる。	教科書P109-111を読む。	15
				練習問題集該当範囲を実施する。	15
	第7回	社会主義の登場	社会主義の特質について理解できる。	教科書P111-112を読む。	15
				練習問題集該当範囲を実施する。	15
第8回	現代経済の特質	現代社会における経済の特質を理解できる。	教科書P113-115・P119-121を読む。	15	
			練習問題集該当範囲を実施する。	15	
第9・10回	経済主体と経済の循環	経済の循環における家計・企業・政府の役割を理解できる。	教科書P116-118を読む。	15	
			練習問題集該当範囲を実施する。	15	
第11～14回	市場経済の機能と限界	市場経済の仕組みを理解できる。	教科書P122-125を読む。	15	
			練習問題集該当範囲を実施する。	15	
		定期試験			
冬学期	第1回	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	—	—
				試験問題を見直す。	15
	第2・3回	国民所得と経済成長	国民の経済基準について理解できる。	教科書P126-129を読む。	15
				練習問題集該当範囲を実施する。	15
	第4～6回	金融のしくみと機能	金融市場・日本銀行・金融政策について理解できる。	教科書P137-141を読む。	15
				練習問題集該当範囲を実施する。	15
	第7～9回	財政のしくみと機能	租税と公債・財政政策について理解できる。	教科書P108・110を読む。	15
				練習問題集該当範囲を実施する。	15
第10回	公害と環境保全	公害から環境保全の流れを理解できる。	教科書P122-125を読む。	15	
			練習問題集該当範囲を実施する。	15	
第11・12回	社会保障と福祉	社会保障制度の発展過程と日本の社会保障制度について慮回できる。	教科書P170-175を読む。	15	
			練習問題集該当範囲を実施する。	15	
第13～16回	日本経済の発展	戦後日本の経済復興の流れを理解できる。	教科書P142-149を読む。	15	
			練習問題集該当範囲を実施する。	15	
		定期試験			
第17回	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	—	—	
			試験問題を見直す。	15	

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
線形代数Ⅱ				グローバル情報工学科 3年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	中谷亮子			
キーワード		科目概要					
確率分布、平均、分散 2項分布 2次曲線、極座標・極方程式 行列 線形変換		行列についての基本的な性質とその加法・減法・実数倍, さらに行列の乗法とその性質や逆行列について学習し, 演習を通して行列の演算に習熟するものとする。また行列の応用として, 行列を用いた連立方程式の解法や線形変換についても学習する。これに加えて, 放物線・楕円・双曲線などの2次曲線, 極座標, さらに基本的な確率分布と統計処理についても学習し, 1年次と2年次において扱われなかったが, 工学の分野において必要とされる内容を習得することを目的とする。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「数学B」、伊野博/河野俊文編、東京書籍 ②「数学Ⅲ」、伊野博/河野俊文編、東京書籍 ③「線形代数」、高専の数学教材研究会編、森北出版		①「ニューアシスト 新編数学Ⅱ+B」、東京書籍編集部編、東京書籍 ②「ニューアシスト 新編数学Ⅲ」、東京書籍編集部編、東京書籍 ③「線形代数問題集」、高専の数学教材研究会編、森北出版		科目：微分積分Ⅱ、応用数学Ⅰ、数理統計 資格：実用数学技能検定準1級			
評価方法 (%)							
評価項目	定期考査	小テスト	課題・宿題	授業態度		計	学年評価に対する割合
春学期	70	20		10		100	25
夏学期	70	20		10		100	25
秋学期	70	20		10		100	25
冬学期	70	20		10		100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い, 通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)						100	100
備考	<p>年度末の評価は、各学期の平均したもので、50点以上を合格とする。 各学期の評価で50点に満たない学生は補習をする。 年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。</p> <p>「定期試験」(100点満点)及び「小テスト」(10点満点)で通常の学習の成果を評価する。 「課題・宿題」は日常の努力を評価するもので提出物の内容で評価する。 「授業態度」は授業の取り組み意欲を評価するもので、授業態度や出席状況が不良の者については評価からの減点を行う。また、定期試験後にノートを提出してもらい、その内容を評価する。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>基礎を固める意味で、授業は講義と問題演習を連動して行う。そこで、授業に向けて次の①～③に心がける。 ①授業用プリントを整理し、試験の際に有意義に活用するために、フラットファイルを準備すること。 ②授業中に終了しなかった問題は、その日のうちに家庭にて終了させる努力をすること。 ③小テスト後は、自分の苦手な分野・理解不十分と思われる内容が明確になるので、間違えた部分や、自信のない部分を重点的に復習すること。</p>							
科目の達成目標							
①	確率変数の平均・分散・標準偏差を求めることができる						
②	2項分布の平均・分散・標準偏差を求める事が出来る。						
③	放物線・楕円・双曲線の定義を理解しそのグラフを書くことができる。						
④	極座標を理解し、曲線を極方程式で表現できる。						
⑤	行列の計算ができる。						
⑥	線形変換の像を求めることができる。						
関連する本校の学習・教育目標		基礎力					
問い合わせ・質問先		2階 215室 (数理教員室)					
オフィスアワー		木曜日 8 限					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春 学 期	第1・2回	事象の独立と従属 (数学B)	条件付き確率、乗法定理を使って複雑な確率問題を計算ができる	教科書 p. 110～p. 115を熟読	20	
				問題集 p. 119～p. 120の問題を解く		
	第3・4回	確率分布	確率と確率分布について理解し、分布表を作成することができる。	教科書 p. 116～p. 119を熟読。	20	
				問題集 p. 119～p. 120の問題を解く	20	
	第5・8回	確率変数の平均	平均について理解し、その計算ができる。	教科書 p. 120～p. 123を熟読	20	
				問題集 p. 121～p. 122の問題(平均に関するもの)を解く	20	
	第9・10回	確率変数の分散 標準偏	分散・標準偏差について理解し、その計算ができる。	教科書 p. 124～p. 125を熟読する	20	
				問題集 p. 121～p. 122の問題(分散に関するもの)を解く	20	
	第11・12回	確率変数XとYの和 の平均	和の平均・分散について理解し、その計算ができる	教科書 p. 125～p. 128を熟読する	20	
				問題集 p. 123の A 問題を解く	20	
第13～16回	独立な確率変数X とYの積の平均	積の平均について理解し、その計算ができる。	教科書 p. 129～p. 130を熟読する	20		
			問題集 p. 123のB 問題を解く	20		
第17・18回	2項分布	二項分布を理解し、平均と分散が計算できる	教科書 p. 131～p. 132を熟読する	20		
			問題集 p. 124～p. 125の問題を解く	20		
	定期試験					
第19回	自己点検	試験結果から理解が不十分な内容を把握し、それを習得するように努力する	試験の間違った問題を見直す。	20		
第20回	放物線(数学Ⅲ)	放物線の定義を理解し、そのグラフを書くことができる。	教科書 p. 6～p. 11を熟読する	20		
			問題集 p. 2の A 問題を解く	20		
夏 学 期	第1・2回	楕円	教科書 p. 12～p. 16を熟読する	20		
			問題集 p. 3～p. 4の問題を解く	20		
	第3・4回	双曲線	双曲線の定義を理解し、そのグラフを書くことができる。	教科書 p. 17～p. 19を熟読する	20	
				問題集 p. 4の問題を解く	20	
	第5・6回	2次曲線の平行移動	2次曲線の平行移動を理解し、その形を把握できる。	教科書 p. 30～p. 31を熟読する	20	
				問題集 p. 5の A問題を解く	20	
	第7・8回	極座標	平面上の点を極座標で表現できる。	教科書 p. 32～p. 35を熟読する	20	
				問題集 p. 8～p. 9の問題を解く	20	
	第9・10回	極方程式	極座標を理解し、曲線を極方程式で表示できる。	教科書 p. 36～p. 37を熟読する	20	
				問題集 p. 10の問題を解く	20	
	定期試験					

秋学期	第1回	行列とその成分	行列の定義とその成分について理解できる	教科書 p. 42～p. 44を熟読する	20	
				ホームワーク No1を解く	20	
	第2・3回	行列の加法・減法・実数倍	行列の加法・減法・実数倍を理解し、その計算ができる	教科書 p. 44～P. 45を熟読する	20	
				ホームワーク No2～N03を解く	20	
	第4・5回	行列の演算の基本法則	行列の演算の基本法則を理解して活用できる	教科書 p. 46～P. 47を熟読する	20	
				ホームワーク No4～N05を解く	20	
	第6・7回	行列の乗法	行列の乗法を理解し、その計算ができる。	教科書 p. 48～p. 54を熟読する	20	
				ホームワーク No6～N07を解く	20	
	第8・9回	行列の乗法の性質	結合法則・分配法則、単位行列・零行列・零因子を理解できる。	教科書 p. 52～p. 54を熟読する	20	
				ホームワーク No8～N09を解く	20	
	第10回	行列の逆行列①	2次正方行列の逆行列を求めることができる。	教科書 p. 52～p. 54を熟読する	20	
				ホームワーク No10を解く	20	
	第11回	行列の逆行列②	2次正方行列の逆行列を利用して、さまざまな計算ができる	教科書 p. 55～p. 57を熟読する	20	
				ホームワーク No11を解く	20	
第12・13回	連立2元1次方程式と行列	逆行列を用いて、連立方程式を解くことができる。	教科書 p. 52～p. 57を熟読する	20		
			ホームワークNo12～N013を解く	20		
第14回	問題演習	逆行列を用いて問題を解くことができる。	教科書 p. 42～p. 57を熟読する	20		
			ホームワーク No14を解く	20		
	定期試験					
冬学期	第1回	自己点検	試験結果から理解が不十分な内容を把握し、それを習得するように努力する	試験の間違った問題を見直す。	20	
	第2回	線形変換と表現行列	代表的な点の移動を線形変換の表現行列であらわすことができる	教科書 p. 110～p. 114を熟読する	20	
				ホームワークNo1～N02を解く	20	
	第3・4回	線形変換（点の移動）	行列の表す線形変換について理解し、点の移動が計算できる。	教科書 p. 114～p. 116を熟読する	20	
				ホームワーク No3～N04を解く	20	
	第5・6回	直線のベクトル方程式と直線の線形変換の像	線形変換による直線の像を求めることができる。	教科書 p. 116～p. 119を熟読する	20	
				ホームワーク No5～N06を解く	20	
	第7・8回	線形変換(原点の周りの回転)	行列を用いて、原点のまわりの回転移動が計算できる。	教科書 p. 119～p. 121を熟読する	20	
				ホームワーク No7～No8を解く	20	
	第9・10回	逆変換	逆変換について理解できる	教科書 p. 119～p. 121を熟読する	20	
				ホームワーク No9～N010を解く	20	
	第11・12回	合成変換	合成変換について理解できる	教科書 p. 121～p. 124を熟読する	20	
				ホームワークNo11～No12を解く	20	
	第13・14回	直交行列と直交変換	直交行列を求めることができる。	教科書 p. 121～p. 124を熟読する	20	
			ホームワークNo13～No14を解く	20		
第15・16回	問題演習	線形変換に関する問題を解くことができる。	—			
			問題集のQ6. 1～Q6. 12を解く	20		
	定期試験					

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
微分積分Ⅱ				グローバル情報工学科 3年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修 4	通年	講義	松本昇久				
キーワード		科目概要						
微分法、 曲線の凹凸、 不定積分、 定積分		数列を学習し、様々な現象の法則性を理解するとともに、それをもとに、極限の概念に対する理解を深め、微分積分Iで学んだ整式の微分と積分を、三角関数・対数関数・指数関数の微分と積分へと発展させる。演習を通してこの新たな微分と積分の内容を学習し、その計算に習熟することを目的とする。さらに、微分の応用として、関数の増減と極大・極小、積分の応用として、図形の面積・体積、曲線の長さなど道のりの計算方法についても学習する。						
教科書		参考書		関連する科目・資格				
① 「数学Ⅲ」、 侯野博／河野俊丈編、東京書籍		① 「ニューアシスト新編数学Ⅲ」、 東京書籍編集部編、東京書籍		科目：微分積分Ⅰ [2年次]、 線形代数Ⅰ [2年次]、 資格：実用数学技能検定 (2級・準2級)				
評価方法							(%)	
評価項目	学期末試験	中間試験	演習課題・ 家庭学習等	授業態度			計	学年評価に 対する割合
春学期	35	30	25	10			100	25
夏学期	35	30	25	10			100	25
秋学期	35	30	25	10			100	25
冬学期	35	30	25	10			100	25
学 年 評 価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100	
備 考	<p>学期末試験・中間試験：授業における講義内容と演習の成果を総合的に判断することを目的として、複数回の試験を実施する。これらの試験（100点満点）の平均の6割5分を評価に加える。</p> <p>演習課題・家庭学習：授業における内容の理解度や演習量を把握するために、演習課題は適時回収し、評価する。また、通常、試験後に提出してもらった授業ノート・自学自習ノートの内容も評価に加えるものとする。さらに、長期休暇期間中には課題を出し、その内容によって評価を行う。</p> <p>授業態度：授業を遅刻・早退・欠席した者、授業態度が不良の者については評価からの減点を行う。</p>							
受講上のアドバイス								
<p>①自ら学ぶ姿勢を身に付けること！</p> <p>②学んだ箇所は必ず復習し、理解できなかった箇所は、理解できるよう常に努めること。</p> <p>③質問は遠慮なくすること！ただし、単に「わからない」ではなく「どの部分がどのように理解できないのか」を伝えること。</p> <p>④板書等を書きとめた授業ノートや、授業で配布された資料は試験や復習等で利用できるよう日頃から整理しておくこと。</p> <p>⑤課題等の提出物の期限は守ること</p>								
科目の達成目標								
①	増減表を用いて関数のグラフを書くことができる。							
②	関数の極値や最大値・最小値をグラフを用いて求めることができる。							
③	第2次導関数を用いて、関数の凹凸を求めることができる。							
④	定積分を用いて、図形の面積を求めることができる。							
⑤	置換積分や部分積分を用いて、積分の計算ができる。							
⑥	回転体の体積を積分を用いて求めることができる。							
関連する本校の学習・教育目標		基礎力						
問い合わせ・質問先		2階215室（数理教員室）						
オフィスアワー		火曜日8限目						

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検
春学期	第1～4回	関数の極限	教科書pp.109-116を読み、関数の極限値の求め方を理解する。	10	
			教科書pp.109-116問1-3、6-9を解く。 ニューアシスト178-181、185-186を解く。	15	
	第5～8回	三角関数と極限関数の連続性	教科書pp.117-126を読み、三角関数の極限と中間値の定理を理解する。	10	
			教科書pp.118-120問10-12を解く。 ニューアシスト191-194、197を解く。	15	
	第9～12回	導関数積・商の微分法	教科書pp.132-139を読み、導関数の定義と性質、その求め方を理解する。	10	
			教科書pp.134-139問3-4、7-10を解く。 ニューアシスト227-229、230-232を解く。	15	
	第13～16回	合成関数の微分法	教科書pp.140-145を読み、合成関数の微分法を用いて、さまざまな関数の導関数の求め方を理解する。	10	
			教科書pp.140-145問11-17、21を解く。 ニューアシスト234-235、237-238を解く。	15	
	第17～20回	三角関数の導関数	教科書pp.147-148を読み、三角関数の導関数の求め方を理解する。	10	
			教科書pp.148問1-2を解く。 ニューアシスト246-247を解く。	15	
第21～24回	対数関数の導関数	教科書pp.149-152を読み、対数関数の導関数の求め方を理解する。	10		
		教科書pp.150-152問3-5を解く。 ニューアシスト250-251、253を解く。	15		
第25～28回	指数関数の導関数	教科書pp.153を読み、指数関数の導関数の求め方を理解する。	10		
		教科書pp.135問7-8を解く。 ニューアシスト254-255を解く。	15		
第29～32回	高次導関数	教科書pp.154-155を読み、高次導関数の求め方を理解する。	10		
		教科書pp.154-155問9-12を解く。 ニューアシスト258-259を解く。	15		
	定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。			
第33回	自己点検	試験結果から理解が不十分な内容を把握し、それを習得するよう努める。	試験の間違った問題を見直す。	30	
第34～36回	接線・法線の方程式 平均値の定理	教科書pp.164-167を読み、接線と法線の方程式と平均値の定理を理解することができる。	教科書pp.164-167を読み、接線と法線の方程式と平均値の定理を理解する。	10	
		教科書pp.165-167問1-6を解く。 ニューアシスト280-282、284を解く。	教科書pp.165-167問1-6を解く。 ニューアシスト280-282、284を解く。	15	
第37～40回	関数の増減	教科書pp.170-171を読み、関数の増減と増減表について理解する。	教科書pp.170-171を読み、関数の増減と増減表について理解する。	10	
		教科書pp.171問10を解く。 ニューアシスト294を解く。	教科書pp.171問10を解く。 ニューアシスト294を解く。	15	
夏学期	第1～4回	関数の極大・極小	教科書pp.172-175を読み、関数の極大・極小について理解する。	10	
			教科書pp.173-175問11-13を解く。 ニューアシスト295を解く。	15	
	第5～8回	第2次導関数とグラフ[1]	教科書pp.176-178を読み、曲線の凹凸と変曲点について理解する。	10	
			教科書pp.177-178問14-16を解く。 ニューアシスト301-303を解く。	15	
	第9～12回	第2次導関数とグラフ[2]	教科書pp.179-181を読み、極大・極小を理解したうえで、グラフを書く。	10	
			教科書pp.179-181問17-18を解く。 ニューアシスト304-305を解く。	15	
	第13～16回	最大・最小	教科書pp.182-183を読み、定義域を考慮して関数の最大値と最小値を求める。	10	
			教科書pp.182-183問1-2を解く。 ニューアシスト307-308を解く。	15	
	第17～20回	前項目までのまとめと復習	理解が不十分な箇所の教科書・ノートの内容を精読し、その理解に努める。	30	
			教科書・問題集(ニューアシスト)の該当箇所の章末問題を解く。	60	
	定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。			

秋学期	第1～4回	方程式、不等式への応用	微分法を用いて、方程式の実数解の個数を調べたり、不等式を証明したりすることができる。	教科書pp.184-185を読み、微分法を用いた方程式・不等式への応用を理解する。	10	
				教科書pp.184-185問3-5を解く。 ニューアシスト313-315を解く。	15	
	第5～8回	速度・加速度近似式	媒介変数表示された関数の第1次導関数と第2次導関数を求めることができる。さらに、これらを速度と加速度を求める際に活用することができる。また、微分法を利用した関数の近似について理解できる。	教科書pp.186-191を読み、媒介変数表示された関数の微分法と微分を利用した関数の近似について理解する。	10	
				教科書pp.186-191問6-11を解く。 ニューアシスト319-321、324-325、329-330を解く。	15	
	第9～12回	不定積分	三角関数や指数・対数関数の不定積分を求めることができる。	教科書pp.198-201を読み、さまざまな関数の不定積分の求め方を理解する。	10	
				教科書pp.199-201問1-4を解く。 ニューアシスト350-354を解く。	15	
	第13～16回	置換積分法	置換積分法を用いて、関数の不定積分を求めることができる。	教科書pp.202-205を読み、置換積分法を理解する。	10	
				教科書pp.202-205問5-9を解く。 ニューアシスト355-359を解く。	15	
第17～20回	部分積分法	部分積分法を用いて、関数の不定積分を求めることができる。	教科書pp.205-206を読み、部分積分法を理解する。	10		
			教科書pp.206問10-11を解く。 ニューアシスト361-363を解く。	15		
第21～24回	いろいろな関数の不定積分	分数関数の不定積分を求めることができる。	教科書pp.207を読み、分数関数の不定積分の求め方を理解する。	10		
			教科書pp.207問12を解く。 ニューアシスト365-367を解く。	15		
第25～28回	前項目までのまとめと復習	前項目までのまとめを行い、理解が不十分な箇所については、その部分を重点的に復習する。	理解が不十分な箇所の教科書・ノートの内容を精読し、その理解に努める。	30		
			教科書・問題集（ニューアシスト）の該当箇所の章末問題を解く。	60		
		定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。			
冬学期	第1回	自己点検	試験結果から理解が不十分な内容を把握し、それを習得するよう努める。	試験の間違った問題を見直す。	30	
	第2～4回	いろいろな関数の不定積分	三角関数における積を和・差になおす公式を用いて、不定積分を求めることができる。	教科書pp.208-209を読み、三角関数の不定積分の求め方を理解する。	10	
				教科書pp.208-209問13-14を解く。 ニューアシスト368-369を解く。	15	
	第5～8回	定積分	三角関数や指数・対数関数の定積分を求めることができる。	教科書pp.210-212を読み、三角・指数・対数関数の定積分の求め方を理解する。	10	
				教科書pp.211-212問1-3を解く。 ニューアシスト374-375を解く。	15	
	第9～12回	定積分の置換積分法	置換積分法を用いて、関数の定積分を求めることができる。	教科書pp.213-216を読み、置換積分法を用いた定積分の求め方を理解する。	10	
				教科書pp.213-216問5-9を解く。 ニューアシスト378-381、383-384を解く。	15	
	第13～16回	定積分の部分積分法	部分積分法を用いて、関数の定積分を求めることができる。	教科書pp.217を読み、部分積分法を用いた定積分の求め方を理解する。	10	
				教科書pp.217問10を解く。 ニューアシスト386-387を解く。	15	
	第17～20回	定積分で表された関数定積分と区分求積法 定積分と不等式	定積分に関するさまざまな応用問題を解くことができる。	教科書pp.218-224を読み、定積分に関するさまざまな応用問題を解く。	10	
				教科書pp.218-224問11-16を解く。 ニューアシスト388、390、412、415を解く。	15	
	第21～24回	面積	定積分を用いて、図形の面積を求めることができる。	教科書pp.227-231を読み、定積分を用いて図形の面積を求める方法を理解する。	10	
			教科書pp.227-231例題1-6を解く。 ニューアシスト391-394を解く。	15		
第25～28回	体積・長さ	定積分を用いて、図形の体積や曲線の長さを求めることができる。	教科書pp.232-242を読み、定積分を用いて図形の体積や曲線の長さを求める方法を理解する。	10		
			教科書pp.223-242問7、9、10-12、14、15を解く。 ニューアシスト401-402、405-407を解く。	15		
第29～32回	前項目までのまとめと復習	前項目までのまとめを行い、理解が不十分な箇所については、その部分を重点的に復習する。	理解が不十分な箇所の教科書・ノートの内容を精読し、その理解に努める。	30		
			教科書・問題集（ニューアシスト）の該当箇所の章末問題を解く。	60		
		定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。			

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
物理・化学Ⅲ				グローバル情報工学科 3年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	原 孝美			
キーワード		科目概要					
電流、電圧、オーム、電力、放射線、酸、塩基、中和反応、酸化還元、電気分解		物理学や化学における基本的な考え方を、特殊な問題ではなく身の回りに起こる現象として理解し、1、2年次で学習したことをさらに進めて問題を学習する。高学年での専門科目に必要な基本的な問題の解法を身につけ、専門科目へとつなげる。また、電気やエネルギー、放射線や原子力についても理解する。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①「新編物理基礎」三浦 登他、東京書籍 ②「高校化学基礎」三浦 登他、東京書籍 ③新編「化学基礎準拠ノート」数研出					危険物取扱者 ガス溶接		
評価方法 (%)							
評価項目	定期試験	小テスト	課題・宿題	出欠・態度		評価	学年評価に対する割合
春学期	50	25	15	10		100	25%
夏学期	50	25	15	10		100	25%
秋学期	50	25	15	10		100	25%
冬学期	50	25	15	10		100	25%
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<p>評価は各学期それぞれの成績を平均したものとする。 定期試験および小テストの内容は、通常の学習の成果を測定することを主とする。 宿題・課題は家庭での努力を測定するものである。 授業態度の著しく悪い時は、たとえ出席していてもその点数がゼロになることがあるので注意すること。 演習プリントは課題・宿題点になる。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>① 問題練習を行ったものを保管しておくようにファイルを用意すること。 ② 問題には納得するまで取り組み、理解できない問題は問題解説の際にしっかり確認し、質問すること。 ③ 宿題・課題は必ず提出すること。 ④ 予習、復習リストを参考に、予復習に取り組むこと。</p>							
科目の達成目標							
①	オームの法則やジュールの法則が理解でき、問題が解ける。						
②	エネルギーや放射線が説明できる。						
③	酸と塩基が理解でき、pHが求められ、中和の計算ができる。						
④	酸化・還元を理解し、酸化剤、還元剤を見つけられる。						
⑤	電池の仕組みが理解でき、電気分解の問題が解ける。						
関連する本校の学習・教育目標			基礎力				
問い合わせ・質問先			2階215室 (数理教員室)				
オフィスアワー			火曜 8限				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段: 予習・下段: 復習)	時間 分/回	点検	
春 学 期	第1～3回	ガイダンス 2年生の復習	波や音について復習し、計算問題が解ける。	教科書p102～119を熟読する	20	
				教科書の問題を解く	20	
	第4～7回	電流と電圧 オームの法則	電気の働きを理解し、オームの法則の問題が解ける。	教科書の該当ページを読む	10	
				教科書の問題を解く	20	
	第8～10回	回路の電流の流れ方	抵抗を直列、並列に配した時の電流、電圧が計算できる。	教科書の該当ページを読む	10	
				教科書の問題を解く	20	
	第11～13回	電力と電力量	電力と電力量を理解し、ジュールの法則が解ける。	教科書の該当ページを読む	10	
				教科書の問題を解く	20	
	第14回	磁界	磁界について知り、説明できる。	教科書の該当ページを読む	10	
				教科書の問題を解く	20	
	第15回	モーターの仕組み	モーターの仕組みを知り、その説明ができる。	教科書の該当ページを読む	10	
				教科書の問題を解く	10	
	第16回	発電機の仕組み	放射線とは何か理解し、原子力の生活に密着した利用方法を知る。	教科書の該当ページを読む	10	
				教科書の問題を解く	20	
	第17～18回	総合復習	試験に向け総合的に復習する。	教科書の該当ページを読む	60	
				試験勉強をする	90	
		定期試験				
	第19回	自己点検	春学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	—	—	
試験の間違った問題を解く				20		
第20回	直流と交流	直流と交流を理解し、電磁波とは何かを学習して知る。	教科書の該当ページを読む	10		
			教科書の問題を解く	10		
夏 学 期	第1～2回	電磁波	さまざまな電磁波を知り、説明できる。	教科書の該当ページを読む。	10	
				教科書の問題を解く	10	
	第3～4回	エネルギーとその利用	さまざまなエネルギーの形態を知り、その利用方法を説明できる。	教科書の該当ページを読む	10	
				教科書の問題を解く	10	
	第5～7回	放射線と原子力	放射線とは何か理解し、原子力の生活に密着した利用方法を知る。	教科書の該当ページを読む	10	
				教科書の問題を解く	10	
	第8～10回	物理の教科書のまとめ	物理学の勉強がここで終了するので春・夏学期を通しての復習	試験のための勉強をする	60	
				教科書の問題を解く	90	
	定期試験					

秋学期	第1～2回	酸と塩基	酸と塩基の定義が説明できる。	教科書の該当ページを読む	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	20	
	第3～6回	酸と塩基とpH	酸と塩基の強弱が理解でき、pHが求められる。	教科書の該当ページを読む	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	20	
	第7～10回	中和反応と量的な関係	中和反応の量的関係が理解でき、関連した計算ができる。	教科書の該当ページを読む。	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	20	
第11～13回	中和反応と塩	中和反応によって生成する塩を説明できる。	教科書の該当ページを読む	10		
			教科書及び問題集の問題を解く	20		
第14回	総合演習	試験に向けて総合的に演習する	試験のための勉強をする	60		
			教科書及び問題集の問題を解く	90		
	定期試験					
冬学期	第1回	自己点検	秋学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	—	—	
				試験の間違った問題を解く	20	
	第2～3回	酸化・還元	酸化される、還元されることを理解する。	教科書の該当ページを読む。	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	20	
	第4～6回	酸化数	酸化数が求められ、その増減で酸化・還元を理解することができる。	教科書の該当ページを読む。	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	20	
	第6～8回	酸化剤と還元剤	酸化・還元を理解して、酸化剤と還元剤を区別できる。	教科書の該当ページを読む。	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	20	
	第9～10回	金属のイオン化傾向	金属のイオン化傾向を学習し、酸化・還元との関係が理解できる。	教科書の該当ページを読む。	10	
				教科書及び問題集の問題を解く	20	
第11～12回	電池の仕組み	電池の原理を理解し、さまざまな電池の説明ができる。	教科書の該当ページを読む。	10		
			教科書及び問題集の問題を解く	10		
第13～15回	電気分解とその利用	電気分解が理解でき、それに関する問題が解ける。	教科書の該当ページを読む。	10		
			ノートに書いた問題を解く	30		
第16回	総合演習	試験に向けて総合的に演習する	試験のための勉強をする	60		
			小テストやプリントを見直す	90		
	定期試験					

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
保健体育Ⅲ				グローバル情報工学科 3年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必須	履修2	通年	実技	山口真史				
キーワード		科目概要						
安全、協調性、生涯スポーツ、 ルールの遵守		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体力テスト：背筋力、握力、反復横跳び、伏臥上体そらし、長座体前屈、踏み台昇降運動 ・ サッカー：正確なキック、リフティング、ルール、戦術、ゲーム ・ バasketボール：ドリブル、パスシュート、ルール、戦術、ゲーム ・ ニュースポーツ：（ソフトバレー）ルール、ゲーム 						
教科書		参考書			関連する科目・資格			
なし		アクティブスポーツ2015			なし			
評価方法								(%)
評価項目	実技評価	レポート	リーグ戦績	学習態度	出席状況		計	学年評価に対する割合
春学期	30	10	10	20	30		100	20
夏学期	30	10	10	20	30		100	20
秋学期	30	10	10	20	30		100	20
冬学期	30	10	10	20	30		100	20
学年評価（評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。）								100
備考	<p>実技評価は競技種目ごとに試験を行う。 学習態度は協調性、ルールの遵守、服装、遅刻、見学等から評価する。 出席状況は欠席の場合減点とする。 尚、保健体育の評価は実技と保健の相加平均とする。</p>							
受講上のアドバイス								
1、ジャージ、シューズは指定のもの以外認めない。 2、安全に留意すること。 3、生涯スポーツについて理解すること。								
科目の達成目標								
①	一生涯スポーツに関わる基礎を構築する。							
②	基礎体力の向上を図る。							
③	スポーツを通じて、協調性を身につける。							
④	陸上競技について理解を深める。							
⑤	武道について理解を深める。							
⑥	機械体操について理解を深める。							
関連する本校の学習・教育目標			人間性					
問い合わせ・質問先			1階 104室（教員室） 体育館教員室					
オフィスアワー			水曜日 16:30～17:30					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春 学 期	第1回	体力測定	自己の体力を把握する	-	0	
				体力測定の結果から自己の体力を振り返る	10	
	第2回	集団行動	整列、姿勢、準備体操などの集団行動ができる	整列方法、準備体操などの集団行動について考える	10	
				集団行動の重要性を振り返る	10	
	第3回	球技の練習	各種球技の理解を深める	体育大会で自分の出場する競技を知り、ルールを理解する	10	
				体育大会がスムーズに進行できるように振り返る	10	
	第4~9回	サッカー	サッカーのルールを理解しレポートを作成する	サッカーについてレポートを書く	30	
				試合を通してのルールや展開を振り返る	10	
			さまざまなキック、ドリブルができる	基本動作を調査する（ドリブル）	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
トラップ、パス、シュートができる			基本動作を調査する（パス）	10		
			本時の基本動作を振り返る	10		
ヘディング、リフティング、シュートができる			基本動作を調査する（シュート）	10		
			本時の基本動作を振り返る	10		
リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	チームごとに戦略を考える	10				
	チームごとに反省点を考える	10				
リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10				
	チームごとに反省点を考える	10				
第10回	サッカー	リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10		
			チームごとに反省点を考える	10		
夏 学 期	第1回	サッカー	リフティングの試験で目標課題を達成できる	試験であるリフティングの練習をしてくる	30	
				課題が達成できたか振り返る	10	
	第2~5回	バスケット	バスケットボールのルールを理解しレポートを作成する	バスケットボールについてレポートを書いてくる	10	
				試合を通してルールや展開を振り返る	10	
			ボールハンドリング、ドリブル、パスができる	基本動作を調査する（ドリブル・パス）	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			ドリブル、パス、シュートができる	基本動作を調査する（シュート）	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
	ハーフコートの3対3の練習を通して理解を深める	3対3について方法・戦略を調査する	10			
		調査した方法・戦略ができたか振り返る	10			
第6回	バスケット	練習ゲームを通してゲームの理解を深める	試合の展開について調査する	10		
			試合を振り返り、戦略を考える	10		

秋学期	第1~4回	バスケット	リーグ形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			リーグ形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			リーグ形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			シュートの試験で目標課題を達成できる	試験であるシュート課題を練習する	30			
				課題が達成できたか振り返る	10			
	第5回	球技の練習	各種球技の理解を深める	球技大会で自分の出場する競技を知り、ルールを理解する	10			
				球技大会がスムーズに進行できるように振り返る	10			
	第6~7回	ソフトバレーボール	ソフトバレーボールの基本トスができる	ソフトバレーボールのルール、試合展開について調査する	10			
				本時の基本動作を振り返る	10			
			ソフトバレーボールの基本レシーブ、アタックができる	基本動作を調査する（トス・レシーブ・アタック）	10			
				本時の基本動作を振り返る	10			
冬学期	第1~8回	ソフトバレーボール	リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10			
				チームごとに反省点を考える	10			
			ラリーの試験で目標課題を達成できる	試験であるラリー課題を練習する	10			
				課題が達成できたか振り返る	10			
			第9回	自己点検自己評価	1年間の授業について振り返り理解を深める	-	0	
						生涯スポーツについて振り返る	10	

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
総合英語Ⅲ				グローバル情報工学科 3年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 3	通年	講義	宮野 肇			
キーワード		科目概要					
リーディング、速読、単語力、現代社会		身近な現代社会の最新情報や直面する問題を扱った英文を読むことを通して、基本的なリーディングスキルを習得していく。速読の技術を取り入れながら、主題の内容を把握する訓練を行っていく。また英文中に登場する単語は日常の新聞、雑誌などでよく見かけるものであり、実社会でも非常に役立つ英単語であるので、単語力増強を図ることも目的としている。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
「Reading Pass 2」(改訂版) Andrew E. Bennett, 南雲堂					科目：総合英語Ⅰ, Ⅱ		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	小テスト	提出物	授業態度		計	学年評価に対する割合
春学期	50	25	15	10		100	25
夏学期	50	25	15	10		100	25
秋学期	50	25	15	10		100	25
冬学期	50	25	15	10		100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	各学期の評価で評価し、50点に満たない者は補習する。 年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。 定期試験および小テストの内容は、通常の学習の成果を測定することを主とする。 提出物は各ユニット内でのハンドアウトを完成して提出。 授業態度は忘れ物、授業中の居眠りなど10点以上の減点もある。(10%の中に春学期の発表が5%含まれる)						
受講上のアドバイス							
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストについているCD教材を利用し、積極的にリスニングや発音などのトレーニングをすると良い。 ・パラグラフ毎に書かれている内容を自分でまとめてみる。記事(article)や段落(passage)の組み立て方を自分で探してみる。 ・ユニットのテーマに関連する内容のもの(新聞・雑誌・テレビニュースなど)を積極的に読んだり、見聞きするとよい。英語媒体ならなお良い。 							
科目の達成目標							
①	授業で習った内容から自分の視野を広げることができる						
②	教科書に出てくる新出単語を意欲的に学習することができる						
③	新しい内容に入る際の導入を行うことで内容に対して興味を持つことができる						
④	スキャン(内容問題)の読み方を習得できる						
⑤	スキム(内容問題)の読み方を習得できる						
⑥	本文の内容についての知識を増やすことができる						
関連する本校の学習・教育目標			国際性				
問い合わせ・質問先			1階教員室(103室)				
オフィスアワー			16:30~17:30				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検	
春 学 期	第1回	授業概要の 説明	どの様な態度で授業に臨むことを 期待されているか理解する	—	0	
				学習支援計画書の内容の確認	15分	
	第2～8回	Unit2: Green Profits	重要単語やフレーズの確認、本文 内容理解、理解度確認練習問題、 本文要約完成	単語調べ/練習問題を解く	各10分	
				理解を深める/本文要約完成	各20分	
	第9回	Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	小テストの準備	20分	
				小テストの復習	10分	
	第10～16回	Unit3: Well-loved Pets	重要単語やフレーズの確認、本文 内容理解、理解度確認練習問題、 本文要約完成	単語調べ/練習問題を解く	各10分	
				理解を深める/本文要約完成	各20分	
	第17回	Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	小テストの準備	20分	
				小テストの復習	10分	
	第18～24回	Unit 6: TED Talks	重要単語やフレーズの確認、本文 内容理解、理解度確認練習問題、 本文要約完成	単語調べ/練習問題を解く	各10分	
				理解を深める/本文要約完成	各20分	
	第25回	Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	小テストの準備	20分	
				小テストの復習	10分	
	第26～27回	Activity①	ユニットに関連したテーマでの活 動	課題活動についての下調べ	各10分	
				発表等のまとめ	各20分	
		定期試験	(試験)	—	—	
	第28回	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	—		
			試験で間違えたところを再度見直す	15分		
第29～30回	Unit5: Viral Marketing	重要単語やフレーズの確認、本文 内容理解、理解度確認練習問題、 本文要約完成	単語調べ/練習問題を解く	各10分		
			理解を深める/本文要約完成	各20分		
夏 学 期	第1～5回	Unit 5: Viral Marketing	重要単語やフレーズの確認、本文 内容理解、理解度確認練習問題、 本文要約完成	単語調べ/練習問題を解く	各10分	
				理解を深める/本文要約完成	各20分	
	第6回	Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	小テストの準備	20分	
				小テストの復習	10分	
	第7～13回	Unit 8: Replanting the World's Forests	重要単語やフレーズの確認、本文 内容理解、理解度確認練習問題、 本文要約完成	単語調べ/練習問題を解く	各10分	
				理解を深める/本文要約完成	各20分	
第14回	Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	小テストの準備	20分		
			小テストの復習	10分		
第15回	Review	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	—	10分		
			定期テストのための復習	20分		
	定期試験	(試験)				

秋学期	第1回	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	—	
				試験で間違えたところを再度見直す	15分
	第2～8回	Unit9: Adventure Tourism	重要単語やフレーズの確認、本文 内容理解、理解度確認練習問題、 本文要約完成	単語調べ/練習問題を解く	各10分
				理解を深める/本文要約完成	各20分
	第9回	Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	小テストの準備	20分
				小テストの復習	10分
	第10～16回	Unit12: Computer Actors	重要単語やフレーズの確認、本文 内容理解、理解度確認練習問題、 本文要約完成	単語調べ/練習問題を解く	各10分
				理解を深める/本文要約完成	各20分
第17回	Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	小テストの準備	20分	
			小テストの復習	10分	
第18～19回	Activity②	ユニットに関連したテーマでの活 動	課題活動についての下調べ	各10分	
			発表等のまとめ	各20分	
第20～21回	Review	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	小テストの準備	各20分	
			小テストの復習	各10分	
	定期試験	(試験)	—	—	
冬学期	第1回	自己点検	答案返却・解説及び自己点検	—	0
				試験で間違えたところを再度見直す	15分
	第2～8回	Unit14: Fresh Water	重要単語やフレーズの確認、本文 内容理解、理解度確認練習問題、 本文要約完成	単語調べ/練習問題を解く	各10分
				理解を深める/本文要約完成	各20分
	第9回	Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	小テストの準備	20分
				小テストの復習	10分
	第10～16回	Unit 15: Exporting Culture	重要単語やフレーズの確認、本文 内容理解、理解度確認練習問題、 本文要約完成	単語調べ/練習問題を解く	各10分
				理解を深める/本文要約完成	各20分
第17回	Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	小テストの準備	20分	
			小テストの復習	10分	
第18～23回	Unit 16: Aging Populations	重要単語やフレーズの確認、本文 内容理解、理解度確認練習問題、 本文要約完成	単語調べ/練習問題を解く	各10分	
			理解を深める/本文要約完成	各20分	
第24回	Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解 しているか確認する。	小テストの準備	20分	
			小テストの復習	10分	
	定期試験	(試験)	—	—	

点検(自己評価):授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
Skills 3(英語スキルズIII)				グローバル情報工学科 3年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Required	履修 3	All Year	Lecture	Isaac Roelfsema (Spring, Summer, Fall, Winter), Ian Stevenson (Spring, Fall, Winter), Jenny Brown (Spring)		
キーワード		科目概要				
Project Based Learning, Communication Skills, Presentation Skills, Teamwork, Team building		The purpose of this class is to develop the English ability, knowledge and vocabulary needed for students to have a fuller range of everyday conversations and improve their English skills. Students will do this through a variety of activities from the textbook and handouts. Students will frequently work in groups for various activities to practice and improve their understanding of daily English conversations.				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
① <i>Speak Now 2 Student Book</i> Jack C. Richards and David Bohlke Oxford		①Handouts		科目:英語スキルズII		
評価方法						
評価項目	Quizzes/Tests/Projects	Classwork	Participation		評価	学期の割合
春学期	30	50	20		100	2/6
夏学期	30	50	20		100	1/6
秋学期	30	50	20		100	1.5/6
冬学期	30	50	20		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> • Students will be evaluated using written and spoken tests and project rubrics. • Students will be evaluated on the accuracy and completion of class handouts and in class activities. • Students will be evaluated using a participation rubric. 					
受講上のアドバイス						
<ul style="list-style-type: none"> • Come to class on time with your books and pencil. • Be friendly and respectful to the teacher and other students. • Ask questions until you understand perfectly. And then help your classmates ask even more. • Making mistakes is <u>always</u> better than not trying. • Relax, have fun, and smile. Then ask more questions and make more mistakes! • Be responsible for making up missed work and finishing assignments. 						
科目の達成目標						
①	Students will be able to discuss topics (health, travel, fashion, etc.) covered in the book.					
②	Students will be able to express opinions, ask questions, and agree/disagree in socially appropriate ways.					
③	Students will be able to use grammar structures studied in class (past perfect, modals, -ed/-ing, etc.).					
④	Students will be able to work in a multi-level group towards a common goal.					
⑤						
⑥						
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		KTC 31-103				
オフィスアワー		Thursday, 4:00-5:00				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to...	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検	
春 学 期	第1-3回	Friends & Family	Start and close a conversation, introduce, describe and ask questions about themselves and others (appearance and personality) and use quantifiers when describing groups	Get a 30 ring folder	15	
	第4-6回	Friends & Family		Review Unit vocabulary and grammar	15	
				Think about the project and how you will approach it	15	
	第7-9回	Friends & Family		Think about the project and how to present it	15	
				Reflect on unit and project	15	
	第10-12回	Restaurants	Describe and ask about past experiences using simple past and past perfect and give instructions, orders and reminders	Preview Unit vocabulary and grammar	15	
				Think about how the topic relates to you	15	
	第13-15回	Restaurants		Review Unit vocabulary and grammar	15	
				Think about the project and how you will approach it	15	
	第16-18回	Restaurants		Think about the project and how to present it	15	
				Reflect on unit and project	15	
	第19-21回	Travel	Describe past events, ask follow up questions, discuss preferences, use modal verbs to express permission, prohibition and obligation and to get and give information about prices and schedules	Preview Unit vocabulary and grammar	15	
				Think about how the topic relates to you	15	
	第22-24回	Travel		Review Unit vocabulary and grammar	15	
Think about the project and how you will approach it				15		
第25-27回	Travel	Think about the project and how to present it		15		
		Reflect on unit and project		15		
第28-30回	Review	Revisit and reuse what they have learned in the Spring semester.	Review term	15		
			Summer Homework	15		
夏 学 期	第1-3回	<i>Students will learn to organize and lead a group.</i> Communicate with group members through team building and English communication skills; Research Kanazawa places of interest on the internet.		15		
			Reflect on the team building activities you did in class, and note your role within your group. <i>How will you meet your responsibilities as a senior student and help to lead the group?</i>	15		
	第4-5回	<i>Skills 3 Summer:</i> Kanazawa Places of Interest	<i>Students will be able to lead a group to</i> choose and research a Kanazawa place of interest, taking into consideration their individual role with their group; Take notes in English on their research findings; <i>Organize their group's work and identify strong and weak points.</i>	Review the <i>leadership</i> skills you learned in class, and practice <i>leading a group to gather and share information</i> about a place of interest around Ishikawa. Review your notes <i>and lead your group to finish any research and share the results with your group members</i> about your group's Kanazawa place of interest.	15 15	

秋学期	第6-8回		<i>Students will be able to lead their group to completing their presentation script;</i> Develop speaking presentation skills; Assign and practice their roles within their group; <i>Ensure the other group members have completed their roles..</i>	Review your notes, <i>discuss with group members and think about how your team should</i> present this information.	15		
				Review the speaking skills you learned in class and think about <i>how you lead your group to make a successful presentation.</i>	15		
	第9-10回		<i>Students will be able to ask for, receive and use feedback from other group members;</i> Demonstrate speaking presentation skills by practicing presenting their findings within their own group, and for another group.	What makes a good speaking presentation? <i>Brainstorm ideas, note your group's strengths and areas for improvement and use your group's feedback to improve performance..</i>	15		
				Practice the speaking skills you learned in class <i>and think about how you will lead your group members</i> during your visit to your Kanazawa place of interest.	15		
	第11-13回		<i>Students will be able to narrate</i> an onsite recorded presentation and interview with visitors at their Kanazawa place of interest. <i>This will include an introduction, history, interview and summary.</i>	Practice your role, <i>make sure your team has finished any work</i> before going out into the community.	15		
				Reflect on your role within your group during the recording day in Kanazawa. <i>Did you provide strong leadership for your group?</i>	15		
	第14-15回		<i>Students will be able to reflect,</i> in English, upon their <i>on camera performance and leadership in making their</i> Kanazawa place of interest video; Share feedback with other groups about different Kanazawa places of interest videos they see.	Review the speaking skills and project notes you've made. <i>Focus on how you can lead a group project.</i>	15		
				Review feedback you received from classmates about your group video. What was a strong point for YOUR work, <i>and how you can improve your leadership skills</i> during the second half of the year?	15		
	第 1 -3回	Style & Fashion	Ask and describe behavior and use, make and agree to requests and ask for and offer ideas.	Preview Unit vocabulary and grammar	15		
		Think about how the topic relates to you		15			
第4-6回	Style & Fashion	Review Unit vocabulary and grammar		15			
		Think about the project and how you will approach it		15			
第7-9回	Style & Fashion	Think about the project and how to present it		15			
			Reflect on unit and project	15			
第10-12回	Opinions	Ask for and give opinions, agree and disagree with others opinions, use -ed/-ing adjectives correctly, discuss imaginary situations and describe a series of events	Preview Unit vocabulary and grammar	15			
			Think about how the topic relates to you	15			
第13-15回	Opinions		Review Unit vocabulary and grammar	15			
			Think about the project and how you will approach it	15			
第16-18回	Opinions		Think about the project and how to present it	15			
			Reflect on unit and project	15			

第19-21回	Review	Revisit and reuse what they have learned in the Fall semester.	Review Term	15							
			Reflect on the year so far	15							
冬学期	第1-3回	Free Time/ Health	Ask for and make comparisons, expression wants and intentions, ask for advice, make and decline invitations, discuss health issues and free time activities	Preview Unit vocabulary and grammar	15						
				Think about how the topic relates to you	15						
	第4-6回			Free Time/ Health	Ask for and make comparisons, expression wants and intentions, ask for advice, make and decline invitations, discuss health issues and free time activities	Preview Unit vocabulary and grammar	15				
						Think about how the topic relates to you	15				
	第7-9回			Free Time/ Health	Ask for and make comparisons, expression wants and intentions, ask for advice, make and decline invitations, discuss health issues and free time activities	Review Unit vocabulary and grammar	15				
						Think about the project and how you will approach it	15				
	第10-12回			Free Time/ Health	Ask for and make comparisons, expression wants and intentions, ask for advice, make and decline invitations, discuss health issues and free time activities	Think about the project and how to present it	15				
						Reflect on unit and project	15				
	第13-15回			Jobs	Describe ability, pros and cons, make recommendations, discuss what is a necessity and what is not and learn proper telephone manners.	Preview Unit vocabulary and grammar	15				
						Think about how the topic relates to you	15				
	第16-18回			Jobs		Describe ability, pros and cons, make recommendations, discuss what is a necessity and what is not and learn proper telephone manners.	Review Unit vocabulary and grammar	15			
							Think about the project and how you will approach it	15			
	第19-21回			Jobs			Describe ability, pros and cons, make recommendations, discuss what is a necessity and what is not and learn proper telephone manners.	Think about the project and how to present it	15		
								Reflect on unit and project	15		
	第22-24回			Review				Revisit and reuse what they have learned in the Winter semester.	Review Year	15	
									Study for test	15	

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
人間と自然Ⅱ				グローバル情報工学科 3年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修 1	集中講義	講義	山口真史・菅原光彦・渡邊 勲・中部 宏・米倉幸増				
キーワード		科目概要						
人間力		穴水湾自然学苑において、海洋活動、講話、クラスミーティングなどを一体的に行う。グループ活動を通し、自然への理解を深めチームワークやリーダーシップを発揮するとともに、団体生活を通し、思いやりの心を実践し生活規範を身に付ける。また、校長および苑長講話を聴講し、学生生活のあるべき姿を理解するとともに、日本人としての誇りと自覚を深める。						
教科書			参考書		関連する科目・資格			
なし			①学生便覧2015		科目：人間と自然Ⅱ 人間と自然Ⅲ 資格：なし			
評価方法							(%)	
評価項目	海洋活動	研修レポート	生活態度	出席状況			計	学年評価に対する割合
春学期								
夏学期	20	15	15	50			100	100
秋学期								
冬学期								
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100	
備考	研修2日目16:30まで出席した者について、本科目の履修を認め成績評価を行う。出席は2日目16:30までの出席で30点および3日間出席で50点を付与する。海洋活動は受講態度が悪い者は、10点を上限とし減点する。研修レポートは研修の理解度、取り組みの程度、誤字、提出遅れなどにより7点を上限とし減点する。また生活態度が悪い者は7点を上限とし減点する。研修活動に体調不良等で欠席した場合は、海洋活動は午前、午後各3点、その他授業明細の項目については各1点を減点する。なお見学は出席とする。学生便覧2015規則集中の生活規定等に違反した場合は退苑させることがあり、評定2(不可)とする。							
受講上のアドバイス								
①別に配布する穴水湾自然学苑研修の資料をよく読み、忘れ物のないように注意する。 ②健康管理に十分留意し研修に臨むこと。体調不良の場合は、本校集合時に必ず申し出ること。 ③団体生活を通して、他の人への思いやりを体得してください。 ④穴水湾自然学苑周辺の大自然に大いに親しんでください。								
科目の達成目標								
①								
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
関連する本校の学習・教育目標			人間性					
問い合わせ・質問先			(授業開講時) 穴水湾自然学苑1階教員室・中部まで (それ以外) 高専1階31.104教員室・山口まで					
オフィスアワー								

回	授業項目	授業の達成目標	点検
夏学期	1	オリエンテーション	緊急時における非常口の場所など安全の確保に関することおよび研修期間中における基本的なルールなどについて理解できる。
	2	朝の集い	国歌の斉唱と国旗・校旗の掲揚を行い、掲揚時のマナーについて理解できる。
	3	夕べの集い	国歌の斉唱と国旗、校旗の降納を行い、降納時のマナーについて理解できる。
	4	苑長講話	講話を聴講し、日本人としての誇りと自覚を理解できる。
	5	海洋活動	カッターによる帆走および洋上オリエンテーリングを行う。これらの活動を通して、チームワークやリーダーシップの重要性を理解できる。
	6	団体生活	団体生活を通して、思いやりの心を実践するとともに、生活規範を体得できる。
	7	クラスミーティング	クラスミーティングによりクラスの団結を深め、これからの学生生活への意欲を高めることができる。
	8	海洋活動反省会	海洋活動を通し感じたことなどをグループで話し合い、発表することができる。
	9	校長講話	講話を通し、学生生活上の指針を理解できる。
	10	研修レポートの作成	「人間と自然Ⅱ」で学んだ以下の項目について、文章として表現できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・海洋活動（帆走、洋上オリエンテーリング）でのチームワークやリーダーシップの大切さについて。 ・団体生活での思いやりの心や生活規範の大切さについて。 ・苑長講話および校長講話について。

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

科目名				クラス				
人間と自然Ⅱ				グローバル情報工学科 3年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修 1	集中講義	講義	山口真史・菅原光彦・渡邊 勲・中部 宏・米倉幸増				
キーワード		科目概要						
人間力		穴水湾自然学苑において、海洋活動、講話、クラスミーティングなどを一体的に行う。グループ活動を通し、自然への理解を深めチームワークやリーダーシップを発揮するとともに、団体生活を通し、思いやりの心を実践し生活規範を身に付ける。また、校長および苑長講話を聴講し、学生生活のあるべき姿を理解するとともに、日本人としての誇りと自覚を深める。						
教科書			参考書		関連する科目・資格			
なし			①学生便覧2015		科目：人間と自然Ⅱ 人間と自然Ⅲ 資格：なし			
評価方法 (％)								
評価項目	海洋活動	研修レポート	生活態度	出席状況			計	学年評価に対する割合
春学期								
夏学期	20	15	15	50			100	100
秋学期								
冬学期								
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)								100
備考	研修2日目16:30まで出席した者について、本科目の履修を認め成績評価を行う。出席は2日目16:30までの出席で30点および3日間出席で50点を付与する。海洋活動は受講態度が悪い者は、10点を上限とし減点する。研修レポートは研修の理解度、取り組みの程度、誤字、提出遅れなどにより7点を上限とし減点する。また生活態度が悪い者は7点を上限とし減点する。研修活動に体調不良等で欠席した場合は、海洋活動は午前、午後各3点、その他授業明細の項目については各1点を減点する。なお見学は出席とする。学生便覧2015規則集中の生活規定等に違反した場合は退苑させることがあり、評定2(不可)とする。							
受講上のアドバイス								
①別に配布する穴水湾自然学苑研修の資料をよく読み、忘れ物のないように注意する。 ②健康管理に十分留意し研修に臨むこと。体調不良の場合は、本校集合時に必ず申し出ること。 ③団体生活を通して、他の人への思いやりを体得してください。 ④穴水湾自然学苑周辺の大自然に大いに親しんでください。								
科目の達成目標								
①								
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
関連する本校の学習・教育目標			人間性					
問い合わせ・質問先			(授業開講時) 穴水湾自然学苑1階教員室・中部まで (それ以外) 高専1階31.104教員室・山口まで					
オフィスアワー								

回	授業項目	授業の達成目標	点検
夏学期	1	オリエンテーション	緊急時における非常口の場所など安全の確保に関することおよび研修期間中における基本的なルールなどについて理解できる。
	2	朝の集い	国歌の斉唱と国旗・校旗の掲揚を行い、掲揚時のマナーについて理解できる。
	3	夕べの集い	国歌の斉唱と国旗、校旗の降納を行い、降納時のマナーについて理解できる。
	4	苑長講話	講話を聴講し、日本人としての誇りと自覚を理解できる。
	5	グループ討議	班ごとに異なるテーマで意見交換を行う。これらの活動を通して、チームワークやリーダーシップの重要性を理解できる。 グループで話し合い、発表することができる。
	6	団体生活	団体生活を通して、思いやりの心を実践するとともに、生活規範を体得できる。
	7	クラスミーティング	クラスミーティングによりクラスの団結を深め、これからの学生生活への意欲を高めることができる。
	8	グループ討議反省会	グループ活動を通し感じたことなどをグループで話し合い、発表することができる。
	9	校長講話	講話を通し、学生生活上の指針を理解できる。
	10	研修レポートの作成	「人間と自然Ⅱ」で学んだ以下の項目について、文章として表現できる。 ・グループ活動でのチームワークやリーダーシップの大切さについて。 ・団体生活での思いやりの心や生活規範の大切さについて。 ・苑長講話および校長講話について。

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
コンピュータ演習Ⅱ				グローバル情報工学科 3年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義・実技	今澤明男, Sara Jackson			
キーワード		科目概要					
Java、変数、演算子、制御構造、配列、クラス、インスタンス、フィールド、メソッド、継承、インターフェイス、オブジェクト指向、ポリモルフィズム		オブジェクト指向言語 J a v a の基本を身につけ、オブジェクト指向にそったプログラム作成の基本ができるようにする。まずは、すでに学習した制御構造に十分習熟し、条件判断や繰り返し、さらに配列を自由に使えるようにする。そののちにクラスについて学び、オブジェクト指向によるプログラミングの基礎となる知識と技術を身につける。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
「やさしい J a v a 5 版」 高橋麻奈（著）、S B クリエイティブ		「 J a v a の絵本」 アंक（著）、翔泳社		科目：コンピュータ演習Ⅰ・Ⅲ システム開発演習Ⅰ 資格：Java プログラミング能力認定試験			
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	演習					計 学年評価に対する割合
春学期	80	20					100 25
夏学期	80	20					100 25
秋学期	80	20					100 25
冬学期	80	20					100 25
学 年 評 価（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）							100
備 考	1) 演習科目ではあるが、定期試験を行い評価する。 2) ほぼ毎週、演習課題を果たし、成果を評価する。 3) 普段の出欠・演習態度が不良の場合は、最大50点の減点をする。 4) J a v a に関する英語の基礎的表現を身につけることも評価対象とする。						
受講上のアドバイス							
1) まずは「分かった」と実感するまで学ぶこと。さらに「自由に使える」まで粘り強く演習を行うこと。そして、自分なりにいろいろと試して「面白い」と感じるところまで到達すること。 2) 知っているだけでは使えない。応用力をつけるため、課題に粘り強く取り組むこと。							
科目の達成目標							
①	単純な計算のためのプログラムを作れるようになる。						
②	条件分岐や繰り返しを用いたプログラムを作れるようになる。						
③	配列を活用したプログラムを作れるようになる。						
④	クラスを利用した簡単なプログラムを作れるようになる。						
⑤	クラスの継承を利用した、やや複雑なプログラムを作れるようになる。						
⑥	プログラム作りを楽しむことができるようになる。						
関連する本校の学習・教育目標		専門力、創造性					
問い合わせ・質問先		2階206室（今澤）					
オフィスアワー		火曜日16:30～17:30					

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検
春学期	第1～2回	Javaの基本	コーディング、コンパイル、実行の流れを理解する。 Java VMの概念を理解する。	プリントによる復習	各15分
	第3～4回	変数と表示	変数の種類と機能、利用の仕方を理解し、身に付ける。また、情報の表示方法を身に付ける。	教科書での予習	各15分
				プログラミング課題	各30分
	第5～8回	式と演算子	データに対する演算の種類と方法を理解し、演算の方法を身に付ける。	教科書での予習	各15分
				プログラミング課題	各30分
	第9～12回	条件分岐	条件の表現方法ならびに条件による分岐の仕方を理解し、身に付ける。	教科書での予習	各15分
				プログラミング課題	各30分
第13～18回	繰り返し	同じ処理を繰り返す方法を理解し、身に付ける。	教科書での予習	各15分	
			プログラミング課題	各30分	
定期試験					
第19～20回	1次元配列	1列に並んだデータ、すなわち1次元データの表現方法・利用方法を理解し、身に付ける。	教科書での予習	各15分	
			プログラミング課題	各30分	
夏学期	第1～6回	多次元配列	教科書での予習	各15分	
			プログラミング課題	各30分	
	第5～10回	クラスの基本(1)	オブジェクト指向でのプログラムの最小単位であるクラスの仕組みを理解する。	教科書での予習	各15分
プログラミング課題				各30分	
定期試験					
秋学期	第1～4回	クラスの基本(2)	教科書での予習	各15分	
			プログラミング課題	各30分	
	第5～12回	クラスの機能	教科書での予習	各15分	
			プログラミング課題	各30分	
第13～14回	クラスの利用(1)	クラスの便利な利用方法を理解する。	教科書での予習	各15分	
			プログラミング課題	各30分	
定期試験					
冬学期	第1～2回	クラスの利用(2)	教科書での予習	各15分	
			プログラミング課題	各30分	
	第3～10回	継承	既存のクラスから、機能を拡張・更新した新たなクラスを作る方法「継承」を理解し、身に付ける。	教科書での予習	各15分
				プログラミング課題	各30分
	第11～16回	インターフェイス		教科書での予習	各15分
プログラミング課題				各30分	
定期試験					

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
情報処理Ⅲ				グローバル情報工学科 3年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	坂倉忠和			
キーワード		科目概要					
情報セキュリティ、公開鍵暗号方式、Linux		現在、企業や社会での活動の効率化を目的とした種々の情報システムが稼働している。これらはサーバ用のオペレーティングシステム（OS）であるUNIX上で稼働しているものも多い。そこで当科目では、UNIXの操作の基本を学び、これらの演習を通じて、キャラクタ・ユーザ・インタフェース（CUI）を介しての操作に習熟することも目的とする。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①「Linux標準教科書（Ver.2.0.0）」，岡田賢治他，エルピーアイジャパン			指定なし		科目：情報処理Ⅱ，ビジネスシステム 資格：ITパスポート試験，LPICレベル1		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	課題・宿題				計	学年評価に対する割合
春学期	80	20				100	35
夏学期	80	20				100	15
秋学期	80	20				100	25
冬学期	80	20				100	25
学年評価（評価は春，夏，秋，冬学期で行い、通知表は春，夏，秋，学年評価で示す。）							100
備考	定期試験は各学期末に実施する。演習に対して、積極的に取り組むことが前提となっているため、取り組みに関する評価項目を設定しない。そのような取り組み姿勢が見られない場合には、全体の評価から減点する。課題や宿題においてコピーなどの不正が発覚した場合には、全体の評価の評価から大幅に減点する。また、自学自習を目的として、授業の設定水準よりも高度な自由課題を出すことがある。これらに取り組んだ場合には全体の評価に加点する。						
受講上のアドバイス							
①ノートおよび演習プリントなどを綴じるためのファイルを用意すること。 ②演習課題や宿題の提出期限は必ず守ること。 ③演習には必ず納得するまで取り組むこと。 ④宿題などは完成させてから提出すること。							
科目の達成目標							
①	暗号技術の概要について理解できる。						
②	デジタル署名やメッセージ認証の概要が分かる。						
③	マルウェア対策やファイアウォールなどセキュリティの概要について理解できる。						
④	Linuxにおいてファイルやディレクトリの操作に関するコマンドが理解できる。						
⑤	簡単な正規表現が分かるようになる。						
⑥	ユーザの作成やアクセス権限の設定などができるようになる。						
関連する本校の学習・教育目標			専門力，創造性				
問い合わせ・質問先			2階206室				
オフィスアワー			金曜日16:30～17:30				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検
春学期	第1～2回	ガイダンス	セキュリティ技術の重要性が理解できる。 ノートを整理する。	—	15
				—	
	第3～4回	認証方式	パスワードや身体的特徴に基づく認証の特徴や仕組みが分かる。 ノートを整理する。	講義資料No.02を熟読する。	15
				—	
	第5～6回	暗号技術の概要	共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の特徴と違いが分かる。 ノートを整理する。	講義資料No.03を熟読する。	15
				—	
	第7～8回	公開鍵基盤 (PKI)	PKIの概念および利用方法が分かる。 ノートを整理する。	講義資料No.04を熟読する。	15
				—	
	第9～10回	共通鍵暗号方式	代表的な共通鍵暗号方式の仕組みの概要が分かる。 ノートを整理する。	講義資料No.05を熟読する。	15
				—	
	第11～12回	整数論	ユークリッドの互除法が理解できる。 ノートを整理する。	講義資料No.06を熟読する。	15
				—	
	第13～14回		合同式が理解できる。 ノートを整理する。	講義資料No.07を熟読する。	15
				—	
	第15～16回	RSA暗号	RSA暗号の仕組みの概要が分かる。 ノートを整理する。	講義資料No.08を熟読する。	15
				—	
	第17～18回	総合演習 (1)	第1回から第16回までの内容を定着させる。 —	—	60
				春学期の内容を復習する。	
	定期試験				
第19～20回	メッセージ認証	デジタル署名およびメッセージ認証の仕組みが分かる。 ノートを整理する。	講義資料No.10を熟読する。	15	
			—		
夏学期	第1～2回	デジタルコンテンツの保護	電子透かしの仕組みの概要が分かる。 ノートを整理する。	講義資料No.11を熟読する。	15
				—	
	第3～4回	セキュア通信	セキュアな通信を可能にするプロトコルの概要が分かる。 ノートを整理する。	講義資料No.12を熟読する。	15
				—	
	第5～6回	マルウェア対策	マルウェアの特徴とそれらの対策方法が分かる。 ノートを整理する。	講義資料No.13を熟読する。	15
				—	
	第7～8回	ファイアウォール	ファイアウォールや侵入検知の仕組みの概要が分かる。 ノートを整理する。	講義資料No.14を熟読する。	15
				—	
	第9～10回	総合演習 (2)	第1回から第8回までの内容を定着させる。 —	—	60
				夏学期の内容を復習する。	
		定期試験			

秋学期	第1～2回	Linuxの概要	Linuxの概要が分かる。	教科書P9～29を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第3～4回	基本的なコマンド(1)	ファイル操作のためのコマンドが分かる。	教科書P31～47を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第5～6回		ファイルの内容の表示や検索のためのコマンドが分かる。	教科書P48～55を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第7～8回	正規表現とパイプ	正規表現の概要が分かる。	教科書P57～66を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第9～10回	基本的なコマンド(2)	ファイルからデータを取得するためのコマンドが分かる。	教科書P67～74を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
第11～12回		テキストファイルを処理するためのコマンドが分かる。	教科書P74～85を熟読する。	15		
			ノートを整理する。	15		
第13～14回	総合演習(3)	第1回から第12回までの内容を定着させる。	—			
			秋学期の内容を復習する。	60		
		定期試験				
冬学期	第1～2回	エディタ	v i エディタの基本操作が分かる。	教科書P85～104を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第3～4回		v i エディタにおいて検索や置換ができる。	教科書P104～111を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第5～6回	管理者の仕事	グループやユーザを作成することができる。	教科書P113～127を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第7～8回	ユーザ権限とアクセス	アクセス権を設定することができる。	教科書P129～138を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第9～10回	シェルスクリプト	シェルスクリプトの作成方法が分かる。	教科書P139～148を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
第11～12回	条件分岐における演算子が分かる。		教科書P149～156を熟読する。	15		
			ノートを整理する。	15		
第13～14回		繰り返しの構造が分かる。	教科書P157～164を熟読する。	15		
			ノートを整理する。	15		
第15～16回	総合演習(4)	第1回から第14回までの内容を定着させる。	—			
			冬学期の内容を復習する。	60		
		定期試験				

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
ビジネスシステム				グローバル情報工学科 3年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	谷口萌未			
キーワード		科目概要					
企業ストラテジ、業務、情報システム		本授業において、企業活動の目的とそれを実現するための戦略を理解した上で、日々の企業業務に関する基本的な知識を勉強する。また、企業業務を効率よくサポートする情報システムの必要性を認識し、これらのWebシステムを構築、運用、保守する上で必要な基礎知識とプロセスを学習する。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
「やさしいITパスポート講座」、高橋麻奈、ソフトバンククリエイティブ					科目：情報処理Ⅱa、情報処理Ⅱb 資格：ITパスポート試験		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	小テスト	ノート・レポート	授業態度		計	学年評価に対する割合
春学期	40	20	30	10		100	30
夏学期	50		40	10		100	15
秋学期	40	20	30	10		100	20
冬学期	40	20	30	10		100	35
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<p>年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。</p> <p>定期試験及び小テストは学習の成果を測定することを主とする。</p> <p>課題・宿題は提出状況と完成度を測定する。</p> <p>授業態度は授業への積極的な参加を評価する。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>授業ではITパスポート試験範囲の一部を学習します。他の科目とうまく繋いでITパスポート試験の早期取得を目指しましょう。尚、受講上の注意点を以下に示します。必ず守ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業にノートPCを必ず持参すること。 2. 講義内容をまとめるB5サイズのノートを用意し、年間を通じて同じノートを使用する。 3. 授業中、しっかり講義を聞き、不明な点があれば、溜めずに聞くこと。 4. 課題を必ず各自で行い、提出はメ切厳守を徹底すること。 							
科目の達成目標							
①	企業活動の目的と戦略について理解できる。						
②	企業の業務、組織のイメージを大枠でつかめる。						
③	企業の財務諸表の概要が分かる。						
④	業務をサポートする様々な情報システムの名前と用途を覚えらる。						
⑤	情報システム開発全体の流れが分かる。						
関連する本校の学習・教育目標			E：専門力、B：創造性				
問い合わせ・質問先			31号館(207)				
オフィスアワー			随時				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段: 予習・下段: 復習)	時間	点検	
春学期	第1・2回	ガイダンス	授業の範囲、概要、到達目標を理解できる。 企業のストラテジについて調査する。	20		
	第3・4回	企業のストラテジと業務	企業活動の目的と戦略、組織のかたちを理解できる。 業務流れの概要が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	15	
	第5・6回			教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	15	
	第7・8回	業務のモデル化と改善	モデル化の手法が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	15	
	第9・10回	データの収集と整理	データの収集や整理の意義と方法が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	15	
	第11・12回	統計と確率	統計と確率の基礎が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
講義内容を確認し、ノートをまとめる。				15		
第13・14回	グラフ	グラフの種類と特徴が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15		
			講義内容を確認し、ノートをまとめる。	15		
第15～18回	総合演習(1)	春学期で学習した内容を復習し、応用力をはかる。	春学期のノートを用いて復習を行う。	60		
	定期試験	(試験)				
第19・20回	春学期点検	学習の達成度を確認できる。	試験問題を見直し、標準解答を作る。	60		
夏学期	第1・2回	生産・販売・在庫管理	生産、販売、在庫の関係を理解し、損益分岐点が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	15	
	第3・4回	財務管理	財務諸表の概要が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	15	
	第5・6回	経営管理	経営状態を把握するための諸指標の概念が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	15	
第7・8回	工程管理	WBS、PERT図の概要が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15		
			講義内容を確認し、ノートをまとめる。	15		
第9・10回	品質管理	品質管理に用いるツールの概要が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15		
			講義内容を確認し、ノートをまとめる。	15		
	定期試験	(試験)		-		

秋学期	第1・2回	情報システム	業務をサポートする様々な業務システムの存在が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	20	
	第3・4回	システムの導入	システム導入の計画を理解できる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	20	
	第5・6回	システム設計	使い易いシステムとはどんなものかが分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	20	
	第7・8回	システム開発	システムの開発工程が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	20	
第9・10回	システムテスト	テスト工程が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15		
			講義内容を確認し、ノートをまとめる。	20		
第11・12回	プログラムの作成方法	プログラミング言語の種類と特徴を理解できる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15		
			講義内容を確認し、ノートをまとめる。	20		
第13・14回	総合演習(2)	秋学期の学習内容を復習し定着をはかる。				
			秋学期のノートを用いて復習を行う。	60		
	定期試験	(試験)				
冬学期	第1・2回	システム運用と保守	システムの可用性についての諸指標が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	20	
	第3・4回	システム障害対策	システム障害に対する備えについて方法が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	20	
	第5・6回	システム改良	ITILとSLAについて説明できる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	20	
	第7・8回	ソフトウェアの権利	ソフトウェアの知的財産権の種類が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	15	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	20	
第9～12回	調査・発表	実際のWebシステムの考察を行う。				
			調査内容の分析・まとめをする	60		
第13～16回	総合演習(3)	冬学期の学習内容を復習し、過去問題の演習により定着をはかる。				
			冬学期のノートを用いて復習を行う。	60		
	定期試験	(試験)				

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
創造実験Ⅲ				グローバル情報工学科 3年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	実技	田村景明・井上恵介			
キーワード			科目概要				
Processing, java, ロボット, 図形・画像処理, Webカメラ			1, 2年生で学習したLEGOロボット, ネットワーク, プログラミング演習によって体験した実験・演習の内容をより深く理解するために, 個々の要素(情報処理, 機械, 電気)の知識を身につけ, それらを組み合わせることにより, ある機能を持つシステムを製作する。また, 4年次以降に開講される科目へのステップとするものである。 実験テーマは, 1. 無線ロボットの製作, 2. 図形・画像処理システムの制作である。				
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①実験指導書			①Processing アニメーションプログラミング入門, 田中孝太郎, 技術評論社		科目: コンピュータ演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 資格: CG検定		
評価方法 (％)							
評価項目	課題	報告書	理解度 確認試験			計	学年評価に対する割合
春学期	45	45	10			100	25%
夏学期	45	45	10			100	25%
秋学期	45	45	10			100	25%
冬学期	45	45	10			100	25%
学年評価(評価は春, 夏, 秋, 冬で行い, 通知表は春, 夏, 秋, 学年評価示す。)							100
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・1年を2分割し(春夏学期と秋冬学期), 2テーマをローテーションしながら進める。2つのテーマの評価割合はそれぞれ50%である。春夏期間は春:7週, 夏:8週として評価する。 ・課題は実験中の製作物・課題, 宿題等である。報告書は週報, まとめの報告書等である。理解度確認試験は実験中に行う小テストである。 ・各学期欠席1回(50分)に対して5点減点, 遅刻・早退それぞれ1回に対して5点減点する。特別な理由がある場合は, 学校の指示に従い, この限りではない。授業怠業・学校規則違反学生は, 上記評価にかかわらず減点する。 						
受講上のアドバイス							
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは自分でやってみよう。 ・週報は毎週必ず提出すること。 ・授業中は作業服を着ること。 ・貸与パソコン, 筆記用具, 指導書等を持参すること。 ・整理整頓に心がけ, 掃除をしっかりすること。 							
科目の達成目標							
①	組み立て用の工具類, 動作チェック用のテストを操作できる。						
②	ロボットを組み立てできる。						
③	ロボットの制御プログラムを修正できる。						
④	FMラジオを制作できる。						
⑤	LANケーブルを制作できる。						
⑥	モーションデバイスを操作できる。						
関連する本校の学習・教育目標	創造性・専門力						
問い合わせ・質問先	31号館210号室						
オフィスアワー	16:30~17:30						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～2回	安全教育 ガイダンス	安全について理解できる。 実験内容について理解できる。	実験内容を理解する。	15分	
				指示された課題を行う。	15分	
	第3～4回	電気とテスタ	テスタを使って、電圧測定ができる。	テストの使い方を復習する。	15分	
				指示された課題を行う。	15分	
	第5～6回	ギアボックス	ギアボックスを製作できる。	ギアボックスの働きの理解。	15分	
				指示された課題を行う。	15分	
	第7～8回	ロボットの組み立て (1)	ロボットの主要部品を取り付けできる。	部品の働きの理解する。	15分	
				指示された課題を行う。	15分	
	第9～10回	ロボットの組み立て (2)	ロボット制御のための配線ができる。	モータ制御回路を理解する。	15分	
				指示された課題を行う。	15分	
第11～12回	USBゲームパッドの制御	USBゲームパッドの制御ができる。	ゲームパッド制御の理解。	15分		
			指示された課題を行う。	15分		
第13～14回	モータ制御	プログラムによりモータ制御ができる。	プログラム制御のしくみの理解。	15分		
			指示された課題を行う。	15分		
第15～16回	ロボットの無線化	ロボットを無線制御できる。	無線化のしくみを理解する。	15分		
			指示された課題を行う。	15分		
第17～18回	ロボットの調整 (1)	競技会にむけて、ボール運搬用アームを調整できる。	アイデアの反省を行う。	15分		
			競技会必勝アイデアを考える。	30分		
第19～20回	ロボットの調整 (2)	競技会にむけて、ロボットの制御を調整できる。	アイデア実現を考える。	15分		
			ロボットの修正点を考える。	15分		
夏学期	第1～2回	ロボット競技会 (1)	競技会に参加できる。	競技会の反省を行う。	15分	
				指示された課題を行う。	15分	
	第3～4回	ロボット競技会 (2)	競技会に参加できる。	競技会結果をまとめる。	15分	
				指示された課題を行う。	15分	
	第5～7回	ロボットの分解 報告書の作成	ロボットを分解できる。 報告書の作成資料を整理できる。	ロボットの分解手順を確認。	15分	
				報告書内容をまとめる。	15分	
	第8～10回	報告書の作成	報告書を作成できる。	報告書作成時の注意点を確認。	15分	
				報告書を完成する。 自己点検・自己評価する。	120分	

秋学期	第1～2回	ガイダンス	テーマ2の概要を理解できる。電子工作の基礎を理解できる。	---	---	
				授業で指示した課題をする。	20	
	第3～4回	FMラジオ制作(1)	FMラジオを制作できる。	指導書の該当箇所を熟読する	20	
				FMラジオを完成させる。	20	
	第5～6回	FMラジオ制作(2)	引き続きFMラジオを制作できる。	指導書の該当箇所を熟読する	20	
				課題プログラムを完成させる。	20	
	第7～8回	FMラジオ制作(3)	完成したFMラジオを検証できる。	指導書の該当箇所を熟読する	20	
			報告書を完成させる。	20		
第9～10回	まとめ	まとめレポートが書ける。	指導書の該当箇所を熟読する	20		
			課題プログラムを制作する。	20		
第11～12回	ネットワークプログラミング(1)	ネットワークの検証ができる。LANケーブルを制作できる。	指導書の該当箇所を熟読する	20		
			課題プログラムを完成させる。	20		
第13～14回	ネットワークプログラミング(2)	オリジナル・ネットワークプログラムを制作できる。	指導書の該当箇所を熟読する	20		
			報告書を完成させる。	20		
冬学期	第1～2回	ネットワークプログラミング(3)	オリジナル・ネットワークプログラムを完成できる。	指導書の該当箇所を熟読する	20	
				報告書を完成させる。	20	
	第3～4回	まとめ	まとめレポートが書ける。	指導書の該当箇所を熟読する	20	
				課題プログラムを制作する。	20	
	第5～6回	ビデオプログラミング(1)	内蔵カメラの映像をプログラムで操作できる。簡単なビデオプログラムを作成できる。	指導書の該当箇所を熟読する	20	
				課題プログラムを完成させる。	20	
	第7～8回	ビデオプログラミング(2)	オリジナル・ビデオプログラムを制作できる。	指導書の該当箇所を熟読する	20	
				報告書を完成させる。	20	
第9～10回	ビデオプログラミング(3)	オリジナル・ビデオプログラムを完成できる。	指導書の該当箇所を熟読する。	20		
			課題プログラムを制作する。	20		
第11～12回	まとめ	まとめレポートが書ける。	指導書の該当箇所を熟読する	20		
			課題プログラムを完成させる。	20		
第13～14回	モーションプログラミング(1)	モーションデバイスを起動するための準備ができる。	発表スライド準備をする。	20		
			発表をまとめる。	20		
第15～16回	モーションプログラミング(2)	簡単なモーションプログラムを入力できる。	指導書の該当箇所を熟読する。	20		
			報告書を完成させる。	20		

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
英語総合技能 I				グローバル情報工学科 3年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 3	通年	講義	宮野 肇			
キーワード		科目概要					
重要文法、構文、語彙力、講読力、リスニング力		<p>実用英語技能検定準2級の力をつけることを目標とする。過去問題を解きながら、重要文法、構文を理解し、語彙力、講読力、リスニング力の向上を目指す。</p>					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
<p>①「最短合格！英検準2級総合対策」、The Japan Times ②過去問題のハンドアウト</p>					資格：実用英語検定準2級		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	小テスト	提出物	授業態度		計	学年評価に対する割合
春学期	60	20	10	10		100	25
夏学期	60	20	10	10		100	25
秋学期	60	20	10	10		100	25
冬学期	60	20	10	10		100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<p>各学期の評価で評価し、50点に満たない者は補習する。 年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。 定期試験および小テストの内容は、通常の学習の成果を測定することを主とする。 提出物は授業内に行うリスニングプリント、単語・文法課題とする。 授業態度は、積極的な授業参加、出席状況を評価する。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>①週3時間のうち1時間はリスニング活動を行います。 ②継続的な語彙力強化のために、毎週単語テストを実施します。 ③資格試験のための勉強は単調になりがちですが、自宅学習を行い、英検準2級合格、更には2級合格を目指して頑張ってください。</p>							
科目の達成目標							
①	英検準2級レベルの重要語彙、熟語を身につけることができる。						
②	英検準2級レベルの重要文法・構文を理解し活用できる。						
③	リスニング問題第1部、第2部、第3部の特徴を捉え、以前より内容を理解できる。						
④	長文問題の特徴を捉え、設問に対する答えを以前より早く読み取ることができる。						
⑤	英検準2級合格程度の総合力をつけることができる。						
関連する本校の学習・教育目標			国際性				
問い合わせ・質問先			1階教員室(103室)				
オフィスアワー			16:30~17:30				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検
春学期	第1～3回	授業概要、過去問題	英検の形式を認知することができる 英検形式の特徴を読み直す	各20分	
	第4～6回	対話応答リスニング、大問1語法	リスニング対話応答問題の頻出表現を応用できる。大問1の頻出単熟語の意味を特定できる	教科書pp. 20-33を熟読する	各10分
				教科書pp. 20-33の重要単語の意味を調べる	各20分
	第7～9回	対話応答リスニング、大問1語法	英文中の単語の品詞を分類することができる	教科書pp. 20-21の重要単語を習得する	各10分
				現在、過去、未来形のプリント問題を解く	各20分
	第10～12回	対話応答リスニング、文法(1)	リスニング対話応答問題の頻出表現を応用できる。時制の区別ができる	教科書pp. 22-23、pp. 156-157の単語を習得する	各10分
				現在完了形復習プリントを解く	各20分
	第13～15回	対話応答リスニング、文法(1)	リスニング対話応答問題の頻出表現を応用できる。時制の区別ができる	教科書pp. 24-27の単語を習得する	各10分
				現在完了形復習プリントを解く	各20分
	第16～18回	対話応答リスニング、文法(1)	前置詞、代名詞の意味を特定し使い分けすることができる	教科書pp. 28-33の単語を習得する	各10分
現在完了形復習プリントを解く				各20分	
第19～21回	対話応答リスニング、文法(1)	前置詞、代名詞の意味を特定し使い分けすることができる	教科書pp. 42-43の単語を習得する	各10分	
			未来完了形復習プリントを解く	各20分	
第22～24回	重要表現、文法総合問題	頻出表現の意味を特定できる。時制を区別し英文を作成することができる	重要表現総合復習プリントを読み直す	各20分	
			完了形復習プリントを解く	各30分	
第25～27回	対話応答リスニング、文法(2)	リスニング対話応答問題の頻出表現を応用できる	教科書pp. 62-73を熟読する	各10分	
			教科書pp. 34-39の重要単語を調べる	各20分	
	定期試験				
第28回	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検	試験を見直す	15分	
第29・30回	対話応答リスニング、文法(2)	リスニング対話応答問題の頻出表現を応用できる	教科書pp. 34-35の単語を習得する	各10分	
			関係代名詞全般的な用法についてのプリントを読み直す	各20分	
夏学期	第1回	対話応答リスニング、文法(2)	関係代名詞を用いた文章を作成できる	教科書pp. 34-35の単語を習得する	10分
				関係代名詞全般的な用法についてのプリントを読み直す	20分
	第2～4回	対話応答リスニング、文法(2)	関係代名詞を用いた文章を作成できる	教科書pp. 36-37の単語を習得する	各10分
				関係代名詞主格復習プリントを読み直す	各20分
	第5～7回	対話内容一致リスニング、大問2会話問題、文法(2)	リスニング対話内容一致問題の頻出表現を応用できる	教科書pp. 38-39、pp. 64-65の単語を習得する	各10分
関係代名詞目的格復習プリントを読み直す				各20分	

	第8～10回	対話内容一致リスニング、大問2会話問題、文法(2)	大問2の会話表現の頻出表現を応用できる。関係代名詞を用いた文章を作成できる	教科書pp. 34-39、pp. 64-65の単語を読み直す	各10分
				関係代名詞前置詞を含む目的格とwhatのプリントを読み直す	各20分
	第11～15回	重要表現、文法総合問題	頻出表現の意味を特定できる。関係代名詞の用法を区別し英文を作成することができる。	重要表現総合復習プリントを読み直す	各20分
関係代名詞総合復習プリントを解く				各30分	
	定期試験				
秋学期	第1回	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検	試験を見直す	15分
	第2～4回	英文内容一致リスニング、大問3語順整序問題、文法(3)	リスニング英文内容一致問題の頻出表現を応用できる	教科書pp. 84-97を熟読する	各10分
				仮定法復習プリントを解く	各20分
	第5～7回	英文内容一致リスニング、大問3語順整序問題、文法(3)	リスニング英文内容一致問題の形式を認知できる	教科書pp. 88-97の重要単語を習得する	各10分
				仮定法過去復習プリント①を解く	各20分
	第8～10回	英文内容一致リスニング、大問3語順整序問題、文法(3)	大問3に出題される熟語・構文を特定できる。仮定法直説法・仮定法過去を用いて英文を作成できる	教科書pp. 86-87の重要単語を習得する	各10分
				仮定法過去復習プリント②を解く	各20分
	第11～13回	英文内容一致リスニング、文法(3)大問4長文穴埋め問題	リスニング英文内容一致問題の形式を認知できる	教科書pp. 98-105の重要単語習得、pp. 108-111を熟読する	各10分
				仮定法過去完了復習プリント①を解く	各20分
	第14～16回	英文内容一致リスニング、文法(3)大問4長文穴埋め問題	長文穴埋めを完成させる表現を選択できる。仮定法過去完了を用いて英文を作成できる	教科書pp. 120, 124の重要単語習得、pp. 128-131を熟読する	各10分
仮定法過去完了復習プリント②を解く				各20分	
第17～21回	重要表現、文法総合問題	頻出表現の意味を特定できる。仮定法の用法を区別し英文を作成することができる	重要表現総合復習プリントを読み直す	各20分	
			仮定法総合復習プリントを解く	各30分	
	定期試験				
冬学期	第1回	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検	試験を見直す	15分
	第2～4回	リスニング、文法(3)大問5長文読解問題	総合的リスニング技術を応用することができる。長文読解の形式について認知できる。仮定法の違いを特定し活用することができる。	教科書p. 135、p. 139の重要単語を習得する	各10分
				仮定法を含むその他の用法復習プリント①を解く	各20分
	第5～7回	大問5長文読解問題、文法(4)	長文頻出単熟語の意味を特定できる。相関接続詞を用いて文章を作成できる。	教科書p. 143の重要単語を習得する	各10分
				相関接続詞復習プリント①を解く	各20分
	第8～10回	英検面接、リスニング、大問5長文読解問題、文法(4)	英検の面接形式を認知できる。英検形式の総合的リスニング技術を応用することができる。	教科書pp. 222-229を熟読する	各10分
				相関接続詞復習プリント②を解く	各20分
第11～13回	リスニング、大問5長文読解問題、文法(4)	相関接続詞を用いて文章を作成できる。長文頻出単熟語の意味を特定できる。	相関接続詞の活用法、pp. 228-229の重要単語を習得する	各10分	
			副詞節復習プリント①を解く	各20分	

第14～16回	リスニング、大問5長文読解問題、文法(4)	英検形式の総合的リスニング技術を応用することができる。	教科書p.147及びリスニング問題の重要単語を習得する	各10分	
			副詞節復習プリント②を解く	各20分	
第17～19回	リスニング、大問5長文読解問題、文法(4)	長文頻出単語の意味を特定できる。副詞節、前置詞句を含む文章を作成できる。	教科書p.151の重要単語を習得する	各10分	
			文章をつなぐ前置詞句のプリントを解く	各20分	
第20～22回	リスニング、文法総合演習	英検形式の総合的リスニング技術を応用することができる。接続詞を用いた文章を作成することができる。	リスニング問題の重要単語を習得する	各20分	
			接続詞総合復習プリント①を解く	各30分	
第23～24回	過去問題	英検受験のための総合的スキルを活用することができる。	重要表現総合復習プリントを読み直す	各20分	
			接続詞総合復習プリント②を解く	各30分	
	定期試験				

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
日本語スキルズ				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 1	通年	講義	黒田譜美			
キーワード		科目概要					
思考力 読解力 表現力 記述力		国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成するとともに、伝え合う力を高め、思考力を伸ばし、最終的には自分自身の考えを広げ深め、理想とするあり方を文章化することができる「言語感覚」を磨く。必要な情報を効果的に伝えることを目標として発表し、進んで表現する姿勢を身に付ける。さらに、社会生活に役立つ表現力、理解力と社会生活を充実させる態度を身に付ける。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「国語の常識plus」明治書院				科目：国語Ⅰ、国語Ⅱ、国語Ⅲ 資格：日本語検定			
評価方法 (％)							
評価項目	定期試験	小テスト	課題	学習態度		計	学年評価に対する割合
春学期	60	15	20	5		100	25%
夏学期	60	15	20	5		100	25%
秋学期	60	15	20	5		100	25%
冬学期	60	15	20	5		100	25%
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	成績は定期試験・小テスト・課題・レポート・学習態度等を総合的に判断して評価する。						
受講上のアドバイス							
<ul style="list-style-type: none"> ・ノートは板書したものだけでなく、口頭での説明も書くようにすること。 ・課題は必ず実行すること。 							
科目の達成目標							
①	文章の構成法を理解することができる。						
②	文章の論理展開法を理解することができる。						
③	課題文の批判的検討から始め、最終的には自分自身の考えを広げ深め、理想とするあり方を文章化できる。						
④							
⑤							
⑥							
関連する本校の学習・教育目標		人間性					
問い合わせ・質問先		1階104室 (教員室)					
オフィスアワー		月曜16:30~17:30					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1回	ガイダンス	一年間の指導方針を理解する。	0		
			文章を読解・記述する基本的特質を整理・理解する。	15		
	第2回	文章とは何か (I)	思考の伝達方法について理解できる。	文章の機能を考察する。 文章における有効的伝達方法を理解する。	15 15	
	第3回	文章とは何か (II)	思考の伝達方法・文章の目的について理解できる。	文章の読解法を考察する。 文章における読解に際しての分析批評を理解する。	15 15	
	第4回	文章構成 (I)	三段型 (序論・本論・結論) について理解できる。	三分法を再確認・検討する。 三分法の有効的機能を整理する。	15 15	
	第5回	文章構成 (II)	四段型 (起・承・転・結) について理解できる。	四分法を再確認・検討する。 四分法の有効的機能を整理する。	15 15	
	第6回	論理展開 (I)	類推法について理解できる。	弁証法について調べる。 弁証法の特徴を整理し理解する。	15 15	
	第7回	論理展開 (II)	帰納法について理解できる。	帰納法について調べる。 帰納法の特徴を整理し理解する。	15 15	
	第8回	論理展開 (III)	演繹法について理解できる。	演繹法について調べる。 演繹法の特徴を整理し理解する。	15 15	
	第9回	論理展開 (IV)	アブダクションについて理解できる。	アブダクションについて調べる。 帰納法・演繹法・弁証法・アブダクションを整理する。	15 15	
	定期試験					
第10回	答案返却 自己点検	答案返却・解説および修学成果について、自己点検評価する。	試験を再検討する。	0 15		
夏学期	第1回	修辞技法 (I)	比喩・逆接・引用・強調などについて理解できる。	修辞技法の種類・分類を調べる。 修辞技法の種類を整理し理解する。	15 15	
	第2回	修辞技法 (II)	比喩・逆接・引用・強調などについて理解できる。	比喩法を調べる。 比喩法の種類と特質を理解する。	15 15	
	第3回	修辞技法 (III)	比喩・逆接・引用・強調などについて理解できる。	擬態法・擬人法・倒置法・列挙法について調べる。 擬態法・擬人法・倒置法・列挙法の特徴を理解する。	15 15	
	第4回	記述技法 (I)	原稿用紙を中心にした使い方を理解できる。	文章を記述する際の配慮事項を調べる。 文章を記述する際の配慮事項を点検・整理する。	15 15	
	第5回	記述技法 (II)	推敲の方法について理解できる。	文章の有効的連関法を考察する。 第1～5回を整理し、再検討する。	15 15	
		定期試験				

秋学期	第1回	小論文（Ⅰ）	小論文の方法について理解できる。	テーマ提示型小論文について調べる。	15	
				テーマ提示型小論文の対策を整理する。	15	
	第2回	小論文（Ⅱ）	小論文の方法について理解できる。	読解型・課題文提示型小論文について調べる。	15	
				読解型・課題文提示型小論文の対策を整理する。	15	
	第3回	小論文（Ⅲ）	小論文の方法について理解できる。	データ提示型小論文について調べる。	15	
				データ提示型小論文の対策を整理する。	15	
	第4回	小論文演習（Ⅰ）	テーマ型小論文の方法について理解し、作成することができる。	テーマについて考察する。	15	
				テーマから連想された事項を整理する。	15	
	第5回	小論文演習（Ⅱ）	テーマ型小論文の方法について理解し、作成することができる。	テーマのトピックセンテンスを設定する。	15	
				トピックセンテンスを検討する。	15	
第6回	小論文演習（Ⅲ）	テーマ型小論文の方法について理解し、作成することができる。	本論部を考察する。	15		
			本論部データを整理する。	15		
第7回	小論文演習（Ⅳ）	テーマ型小論文の方法について理解し、作成することができる。	総体的なプロットを検討する。	15		
			文章を推敲する。	15		
		定期試験				
冬学期	第1回	答案返却 自己点検	答案返却・解説および修学成果について、自己点検評価する。		0	
				試験を再検討する。	15	
	第2回	文章の読解（Ⅰ）	文章の読解の方法について理解できる。	文章の読解・分析について考察する。	15	
				文章読解の有効的方法を整理する。	15	
	第3回	文章の読解（Ⅱ）	文章の読解の方法について理解できる。	マーキング読書法について調べる。	15	
				マーキング読書法の有効的方法を整理する。	15	
	第4回	文章の読解（Ⅲ）	文章の読解の方法について理解できる。	キーノートエディティングの方法を調べる。	15	
				キーノートエディティングの方法を整理する。	15	
	第5回	小論文演習（Ⅰ）	論文読解型小論文について理解し、作成することができる。	課題文をマーキングする。	15	
				キーノートエディティングの方法を整理する。	15	
第6回	小論文演習（Ⅱ）	論文読解型小論文について理解し、作成することができる。	テーマのトピックセンテンスを設定する。	15		
			トピックセンテンスを検討し、データを整理する。	15		
第7回	小論文演習（Ⅲ）	論文読解型小論文について理解し、作成することができる。	本論部を考察し推敲する。	15		
			本論部を推敲する。	15		
第8回	小論文演習（Ⅳ）	論文読解型小論文について理解し、作成することができる。	本論部を考察し推敲する。	15		
			第2～8回の概要を整理する。	15		
		定期試験				

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
社会科学Ⅱ				グローバル情報工学科 4年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
選択	履修 2	通年	講義	平泉紀房				
キーワード		科目概要						
風土、日本文明論 環境決定論、文明の衝突		世界には風土的に異なる様々な国が存在し、それぞれが地理的・気候的要因により多様な異文化社会を形成している。現代の国家間を巡る諸問題の多くも、もとは互いの風土の相違により生じるものであり、今後は相互の社会的背景に対する理解が求められる。そこで、まずは風土的観点から自国に対する理解を深め、次いで近代における諸国との関わりからこれを相対化し、現代社会を捉えなおす事に努める。						
教科書		参考書			関連する科目・資格			
		必要に応じて、適宜紹介する。						
評価方法								(%)
評価項目	定期試験	レポート	学習態度				計	学年評価に対する割合
春学期	80	10	10				100	25
夏学期	80	10	10				100	25
秋学期	80	10	10				100	25
冬学期	80	10	10				100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)								100
備考	<p>成績については定期試験の結果に、課題及び学習態度を加味して評価する。 なお、学年末評価は各学期の平均とする。</p> <p>学習態度について、講義内容に関わる積極的な発言については、これを評価する。 欠席や居眠り、課題の未提出など受講態度不良の者については減点の対象とする。</p>							
受講上のアドバイス								
<p>講義には講義内容に即した項目を事前に調べたうえで臨むことを勧める。 ノート作りは板書のみならず、口頭での説明なども含めて各自で補完すること。 受講者の理解度に応じて適宜講義内容を変更する。</p>								
科目の達成目標								
①	日本の風土について理解できる。							
②	環境決定論について理解できる。							
③	海外の日本文明論について理解できる。							
④	諸外国の風土について理解できる。							
⑤	列強の誕生について理解できる。							
⑥	日本の領土問題について理解できる。							
関連する本校の学習・教育目標			人間性					
問い合わせ・質問先			1階104室 (教員室)					
オフィスアワー			火曜日 16:30~17:30					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	日本の原風景	日本の「家」について理解できる。	日本の「姓」について調べる	10		
			ノートを見直して補完する	10		
		日本の首都について理解できる。	日本の首都について調べる	10		
			ノートを見直して補完する	10		
		日本の環境変化について理解できる。	日本の環境について調べる	10		
			ノートを見直して補完する	10		
	第7～8回	『風土』を読む	モンスーン型の気候について理解できる。	モンスーン型について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第9～10回		砂漠型の気候について理解できる。	砂漠型について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第11～12回		牧場型の気候について理解できる	牧場型について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第13～14回	日本の風土	和辻哲郎の日本論について理解できる。	和辻哲郎について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第15～16回		風土論を巡る議論について理解できる。	和辻哲郎『風土』を読む	30	
				ノートを見直して補完する	10	
	第17～18回		環境決定論について理解できる。	環境決定論について調べる。	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	定期試験					
第19回	自己点検	春学期で学習した内容のなかで理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	—	—		
			試験の間違った問題を見直す	10		
第20回	日本の民族	日本の民族論について理解できる。	大和民族について調べる	10		
			ノートを見直して補完する	10		
夏学期	第1～4回	紀行文を読む	シュリーマンについて調べる	10		
			ノートを見直して補完する	10		
	第5～6回	外から見た日本	海外の日本論について理解できる。	『菊と刀』について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第7～8回	内から見た日本	国内の日本論について理解できる。	北島親房について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第9～10回		日本の精神生活について理解できる。	本居宣長について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
		定期試験				
	第11回	自己点検	夏学期で学習した内容のなかで理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	—	—	
				試験の間違った問題を見直す	10	

秋学期	第1～2回	アジア世界	中国の風土について理解できる。	儒教について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第3～4回		インドの風土について理解できる。	ヒンドゥー教について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第5～6回	西欧諸国	フランスの風土について理解できる。	フランク人について調べる	10	
	第7～8回		イギリスの風土について理解できる。	ノルマン人について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第9～10回	ロシア	ロシアの風土について理解できる。	スラブ人について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第11～12回	アメリカ	アメリカの風土について理解できる。	アメリカの建国について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第13～14回	文明の衝突	文明間の争いについて理解できる。	パレスチナについて調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	定期試験					
冬学期	第1回	自己点検	秋学期で学習した内容のなかで理解不十分な箇所を発見し、克服する事が出来る。	—	—	
				試験の間違った問題を見直す	10	
	第2～4回	列強の誕生	日清戦争の概略が理解できる。	日清戦争について調べる	10	
	第5～6回		日露戦争の概略が理解できる。	日露戦争について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第7～8回	大国の邂逅	第一次世界大戦の概略が理解できる。	第一次世界大戦について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
	第9～10回	第2次世界大戦	第二次世界大戦開戦時の世界情勢について理解できる。	第二次世界大戦について調べる	10	
					ノートを見直して補完する	
	第11～12回			ルーズベルト大統領の政策が理解できる。	ルーズベルトについて調べる	10
				ノートを見直して補完する	10	
	第13～14回		第二次世界大戦の戦後処理について理解できる。	ポツダム宣言について調べる	10	
				ノートを見直して補完する	10	
第15～16回	大戦を越えて	現代日本が抱える諸問題について理解できる。	日本の領土問題について調べる	10		
			ノートを見直して補完する	10		
	定期試験					
第17回	自己点検	冬学期で学習した内容のなかで理解不十分な箇所を発見し、克服する事が出来る。	—	—		
			試験の間違った問題を見直す	10		

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
文化・芸術・思想Ⅱ				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	履修 2	通年	実技	小高有普			
キーワード		科目概要					
エンジニアリングデザイン、デザインシンキング、商品プロセス		文化・芸術を通し、ものづくりの思想について考え、それらを踏まえて新しい創造をする。発想の原点であるモノとコトを考え発想・意思決定する力を身につけると同時に、ものづくりのプロセスを、手を使いながら習得する。発想するために石川の文化・芸術を基に歴史と現状調査を経て、テーマを基にアイデア展開し、ペーパーモデルとして表現する。個々の発想したものは、最終的にパネルとしてまとめあげる。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①適宜プリント配布							
評価方法 (％)							
評価項目	基礎演習	成果課題	作品		授業態度	計	学年評価に対する割合
春学期	80				20	100	20
夏学期	45	45			10	100	25
秋学期	50	35			15	100	20
冬学期	15		70		15	100	35
学年評価 (評価は春,夏,秋,冬学期で行い、通知表は春,夏,秋,学年評価で示す。)							100
備考	1. 文化・芸術を形にする①～③とその発表、パソコン基礎演習における提出物を基礎課題として評価する。 2. 最終モデルを成果課題として評価する。 3. パネルデータを作品として評価する。 4. 提出なき課題は大幅減点とする。提出期限を守れなかった場合も減点となる。 5. 欠席・遅刻ごとに減点します。(15分以上の遅刻は欠席扱いとする)						
受講上のアドバイス							
・発想法(基礎課題)→形に具現化する前のアイデア出しをします。発想の仕方に関する不明な点は授業中に質問し解決する。 ・モデル(成果課題)→ペーパーモデルによりアイデアを表現します。作成に関する不明な点は授業中に質問し解決する。 ・パネル作成(作品)→グラフィックソフトを使用した実技です。パネル作成に関する不明な点は授業中に質問し解決する。							
科目の達成目標							
①	有効なアイデアとストーリー設定ができる						
②	アイデアを形に具現化することができる(モデル化)						
③	グラフィックソフトを介し商品イメージを作ることができる(完成イメージ)						
④	グラフィックソフトを介し、自分のアイデアを人に伝わるパネルにすることができる						
⑤	グラフィックソフトで何が出来るかを理解し、多様な場面で利用することができる						
⑥							
関連する本校の学習・教育目標		創造性、専門力					
問い合わせ・質問先		3階315室(小高)					
オフィスアワー		月、火、水曜日17:30まで					

回	授業項目	授業の到達目標	予習	時間 (分/回)	点検	
			復習			
春 学 期	第1.2回	授業概要	通年の授業の流れと目標を理解する。	第1週で説明された内容について考えておく	10	
	第3.4回	調査①	テーマについての情報収集ができる	書籍、雑誌などで情報を集める	10	
				課題1、2について調べる	10	
	第5.6回	調査②	調査①を踏まえ再調査をし、情報を充実することでアイデア出しのきっかけを作る	書籍、雑誌などで情報を集める	10	
				課題1、2についてまとめる	10	
	第7.8回	調査まとめ	調査から得た情報を整理し、まとめることができる	調べた内容を整理しておく	10	
				課題1-3をまとめておく	10	
	第9.10回	発表	グループで得た多様な情報をまとめ、それを発表することができる	発表準備	10	
				他グループの発表を通じて調べた内容を整理する	10	
	第11.12回	文化・芸術を形にする①	グループで集めた情報を元に課題テーマについてアイデア出しをすることができる	紙器について調べる	10	
アイデアを出す				20		
第13.14回	文化・芸術を形にする①	アイデアをストーリーとしてまとめることができる	制作の計画をたてる	10		
			アイデアを展開する	20		
第15.16回	文化・芸術を形にする①	アイデアを形に具現化することができる	計画のチェックと修正	10		
			アイデアを展開する	10		
第17.18回	文化・芸術を形にする①	アイデアを形に具現化することができる	計画のチェックと修正	10		
			作品を完成する	30		
第19.20回	発表	アイデアを発表し、グループ内で改善案を出すことができる	発表内容をまとめておく	10		
			アドバイスを受けて改良点を選んでおく	10		
夏 学 期	第1.2回	文化・芸術を形にする②	個々のモデルを評価し合い改善策を見出す事ができる	改良したデザイン案を考える	20	
				展開図の構想、作成	20	
	第3.4回	文化・芸術を形にする②	改善案を形に表現することができる	制作の計画をたてる	10	
				改良モデルの完成	30	
	第5.6回	文化・芸術を形にする③	新たな課題テーマに従い、ペーパーモデルで表現することができる	改良モデルの発表内容をまとめておく	10	
				次の課題に対しての観察をしておく	10	
	第7.8回	文化・芸術を形にする③	新たな課題テーマに従い、ペーパーモデルで表現することができる	モデル作成計画をたてる	10	
				第14週まですべき工程を終えておく	30	
	第9.10回	自己点検/文化・芸術を形にする③	課題提出の確認/新たな課題テーマに従い、ペーパーモデルで表現することができる	計画のチェックと修正	10	
				提出物の振り返り	10	

秋学期	第1.2回	文化・芸術を形にする③	新たな課題テーマに従い、ペーパーモデルで表現することができる	計画のチェックと修正	10	
				作品を完成させる	30	
	第3.4回	合価	モデルの評価をし観察することで、自分の反省点を見出し、モノを捉えるバランス感覚を養う	作品について発表できるようにしておく	10	
				他者と自分の作品を比較しながら振り返りをする	10	
	第5.6回	色彩学	色彩を理解し、イメージを色の組み合わせで表現することができる	色の役割に付いて考える	10	
				授業課題を完成させる	10	
	第7.6回	パソコン基礎演習①	グラフィックソフトとは何かを学習し、どんなことが出来るかを把握することができる	グラフィックソフトの使い道について考えておく	10	
				課題を完成させる	10	
第9.10回	パソコン基礎演習②	グラフィックソフトの基礎を習得する画像データの作成ができる	オリジナルキャラクターの設定をする	10		
			アイデアを決定しておく	10		
第11.12回	パソコン基礎演習③	グラフィックソフトの基礎を習得する画像データの作成ができる	配色を考えておく	10		
			次週完成するように作り上げる	10		
第13.14回	パソコン基礎演習④	グラフィックソフトの基礎を習得する画像データの作成ができる	完成したデータの反省	10		
			データを完成させる	10		
冬学期	第1.2回	パソコン基礎演習⑤	グラフィックソフトの基礎を習得するベジェ曲線を使った作品を描く事ができる	プリントを見ておく	10	
				課題を完成させる	10	
	第3.4回	パソコン基礎演習⑥	グラフィックソフトの基礎を習得するグラフィックソフトで合成データを作成することができる	完成イメージを決定する	10	
				合成用素材を収集しておく	10	
	第5.6回	合成データ作成	ペーパーモデルに画像処理を施し自分の思い描いたイメージに近づけることができる	製作計画のチェックと修正	10	
				次週完成するように作っておく	10	
	第7.8回	合成データ作成	ペーパーモデルに画像処理を施し自分の思い描いたイメージに近づけることができる	製作計画のチェックと修正	10	
				課題を完成させる	20	
第9.10回	パネルデータ作成	パネルのデータ化作業をし、伝わる作品にまとめることができる	掲載内容とレイアウトを決めておく	10		
			掲載用必要データを集めておく	20		
第11.12回	パネルデータ作成	パネルのデータ化作業をし、伝わる作品にまとめることができる	記載文章を決めておく	10		
			次週までにすべき工程を終えておく	10		
第13.14回	パネルデータ作成	パネルのデータ化作業をし、伝わる作品にまとめることができる	今までのプリント内容チェック	10		
			パネルデータを完成させる	20		
第15.16回	成果発表/自己点検	パネル作品を用い、作品の意図するところを他者に伝える事ができる	プレゼンテーションの練習	10		
			グラフィックソフトの使い道について体験を通じて出来そうな事を述べる	10		

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
保健体育IV				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	履修2	通年	実技	瀧本明弘			
キーワード		科目概要					
生涯スポーツ、協調性、ルール順守、安全、スポーツの楽しさ、自主性		・体力テスト ・ソフトボール ・テニス ・バドミントン					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
なし		アクティブスポーツ2015		なし			
評価方法 (％)							
評価項目	レポート	リーグ戦成績	学習態度	出席状況		計	学年評価に対する割合
春学期	20	30	20	30		100	25
夏学期	20	30	20	30		100	25
秋学期	20	30	20	30		100	25
冬学期	20	30	20	30		100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考							
受講上のアドバイス							
1、スポーツを行うための、ふさわしい服装をすること。2、体調を整えて出席すること。3、安全に留意する事。4、スポーツを楽しんで行うこと。5、向上心を持って出席すること。6、生涯スポーツについて理解すること。							
科目の達成目標							
①	生涯スポーツについて理解する						
②	基礎体力の向上を図る						
③	スポーツを通じて協調性を身につける						
④	スポーツを通じて自主性を身につける						
⑤	ソフトボールについて理解を深める						
⑥	ラケット競技について理解を深める						
関連する本校の学習・教育目標		人間性の向上					
問い合わせ・質問先		地域連携教育センター、第二体育館					
オフィスアワー		水曜日 16:30~17:30					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1回	体力測定	自己の体力を把握する	-	0	
				体力測定の結果から自己の体力を振り返る	10	
	第2回	集団行動	整列、姿勢、準備体操などの集団行動ができる	整列方法、準備体操などの集団行動について考える	10	
				集団行動の重要性を振り返る	10	
	第3回	体育大会の練習	体育大会の種目について理解を深める	体育大会で自分の出場する競技を知り、ルールを理解する	10	
				体育大会がスムーズに進行できるように振り返る	10	
	第4回～9回	ソフトボール	ソフトボールの用具について理解する	ソフトボールの用具について調査をする	10	
				用具の整理整頓について復習する	10	
			キャッチボール、バッティングができる	基本動作を調査する(キャッチボール、バッティング)	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
ゴロの捕球、送球、ピッチングができる			基本動作を調査する(ゴロの捕球、送球、ピッチング)	10		
			本時の基本動作を振り返る	10		
内外野の連携プレーができる			基本動作を調査する(連携プレー)	10		
			本時の基本動作を振り返る	10		
練習ゲームで内外野の連携プレーができる	チームごとに連携プレーを考える	10				
	チームごとに反省点を考える	10				
チーム対抗戦で連携プレー及び試合運営ができる	先週の練習ゲームを踏まえ、チームごとに戦略を考える	10				
	チームごとに反省点を考える	10				
第10回	ソフト	チーム対抗戦で連携プレー及び試合運営ができる	チーム対抗戦を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10		
			チームごとに反省点を考える	10		
夏学期	第1回～2回	ソフトボール	チーム対抗戦で連携プレー及び試合運営ができる	10		
			チームごとに反省点を考える	10		
		チーム対抗戦で連携プレー及び試合運営ができる	チーム対抗戦を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10		
			チームごとに反省点を考える	10		
	第3回～5回	テニス	ラケットとボールの特性について理解を深める	ラケットとボールの特性について調査する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			グランドストロークができる	グランドストロークについて調査する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			バックハンドストロークができる	バックハンドストロークについて調査する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
第6回	テニス	サーブ、スマッシュ、ボレーができる	サーブ、スマッシュ、ボレーについて調査する	10		
			本時の動作を振り返る	10		

秋学期	第1回~4回	テニス	ダブルスの練習ゲームを通してルールを理解し、試合運営ができる	ダブルスのルール及び試合運営を調査する	10	
				試合運営について反省する	10	
			リーグ戦形式での試合及び運営ができる	ペアごとに戦略を考える	10	
				ペアごとに戦略を反省する	10	
			リーグ戦形式での試合及び運営ができる	ペアごとに戦略を考える	10	
				ペアごとに戦略を反省する	10	
			リーグ戦形式での試合及び運営ができる	ペアごとに戦力を考える	30	
				ペアごとに戦略を反省する	10	
	第5回	球技の練習	各種球技の理解を深める	球技大会で自分の出場する競技を知り、ルールを理解する	10	
	球技大会がスムーズに進行できるように振り返る	10				
	第6回~7回	バドミントン	シングルのルール及び試合運営ができる	シングルのルール及び試合運営を調査する	10	
				試合運営について反省する	10	
シングルのリーグ戦形式での試合及び運営ができる			シングルの戦略を調査する	10		
			本時の戦略を反省する	10		
冬学期	第1回~8回	バドミントン	シングルのリーグ戦形式での試合及び運営ができる	シングルの戦略を調査する	10	
				本時の戦略を反省する	10	
			ダブルスの練習ゲームを通してルールを理解し、試合運営ができる	ダブルスのルール及び試合運営を調査する	10	
				試合運営について反省する	10	
			リーグ戦形式でのダブルスの試合及び運営ができる	ペアごとに戦略を調査する	10	
				戦略について反省する	10	
			リーグ戦形式でのダブルスの試合及び運営ができる	ペアごとに戦略を調査する	10	
				戦略について反省する	10	
			リーグ戦形式でのダブルスの試合及び運営ができる	ペアごとに戦略を調査する	10	
				戦略について反省する	10	
			リーグ戦形式でのダブルスの試合及び運営ができる	ペアごとに戦略を調査する	10	
				戦略について反省する	10	
			リーグ戦形式でのダブルスの試合及び運営ができる	ペアごとに戦略を調査する	10	
				戦略について反省する	10	
			リーグ戦形式でのダブルスの試合及び運営ができる	ペアごとに戦略を調査する	10	
				戦略について反省する	10	
第9回	自己点検自己評価	1年間の授業について振り返り理解を深める	-	0		
			生涯スポーツについて振り返る	10		

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
英語表現技法				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	履修 2	通年	講義	宇都宮隆子			
キーワード		科目概要					
ライティング、センテンスレベル、パラグラフ、トランジションワード		本授業では、魅力的でわかりやすい文章を、英語でいかに書いていくのかを段階を踏みながら学んでいく。センテンスレベルからの多彩な演習を行いつつ、少しずつ長い文章を書く事に慣れていく。journal writing、e-mail writing、story writing、paragraph writingなどを用意し、多様なwritingに挑戦してもらう。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
① <i>Significant Scribbles</i> , Curtis Kelly/Ian Shortreed, Longman			①和英・英和辞典		科目：英語科目全般 資格：TOEIC Wテスト		
評価方法							
評価項目	定期試験	課題	発表	授業態度		評価	学年評価に対する割合
春学期	40	40	10	10		100	25%
夏学期	40	40	10	10		100	25%
秋学期	40	40	10	10		100	25%
冬学期	40	40	10	10		100	25%
学年評価（評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。）							100
備考	各学期の評価で、50点に満たない者に対しては補習を行う。 年度末の「学年評価」は各学期の「評価」に「学期の割合」を掛けたものの和とする。 定期試験の内容は、日ごろの授業内外での学習成果を測定することを主とする。 課題は熟考力、自分の考えを伝える力、ライティングのルールなどが指示通りできているかなどで評価する。 授業態度は、ライティングの学習過程での積極性を見る。遅刻、居眠りなどは随時減点。						
受講上のアドバイス							
①使いこなせる英語の語彙、表現には限りがあります。辞書の活用を心がけること。 ②自分がなぜそのような意見を持つようになったのかを自身で考える習慣をつけること。 ③ライティング上達に近道はありません。地道な努力と人の意見に耳を傾ける柔軟さを養うこと。							
科目の達成目標							
①	パラグラフの構成要素（トピック、サポート、コンクルージョン）を理解することができる。						
②	インデント等のパラグラフの形式を理解し、パラグラフライティングを書くことができる。						
③	トランジションワードを理解し使うことができる。						
④	トピックに対する考えをまとめたり、写真などを見てストーリーを構成することができる。						
⑤	以前よりも多くの英文を書くことができる。						
⑥	パラグラフからエッセーへの基礎的な構成展開ができる。						
関連する本校の学習・教育目標			国際性				
問い合わせ・質問先			1階103号室（1F 教員室）				
オフィスアワー			月、水8限				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検
春学期	第1～2回	Introduction	自己紹介、人物紹介の英文を書くことができる。 本授業の概要を理解する。	20分	
	第3～4回	Unit1 Preview	英文構造を理解し、簡潔な英文を書くことができる。	説明、演習問題に目を通す。	20分
				説明、演習問題を見直す。	20分
	第5～6回	Unit1 Preview	Extensive Writingができる。	トピックについて考える。	20分
				英文を見直し今一度書き直す。	20分
	第7～8回	Unit2 Swimming	ターゲット文法を理解し使うことができる。	説明、演習問題に目を通す。	20分
				説明、演習問題を見直す。	20分
	第9～10回	Unit2 Swimming	Extensive Writingができる。	トピックについて考える。	20分
				英文を見直し今一度書き直す。	20分
	第11～12回	Unit3 Confidence	ターゲット文法を理解し使うことができる。	説明、演習問題に目を通す。	20分
				説明、演習問題を見直す。	20分
	第13～14回	Unit3 Confidence	Extensive Writingができる。	トピックについて考える。	20分
				英文を見直し今一度書き直す。	20分
	第15～16回	Paragraph writing	パラグラフの構造を理解し書くことができる。	パラグラフ構成に目を通す。	20分
				パラグラフ構成を理解する。	20分
	第17～18回	Review	第1～18回授業の内容を理解することができる。	説明、演習問題を見直す。	20分
				説明、演習問題を復習する。	20分
		定期試験			
第19～20回	春学期自己評価 Unit4 Understanding	春学期授業と成果について自己評価できる。/ パラグラフィライティングができる。		-	
第1～2回	Unit4 Understanding	Extensive Writingができる。	トピックについて考える。	20分	
			英文を見直し今一度書き直す。	20分	
第3～4回	Unit5 Defeat	ターゲット文法を理解し使うことができる。	説明、演習問題に目を通す。	20分	
			説明、演習問題を見直す。	20分	
第5～6回	Unit5 Defeat	Extensive Writingができる。	トピックについて考える。	20分	
			英文を見直し今一度書き直す。	20分	
第7～8回	Unit6 Mistakes	ターゲット文法を理解し使うことができる。	説明、演習問題に目を通す。	20分	
			説明、演習問題を見直す。	20分	
第9～10回	Review	第1～10回授業の内容を理解することができる。	説明、演習問題を見直す。	20分	
			説明、演習問題を復習する。	20分	
	定期試験				

夏学期

秋学期	第1～2回	Unit6 Mistakes	Extensive Writingができる。	トピックについて考える。	20分	
				英文を見直し今一度書き直す。	20分	
	第3～4回	Unit6 Mistakes	Extensive Writingができる。	トピックについて考える。	20分	
				英文を見直し今一度書き直す。	20分	
	第5～6回	Unit7 Kindness	ターゲット文法を理解し使うことができる。	説明、演習問題に目を通す。	20分	
				説明、演習問題を見直す。	20分	
	第7～8回	Unit7 Kindness	Extensive Writingができる。	トピックについて考える。	20分	
				英文を見直し今一度書き直す。	20分	
	第9～10回	Unit8 Machines	ターゲット文法を理解し使うことができる。	説明、演習問題に目を通す。	20分	
				説明、演習問題を見直す。	20分	
第11～12回	Unit8 Machines	Extensive Writingができる。	トピックについて考える。	20分		
			英文を見直し今一度書き直す。	20分		
第13～14回	Review	第1～14回授業の内容を理解することができる。	説明、演習問題を見直す。	20分		
			説明、演習問題を復習する。	20分		
	定期試験					
冬学期	第1～2回	冬学期自己評価 Seasonal Writing	秋学期授業と成果について自己評価できる。/ 季節に関する英文を書くことができる。		-	
				英文を見直し今一度書き直す。	20分	
	第3～4回	Seasonal Greetings	季節のグリーティングカードを英文で書くことができる。	形式・書き方を確認する。	20分	
				英文を見直し今一度書き直す。	20分	
	第5～6回	Unit10 Danger	ターゲット文法を理解し使うことができる。	説明、演習問題に目を通す。	20分	
				説明、演習問題を見直す。	20分	
	第7～8回	Unit10 Danger	Extensive Writingができる。	トピックについて考える。	20分	
				英文を見直し今一度書き直す。	20分	
	第9～10回	From Paragraph to Essay	パラグラフとエッセイの違いを理解できる。	2つの違いを確認する。	30分	
				エッセイの構成を理解する。	30分	
第11～12回	From Paragraph to Essay	パラグラフとエッセイの違いを理解できる。	2つの違いを確認する。	30分		
			エッセイの構成を理解する。	30分		
第13～14回	エッセイ作成	自分の意見を英語でまとめることができる。	トピックを考える。	30分		
			エッセイの構造を考える。	60分		
第15～16回	エッセイ作成	自分の意見を英語でまとめることができる。	ドラフト（下書き）を書き直す。	60分		
			エッセイを完成させる。	60分		
	定期試験					

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
総合英語Ⅳ				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	履修 2	通年	講義	宮野 肇			
キーワード		科目概要					
異文化背景の理解、4技能		この授業では、海外で放送されたTVコマーシャルを題材に、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4技能を高めることを目的とする。また、コマーシャルを通して、異文化背景の理解の促進を図る。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①「English in 30 Seconds」Naoyuki Aoki、NAN' UN-DO			指定なし				
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	小テスト	課題	授業態度		計	学年評価に対する割合
春学期	60	15	15	10		100	25
夏学期	60	15	15	10		100	25
秋学期	60	15	15	10		100	25
冬学期	60	15	15	10		100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	各学期の評価で評価し、50点に満たない者は補習する。 年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。 定期試験および小テストの内容は、通常の学習の成果を測定することを主とする。 課題は各ユニットにおける発表や提出を評価する。 授業態度は、積極的な授業参加、出席状況を評価する。						
受講上のアドバイス							
①授業外でもリスニングを繰り返し行い、英語のスピードや口語的表現に慣れてください。 ②リスニング時に、音に合わせて音読をするシャドーイングを行うと、発音の向上につながります。 ③ユニット毎に単語テストを行うので、重要表現を復習し小テストにのぞんでください。							
科目の達成目標							
①	海外のTVコマーシャルで使用される英語表現を習得し、応用することができる。						
②	TVコマーシャルの背景にある文化に興味を持ち、それに関しての理解を深めることができる。						
③	海外と日本の文化についてテーマ別に調べ、英語を使用しまとめることができる。						
④	繰り返しリスニングを行うことで、音に対する認識力を高めることができる。						
⑤	グローバル社会を生きていく人材として、自分自身の考えを持つことができる。						
関連する本校の学習・教育目標			国際性				
問い合わせ・質問先			1階教員室(103室)				
オフィスアワー			16:30~17:30				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検	
春学期	第1回	授業内容説明	授業内容について理解する。 シラバスの内容を再確認する。	10分		
	第2回	Meijer-High Standard, Lower Prices①	アメリカのスーパーマーケットに関する英語表現を習得する。アメリカのスーパーマーケットの特徴について説明ができる。 教科書p. 6を熟読する。	20分		
	第3・4回	Meijer-High Standard, Lower Prices②	アメリカのスーパーマーケットに関する英語表現を習得する。アメリカのスーパーマーケットの特徴について説明ができる。	課題プリントを解く。	各15分	
				アメリカのスーパーマーケットの特徴について調査する。	各15分	
	第5・6回	Meijer-High Standard, Lower Prices③	アメリカのスーパーマーケットに関する英語表現を習得する。アメリカのスーパーマーケットの特徴について説明ができる。	アメリカのスーパーマーケットの特徴についてまとめる。	各15分	
				Unit1の重要表現を習得する。	各15分	
	第7・8回	This Calls for Bud Light①	発明に関する英語表現を習得する。生活に使われるプロダクトについて英語で説明することができる。	教科書p. 11を熟読する。	各20分	
				課題プリントを解く。	各15分	
	第9・10回	This Calls for Bud Light②	発明に関する英語表現を習得する。生活に使われるプロダクトについて英語で説明することができる。	課題プリントを解く。	各15分	
				身の回りのユニークなプロダクトについて調査する。	各15分	
	第11・12回	This Calls for Bud Light③	発明に関する英語表現を習得する。生活に使われるプロダクトについて英語で説明することができる。	身の回りのユニークなプロダクトについてまとめる。	各15分	
				Unit2の重要表現を習得する。	各15分	
	第13・14回	McDonald' s-King of Fast-Food Restaurants①	ファーストフード店に関する英語表現を習得する。ファーストフード店のキャンペーンの特徴について英語で説明ができる。	教科書p. 20を熟読する。	各20分	
				課題プリントを解く。	各15分	
	第15・16回	McDonald' s-King of Fast-Food Restaurants②	ファーストフード店に関する英語表現を習得する。ファーストフード店のキャンペーンの特徴について英語で説明ができる。	ファーストフード店のキャンペーンの特徴について調査する。	各15分	
				Unit4の重要表現を習得する。	各15分	
	第17・18回	Relax, it' s FedEx①	郵便制度に関する英語表現を習得する。Wh質問に対する情報を正しく認識することができる。	教科書p. 25を熟読する。	各20分	
				課題プリントを解く。	各15分	
		定期試験				
第19回	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検	試験を見直す。	15分		
第20回	Relax, it' s FedEx②	郵便制度に関する英語表現を習得する。Wh質問に対する情報を正しく認識することができる。	課題プリントを解く。	15分		
			各国の郵便制度について調査する。	15分		
夏学期	第1・2回	Relax, it' s FedEx③	各国の郵便制度についてまとめる。	各15分		
			Unit5の重要表現を習得する。	各15分		
	第3・4回	BMW-A Car beyond Reason ①	家庭・生活に関する英語表現を習得する。理想の家庭について英語で説明することができる。	教科書p. 29を熟読する。	各20分	
課題プリントを解く。				各15分		

	第5・6回	BMW-A Car beyond Reason ②	家庭・生活に関する英語表現を習得する。理想の家庭について英語で説明することができる。	理想の生活についての英語表現を調べる。	各15分	
				Unit6の重要表現を習得する。	各15分	
	第7・8回	Learning Languages①	学習に関する英語表現を習得する。英語圏以外の国での英語学習の早期開始について英語で意見を述べることができる。	教科書p. 38を熟読する。	各20分	
				課題プリントを解く。	各15分	
	第9・10回	Learning Languages②	学習に関する英語表現を習得する。英語圏以外の国での英語学習の早期開始について英語で意見を述べることができる。	早期英語学習の利点と欠点について自分の意見をまとめる。	各15分	
				Unit8の重要表現を習得する。	各15分	
		定期試験				
秋学期	第1回	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検	試験を見直す。	15分	
	第2回	Pepsi-Ask for More①	飲料に関する英語表現を習得する。飲料ブランドについて自分の嗜好を説明できる。	教科書p. 42を熟読する。	20分	
				課題プリントを解く。	15分	
	第3・4回	Pepsi-Ask for More②	飲料に関する英語表現を習得する。飲料ブランドについて自分の嗜好を説明できる。	飲料に関する自分の嗜好について意見をまとめる。	各15分	
				Unit9の重要表現を習得する。	各15分	
	第5・6回	United Nations Development Programme①	国連の取組に関する英語表現を習得する。「もし世界人口が100人なら」の設定で自分の関心ある分野について英語で説明ができる。	教科書p. 47を熟読する。	各20分	
				課題プリントを解く。	各15分	
	第7・8回	United Nations Development Programme②	国連の取組に関する英語表現を習得する。「もし世界人口が100人なら」の設定で自分の関心ある分野について英語で説明ができる。	自分について「もし100人の村なら」を基に意見をまとめる。	各15分	
				Unit10の重要表現を習得する。	各15分	
	第9・10回	Disney-Magic Happens①	アミューズメントパークに関する英語表現について習得する。世界のアミューズメントパークの特徴について英語で説明することができる。	教科書p. 52を熟読する。	各20分	
				課題プリントを解く。	各15分	
	第11・12回	Disney-Magic Happens②	アミューズメントパークに関する英語表現について習得する。世界のアミューズメントパークの特徴について英語で説明することができる。	課題プリントを解く。	各15分	
世界のアミューズメントパークについて調査する。				各15分		
第13~14回	Disney-Magic Happens③	アミューズメントパークに関する英語表現について習得する。世界のアミューズメントパークの特徴について英語で説明することができる。	世界のアミューズメントパークについてまとめる。	各15分		
			Unit11の重要表現を習得する。	各15分		
		定期試験				
冬学期	第1回	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検	試験を見直す。	15分	
	第2回	Anti-Smoking Campaign①	喫煙と禁煙に関する英語表現を習得する。他国の禁煙に関する取組について英語で説明できる。	教科書p. 61を熟読する。	20分	
				課題プリントを解く。	15分	
	第3・4回	Anti-Smoking Campaign②	喫煙と禁煙に関する英語表現を習得する。他国の禁煙に関する取組について英語で説明できる。	課題プリントを解く。	各15分	
				他国の禁煙活動の特徴について調査する。	各15分	
第5・6回	Anti-Smoking Campaign③	喫煙と禁煙に関する英語表現を習得する。他国の禁煙に関する取組について英語で説明できる。	他国の禁煙活動の特徴についてまとめる。	各15分		
			Unit13の重要表現を習得する。	各15分		

第7・8回	Counterfeit Mini Coopers①	著作権に関する英語表現を習得する。好みのブランドについて英語で説明できる。	教科書p. 65を熟読する。	各20分	
			課題プリントを解く。	各15分	
第9～10回	Counterfeit Mini Coopers②	著作権に関する英語表現を習得する。好みのブランドについて英語で説明できる。	好みのブランドについて調査する。	各15分	
			Unit14の重要表現を習得する。	各15分	
第11・12回	Hallmark of a Teacher①	教育に関する英語表現を習得する。英語でグリーティングカードを作成することができる。	教科書p. 69を熟読する。	各20分	
			課題プリントを解く。	各15分	
第13～14回	Hallmark of a Teacher②	教育に関する英語表現を習得する。英語でグリーティングカードを作成することができる。	課題プリントを解く。	各15分	
			グリーティングカードについて調査する。	各15分	
第15～16回	Hallmark of a Teacher③	教育に関する英語表現を習得する。英語でグリーティングカードを作成することができる。	グリーティングカード用のメッセージをまとめる。	各15分	
			Unit15の重要表現を習得する。	各15分	
	定期試験				

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
Advanced English I (Collaborative Learning in English & Engineering (CLE ²)) (上級英語I(CLE ²))				グローバル情報工学科 4年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Elective	履修 4	All Year	Lecture	Isaac Roelfsema (Spring, Fall, Winter) Shinobu Ohara (Summer, Fall, Winter)		
キーワード		科目概要				
Teamwork, collaboration, project, engineering, constructive feedback, engage, reflect, global engineer		This class is about collaborative learning in English and engineering, meant to combine and improve the skills that students have learned in the first three years of skills classes. Students will improve their communication skills through teaching a class at a local junior high school and through preparing for and teaching hands-on projects. In addition, students will pursue independent learning projects combining English and engineering.				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
①Teacher generated materials		①Class workbook and hand-outs ②Online resources (class website and ted.com)				
評価方法						
評価項目	In-class activities	Participation/ Teamwork	Projects/Tests		評価	学期の割合
春学期	30	30	40		100	2/6
夏学期	30	30	40		100	1/6
秋学期	30	30	40		100	1.5/6
冬学期	30	30	40		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> • In-class activities will be graded through a variety of means, mainly rubrics and checklists. • Participation and teamwork are graded by a check-list that is completed by both students and the teacher at numerous times throughout the year. • Projects will be evaluated using rubrics that outline actions for teamwork, effort, preparation, physical skills, and final products. 					
受講上のアドバイス						
<ul style="list-style-type: none"> • Use English as much as possible Don't be afraid to say "I don't understand!" and ask questions, such as <i>"What do you mean?"</i> <i>"What should I do?"</i> <i>"Could you help me with this?"</i> • Be on time and prepared • Be responsible and independent • Be an active listener: make eye contact with the teacher, respond to class questions, and don't be afraid to speak up • Support your classmates by helping them understand assignments and concepts, and give encouragement and helpful advice to classmates. <p>Enjoy yourself, have fun with learning!</p>						
科目の達成目標						
①	Students will be able share ideas and opinions in order to work collaboratively while respecting the ideas and opinions of others.					
②	Students will be able to speak comprehensibly about engineering topics in English.					
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		KTC 31-103				
オフィスアワー		Wednesday 4-5				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to...	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検	
春学期	第1-4回	Orientation & Class Climate	Talk about course outline and goals; Collaborative participation tool; Share information about yourself; Learning strategies	Review your syllabus and check for understanding.	10	
	第5-8回	Why engineering?	Complete activities to explore the importance of engineering	Think about what you use that engineers have made. Write in your dialogue journal.	10 10	
	第9-12回	Your Goals & Email Writing	Create personal learning goals; Email writing workshop	Think about your goals for learning English. Write an email to someone in New Zealand.	10 10	
	第13-16回	Project 1: Towers & Hooks	Complete a hands-on mechanical engineering project to learn about forces; Learn about “hooking” your audience	Look at buildings in your town/city. What shapes do you see? Write in your dialogue journal.	10 10	
	第17-20回	Project 2: Prototyping & Energy	Learn about kinetic and potential energy; Build a prototype in teams; Check-in with goals & strategies	Think about kinds of energy we use. Choose a self-study to help you towards your goals.	10 10	
	第21-24回	Project 3: Tension & counterweight	Students will work with stress distribution, pivots and fulcrums	Think about kinetic and potential energy and how that is related to making a crane. Write down your ideas about how you could teach this project to junior high students.	10 10	
	第25-28回	Projects 4: Programming	Write and test a program; Practice procedure writing;	Think about what you know about programming. Write in your dialogue journal.	10 10	
	第29-32回	Project 5: Electrical Engineering	Identify conductive materials with a hands-on project	Think about what you know about electricity and how it travels. Write a reflection in your dialogue journal.	10 10	
	第33-36回	Teaching Workshop: Planning	Identify plan language; Complete a practice project plan	Think about good and bad teaching presentations. Choose a self-study to help you towards your goals.	10 10	
	第37-40回	Teaching Workshop: Introduction	Choose a “how-to” topic for teaching practice; Create a teaching plan; Prepare materials and practice	Think about a talent or skill you have that’s worth sharing. Gather materials needed to teach your skill.	10 10	
	夏学期	第1-4回	Teach Your Lesson: Part 1	Present your lesson to classmates; Evaluate yourself, write a reflection	Review your English teaching note cards and practice teaching in front of a mirror. Write in your dialogue journal.	10 10
		第5-8回	Teacher Skills: Part 1	Learn teacher related skills such as using a commanding voice, checking for understanding,	Think about your lesson and what you need to do to improve.	10

		monitoring a class, and controlling the noise level of a class	Write a short reflection about specific things you will change the next time you teach.	10		
第9-12回	Teacher Skills: Part 2	Learn teacher related skills such as using a commanding voice, checking for understanding, monitoring a class, and controlling the noise level of a class	Review your reflection from the previous class and remember the skills you learned.	10		
			Write a short reflection about specific things you will change the next time you teach.	10		
第13-16回	Teach Your Lesson: Part 2	Present your lesson to classmates; Use the skills you've just learned to make your presentation better	Review teacher skills and make additions to your note cards.	10		
			Write in your dialogue journal.	10		
第17-20回	Compare First & Second Teaching	Analyze the changes you made to your lesson. Compare your results with other students	Think about the changes that everyone made. What were they? Did the change make the lesson better?	10		
			As you prepare for Junior High School projects, make notes about where you can use the teaching skills you just learned.	10		
秋学期	第1-4回	Project Class Observation	Observe a first year class where a project lesson will be taught	Remember the teaching skills learned during summer semester.	10	
			Think about how Sarah/Ian used these skills and others to teach an effective lesson. Write a reflection.	10		
	第5-8回	Junior High School (JHS) Projects	Evaluate project with "pros" & "cons" for JHS projects; Vote on your project; Get into project teams and begin brainstorming	Think about your favorite project from this class. Why do you like it?	10	
				Choose a self-study to help you towards your goals.	10	
	第9-12回	JHS Projects: Planning & Practice	Complete your project from start to finish; Determine materials and set-up; Discuss and decide on project introduction procedure	Review the procedure for the project you've chosen.	10	
				Write in your dialogue journal.	10	
	第13-16回	JHS Projects: Planning & Practice	Write out clear and detailed first drafts of plans with your team	Review your plan so far. Make notes to share with your teammates.	10	
				Reflect on your teamwork process so far. Make notes.	10	
	第17-20回	JHS Projects: Planning & Practice	Meet with teachers to discuss feedback on plans; Revise plans for details and clarity; Type final plans; Design visuals and hand-outs	Read through your plan again. Do you understand it?	10	
				Write in your dialogue journal.	10	
	第21-24回	JHS Planning: Planning & Practice	Submit and prepare all materials; Read your plans aloud as you work on note cards	Watch some a TEDtalk of your choice. What are the presenters strengths?	10	
				Choose a self-study to help you towards your goals.	10	
	第25-28回	JHS Planning: Rehearsal	Intensive practice with classmates, teammates and teachers	Review your plan and practice from your note cards.	10	
				Write in your dialogue journal.	10	

冬学期	第1-4回	JHS Planning: KTC Trial Run	Teach your project to 1 st year KTC students for practice; Reflect in writing (project)	Sit in a quiet place, close your eyes, and visualize yourself teaching your lesson.	10
				Take notes about your feelings and performance, your strengths and areas for improvement.	10
	第5-8回	JHS Planning: Revisions & Practice	Revise JHS plan based on trial run; Prepare and practice for JHS visits	Make note of places in your plan to revise.	10
				Write in your dialogue journal.	10
	第9-12回	JHS Planning: Revisions & Practice	Revise JHS plan based on trial run; Practice more for JHS visits	Read through your plan again. Do you know everyone's parts?	10
				Choose a self-study to help you towards your goals.	10
	第13-16回	JHS Visits	Visit a local junior high school and present your project! (project)	Come prepared with proper attire and your note cards.	10
				Jot down feelings about your presentation in your notebook.	10
	第17-20回	JHS Wrap-Up	Reflect in paragraphs about your JHS visit and project	Write in your dialogue journal.	10
				Choose a self-study to help you towards your goals.	10
	第21-24回	Animation & Other options	Create a simple animation on the computer; Discuss the importance of "big ideas"; Look at other project options	Think about your favorite animation. Do you know how it's made?	10
				Choose a self-study to help you towards your goals.	10
	第25-28回	Fluency Project	Work in groups to participate in activities that require high levels of English fluency; For example, the boat dilemma activity	Reflect on your actual English use inside and outside of the classroom.	10
				What are some ways that you can use English more?	10
第29-32回	Review	Revisit and reuse what they have learned this semester	Reflect on your role as an engineer and how you can communicate what you do in English.	10	
			Use English, watch English movies, read English books and comics, don't let your ability slip.	10	

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス	
Computers (上級英語I・コンピュータ)				グローバル情報工学科 4年	
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員	
Elective	履修 4	All Year	Lecture	Nate Lurie (Spring, Fall, Winter), Akihiro Tsuda (Summer)	
キーワード		科目概要			
Search Engine, Word Processor, Presentation		In this class, students will learn how to perform common computer-based tasks including using English search engines, writing reports in English, and creating presentations. Students will also learn how to improve their English language skills using popular language learning software and web applications.			
教科書		参考書		関連する科目・資格	
		①Instructor designed handouts ②electronic documents ③online resources.		科目: 上級英語II	
評価方法					
評価項目	Activities / Projects	Participation		評価	学期の割合
春学期	80	20		100	2/6
夏学期	80	20		100	1/6
秋学期	80	20		100	1.5/6
冬学期	80	20		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)					6/6
備考	Various in-class activities and projects Effort/Attitude/Attendance in class, graded with a rubric				
受講上のアドバイス					
<ul style="list-style-type: none"> • Students are expected to use the English operating system at all times. • Come on time and prepared for every class. • Try to speak English and avoid using Japanese as much as you can. • Work well with your classmates – help each other out. • Ask questions when you don't understand. • Relax, have fun, and try your best. • If you are absent, please come see the teacher as soon as you return for make-up work. 					
科目の達成目標					
①	Students will be able use various computer programs such as Word, Excel, PowerPoint and web browsers.				
②	Students will be able to touch type at an acceptable speed.				
関連する本校の学習・教育目標		国際性			
問い合わせ・質問先		KTC 31-103			
オフィスアワー		Tuesdays 4:00-5:30			

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to ...	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検	
春 学 期	第1-2回	Introduction, Class Description	Understand what they will be doing in class, know how typing programs to monitor their typing speed	Review Syllabus	15	
	第3-4回	Sentence Writing	Student can write "good" sentences.	Reflect on what are the basic parts of a sentence	15	
	第5-6回	Word Processing Activities	Use basic Microsoft Word functions	Review what makes a sentences	15	
				Reflect: What do you know about Word?	15	
	第7-8回	Word Processing Activities	Use basic Microsoft Word functions	Practice skills learned in class	15	
				Review skills learned in class	15	
	第9-10回	Word Processing Activities	Use basic functions of Microsoft Word	Practice skills learned in class	15	
				Review skills learned in class	15	
	第11-12回	Word Processing Project	Plan, complete, and report on a topic using Word.	Review project	15	
				Review skills learned in class	15	
	第13-14回	Word Processing Project	Plan, complete, and report on a topic using Word.	Finish project if not finished	15	
				Reflect on what you need to finish for project	15	
	第15-16回	Searching for Information Activities	Use advanced searches and shortcuts to find accurate and reliable information.	Practice methods to search the internet	15	
				Review methods to search the internet	15	
	第17-18回	Searching for Information Activities	Use advanced searches and shortcuts to find accurate and reliable information.	Practice using internet resources covered in class	15	
				Review internet unit	15	
	第19-20回	Searching for information project	Complete a project relating to searching for information on the internet.	Finish project	15	
				Reflect: What do you know about PowerPoint?	15	
	第21-22回	PowerPoint Activities	Use basic functions of Microsoft PowerPoint	Practice skills learned in class	15	
				Review skills learned in class	15	
第23-24回	PowerPoint Activities	Use basic functions of Microsoft PowerPoint	Practice skills learned in class	15		
			Review skills learned in class	15		
第25-26回	PowerPoint Activities	Use basic functions of Microsoft PowerPoint	Practice skills learned in class	15		
			Review PowerPoint Unit	15		
第27-28回	PowerPoint Project	Plan, complete, and report on a project using Excel.	Finish PowerPoint project	15		
			Practice skills learned in class	15		
第29-30回	Excel Activities	Use basic functions of Microsoft Excel	Review skills learned in class	15		
			Practice skills learned in class	15		
第31-32回	Excel Activities	Use basic functions of Microsoft Excel	Review skills learned in class	15		
			Practice skills learned in class	15		

	第33-34回	Excel Activities	Use basic functions of Microsoft Excel	Practice skills learned in class	15	
				Practice skills learned in class	15	
	第35-36回	Excel Project	Plan, complete, and report on a topic using Excel.	Review Excel unit	15	
				Finish project	15	
	第37-38回	Integrated Project	Complete a project using Word, PowerPoint, Excel and Web Searching	Review semester	15	
				Work on project	15	
	第39-40回	Integrated Project	Complete a project using Word, PowerPoint, Excel and Web Searching	Review project	15	
夏 学 期	第1-2回	Introduction/KIT Lunch Catalog	Create a KIT Lunch Catalog in Word	Review skills learned in class in Word	15	
	第3-4回	KIT Lunch Catalog	Create a KIT Lunch Catalog in Word	Think about what you will include for your KIT Lunch Catalog	15	
				Work on KIT Lunch Catalog	15	
	第5-6回	KIT Lunch Catalog	Create a KIT Lunch Catalog in Word	Review what you need to finish	15	
				Finish KIT Lunch Catalog	15	
	第7-8回	Resume	Write an English Resume in Word	Reflect: What do you need to write on a resume?	15	
				Review what goes into an English resume	15	
	第9-10回	Resume	Write an English Resume in Word	Reflect on what you will include in your own resume	15	
				Finish resume	15	
	第11-12回	Airplane Experiment	Perform and take data from an experiment	Reflect: What do you need to perform an experiment?	15	
				Review your data	15	
	第13-15回	Airplane Experiment	Input data and make graphs in Excel	Review Excel skills	15	
				Finish project	15	
	第16-18回	Newspaper Tower	Perform an experiment and write their findings into a Word document	Think about how you would make a tower out of newspaper	15	
			Reflect on what you need to make your tower stronger	15		
第19-20回	Newspaper Tower	Report an experiment findings on PowerPoint	Prepare materials needed for class.	15		
秋 学 期	第1-2回	Comic	Make a comic using Word	Read a comic	15	
	第3-4回	Comic	Make a comic using Word	Think about an event over summer that you want to make a comic about	15	
				Work on comic	15	
	第5-6回	Comic	Present their comic to the class	Review presentation	15	

			Reflect on what made a good presentation	15		
第7-8回	Corpus Project	Know what a corpus is and how to use Google as one	Review how to search the internet	15		
			Practice skills from class	15		
第9-10回	Email Activities	To write a contextually appropriate email with accurate content and formatting.	Reflect on how email writing is different than other types of writing	15		
			Review what makes a good email	15		
第11-12回	Email Activities	To write a contextually appropriate email with accurate content and formatting.	Prepare to write an email	15		
			Finish activities	15		
第13-14回	Email Project	Can plan, complete and present a contextually correct email.	Brainstorm email project	15		
			Work on project	15		
第15-16回	Email Project	Can plan, complete and present a contextually correct email.	Reflect on what you need to finish for project	15		
			Finish project	15		
第17-18回	Singapore Websearch	Use the internet to search for information about Singapore	Reflect: What do you currently know about Singapore?	15		
			Finish Singapore websearch	15		
第19-20回	Singapore PowerPoint	Make a PowerPoint about a personal experience in Singapore	Review PowerPoint skills	15		
			Finish Singapore PowerPoint	15		
第21-22回	Survey	Conduct a survey	Reflect on what you want to survey KTC students on	15		
			Organize data	15		
第23-24回	Survey	Input survey data into Excel	Check data	15		
			Finish entering data into Excel	15		
第25-26回	Survey Report	Write a report and draw a conclusion from data	Reflect on what conclusions you can make from your data	15		
			Review what makes a good report	15		
第27-28回	Survey Report	Write a report and draw a conclusion from data	Think about what you need to finish for your report	15		
			Finish report	15		
冬学期	第 1 -2回	Survey Journal	Compile a journal of reports from a survey	Review Word skills	15	
				Review the components of a journal	15	
	第3-4回	Survey Journal	Compile a journal of reports from a survey	Make sure your report is complete	15	
				Finish compiling journal	15	
	第5-6回	Survey Presentation	Present survey results using PowerPoint	Review all of your survey data and report	15	
				Review what you should put on your presentation	15	
	第7-8回	Survey Presentation	Present survey results using PowerPoint	Practice Presentation	15	
				Reflect on good points and bad points of presentation	15	
	第9-10回	Brochure Project	Use Word to make an informative brochure about own chosen topic	Think about a topic you would want to make a brochure on	15	
				Get all information needed for brochure	15	
	第11-12回	Brochure Project	Use Word to make an informative brochure about own chosen topic	Review your topic—Is it good enough to make a brochure on?	15	
				Continue to gather information about your topic	15	

第13-14回	Brochure Project	Use Word to make an informative brochure about own chosen topic	Reflect on what you need to finish for your brochure	15	
			Continue to gather information about your topic	15	
第15-16回	Brochure Project	Use Word to make an informative brochure about own chosen topic	Reflect on what you need to finish for your brochure	15	
			Finish brochure	15	
第17-18回	Picture Manipulation	Manipulate pictures in Word	Review Word skills	15	
			Finish manipulating pictures	15	
第19-20回	Jeopardy Project	Make a Jeopardy game using PowerPoint	Review PowerPoint skills	15	
			Think about what you want to make a Jeopardy game about	15	
第21-22回	Jeopardy Project	Make a Jeopardy game using PowerPoint	Review your topic—Is it good enough to make a game on?	15	
			Continue to gather information about your topic	15	
第23-24回	Jeopardy Project	Make a Jeopardy game using PowerPoint	Reflect on what you need to finish for your brochure	15	
			Finish Jeopardy game	15	
第25-26回	Jeopardy Presentation	Present their Jeopardy game to another class.	Prepare presentation	15	
			Reflect on what went well and what didn't	15	
第27-28回	Food Ranking	Make a ranking of different foods using Excel	Review Excel skills	15	
			Finish Excel project	15	
第29-30回	L / R Pronunciation	know the difference between pronouncing L and R	Write a list of words with ambiguous L/R pronunciation	15	
			Practice L/R pronunciation	15	
第31-32回	<i>The Social Network</i>	Answer comprehension questions about the film <i>The Social Network</i>	Reflect on good points and bad points of Facebook	15	

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
Advanced English Conversation 1 (上級英語I・会話)				グローバル情報工学科 4年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Elective	履修 4	All year	Lecture	Sarah Lubold (Spring, Fall, Winter), Nick Duff (Spring), Jenny Brown (Spring, Summer), Ali Jumaah (Summer, Fall, Winter)		
キーワード		科目概要				
Small talk, communication skills, follow-up questions, conversation, body language, speaking fluency		Advanced English Conversation 1 will provide students with many opportunities to speak and listen to English through fun, interactive paired and small-group activities. Students can share their experiences, opinions and ideas with each other on a variety of interesting topics in a variety of ways to improve fluency and confidence.				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
① <i>Let's Chat!</i> , John Pak, EFL Press		① <i>Let's Chat!</i> Audio CD ②Class Papers		上級英語II		
評価方法						
評価項目	Tests/Quizzes/Projects	Classwork	Participation		評価	学期の割合
春学期	25	40	35		100	2/6
夏学期	25	40	35		100	1/6
秋学期	25	40	35		100	1.5/6
冬学期	25	40	35		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> • Rubric-based assessment speaking and listening tasks • Class worksheets, book work, partner conversations, video/media guides • Class attitude, task engagement, time management, use of resources 					
受講上のアドバイス						
<ol style="list-style-type: none"> 1) Come to class with a good attitude: say "hello" and "good-bye" to classmates and teachers, make eye contact, smile, relax, think about how much you can learn when you are positive. 2) Come to class prepared: bring your book, binder, your pencil. 3) Be open to trying new things, taking risks, working with new partners, and being uncomfortable. 4) <i>Remember that nervousness won't hurt you. You can learn to relax in stressful speaking contexts through practice, self-talk and visualization.</i> 5) Ask questions and communicate in English with the teacher when you aren't sure about vocabulary or goals: <i>What do you mean? What's this? How do you say...in English? What should I do? I don't understand.</i> 6) Be supportive of others' efforts. Be a good listener! 						
科目の達成目標						
①	Students will apply their growing knowledge of conversation strategies to their own communication with partners, groups and their teacher in and out of class.					
②	Students will be able to develop their speaking and listening ability, as well as fundamental verbal and physical communication skills (spoken and kinesthetic features), and tools for persevering during stressful speaking situations.					
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		KTC 31.103				
オフィスアワー		Mondays 4-5				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to...	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検
春 学 期	第1~4回	Unit 1: Getting Acquainted	Understand syllabus; Class introduction	--	
				Practice the conversation on p. 1. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15
	第5~8回	Unit 1: Getting Acquainted	Introduce someone and do self-introductions	Practice your English Self-Introduction.	15
				Review Unit 1 by practicing asking and answering questions about preferences on pp. 2 and 3.	15
	第9~12回	Unit 2: Experiences	Talk about experiences; Talk about the past and school life	Think about one of the best days of your life. Why was it the best day? What did you do? Who were you with?	15
				Review your experience story and use the new vocabulary you practiced in class.	15
	第13~16回	Unit 3: Sports and Leisure	Talk about sports and leisure activities; Discuss sports rules	Think about your favorite sport. Use the questions and vocabulary on p. 11 to practice describing your sport.	15
				Practice the conversation on p. 10. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15
	第17~20回	Unit 3: Sports and Leisure	Talk about sports and leisure activities; Discuss sports rules	Review the vocabulary you used in class to discuss sports rules with a sport you play or want to play.	15
				Think about a game center or a theme park experience you've had. What are your favorite games and rides? Why?	15
	第21~24回	Unit 9: Health	Talk about health and lifestyle	Preview Unit 9 in textbook. Think about what you should and shouldn't do to stay healthy.	15
				Review the questions on p. 44. Practice answering in English.	15
	第25~28回	Unit 9: Health	Give advice; Discuss exercise/fitness	Read and practice the conversation on p. 43. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15
				Practice giving your classmates health advice.	15
	第29~32回	Unit 11: Music & Books	Talk about music and books and their favorite music/artist	Preview Unit 11 in textbook. Think about your favorite song and book and how you would describe them.	15
				Read and practice the conversation on p. 54. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15
第33~36回	Unit 11: Music & Books	Share a favorite song or book	Read the questions on p. 56 and practice answering them.	15	
			Review the Passive Voice form on p. 55.	15	

	第37~40回	Unit 7: Movies & TV	Describe movies (<i>based on, directed by, stars, theme song, etc.</i>)	Preview Unit 7 in textbook. Think about your favorite movie and TV show and how you would describe them.	15
				Read and practice the conversation on p. 31. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15
夏 学 期	第 1 ~4回	Unit 7: Movies & TV	Talk about television and genres	Practice describing your favorite movie or TV show.	15
				Review the movie description vocabulary on p. 34 and then read sentences 1-6.	15
	第5~8回	Unit 4: Shopping & Money	Borrow/recommend items	Practice reading and saying the large numbers on p. 16.	15
				Practice the conversation on p. 15. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15
	第9~12回	Unit 4: Shopping & Money	Read English numbers, money & time	Bring a receipt (real or imaginary) to class and practice talking about what you bought and how much it cost.	15
				Review large numbers using population exercises on p. 17.	15
	第13~16回	Unit 8: Work	Discuss part-time jobs, career plans; Interview others about jobs; Discuss good/bad points about jobs	Think about your summer internship (company, daily schedule, your experience, etc.). Read and practice the conversation on p. 38. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15
				Read the questions on p. 39 and practice answering them.	15
	第17~20回	Unit 8: Work	Design/exchange business cards	Practice speaking about your summer internship and share this information with your classmates.	15
				Think about your summer internship (company, daily schedule, your experience, etc.).	15
秋 学 期	第1~4回	Unit 8: Work; Summer Internships	Reflect on Summer Internships	Complete your questionnaire about your summer internship.	15
				Reflect on how your speaking activities in class might help you during your Summer Internship Presentation.	15
	第5~8回	Unit 6: Travel	Discuss how to make travel plans	Think about an overseas trip you have taken or would like to take someday.	15
				Read and practice the conversation on p. 25. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15
	第9~12回	Unit 6: Travel	Practice the language of checking into a hotel and making a complaint	Think about the process of checking into a hotel and the kinds of problems you might have when traveling.	15

			Read and practice the conversation on p. 30, using new information. Review the new vocabulary and expressions.	15		
第13~16回	Singapore Unit	Talk about Singapore; Give presentations to classmates	Think about what you already know about Singapore (its food, language, sightseeing places, etc.).	15		
			Review the fact sheet about Singapore.	15		
第17~20回	Singapore Unit	Complete a follow-up project to Singapore trip	Practice for the Singapore poster presentation.	15		
			Think about the differences and similarities between Japan and Singapore.	15		
第21~24回	Unit 5: Food	Talk about food; Describe Japanese food	Think about examples of foods from around the world. What new foods do you want to try?	15		
			Practice the conversation on p. 20. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15		
第25~28回	Unit 5: Food	Complete good project	Use the sentences on p. 22 as an example, and review by creating a description of a food that you often eat.	15		
			Review Hawaiian foods from p. 24. Which would you like to try? Do any of these remind you of Japanese foods?	15		
冬学期	第1~4回	Unit 10: Love & Marriage	Talk about love and marriage	Think about what makes a successful marriage and why.	15	
				Read and practice the conversation on p. 48. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15	
	第5~8回	Unit 10: Love & Marriage	Describe people; Make verbal invitations	Read the questions on p. 49 and practice answering them.	15	
				Practice giving relationship advice to your classmates.	15	
	第9~12回	Unit 12: Japanese Culture	Talk about Japanese culture/prefectures	Think about Japanese traditions and places to visit in Japan. How would you explain them to a foreigner visiting Japan?	15	
				Read and practice the conversation on p. 59. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15	
	第13~16回	Unit 12: Japanese Culture	Complete Japanese cultural projects	Read the questions on p. 62 and practice answering them.	15	
				Read the descriptions on pp. 78 and 79 and practice talking about traditional Japanese items and places with a foreigner.	15	
	第17~20回	Unit 13: World Problems	Discuss good environmental practices, Complete a 'how green are you?' survey	Think about problems in the world today and possible solutions.	15	
				Read and practice the conversation on p. 65. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15	

第21～24回	Unit 13: World Problems	Explore world economies, societies, and inequities	Reflect about what your strong points and weak points are in helping the world.	15	
			Write a list of world issues that you explored in class, and rank them from most important to you, to least important.	15	
第25～28回	Unit 14: Review	Review year activities with the textbook	Read the questions on p. 66 and practice answering them.	15	
			Read and practice the conversation on p. 70. Review the new vocabulary and expressions in the dialog.	15	
第29～32回	Unit 14: Review ; Closing	Review year activities with the textbook; Complete questionnaire	Organize your ideas about class this year. Bring your ideas to class!	15	
			Reflect on your progress this semester and this school year.	15	

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
キャリアデザイン				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	履修 1	集中	実技	坂倉忠和			
キーワード			科目概要				
進路学習 キャリアデザイン			<p>企業が技術系人材に望む要件は、基礎学力・技術力を備えていることは勿論であるが、その上で自律的・創造的であり、さらにコミュニケーションを通じて自らの考えを効果的に伝えることができることである。</p> <p>本講義では、修学などについて真剣に考え、その過程を通じて、今後の進路を明確にするとともに、考える技術・書く技術・話す技術を学ぶ。</p>				
教科書			参考書		関連する科目・資格		
① 「キャリアデザインノート」 ② 配布プリント			「イッキに内定!面接&エントリーシート一問一答」、高橋書店、坂本直文		科目：インターンシップ		
評価方法 (％)							
評価項目	提出物	研修態度	出席			計	学年評価に対する割合
春学期							
夏学期							
秋学期							
冬学期	60	20	20			100	100
学年評価 (評価は春,夏,秋,冬学期で行い、通知表は春,夏,秋,学年評価で示す。)							100
備考	<p>(1) 学校集合からはじまり、第2日目17時まで本講義に参加した者について成績を評価する。この条件を満たさないものはF評価とする。ただし、特段の理由があるものについては、別途判断する。</p> <p>(2) 上記の規定に関わらず、校則違反等により退苑を命ぜられた者の評価はFとする。</p> <p>(3) 研修態度が不良な者については、その程度により減点する。なお、研修態度には面接の練習を含める。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>(1) 進路(就職・進学)決定準備の重要性と必要性を認識する。(2) 進路決定に際し、自らを分析し表現できるようになる。(3) 将来に向けて、今後の高専での修学を明確にする。(4) 団体生活を通じ、「思いやりの心」を養い「マナー等」を体得する。</p>							
科目の達成目標							
①	進路決定準備の重要性が認識できる。						
②	進路決定に際し、自らを分析し表現できる。						
③	履歴書の書き方のポイントが理解できる。						
④	面接の注意点が理解できる。						
⑤	今後の金沢高専での修学の目標を明確にできる。						
⑥	団体生活を通じ、「思いやりの心」と「マナー」を体得できる。						
関連する本校の学習・教育目標			人間性、国際性				
問い合わせ・質問先			講義時：穴水湾自然学苑・坂倉まで				
オフィスアワー							

回	授業項目	授業の達成目標	点検
冬学期	1	オリエンテーション	安全管理と基本的ルールについて理解する。
	2	朝の集い	国旗・校旗の掲揚、体操、教員の講話を受け、研修に取り組む気持ちを明確にする。
	3	夕べの集い	国旗・校旗の後納、教員の講話を受ける。
	4	自己分析	自己分析を行い、進路について真剣に考える契機とする。
	5	応募書類対策	応募の書類対策について理解する。
	6	コミュニケーション	コミュニケーションのポイントを理解する。
	7	面接対策	面接のポイントを理解する。
	8	履歴書・エントリーシート作成	仮の就職希望先企業を設定し、履歴書・自己紹介書を作成する。
	9	模擬面接	各班別に模擬面接を受け講評を得る。

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
情報数学 I				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	谷口萌未			
キーワード			科目概要				
集合、確率、情報量、 情報理論、統計分析			情報をコンピュータ、ネットワークを介在して相手に伝達するため、情報を量でとらえる必要がある。本講義では、集合や組合せなどの離散数学および確率論の概念を学習し、数学的基礎を固める。次に情報量の定義と性質、情報伝達方法について学習し、得られた情報を整理・分析するための統計的な基本知識も習得する。				
教科書			参考書		関連する科目・資格		
「情報のための数学 2015年版」 金沢工業大学 数理工センター					科目:情報数学Ⅱ、情報・統計理論		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	小テスト	課題・宿題	授業態度			計 学年評価に対する割合
春学期	40	20	30	10			100 33
夏学期	50		40	10			100 17
秋学期	40	20	30	10			100 23
冬学期	50		40	10			100 27
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<p>年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。 定期試験及び小テストは学習の成果を測定することを主とする。 課題・宿題は提出状況と完成度を測定するものである。 授業態度は授業への積極的な参加を測定する。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>受講上の注意点を以下に示します。必ず守ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中、しっかり講義を聞き、不明な点があれば、溜めずに聞くこと。 2. 数学問題に閉じずに実問題との関連付けを意識しながら勉強すること。 3. 課題を必ず各自で行い、提出はμ切厳守を徹底すること。 							
科目の達成目標							
①	2進数の四則演算、論理演算について理解できる。						
②	集合の要素の数の計算ができる。						
③	順列、組合せなどの簡単なケースにおいて確率の計算ができる。						
④	情報量、エントロピーの意味について理解できる。						
⑤	符号化の目的と符号の作り方について理解できる。						
⑥	簡単な基本統計分析ができる。						
関連する本校の学習・教育目標			E : 専門力、B : 創造性				
問い合わせ・質問先			31号館 (207)				
オフィスアワー			随時				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段: 予習・下段: 復習)	時間	点検	
春学期	第1・2回	ガイダンス	授業の範囲、概要、到達目標を理解できる。	授業の範囲、概要、到達目標を確認する。	15	
	第3・4回	n進数	1 0進数からn進数への基数変換、2進数の四則演算ができる。	教科書のn進数に関するページを読む。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	30	
	第5・6回			教科書の2進数の四則変換に関するページを読む。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	30	
	第7・8回	集合	集合の基本概念を理解し、基本演算ができる。	教科書の論理代数に関するページを読む。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	30	
	第9・10回			教科書の集合に関するページを読む。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	30	
	第11・12回	集合と論理	論理回路について理解でき、論理演算できる。	教科書の集合と論理に関するページを読む。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	30	
	第13・14回			教科書の論理代数の基本法則に関するページを読む。	15	
指定の演習問題を解き、ノートを整理する。				30		
第15~18回	総合演習(1)	春学期で学習した内容を復習し、応用力をはかる。	春学期の全演習問題を見直し、ノートによる復習をする。	60		
	定期試験	(試験)				
第19・20回	春学期点検	学習の達成度を確認できる。				
			試験問題を見直し、標準解答を作る。	60		
夏学期	第1・2回	確率とその基本性質	確率の基本的な考え方を理解できる。 単純な事象の確率を求められる。 条件付確率について理解できる。	教科書の順列と組合せに関するページを読む。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	30	
	第3・4回			教科書の事象と確率に関するページを読む。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	30	
	第5・6回			配布資料を読む。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	30	
	第7・8回	確率変数と確率分布	確率変数の平均、分散、標準偏差について理解できる。 ベイズの定義について意味が分かる。	教科書の確率変数に関するページを読む。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	30	
	第9・10回			教科書の確率分布関数に関するページを読む。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	30	
	定期試験	(試験)		-		

秋学期	第1・2回	情報量とエントロピー	情報量の意味と計算ができる。	情報量の考え方について調査する。	15		
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	20		
	第3・4回				エントロピーの意味について調査する。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	20		
	第5・6回	情報理論の基礎	情報源、通信路のモデルについて理解する。	情報源の考え方について調査する。	15		
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	20		
	第7・8回				通信路の考えたかについて調査する。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	20		
	第9・10回	符号理論の基礎	符号化と復号化の意味を理解し、簡単な符号を作る。 符号化の効率について基本が分かる。	情報源符号化の考え方について調査する。	15		
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	20		
第11・12回				通信路符号化の考え方について調査する。	15		
	指定の演習問題を解き、ノートを整理する。			20			
第13・14回	総合演習(2)	秋学期の学習内容を復習し定着をはかる。					
	定期試験	(試験)					
			秋学期の全演習問題を見直し、ノートに整理する。	60			
冬学期	第1・2回	基本統計分析(1)	統計処理の必要性が分かる。 データの構造を理解する。	データの種類について調査する。	15		
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	20		
	第3・4回				データの構造について調査する。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	20		
	第5・6回	基本統計分析(2)	データの関連性について分析手法が分かる。	2つのデータの関連性について調査する。	15		
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	20		
	第7・8回				3つ以上のデータの関連性について調査する。	15	
				指定の演習問題を解き、ノートを整理する。	20		
	第9・10回	基本統計分析演習	Excelを使ってデータ処理を行うことができる。	Excelの使い方を復習する。	15		
				指定の演習問題を行う。	20		
第11・12回				Excelの使い方を復習する。	15		
	指定の演習問題を行う。			20			
第13~16回	総合演習(3)	冬学期の学習内容を復習し、応用問題に適應することで定着をはかる。					
	定期試験	(試験)					
			冬学期の全演習問題を見直し、ノートによる復習をする。	60			

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
システム制御 I				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	田村景明			
キーワード		科目概要					
メカトロニクス, センサ, アクチュエータ, 制御, arduino		コンピュータはあらゆる分野において活用されており、この授業を通じて、情報技術のみならず、機械、電気・電子技術など幅広い分野を学び、広い視野で物事を考えることができるようにする。また、理解を深めるため、実験を行う。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①「メカトロニクス概論1」, 舟橋宏明, 実教出版 ②配付資料			①「Arduinoをはじめよう」, Massino Banzi (著), 船田巧 (訳), オライリー・ジャパン		科目: システム制御II 資格: 組込みソフトウェア技術者試験		
評価方法							(%)
評価項目	週報	実験・課題	小テスト			計	学年評価に対する割合
春学期	25	25	50			100	25
夏学期	25	25	50			100	25
秋学期	25	25	50			100	25
冬学期	25	25	50			100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬で行い, 通知表は春, 夏, 秋, 学年評価示す。)							100
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・春夏学期の期間はそれぞれ7週と8週とする。 ・小テストは理解度確認のためであり、年間10回程度行う。 ・学生便覧に記載された出席扱いの場合、希望者には小テストの追試験を実施する。 ・授業は実験を中心とし、2、3人のグループ単位で実験室にて行う。 ・各学期について、欠課(50分授業)、遅刻、早退1回につき、評価項目に関係なくそれぞれ4点減点する。 ・学生便覧の諸規則を全うしない学生について、注意しても改善が見られない場合は、評価項目に関係なく減点する。 ・減点事項について、特別な理由がある場合、校長の指示に従う。 						
受講上のアドバイス							
<ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧の進級の条件の1番目として「平素学生の本分を全うし、かつ勉学に精励したものと認められる者」とある。本授業でもこれに従い減点項目のため点数不足により不合格となる場合もあることを自覚する。 ・実験はグループ内の者と協力して行うこと。週報は、各自、毎週授業の最後に提出すること。 ・各グループ最低1台の貸与パソコンを用意すること。 ・実験結果を記録する手書きノートも用意するとよい。 							
科目の達成目標							
①	メカトロニクスを理解できる。						
②	デジタル入出力(スイッチやLED等)制御を理解できる。						
③	アナログ入力(アナログセンサ)を理解できる。						
④	アナログ出力(PWM)制御を理解できる。						
⑤	センサやアクチュエータを理解できる。						
⑥	各種モータを制御できる。						
関連する本校の学習・教育目標	専門力						
問い合わせ・質問先	31号館210号室						
オフィスアワー	16:30~17:30						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検
春学期	第1～2回	ガイダンス	メカトロニクスの概要を理解できる。	—	
				メカトロニクスを理解する。	15分
	第3～4回	実験開発環境と配線道具	実験に利用するハードウェアとソフトウェアを理解できる。	Arduino1.6.0のインストール 配布資料を熟読する。	15分
				開発環境を理解する。	15分
	第5～6回	デジタル入出力 (1)	ArduinoマイコンによるLED点灯を制御できる。	配布資料を熟読する。	15分
				LED点灯制御を理解する。	15分
	第7～8回	デジタル入出力 (2)	車用の信号機の表示を制御できる。	配布資料を熟読する。	15分
				複数LEDの制御を理解する。	15分
	第9～10回	デジタル入出力 (3)	Arduinoマイコンによるスイッチ信号を入力できる。	配布資料を熟読する。	15分
				スイッチ入力を理解する。	15分
第11～12回	デジタル入出力 (4)	押しボタン用歩行者信号機を制御できる	配布資料を熟読する。	15分	
			入出力を理解できる。	15分	
第13～14回	デジタル入出力 (5)	信号機の警告音を制御できる。	配布資料を熟読する。	15分	
			音の発生制御を理解する。	15分	
第15～16回	センサの基礎 (1)	センサを理解できる。	教pp. 14-18を熟読する。	15分	
			センサを理解する。	15分	
第17～18回	センサの基礎 (2)	センサの信号形式を理解できる。	教pp. 19-21を熟読する	15分	
			センサ信号を理解する。	15分	
第19～20回	機械量の検出 (1)	ロータリーエンコーダの原理を理解できる。(デジタル入力)	教pp. 25-27, 配布資料を熟読する。	15分	
			ロータリーエンコーダを理解する。	15分	
夏学期	第1～2回	機械量の検出 (2)	ロータリーエンコーダで回転速度や回転方向を入力できる。	配布プリントを熟読する。	15分
				プログラムを理解する。	15分
	第3～4回	機械量の検出 (3)	アナログ入力を理解できる。 (乾電池の電圧のデジタル化)	教pp. 20-21, 配布資料を熟読する。	15分
				アナログ入力を理解する。	15分
	第5～6回	機械量の検出 (4)	ポテンショメータを利用できる。 (アナログ入力)	教p. 24, 配布資料を熟読する。	15分
				ポテンショメータを理解できる。	120分
	第7～8回	ビデオ鑑賞	CE職について理解できる。	CE職について調査する。	15分
				CE職を理解する。	15分
	第9～10回	物体の検出 (1)	光センサを理解できる。	教pp. 34-55に目を通す。	15分
				光センサを理解する。	15分

--	--	--	--	--	--

秋学期	第1~2回	物体の検出 (2)	赤外線距離センサを理解できる。	配布資料を熟読する。	15分
				赤外線距離センサを理解する。	15分
	第3~4回	物体の検出 (3)	赤外線距離センサのデジタル値を距離に変換できる。	Excel散布図, 配布資料を熟読する。	15分
				実験式から距離を算出する方法を理解する。	15分
	第5~6回	物体の検出 (4)	I C温度センサを理解できる。	配布資料を熟読する。	15分
				I C温度センサを理解する。	15分
	第7~8回	練習問題	練習問題を解くことができる。	教pp. 19-21を熟読する。	15分
				練習問題を理解する。	15分
冬学期	第9~10回	アクチュエータの基礎	アクチュエータを理解できる。	教pp. 57-61, 配布プリント熟読	15分
				アクチュエータを理解する。	15分
	第11~12回	直流モータ (デジタル出力)	直流モータの動作原理を理解できる。 直流モータの制御を理解できる。	教pp. 59-61, 71, 配布物熟読。	15分
				直流モータの制御を理解する。	15分
	第13~14回	直流モータ (アナログ出力)	PWM制御を理解できる。	教pp. 59-61, 配布物熟読する。	15分
				PWM制御を理解する。	15分
	第1~2回	直流モータ実験 (回転方向の制御)	回転方向を制御できる。	配付資料を熟読する。	15分
				回転方向制御を理解する。	15分
第3~4回	リレーによる直流モータ制御	リレーを利用してモータを制御できる。	教pp. 66-68, 配布物熟読する。	15分	
			リレー制御を理解できる。	15分	
第5~6回	リレーにより回転方向の制御	リレーによって回転方向を制御する方法を理解できる。	教pp. 66-68, 配布資料を熟読する。	15分	
			接続方法を理解する。	15分	
第7~8回	ステッピングモータの原理	原理を理解できる。	教pp. 85-89, 配布資料を熟読する。	15分	
			動作原理を理解する。	15分	
第9~10回	ステッピングモータ	ステッピングモータを制御できる。	配布資料を熟読する。	15分	
			制御原理を理解する。	15分	
第11~12回	サーボモータ	サーボモータを理解できる。	教pp. 81-82, 配布資料を熟読する。	15分	
			動作原理を理解する。	15分	
第13~14回	サーボモータ	サーボモータを制御できる。	配布資料を熟読する。	15分	
			制御原理を理解する。	15分	
第15~16回	・流体アクチュエータ ・ソレノイド	流体アクチュエータ, ソレノイドの動作原理を理解する。	教pp69-70, pp. 90-93を熟読する。	15分	
			原理を理解する。	15分	

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
計算機システムⅡ				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	竹俣一也			
キーワード		科目概要					
アセンブラ言語、機械語、CASL2		マイクロコンピュータの基本的構成と動作の仕組みを理解する。まず、論理回路の基礎を学び、演算回路の理解を深める。その上で、マイクロコンピュータの構成要素と動作原理をアセンブラプログラミングを通して学ぶ。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
「アセンブリ言語の基礎」, 山崎 一生, 共立出版		独習アセンブラ, 日向俊二, 翔泳社		科目: 計算機システムⅢ 資格: 基本情報技術者試験			
評価方法 (％)							
評価項目	学期末試験	演習・宿題	小テスト	学習態度		計	学年評価に対する割合
春学期	40	20	30	10		100	33
夏学期	40	20	30	10		100	17
秋学期	40	20	30	10		100	23
冬学期	40	20	30	10		100	27
学 年 評 価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い, 通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備 考	<p>演習・宿題は学習内容の理解度を促進するために実施する。宿題(課題)は各自で実施し、提出したかどうかの確認のみを行う。なお、期限に遅れた場合は評価しない。</p> <p>宿題(課題)提出後、これらの宿題(課題)を各自で成し遂げたかを調べるために小テスト(ノート課題、提出遅延については評価しない)を実施し、各自の理解度を評価する。さらに期末試験で総合的な理解度を評価する。</p> <p>※欠席・遅刻毎に減点する(15分以上の遅刻は欠席扱いとする)。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>携帯電話や家電製品などでは、コンピュータの内部でプログラムがどのように動いているのかを意識しないと、安価で性能の良い製品は作れません。この講義ではその基礎知識を扱います。</p> <p>① 宿題の提出期限は必ず守ること。</p> <p>② 宿題などは完成させてから提出すること。</p> <p>③ 授業用ノートとは別に課題提出用ノートを準備すること。</p>							
科目の達成目標							
①	コンピュータの計算の仕組みが理解できる						
②	COMETⅡコンピュータの動きを説明できる						
③	CASLⅡのアセンブラ言語で加減算のプログラムが理解できる						
④	CASLⅡのアセンブラ言語で判断分岐のプログラムが理解できる						
⑤	CASLⅡのアセンブラ言語でサブルーチンのプログラムが理解できる						
⑥							
関連する本校の学習・教育目標		創造性、専門力					
問い合わせ・質問先		3階315室(竹俣)					
オフィスアワー		水曜日17:30まで					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題	時間 (分/回)	点検	
春 学 期	第1,2回	授業概要	講義の目的を理解する	第1,2回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第3,4回	コンピュータ	コンピュータの計算の仕組みが分かる。 機械語およびアセンブラ言語とはどのようなものかが分かる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第3,4回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第5,6回			テキストの該当するページを読む	10	
				第5,6回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第7,8回	アセンブリ言語の基本 (1)	COMET II の構成が分かる。 COMET II プログラムの動きが分かる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第7,8回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第9,10回			テキストの該当するページを読む	10	
				第9,10回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第11,12回	アセンブリ言語の基本 (2)	命令レジスターの役割が分かる フラグレジスタの役割が分かる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第11,12回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第13,14回			テキストの該当するページを読む	10	
				第13,14回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第15,16回	総合演習	第1回から第14回までの内容を定着させる。	テキストの該当するページを読む	10	
第15,16回のスライドで説明された宿題をする				10		
第17,18回			テキストの該当するページを読む	10		
			第17,18回のスライドで説明された宿題をする	10		
定期試験						
第19,20回	アセンブリ言語の高度な命令 (1)	インデックスレジスタの役割が分かる。 スタックの役割が分かる。	ここまで学んだことを整理する			
			第19,20回のスライドで説明された宿題をする			
第21,22回			テキストの該当するページを読む	10		
			第21,22回のスライドで説明された宿題をする	10		
第23,24回	アセンブリ言語の高度な命令 (2)	サブルーチンを活用できる。 入出力命令を活用できる。	テキストの該当するページを読む	10		
			第23,24回のスライドで説明された宿題をする	10		
第25,26回			テキストの該当するページを読む	10		
			第25,26回のスライドで説明された宿題をする	10		
第27,28回	総合演習	第19回から第26回までの内容を定着させる。	テキストの該当するページを読む	10		
			第27,28回のスライドで説明された宿題をする	10		
第29,30回			ここまで学んだことを整理する	10		
			第29,30回のスライドで説明された宿題をする	10		
定期試験						

夏
学
期

秋学期	第31, 32回	アセンブリ言語実習 (1)	CASLシミュレータが使える。 アセンブラ命令を活用できる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第31, 32回のスライドで説明された宿題をする		
	第33, 34回			テキストの該当するページを読む	10	
				第33, 34回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第35, 36回	アセンブリ言語実習 (2)	データ転送命令が使える。 算術演算命令が使える。	テキストの該当するページを読む	10	
				第35, 36回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第37, 38回			テキストの該当するページを読む	10	
				第37, 38回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第39, 40回	アセンブリ言語実習 (3)	ビット演算命令が使える。 比較演算命令が使える。	テキストの該当するページを読む	10	
				第39, 40回のスライドで説明された宿題をする	10	
第41, 42回			テキストの該当するページを読む	10		
			第41, 42回のスライドで説明された宿題をする	10		
第43, 44回	総合演習	第31回から第42回までの内容を定着させる。	ここまで学んだことを整理する	10		
			第43, 44回のスライドで説明された宿題をする	10		
	定期試験					
冬学期	第45, 46回	アセンブリ言語実習 (4)	ジャンプ命令が使える。 スタック操作ができる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第45, 46回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第47, 48回				テキストの該当するページを読む	10
				第47, 48回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第49, 50回			テキストの該当するページを読む	10	
				第49, 50回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第51, 52回	アセンブリ言語実習 (5)	サブルーチンコールが使える。 マクロ命令が使える。	テキストの該当するページを読む	10	
				第51, 52回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第53, 54回				テキストの該当するページを読む	10
				第53, 54回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第55, 56回			テキストの該当するページを読む	10	
				第55, 56回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第57, 58回	総合演習	第45回から第56回までの内容を定着させる。	テキストの該当するページを読む	10	
	第57, 58回のスライドで説明された宿題をする			10		
第59, 60回				ここまで学んだことを整理する	10	
				10		
	定期試験					

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
コンピュータ演習Ⅲ				グローバル情報学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	春夏	講義	藤澤武			
キーワード			科目概要				
Java, GUI, JSP			2.3年次に学習したJavaの基礎をもとに、さらにシステム開発に必要な例外処理、ファイル入出力などの方法を学ぶ。また、GUIプログラムやWEBアプリケーションプログラムの作成を通してより実践的なプログラミング能力の習得を目指す				
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①「やさしいJava活用編」, 高梨麻奈, SBクリエイティブ			①「やさしいJava」, 高梨麻奈, SBクリエイティブ		科目: コンピュータ演習Ⅰ・Ⅱ, システム開発演習Ⅰ・Ⅱ 資格: Javaプログラミング能力試験		
評価方法 (%)							
評価項目	期末試験	評価課題				計	学年評価に対する割合
春学期	60	40				100	50
夏学期	60	40				100	50
秋学期							
冬学期							
学年評価 (評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)							100
備考	<p>評価課題とは授業項目にある評価課題および、評価対象にすると明示されたその他の課題やテストのことである。未提出の場合は0点となる。学習態度の評価として、以下の行為があった場合、1回につき最大2点の減点を行う。評価課題の採点基準は別途定める。</p> <p>1)遅刻, 途中退席, 2)教科書やノートPCなどの授業に必要な用品の不携帯, 3)その他, 授業態度として不適切と判断される行動や態度</p> <p>また、自由課題などを出すことがある。これらに取り組んだ場合には指定する学期の評価に加点する。</p>						
受講上のアドバイス							
教科書とノートPC, そして講義内容を記録するためにノートと筆記用具は必ず毎回持参すること。課題の提出期限は必ず守ること。							
科目の達成目標							
①	簡単なJSPプログラムが作れるようになる						
②	ファイルにアクセスするプログラムが作れるようになる						
③	イベント処理のあるGUIプログラムが作れるようになる						
④							
⑤							
⑥							
関連する本校の学習・教育目標	専門力, 創造性						
問い合わせ・質問先	2階209・211室						
オフィスアワー	金曜日8限						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1~4回	ガイダンス	本講義で指示された手順でプログラム開発できる	教科書の該当箇所を熟読する	20	
				講義内容をA4一枚まとめる	30	
	第5~12回	復習	コンピュータ演習Ⅰ・Ⅱで学習した範囲のプログラムが作成できる	教科書の該当箇所を熟読する	20	
				講義内容をA4一枚まとめる	30	
	第13~14回	クラスライブラリ	クラスライブラリの使い方を理解し、説明できる	教科書の該当箇所を熟読する	20	
				講義内容をA4一枚まとめる	30	
	第15~20回	Swingの基本	Swingを用いた基本的なプログラムが作成できる	教科書の該当箇所を熟読する	20	
				講義内容をA4一枚まとめる	30	
	第21~26回	Swingの応用	基本的なコンポーネントを用いたSwingプログラムが作成できる	教科書の該当箇所を熟読する	20	
				講義内容をA4一枚まとめる	30	
第27~28回	Swingの活用	高度なコンポーネントを用いたSwingのプログラムが作成できる	教科書の該当箇所を熟読する	20		
			講義内容をA4一枚まとめる	30		
第29~34回	課題1	課題プログラムの作成	これまでの講義内容の復習	30		
第35~36回	課題1の評価	課題1の発表と評価				
			評価結果から課題を見つける	30		
	定期試験					
第37~40回	JSPの基本	基本的なJSPプログラムが作成出来る	教科書の該当箇所を熟読する	30		
			講義内容をA4一枚まとめる	30		
夏学期	第1~4回	JSPの応用	HTMLのフォームを理解できる	教科書の該当箇所を熟読する	30	
				評価結果から課題を見つける	30	
	第5~10回	JSPの活用	フォームを使ったJSPプログラムが作成できる	教科書の該当箇所を熟読する	30	
				評価結果から課題を見つける	30	
	第11~12回	課題2	課題プログラムの作成	これまでの講義内容の復習	30	
	第13~16回	課題2の評価	課題2の発表と評価			
				評価結果から課題を見つける	30	
	第17~20回	ファイル操作	テキストファイル入出を行うプログラムを作成できる	前回の講義内容を復習する	30	
				講義内容をA4一枚まとめる	30	
	定期試験					

秋学期						
冬学期						

点検（自己評価）：授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
創造実験Ⅳ				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	秋/冬	実技	今澤明男、坂倉忠和、Matthew Bailey			
キーワード		科目概要					
オブジェクト指向、アジャイル開発、ワークデザイン、スクラム、バックログリスト		実社会において情報技術で問題解決をはかる際に必要となる技術ならびに能力を育成する。そのために、問題の発見・問題の本質の把握から始め、情報技術を活かした解決方策の提案、解決のための具体的システムやソフトウェア等の設計・開発、方策の評価の一連のプロセスを、グループ活動を通じて体験する。これにより、創造的情報技術者に必要な分析力・構想力・コミュニケーション能力・管理能力を涵養する。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
指定せず			「なぜ、あなたはJavaでオブジェクト指向開発ができないのか」小森裕介（著）、技術評論社		科目：システム開発演習Ⅰ・Ⅱ、コンピュータ演習Ⅲ、卒業研究 資格：Javaプログラミング能力認定試験		
評価方法							(%)
評価項目	成果物	プレゼン	チーム報告書	個人報告書		計	学年評価に対する割合
春学期							
夏学期							
秋学期	0	50	50	0		100	20
冬学期	40	10	25	25		100	80
学年評価（評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。）							100
備考	1) 成果物、プレゼンテーション、チーム報告書は、チームで同一評価とする。 ただし、チーム貢献度が特に低い（または高い）場合は考慮する。 2) 成果物のソフトウェアは、機能だけでなくソースコードの適切さ、特に英語を共通語とした仕事場での可読性も評価に入れる。 3) グローバル環境を想定し、日英両国語でのプレゼンを求める。 4) チーム運営についての報告も求め、評価する。						
受講上のアドバイス							
(1) ソフトウェア開発を「チームでの製品開発」の視点からとらえる。単なるプログラム言語の授業ではないことに注意されたい。(2) 限られた時間の中で有効な製品を開発するプロセス、すなわち「アジャイル開発」を体験する。柔軟で効率的な仕事のやり方を身につけるつもりで受講されたい。							
科目の達成目標							
①	オブジェクト指向に基づいた小規模の実用的ソフトウェアのアジャイル開発ができるようになる。						
②	そのために、ソフトウェアのコンセプトをユースケース等で明確に表現できるようになる。						
③	さらに、柔軟な開発のため、コンセプトに基づいた適切なバックログリストを作れるようになる。						
④	また、クラス図、シーケンス図等を用いて設計ができ、Javaで実装ができるようになる。						
⑤	一方、効果的なチーム運営について考え、具体的方策を立てて実践できるようになる。						
⑥	さらに、英語をベースとしたコーディング、英日両国語によるプレゼンができるようになる。						
関連する本校の学習・教育目標	専門力、創造性						
問い合わせ・質問先	2階206室（今澤・坂倉）、2階209室（Bailey）						
オフィスアワー	火曜日16:30-17:30（今澤・坂倉）、授業時に予約（Bailey）						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検
秋学期	第1～2回	ワークデザインの考え方と技法	ワークデザインを用いた問題解決案導出方法を、演習によって身に付ける。	ワークデザインシート完成	各30分
	第3～4回	チーム編成とキックオフ	オリジナルソフトウェア開発のためのグループを編成し、創造的集団としての基盤を作る。		
	第5～8回	開発提案書作成	製品として開発するオリジナルソフトウェアのコンセプトを明確にし、開発提案書を作る。	開発提案書作成	各30分
	第9～12回	プレゼンテーション(1)	開発提案書について発表し、評価を受ける。	プレゼンテーション資料準備	各30分
	第13～14回	スクラムの調査	アジャイル開発をするための具体的方法であるスクラムについて調査し、理解する。	予備調査	各30分
	第15～18回	第1スプリントの計画およびモデリング	オリジナルソフトウェア開発のバックログリストを作成するとともに設計書を作る。	計画書・設計書の作成	各30分
	第19～22回	プレゼンテーション(2)	第1スプリントの計画を発表し、評価を受ける。	プレゼンテーション資料準備	各30分
	第28～28回	第1スプリントの実装とテスト(前半)	第1スプリントの実装とテストを行う。	実装とテスト	各30分
冬学期	第1～6回	第1スプリントの実装とテスト(後半)	第1スプリントの実装とテストを続ける。	実装とテスト	各30分
	第7～10回	プレゼンテーション(3)	第1スプリントの結果について発表し、評価を受ける。	プレゼンテーション資料準備	各30分
	第11～14回	第2スプリントの計画およびモデリング	第2スプリントのためにバックログリストを更新するとともに、設計書も更新する。	計画書・設計書の作成	各30分
	第15～18回	プレゼン(4)	第2スプリントの計画を発表し、評価を受ける。	プレゼンテーション資料準備	各30分
	第19～28回	第2スプリントの実装とテスト	第2スプリントの実装とテストを行う。	実装とテスト	各30分
	第29～32回	プレゼン(5)	最終製品ならびに、そこに至るまでのチーム運営について発表し、評価を受ける。	プレゼンテーション資料準備	各30分

点検(自己評価) : よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
システム開発演習 I				グローバル情報工学科 4年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修 2	春/夏	実技	今澤明男、坂倉忠和、Matthew Bailey				
キーワード		科目概要						
ソフトウェア開発、Java、オブジェクト指向、継承、インタフェース、フレームワーク		ソフトウェア開発モデルに沿った開発プロセスを、演習を通して体験することにより、コーディング・アンド・デバッグ方式のプログラム作成からの脱却を図る。また、体験を通じてオブジェクト指向の基本的な考え方を体得し、応用できるようにする。さらに、グループ活動を通じて、技術的コミュニケーション能力、プロジェクト管理能力、チームスピリットを育む。						
教科書		参考書	関連する科目・資格					
「なぜ、あなたはJavaでオブジェクト指向開発ができないのか」小森裕介(著)、技術評論社		「やさしいJava 活用編」高橋麻奈(著)、SBクリエイティブ	科目：コンピュータ演習Ⅱ・Ⅲ、創造実験Ⅳ、システム開発演習Ⅱ 資格：基本情報技術者 Javaプログラミング能力認定試験					
評価方法								(%)
評価項目	定期試験	演習					計	学年評価に対する割合
春学期	40	60					100	60
夏学期	60	40					100	40
秋学期								
冬学期								
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)								100
備考	1) 演習科目ではあるが、定期試験も実施し評価する。 2) 普段の出欠・演習態度が不良の場合は、最大50点の減点をする。 3) ソフトウェア開発に関する重要な英語表現の理解も評価対象とする。 4) 演習課題にはプレゼンテーション(発表)も含め、これを評価する。 5) プレゼンテーションは、日本語と英語の両方で行うことを求める。							
受講上のアドバイス								
1) 教科書は独習を念頭に執筆されており、予習・復習が容易である。積極的に予習・復習を行うこと。 2) 授業時は、当科目の教科書とともに自らにあったJavaのテキストを持参すること。 3) 授業は日本語と英語の両方を用いて行う。英語の辞書を持参することを勧める。								
科目の達成目標								
①	オブジェクト指向に基づいて、やや複雑なプログラムを開発できるようになる。							
②	そのために、やや複雑なプログラムでも仕様を記述できるようになる。							
③	さらに、やや複雑なプログラムについてのクラス図とシーケンス図を作成できるようになる。							
④	そのうえで、仕様・クラス図・シーケンス図等に基づいてJavaで実装ができるようになる。							
⑤	しかも、実装したプログラムについて簡潔に説明できるようになる。							
⑥	また、システム開発の場での簡単な技術的コミュニケーションが英語でできるようになる。							
関連する本校の学習・教育目標		専門力、創造性						
問い合わせ・質問先		2階206室(今澤・坂倉)、2階209室(Bailey)						
オフィスアワー		火曜日16:30-17:30(今澤・坂倉)、授業時に予約(Bailey)						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検	
春学期	第1～2回	オブジェクト指向の利点と必要性	オブジェクト指向の利点と必要性を理解する。 教科書読み返し	各15分		
	第3～4回	Javaの復習	前年度学んだJavaの重要点について復習し、確認する。 プリント読み返し	各15分		
	第5～10回	オブジェクト指向でのソフトウェア開発	オブジェクト指向による簡単なソフトウェア開発を体験し、開発プロセスの基礎を理解する。 ジャンケンプログラム完成	各30分		
	第11～16回	オブジェクト指向でのソフトウェアの拡張	継承を用いたソフトウェアの拡張を体験し、継承の有用性を理解する。 機能拡張プログラム完成	各30分		
	第17～20回	ソフトウェアの振る舞いの変更	インタフェースを用いた拡張性の高いソフトウェアの作成を体験し、インタフェースの有用性を理解する。 戦略切り替えプログラム完成	各30分		
	第21～22回	UML	UMLの必要性を理解する。さらに、クラス図、シーケンス図の読み方、描き方を理解する。 プリント読み返し	各15分		
	第23～32回	より複雑なソフトウェアの開発	やや複雑なソフトウェアの開発を体験し、オブジェクト指向での開発プロセスの全体像を理解する。 ばば抜きプログラム完成	各30分		
	第33～36回	既存のソフトウェアの再利用	似たようなソフトウェアを効率良く開発する際の基本的な考え方と注意点を、体験により理解する。 教科書読み返し	各15分		
		定期試験				
	第37～40週	再利用を考慮したソフトウェアの設計(1)	似たような問題を抽象化してモデルを作り、様々なソフトウェアに利用できるようにしたもの、すなわち「フレームワーク」の考え方を理解する。 フレームワークの作成	各30分		
夏学期	第1～2回	再利用を考慮したソフトウェアの設計(2)	「フレームワーク」の作り方を理解する。 フレームワークの完成	各30分		
	第3～6回	フレームワークを利用したソフトウェアの開発	チームを作って、フレームワークを利用したソフトウェア開発を体験し、使い方を理解する。 七並べプログラム完成	各30分		
	第7～16回	オリジナル・ソフトウェアの開発	チームで、オブジェクト指向に基づいたオリジナル・ソフトウェア開発を行い、ソフトウェア開発の全プロセスを理解する。 オリジナルソフト完成 プレゼン資料作成	各30分		
	第17～20回	オリジナル・ソフトウェアについての発表	開発したオリジナル・ソフトウェアについてチームで発表し、成果を評価する。			
		定期試験				

点検(自己評価) : よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
情報システム I				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	秋冬	講義	藤澤武			
キーワード			科目概要				
MySQL, SQL, 正規化, リレーショナルデータベース			高度な情報化社会となった今日、情報処理システムが扱うデータの量は膨大であり、かつ、データ量は加速して増大している。本科目では、リレーショナルデータベースを中心にデータベースの概論とSQLを学ぶ。また演習を通して実務的なデータベースの構築手法の習得をはかる				
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①「やさしい応用情報技術者講座」高梨麻奈, SBクリエイティブ					科目:コンピュータ演習Ⅲ・卒業研究 資格:データベーススペシャリスト, Oracleマスター		
評価方法 (%)							
評価項目	期末試験	評価課題				計	学年評価に対する割合
春学期						100	
夏学期						100	
秋学期	60	40				100	50
冬学期	60	40				100	50
学年評価 (評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)							100
備考	<p>評価課題とは授業項目にある評価課題および、評価対象にすると明示されたその他の課題やテストのことである。未提出の場合は0点となる。学習態度の評価として、以下の行為があった場合、1回につき最大2点の減点を行う。評価課題の採点基準は別途定める。</p> <p>1)遅刻, 途中退席, 2)教科書やノートPCなどの授業に必要な用品の不携帯, 3)その他, 授業態度として不適切と判断される行動や態度</p> <p>また、自由課題などを出すことがある。これらに取り組んだ場合には指定する学期の評価に加点する。</p>						
受講上のアドバイス							
教科書とノートPC, そして講義内容を記録するためにノートと筆記用具は必ず毎回持参すること。課題の提出期限は必ず守ること。							
科目の達成目標							
①	SELECT文が理解できる						
②	CREATE TABLE文をつかってテーブルを作成できる						
③	簡単なデータベースを設計してテーブルを作成できる						
④	第一正規形から第二正規形に変換できる						
⑤	第二正規形と第三正規形の違いを説明できる						
⑥							
関連する本校の学習・教育目標			専門力, 創造性				
問い合わせ・質問先			2階209・211室				
オフィスアワー			金曜日8限				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期						
		定期試験				
夏学期						
		定期試験				

秋学期	第1~4回	概論	授業で使うデータベースの基本的な使用法を説明できる	記録したノートを見返す	20	
	第5~8回	データベースの設計	テーブルの作成とデータの追加・更新・削除ができる	教科書の該当ページを熟読する	30	
				講義内容をA4一枚にまとめる	20	
	第9~12回	データベースの利用	データベース内に対するデータ取得の問い合わせができる	教科書の該当ページを熟読する	30	
				講義内容をA4一枚にまとめる	20	
	第13~16回	データベースの利用2	SELECT文を使った高度な問い合わせを行うことが出来る	教科書の該当ページを熟読する	30	
				講義内容をA4一枚にまとめる	20	
	第17~20回	アプリケーションとの連携	JDBCをつかってDBと連携するプログラムが作成できる	教科書の該当ページを熟読する	30	
講義内容をA4一枚にまとめる				20		
第21~24回	課題1	じゃんけんの勝敗を保存するプログラムの作成	過去の講義を復習する	30		
第25~28回	課題1の評価	課題Iで作成したプログラムの発表と評価	審査結果から課題を見つける	30		
	定期試験					
冬学期	第29~32回	関係モデル	リレーショナルデータベースの基本理論を説明できる	教科書の該当ページを熟読する	30	
				講義内容をA4一枚にまとめる	20	
	第33~36回	関係代数	関係代数とSQLの関係を理解し、説明できる	教科書の該当ページを熟読する	30	
				講義内容をA4一枚にまとめる	20	
	第37~40回	関数従属	関係データモデルから関数従属を見つけることが出来る	教科書の該当ページを熟読する	30	
				講義内容をA4一枚にまとめる	20	
	第41~45回	正規化1	第一正規形からだに正規形に変換できる	教科書の該当ページを熟読する	30	
				講義内容をA4一枚にまとめる	20	
	第45~48回	正規化2	第二正規形と第三正規形の違いを説明できる	教科書の該当ページを熟読する	30	
				講義内容をA4一枚にまとめる	20	
第49~52回	課題2	正規化をおこなったデータベースを設計し、構築する	過去の講義を復習する	30		
第53~56回	課題2の評価	課題Iで作成したデータベースの発表と評価	審査結果から課題を見つける	30		
第57~60回	RDBMS	データベース管理システムの役割と機能を説明できる	教科書の該当ページを熟読する	30		
			講義内容をA4一枚にまとめる	20		
	定期試験					

点検（自己評価）：授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
情報システムⅡ				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	井上恵介			
キーワード		科目概要					
アルゴリズム、データ構造、グラフ		与えられた問題を解くための手順をアルゴリズムといい、データの保持方式をデータ構造という。効率の良いソフトウェアを開発するためには、優れたアルゴリズムとそれに適したデータ構造を用いる必要があり、既存の知識を活用することでこれらを達成できる場合が多い。本科目では、基本的な問題に対する典型的アルゴリズムと典型的データ構造についてその原理・性能に関する基礎知識を獲得することを目的とする。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
① 「アルゴリズムとデータ構造」, 藤田 聡, 数理工学社			指定しない		科目: 情報システムⅢ 資格: 基本情報技術者		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	課題				計	学年評価に対する割合
春学期	70	30				100	25
夏学期	70	30				100	25
秋学期	70	30				100	25
冬学期	70	30				100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、早退、それぞれ1回(50分)につき学期評価から4点減点。 ・欠課1回(50分)につき学期評価から8点減点。 						
受講上のアドバイス							
安全や健康に留意すること。							
科目の達成目標							
①	アルゴリズムとは何か理解できる。						
②	Javaをコンパイルできる。						
③	コンパイルしたJavaを実行できる。						
④	mainメソッドを書くことができる。						
⑤	文字列の中から1文字を検索することができる。						
⑥	文字列の中から2文字以上の文字列を検索することができる。						
関連する本校の学習・教育目標			創造性, 専門力				
問い合わせ・質問先			2階210室				
オフィスアワー			授業中に予約して下さい。				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検
春学期	第1～2回	文字列の走査	文字列の走査ができる。 指示された課題を行う。	20	
	第3～4回	文字列照合問題	文字列を照合できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
	第5～6回	J a v a 演習	文字列照合問題を解くアルゴリズムを J a v a で書ける。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
	第7～8回	KMP法	KMP法を J a v a で書ける。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
	第9～10回	パターン照合テーブルの構成法	パターン照合テーブルを構成できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
	第11～12回	整列問題	整列問題を理解し計算できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
	第13～14回	整列アルゴリズムとは	整列アルゴリズムの意味を理解できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
	第15～16回	整列アルゴリズムの入門	整列アルゴリズムとは何か説明できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
	第17～18回	整列アルゴリズムの基礎	整列アルゴリズムの基礎を理解できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
		定期試験			
	第19～20回	自己点検	春学期の成果を点検できる。 指示された課題を行う。	20	
夏学期	第1～2回	整列アルゴリズムの応用	より複雑な整列アルゴリズムを理解できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
	第3～4回	整列アルゴリズムの活用	整列アルゴリズムを活用し計算できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
	第5～6回	データ構造とは	データ構造とは何か説明できる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
	第7～8回	データ構造の基礎	基本的なデータ構造の計算ができる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
	第9～10回	総合演習	演習で理解を深められる。 教科書の該当箇所を熟読。 指示された課題を行う。	20 20	
		定期試験			

秋学期	第1～2回	木構造とは	木構造とは何か説明できる。	教科書の該当箇所を熟読。		
				指示された課題を行う。	20	
	第3～4回	木構造の入門	木構造を計算できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
				指示された課題を行う。	20	
	第5～6回	木構造の基礎	様々な木構造を計算できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
				指示された課題を行う。	20	
	第7～8回	木構造の応用	複雑な木構造を計算できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
				指示された課題を行う。	20	
	第9～10回	複雑なデータ構造とは	複雑なデータ構造とは何か説明できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
			指示された課題を行う。	20		
	第11～12回	複雑なデータ構造の入門	複雑なデータ構造を計算できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
			指示された課題を行う。	20		
	第13～14回	総合演習	演習で理解を深められる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
			指示された課題を行う。	20		
		定期試験				
冬学期	第1～2回	グラフ	グラフとは何か説明できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
				指示された課題を行う。	20	
	第3～4回	最短経路問題	最短経路問題とは何か説明できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
				指示された課題を行う。	20	
	第5～6回	最短経路アルゴリズム	最短経路アルゴリズムを計算できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
				指示された課題を行う。	20	
	第7～8回	最小全域木問題	最小全域木問題とは何か説明できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
				指示された課題を行う。	20	
	第9～10回	最小全域木アルゴリズムとは	最小全域木アルゴリズムとは何か説明できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
				指示された課題を行う。	20	
	第11～12回	最小全域木アルゴリズム入門	最小全域木アルゴリズムを計算できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20	
				指示された課題を行う。	20	
第13～14回	最小全域木アルゴリズム基礎	複雑な最小全域木アルゴリズムを計算できる。	教科書の該当箇所を熟読。	20		
			指示された課題を行う。	20		
第15～16回	総合演習	演習で理解を深められる。	教科書の該当箇所を熟読。	20		
			指示された課題を行う。	20		
		定期試験				

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
メディア情報 I				グローバル情報工学科 4年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修 2	通年	講義	田村景明				
キーワード		科目概要						
ビジュアル情報処理, CG, 画像処理, java言語		コンピュータの発達により, 画像処理やコンピュータグラフィックス (CG) は幅広い分野において大きな役割を担っている。本講義では, 画像処理技術やコンピュータグラフィックス技術を学習し, 理解を深めるため, CGや画像処理プログラムを作成してみる。						
教科書		参考書		関連する科目・資格				
①「ビジュアル情報処理 -CG・画像処理入門-」, CG-ARTS協会 ②配付資料		①「Javaプログラミング入門」 掌田津耶乃, 秀和システム		科目: 創造実験Ⅲ, メディア情報Ⅱ 資格: CG検定				
評価方法							(%)	
評価項目	期末試験	小テスト	課題				計	学年評価に対する割合
春学期	50	20	30				100	25
夏学期	50	20	30				100	25
秋学期	50	20	30				100	25
冬学期	50	20	30				100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬で行い, 通知表は春, 夏, 秋, 学年評価示す。)								100
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・春8週, 夏7週, 秋7週, 冬8週とする。 ・小テストは理解度確認のためであり, 年間8回程度行う。 ・授業はパソコン演習室で行う。 ・各学期について, 欠課1回 (50分授業), 遅刻, 早退それぞれ1回につき, 評価項目に関係なく4点減点する。 ・学生便覧の諸規則を全うしない学生について, 注意しても改善が見られない場合は, 評価項目に関係なく減点する。 ・減点事項について, 特別な理由がある場合, 校長の指示に従う。 							
受講上のアドバイス								
<ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧の進級の条件の1番目としてとして「平素学生の本分を全うし, かつ勉学に精励したものと認められる者」とある。本授業でもこれに従い, 減点項目のため点数不足により不合格となる場合もあることを自覚する。 ・課題は他人のものを写さないこと。 								
科目の達成目標								
①	CGを説明できる。							
②	画像処理を説明できる。							
③	幾何学的モデルを説明できる。							
④	Javaプログラムによって簡単なCGを表示できる。							
⑤	Javaプログラムによって画像を表示できる。							
⑥	Javaプログラムによって, 簡単なCGアニメーションを制作できる。							
関連する本校の学習・教育目標		専門力						
問い合わせ・質問先		31号館210号室						
オフィスアワー		16:30~17:30						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～2回	ガイダンス ビデオ鑑賞	授業内容の概要を理解できる。 図形と画像の違いを理解する。	---		
				15分		
	第3～4回	Javaプログラム (CG)	Javaプログラムによって簡単な図形を表示できる。	Swingクラスを調査する	15分	
				CGプログラムを理解する。	15分	
	第5～6回	幾何学的モデル (1)	2次元図形の基本幾何学変換を理解できる。	教科書p. 13-14を確認する。	15分	
				座標系について理解する。	15分	
	第7～8回	幾何学的モデル (2)	2次元図形の基本幾何学変換の処理プログラムを理解できる。	教科書p. 16-20を確認する。	15分	
				2次元図形の基本変換を理解する。	15分	
	第9～10回	幾何学的モデル (3)	プログラムによる表現を理解できる。	2次元図形の基本変換処理のプログラムを予習する。	15分	
				2次元図形の基本変換プログラムを理解する。	15分	
第11～12回	製図	製図を理解できる。	製図について調査する。	15分		
			製図を理解する。	15分		
第13～14回	三面図, 等角図	三面図, 等角図を作成できる。	三面図, 等角図を調査する。	15分		
			三面図, 等角図を理解する。	15分		
第15～16回	光学的モデル	光学的モデルを理解できる。	教科書pp. 29-31熟読する。	15分		
			パソコンの色表現の理解。	15分		
第17～18回	まとめ	1～8週までをまとめることができる。	期末試験の資料を用意する。	15分		
			試験準備	180分		
	定期試験					
第19～20回	自己点検評価 画像表示	自己点検、自己評価をできる。 javaによる画像表示が理解できる。	Swingの画像表示を調査する。	15分		
			Swingの画像表示を理解する。	15分		
夏学期	第1～2回	標本化・量子化	画像の標本化・量子化を理解できる。	教科書pp. 32-34を熟読する。	15分	
				標本化・量子化を理解する。	15分	
	第3～4回	画像の種類と画像処理の分類	画像の表現方法を理解できる。	教科書pp. 37-41を熟読する。	15分	
				画像の表現方法を理解する。	15分	
	第5～6回	画像のヒストグラム	ヒストグラムを作成できる。	教科書pp. 46-48を熟読する。		
				ヒストグラムを理解する。		
	第7～8回	javaによるヒストグラムの作成	ヒストグラム処理のプログラムを理解する。	画像表示を復習する。	30分	
				ヒストグラム処理を理解する。	15分	
	第9～10回	まとめ	夏学期の内容について整理できる。	試験準備資料を整理する。	15分	
				試験範囲の内容を復習する。	180分	
	定期試験					

秋学期	第1～2回	自己点検 自己評価	自己点検、自己評価をできる。	---	---	
				自己点検し次学期に備える。	15分	
	第3～4回	画像の濃淡	画像の濃淡処理を理解できる。	教科書pp. 49-58を熟読する。	15分	
				画像の濃淡処理を理解する。	15分	
	第5～6回	フィルタリング (1)	領域に基づく濃淡変換を理解できる。	教科書pp. 59-65を熟読する。	15分	
				濃淡変換を理解する。	15分	
	第7～8回	フィルタリング (2)	モザイク処理・マスク処理を理解できる。	教科書pp. 68-72を熟読する。	15分	
				フィルタリングを理解する。	15分	
第9～10回	モデリング(1)	立体表現を理解できる。	教科書pp. 74-78を熟読する。	15分		
			形状表現を理解する。	15分		
第11～12回	モデリング(2)	曲線・曲面，ポリゴン他の表現を理解できる。	教科書pp. 79-94を熟読する。	30分		
			表現を理解する。	15分		
第13～14回	まとめ	秋学期の内容をまとめることができる。	資料をまとめる。	15分		
			試験範囲を理解する。	180分		
		定期試験				
冬学期	第1～2回	自己点検・評価 レンダリング (1)	自己点検・評価ができる。 レンダリング処理を理解できる。	教科書pp. 96-122に目を通す。	15分	
				レンダリングを理解する。	15分	
	第3～4回	レンダリング (2)	マッピング処理	教科書pp. 112-114を熟読する。	15分	
				マッピング処理を理解する。	15分	
	第5～6回	アニメーション (ビデオ鑑賞)	アニメーションを理解できる。	教科書pp. 124-146に目を通す。	30分	
				アニメーションを理解する。	15分	
	第7～8回	CGアニメーション	プログラムによってCGアニメーションを制作できる。	キーフレーム法を予習する。	15分	
				CGアニメを理解する。	15分	
	第9～10回	画像情報抽出 (1) ビデオ鑑賞	2値化処理を理解できる。	教科書p. 148を熟読する。	15分	
				2値化処理を理解する。	15分	
第11～12回	画像情報抽出 (2)	パターンマッチングを理解できる。	教科書pp. 155-156を熟読する。	15分		
			マッチングを理解する。	15分		
第13～14回	画像符号化	画像符号化の意義を理解できる。	教科書pp. 177-186に目を通す。	15分		
			画像符号化の方法を理解する。	15分		
第15～16回	まとめ	冬学期の内容を整理できる。	試験範囲の資料を整理する。	15分		
			試験範囲の内容を復習する。	180分		
		定期試験				
第17回	自己点検 自己評価	自己点検，自己評価を確認できる。	---	15分		
			自己評価を確認する。	15分		

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
エンジニアリングマネジメント				グローバル情報工学科 4年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	実技	小高有普 松下臣仁			
キーワード		科目概要					
コミュニケーションドローイング、エンジニアリングデザイン、デザインシンキング		春夏：発想内容の視覚化やコミュニケーションツールとして有効なスケッチスキルを習得する。秋冬：人間中心デザインの考えを基に、プロジェクトを通して最善で魅力的なモノやコトを提案、開発するプロセスを体験する。ビジュアルコミュニケーションスキル等の技術的スキルや知識を応用し組み換えながら、新たな価値を導くことができる「感じる力」、「見つける力」、「伝える力」、「考える力」を育成する。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「アイデア・ドローイング 第2版」、中村純生、共立出版							
評価方法 (％)							
評価項目	基礎演習	成果課題	作品	演習課題	授業態度	計	学年評価に対する割合
春学期	40	40			20	100	30
夏学期	10	40	40		10	100	20
秋学期	20	30		30	20	100	23
冬学期	20	30		30	20	100	27
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	春夏：基礎演習課題の理解度を成果課題として評価する。応用課題を作品として評価する。 1 提出遅れ及び、未提出課題は減点評価される。2 授業態度は、出席状況、積極的な授業参加を評価する。 秋冬：1 基礎課題は、毎週課される課題提出物を評価する。(20%) 2 演習課題は、プロジェクトを通して課される成果を評価する。(30%) 3 成果はプロジェクトにおける進捗状況の発表、成果物の発表とする。チーム同一評価とするが、チームへの貢献度を考慮する場合もある。(30%) 4 授業態度は、出席状況、積極的な授業参加を評価する。(20%) ※学年成績は春(30%)・夏(20%)・秋(23%)・冬(27%)の合計とする。欠席・遅刻はその都度減点する。						
受講上のアドバイス							
春夏：スケッチブック、A3ファイル、B2以上の鉛筆、消しゴムを使用します。各自持参のこと。10分程度の予習課題を毎週授業前までしておくこと。授業内でできなかった課題は次週の授業前までしておくこと。秋冬：自由な発想をもって、色々な切り口からモノゴトを考えてみる。プロジェクト全体を通して収集した情報、アイデア、気づきなどを整理するファイルを活用し、一連のプロセスを記録していくことをすすめます。							
科目の達成目標							
①	ものの見え方を理解し正しく描くことができる。						
②	伝えたいものやことをフリーハンドで描くことができる。						
③	デザインプロセスを通じ問題点を抽出でき、そこから新しいアイデアを発想することができる。						
④	アイデアを具現化することができる。						
⑤	モデルやパネルを通じ他者へアイデアを正確に伝えることができる。						
⑥							
関連する本校の学習・教育目標		創造性、専門力					
問い合わせ・質問先		3階315室(小高) 2階211室(松下)					
オフィスアワー		月、火、水曜日17:30まで					

回	授業項目	授業の到達目標	予習	時間 (分/回)	点検	
			復習			
春 学 期	第1.2回	授業概要 表現方基礎①	図（ドローイング）による発想の記録と情報伝達の有効性を知る。立体の見え方を理解し、課題1を提出できる	課題L1-02までを仕上げる	10	
	第3.4回	表現方基礎②	立体の表現手法を理解し、課題2を提出できる	課題H1-03をし、16Pまで熟読する 課題L2-04までを仕上げる	10 10	
	第5.6回	表現方基礎③	立体の表現手法を理解し、課題3を提出できる	課題H2-05をし、23Pまで熟読する 課題L3-07までを仕上げる	10 10	
	第7.8回	表現方基礎④	立体の表現手法を理解し、課題4を提出できる	課題H3-08をし、31Pまで熟読する 課題L4-11までを仕上げる	10 10	
	第9.10回	表現方基礎⑤	立体の表現手法を理解し、課題5を提出できる	課題H4-12をし、42Pまで熟読する 課題L5-13までを仕上げる	10 10	
	第11.12回	表現方基礎⑥	立体の表現手法を理解し、課題6を提出できる	課題H5-14をし、61Pまで熟読する 課題L6-17までを仕上げる	10 20	
	第13.14回	表現方基礎⑦	立体の表現手法を理解し、課題7を提出できる	課題H6-18をし、67Pまで熟読する 課題L7-20までを仕上げる	10 20	
	第15.16回	表現方基礎⑧ (成果課題)	人体と立体の表現手法を理解し、課題8を提出できる	課題H7-21をし、69Pまで熟読する 課題L8-23までを仕上げる	10 10	
	第17.18回	表現方基礎⑨	人体と立体の表現手法を理解し、課題9を提出できる	課題H8-24をし、91Pまで熟読する 課題L8-26までを仕上げる	10 30	
	第19.20回	表現方演習 (成果課題)	表現手法を理解し、成果課題を提出できる	課題H9-27をし、92Pまで熟読する 課題L10-28までを仕上げる	10 10	
夏 学 期	第1.2回	製品開発①	アイデア抽出ができる	114Pまで熟読する 表現するアイデアを考える	20 20	
	第3.4回	製品開発①	アイデアをまとめる	課題H12をする 表現するアイデアを考える	10 30	
	第5.6回	製品開発② (作品1)	アイデアを表現できる	シナリオ作り（下書き） H12を見返し、改善案を考える	10 10	
	第7.8回	製品開発③ (作品2)	他者に作品のアドバイスを受けて改善できる	改善案の下書き 提出物を見返して、不得意な部分をなくしておく	10 30	
	第9.10回	自己点検	前期最終課題の合評および自己点検	未提出物の確認 春夏期間の見返し	10 10	

秋学期	第1.2回	デザイン思考とデザインプロセス	デザインプロセスについて認識することができる。定性的データを整理し、アイデアの視覚化ができる。		10	
				振り返りノートの作成	20	
	第3.4回	コミュニケーション・ドローイング	改善案を活かしたプロダクト情報図を作成し他者に伝えることができる。	アイデアの下書きをする	10	
				アイデアを視覚的に伝えることについて振り返る	10	
	第5.6回	インタビューと定性的情報整理	観察、インタビューによる定性的情報の収集、整理ができる。	インタビューに関する留意事項を読む	10	
				定性的情報整理について振り返る	10	
	第7.6回	情報分析とアイデア	情報を関連付けされたグループとしてまとめることができる	アイデア出しの留意事項を読む	10	
				情報の関連付けとアイデア出しについて振り返る	10	
	第9.10回	プロトタイプ	アイデアを簡易プロトタイプとして作成することができる。	プロトタイプの留意事項を読む	10	
				プロトタイプ作成について振り返る	10	
	第11.12回	ストーリーテリング	コンセプトをストーリーとして他者に伝えることができる	活用シーンの下書き	20	
				シナリオ作成について振り返る	10	
	第13.14回	観察と定性的情報分析	観察による情報収集を行い、分析することができる。	観察に関する留意事項を読む	15	
			観察した情報のまとめ方について振り返る	10		
冬学期	第1.2回	データビジュアライゼーション	収集した情報の分析結果を視覚的にまとめることができる。	まとめた情報を伝えるためのレイアウトを考える	20	
				情報伝達的手段について振り返る	10	
	第3.4回	プロジェクト①	観察、インタビューによる定性的情報の収集、整理ができる。	その他の観察手法の留意点について読む	10	
				定性的情報収集について振り返る	10	
	第5.6回	プロジェクト②	アイデア出しを行う。アイデアの評価ができる。	アイデア出しの元となる文章を考える	15	
				アイデア評価について振り返る	10	
	第7.8回	プロジェクト③	プロトタイプを作成し、評価と改善策をまとめることができる	プロトタイプ作成の留意点について考える	15	
				プロトタイプ改善の重要ポイントについて振り返る	10	
	第9.10回	プロジェクト③	プロトタイプを作成し、評価と改善策をまとめることができる	プロトタイプ改善のアイデアをまとめる	15	
				担当しているプロトタイプについて振り返る	10	
	第11.12回	プロジェクト③	プロトタイプを作成し、評価と改善策をまとめることができる	改善するための担当作業についてまとめる	15	
				担当しているプロトタイプについて振り返る	10	
	第13.14回	プロジェクト③	プロトタイプを作成し、評価と改善策をまとめることができる	最終発表の流れの打ち合わせをする	30	
			最終発表の準備をする	15		
第15.16回	プレゼンテーション、自己点検評価	プロトタイプを用いて他者にコンセプトを伝えることができる	発表の準備をする	30		
			活動全体について振り返る	15		

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
情報・ビジネス英語 I				グローバル情報工学科4年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
必修	履修 2	通年	講義	Robert Songer, Matthew Bailey		
キーワード		科目概要				
ソフトウェア、プログラミング言語、IT分野		コンピュータで用いられるソフトウェアやインターネット上のサービスには、海外で作られたものが数多くあり、日本語化されていないものも少なくない。また、ほとんどのプログラミング言語も英語がベースとなっている。そこで、このようなソフトウェアやサービスを使いこなしたり、さらには作ったりすることを目指すため、IT分野やプログラミングで用いられている英語を学習する。				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
指定なし。適宜資料を配布		指定なし		科目:情報・ビジネス英語 II		
評価方法						(%)
評価項目	Exams	Quizzes	Assignments, Projects, Presentations	計		学年評価に対する割合
春学期	40	5	55	100		25%
夏学期	40	5	55	100		25%
秋学期	40	5	55	100		25%
冬学期	40	5	55	100		25%
学年評価 (評価は春,夏,秋,冬学期で行い、通知表は春,夏,秋,学年評価で示す。)						100%
備考	There will be one exam at the end of each quarter. These exams together will comprise 40% of the final grade. Throughout each quarter there will be occasional quizzes which will make up 5% of the final grade. The remaining work for the course will consist of assignments, projects and presentations which will comprise 55% of the final grade.					
科目の達成目標						
①	Students can apply polite English in various situations.					
②	Students can gather information about technology from native English sources.					
③	Students can understand and use negotiation language in English.					
④	Students can consume English documentation.					
⑤	Students can produce appropriate English documentation.					
関連する本校の学習・教育目標			国際性、専門力			
問い合わせ・質問先			2階209室 2階211室			
オフィスアワー			授業中に予約してください			

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間分	点検		
春学期	第1~2回	Guidance and Greetings.	Course Introduction and Information on small talk and introducing one's self.	Read Syllabus	5		
			Review greetings content from class.	10			
	第3~4回	Politeness	Students can understand what kind of English is appropriate in business and other environments.	Consider existing knowledge of politeness in various situations.	10		
				Review polite and impolite expressions.	10		
	第5~6回	Negotiation	Students can make agreement and disagreement statements with appropriate manners.	Think about situations in which you need to negotiate.	10		
				Review expressions for negotiation.	10		
	第7~10回	English Email	Students can write an email in English with appropriate formality.	Check Japanese and English email formats.	10		
				Review English email terms, expressions and formats.	10		
	第11~14回	Telephone Conversation	Students can understand the basics of telephone English, and how to acquire information over the phone using appropriate politeness	Consider what information is in a phone conversation.	10		
				Review expressions and dialogs from class.	10		
	第15~18回	New Tech	Students can read a body of text about new technology and use that information for evaluation of that technology.	Consider your existing knowledge of new technology.	10		
				Review unknown vocabulary.	10		
		定期試験					
	第19~20回	English Software Investigation	Students can use and understand the main functions of software with an English interface and summarize the important information in a deliverable way.	Search for interesting software with an English interface.	10		
Review your recorded findings.				10			
夏学期	第1~4回	English Software Investigation	Students can use and understand the main functions of software with an English interface and summarize the important information in a deliverable way.	Recall your in-progress investigation.	10		
			Review your recorded findings.	10			
	第5~8回	English Software Investigation Presentation	Students can deliver the investigation results such that the listeners have an adequate understanding of the content	Consider existing presentation skills.	10		
				Prepare for your presentation.	10		
	第9~10回	Reading Manuals	Students can understand basic content of English manuals and use that information to achieve a goal.	Find and read part of an English manual.	10		
				Review expressions and structure of manuals.	10		
		定期試験					
	秋学期	第1~4回	Reading Manuals	Students can understand basic content of English manuals and use that information to achieve a goal.	Find and read part of an English manual.	10	
				Review expressions and structure of manuals.	10		
		第5~6回	Writing Manuals	Students can effectively communicate a procedure or process by creating English manuals or documentation.	Recall language and structure from the reading manuals unit.	10	
					Work on writing an English manual.	15	
		第7~10回	Business Simulation	Students can understand basic business negotiation and manners in Japanese and English.	Preview business strategies and negotiation language.	10	
					Review English words and expressions; reflect on class.	10	
		第11~12回	Writing Manuals	Students can effectively communicate a procedure or process by creating English manuals or documentation.	Recall language and structure from the reading manuals unit.	10	
Work on writing an English manual.					10		
第13~14回		Business Simulation	Students can demonstrate business negotiation skills in English.	Recall simulation game terms and rules.	10		
				Reflect on the game.	10		
		定期試験					

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

冬学期	第1~2回	API Reading	Students can read English API documentation and understand the main purpose and functionality described therein.	Preview general content of API documents.	10		
				Review API document structure.	10		
	第3~4回	Business Simulation	Students can demonstrate business negotiation skills in English.	Review the business negotiation expressions.	10		
				Complete the tasks for business negotiation.	10		
	第5~8回	API Reading	Students can read English API documentation and understand the main purpose and functionality described therein.	Recall API document structure.	10		
				Review API document content.	10		
	第9~16回	API Writing	Students can understand basic functionality from reading English based source code and then communicate that functionality by creating English API documentation.	Recall API document contents and structure.	10		
				Write API documentation and review exam content.	10		
		定期試験					

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
International Communication 1 (国際コミュニケーションI)				グローバル情報工学科 4年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Required	履修 2	All Year	Lecture	Sarah Lubold (Spring/Fall/Winter), Jenny Brown (Spring/Summer) and Ali Jumaah (Summer/Fall/Winter)		
キーワード		科目概要				
presentation, PowerPoint, eye contact, body language, simplicity, contrast, punch, presence, projection, personal, passion, proximity, play, pace, participation, power, persistence		In this course, you will learn basic presentation skills in order to make effective presentations that are unique, simple, visual, and meaningful for their audiences. You will first plan on paper, thinking about your topic and how you will tell your story in English. You will learn about and practice creating dynamic visuals with PowerPoint to support your speaking. And, you will do activities to help you relax when presenting, including improvisation and rehearsal. Together, these strategies will help you gain confidence in making oral presentations in English.				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
① <i>Simple Presentation</i> (2011), Reynolds, G., 日経BP社		① <i>Presentation Zen</i> , Reynolds, G, 日経BP社 ② Class Papers ③ Internet Resources		科目: 国際コミュニケーションII		
評価方法						
評価項目	Projects: Design and Delivery	Classwork	Participation		評価	学期の割合
春学期	50	25	25		100	2/6
夏学期	50	25	25		100	1/6
秋学期	50	25	25		100	1.5/6
冬学期	50	25	25		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> • Rubric-based assessment of content and presentation skills • Class worksheets, PowerPoint slide guides, lecture and video notes • Class attitude, speaking practice time, time management, use of resources 					
受講上のアドバイス						
<ol style="list-style-type: none"> 1) Come to class with a good attitude: say "hello" and "good-bye" to classmates and teachers, make eye contact, smile, relax, think about how much you can learn when you are positive. 2) Come to class prepared: bring your book, binder, your pencil, a USB to back up work, and a PC as needed 3) Be open to trying new things, taking risks, and being uncomfortable. 4) <i>Remember that nervousness won't hurt you. You can learn to relax in stressful public speaking contexts through practice, self-talk and visualization.</i> 5) Ask questions and communicate in English with the teacher when you aren't sure about vocabulary or goals: <i>What do you mean? What's this? How do you say...in English? What should I do? I don't understand.</i> 6) Be creative! Nurture your creative and artistic side. Draw, write, play and listen to music. 						
科目の達成目標						
①	Students will be able to apply their growing knowledge of presentation design strategies to their own project work.					
②	Students will be able to identify and self-edit necessary changes of their own project work.					
③	Students will be able to apply tools for persevering during stressful presentation contexts.					
④	Students will be able to demonstrate an understanding of fundamental presentation verbal and physical skills through the development of spoken and kinesthetic features.					
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		KTC 31.103				
オフィスアワー		Mondays 4-5				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to...	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検	
春学期	第1~2回	Orientation & Introductions	Demonstrate understanding of syllabus through comprehension guide; Introductions; Brainstorm Japanese v. English and formal v. casual presentation styles	Get class textbook and materials.	15	
			Review the syllabi and make sure you understand.	15		
	第3~4回	Simple Presentation & the Bento	Answer questions about Garr's video story on <i>Presentation Zen</i> ; Create your story in bento form	Review the syllabi and bring any questions to class.	15	
				Review Opening & Part I of <i>Simple Presentation</i> by Reynolds.	15	
	第5~6回	Bento Box Presentation	Finish and present your bento box; Practice physical message work	Watch a <i>TedTalk</i> and think about the presentation styles you like.	15	
				Make note of your strengths and challenges from your presentation.	15	
	第7~8回	Village of 100 Introduction	Learn about the village; Reflect on the meaning; Get topics	Look at professional photography on-line or in magazines. What makes the photos great?	15	
				Watch an on-line <i>Village of 100</i> video again. Think about its meaning.	15	
	第9~10回	Village of 100 Preparation	Design overview; Focus on great pictures and simple graphs	View <i>SlideShare</i> presentations, and think about how color is used.	15	
				Make note of good contrast in posters, books and art around you.	15	
	第11~12回	Village of 100 Practice	Practice with improvisation; Focus on naturalness	Finish your note card.	15	
				Review your note cards and check grammar and pronunciation.	15	
	第13~14回	Village of 100 Presentation	Practice collaborative presentation delivery	Practice your speaking and delivery for the presentation.	15	
				Make note of your strengths and challenges from your presentation.	15	
第15~16回	Pronunciation Lab	Work to develop stress, sentence level rhythm, native pause; Practice speech transitions; familiarize themselves with Pronunciation Power	Make some notes about the pronunciation points you would like help with. Bring to class.	15		
			Practice the pronunciation tips you learned in class.	15		
第17~18回	Simplicity Study, Part 1	Watch Garr's video story Part 3; Understand simplistic vs. simplicity; Make slides with simple, but powerful visuals and words	Brainstorm ideas for making a presentation visual simpler.	15		
			Review class notes and bring any questions to class.	15		
第19~20回	Simplicity Study, Part 2	Update existing PowerPoint Presentations to better utilize simple design principles.	Choose a presentation visual from a past presentation and bring to class for updating.	15		
			Reflect on the differences between your original and updated visual.	15		

夏 学 期	第1~2回	Target Audience	Develop an understanding of who they are presenting to using recent tech photos	Brainstorm a list of the target audience for a <i>TED talk</i> of your choice.	15		
				Think about who your target audiences have been for the presentations you've made.	15		
	第3~4回	Garr's 10 Ps	Garr's video story part 4; Learn about the 10 Ps of presentation; Poster vs. PowerPoint	Review <i>Simple Presentations</i> pages 102-119 about the 10Ps.	15		
				Reflect on your use of the 10Ps in your classwork so far this year.	15		
	第5~6回	Charts, Tables, Graphs, and other data visuals	Produce and understand various data visuals in English using assigned data points	Review data visuals in <i>Simple Presentations</i> .	15		
				Use SlideShare to find more examples of easy-to-understand data visuals.	15		
	第7~8回	Memorization and Recitation	Practice tricks for memorizing longer speeches, including "Memory Palace;" recite an English speech with native stress, tone, sentence level intonation	Watch a <i>TEDTalk</i> and notice the speaking pattern/rhythm of the speech. Pause the video and try to repeat the speaking with the same pattern.	15		
				Reflect on the presentation and communication skills you've learned thus far.	15		
	第9~10回	Review of Presentation Principles	Complete reflective portfolio of important presentation principles from first half of school year, focusing on workshops from weeks 7 through 13	Make sure all your class papers are in your binder. Bring these to class!	15		
				Reflect on the presentation and communication skills you've learned thus far.	15		
秋 学 期	第1~2回	Summer Internship Presentations	Create a presentation with simplicity in design and quality visuals	Complete your questionnaire about your summer internship.	15		
				Review design principles in your summer internship presentation.	15		
	第3~4回	Summer Internship Presentations	Rehearse for your presentation	Rehearse your presentation, focusing on the physical delivery skills learned in class (i.e., smile, posture, eye contact, etc.).	15		
				Reflect on your presentation, how you've improved, and how you can get better.	15		
	第5~6回	International Gaming Poster Introduction	Participate in the 6 th Annual Int'l Gaming Conference: Learn your job and research your game	Play the game you have chosen while thinking about how to describe the game.	15		
				Think about the details that make the video/computer/phone game you have chosen fun to play.	15		
	第7~8回	International Gaming Poster Preparation	Create PowerPoint poster template and add content	Demonstrate how to play the game you have chosen to a first-time player.	15		
				Continue researching the game you have chosen. Find good reviews and note the sources.	15		
	第9~10回	International Gaming Poster Presentation Speaking	Complete poster with required content and strong visual design; Submit final poster; Draft note cards	Start to think about the poster layout.	15		
				Finish any editing to your poster and submit your file to your teacher.	15		

第11~12回	International Gaming Conference Practice	Rehearse and practice for your poster presentation	Think of an attention-getting question or comment that will make people stop by your poster and listen to what you have to say.	15		
			Review your note cards and check grammar and pronunciation.	15		
第13~14回	The 6 th Annual Int'l Gaming Conference	Attend and deliver presentation multiple times using good posture, eye contact, and voice	Imagine yourself delivering a successful, powerful presentation. Practice delivering your presentation aloud with your slides.	15		
			Reflect on your presentation or think about a presentation you liked and why.	15		
冬学期	第1~2回	Review	Design and delivery skills presentation review	Find another <i>TedTalk</i> you like and think about what it does well.	15	
			Reflect on the presentation and communication skills you've learned thus far.	15		
	第3~4回	Technology & Art Presentation Introduction	Learn about the topic; Brainstorm ideas; Choose your focus	Think about examples of a technology that you're interested in.	15	
				Think about how you would summarize your technology topic during a short elevator ride with someone.	15	
	第5~6回	Technology & Art Presentation Preparation	Research your topic; Plan it on paper	Look for audio/video clips to incorporate into your presentation.	15	
				Continue researching the technology topic you have chosen.	15	
	第7~8回	Technology & Art Presentation Preparation	Create a template; Add content: text and visuals; Check for simplicity, quality, clarity, contrast and balance	Think about how to incorporate Garr's 10 P's into your presentation.	15	
				Review the design principles you have learned throughout the year.	15	
	第9~10回	Technology & Art Presentation Speaking	Draft note cards; Finalize edits to your presentation; Complete target audience, how it works, and art/tech connection mini workshops	Think of an attention-getting question or comment for your introduction that will make an impact right from the beginning.	15	
				Review your note cards and check grammar and pronunciation.	15	
	第11~12回	Technology & Art Presentation Practice	Rehearse your presentation delivery	Review the strategies you've learned to calm yourself during a presentation.	15	
				Practice giving your presentation in many different settings: in front of the mirror, to a family member, a friend...	15	
	第13~14回	Technology & Art Presentation Presentations	Present to the class naturally and with passion	Imagine yourself delivering a successful, powerful presentation. Rehearse and check the timing of your presentation.	15	
				Reflect on your final presentation.	15	

第15~16回	Review and Closing	Complete questionnaires; Make-up presentations; Review learning from the year	Organize your ideas about class this year. Bring your ideas to class!	15	
			Reflect on your favorite presentation this year. Consider the role that presentations have had in your life so far and how you might use them in the future.	15	

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
電気電子工学Ⅱ				グローバル情報工学科 4年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
選択	履修 2	通年	講義	石黒泰治				
キーワード		科目概要						
電磁気、コンデンサ、交流回路、トランジスタ増幅回路、論理回路		グローバル情報工学科の学生が電気、電子工学の基礎を学ぶことにより、情報技術者として幅広い資質を身に付ける。 電気工学、電子工学全般の概要を修得する。						
教科書		参考書		関連する科目・資格				
① 「精選電気基礎」新訂版 桂井 誠他 実教出版 ② 「電子技術」新訂版 岩本 洋 実教出版		なし		科目：電気電子工学Ⅰ				
評価方法							(%)	
評価項目	定期試験	小テスト	宿題	授業態度			計	学年評価に対する割合
春学期	50	30	10	10			100	28
夏学期	50	30	10	10			100	16
秋学期	50	30	10	10			100	28
冬学期	50	30	10	10			100	28
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)								100
受講上のアドバイス								
この科目は、電機系、電子系、情報技術者が基礎的な資質として修得しなければならない教科である。授業中にしっかり理解し、分からないところは質問し、授業時間中に解決していくことが重要である。								
科目の達成目標								
①	電気磁気分野を理解する							
②	静電気、コンデンサの回路を理解する							
③	交流回路の簡単な計算ができる							
④	ダイオード、トランジスタなど半導体素子を理解する							
⑤	各種増幅回路を理解する							
⑥	論理回路を理解する							
関連する本校の学習・教育目標			電気工学の基礎力					
問い合わせ・質問先			非常勤講師室					
オフィスアワー								

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春 学 期	第1回 ~2回	磁石とクーロンの法則	磁気のクーロンの法則、磁界が理解できる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第3回 ~4回	電流による磁界	電流による磁界が理解できる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第5回 ~6回	磁気回路	簡単な磁気回路の計算ができる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第7回 ~8回	電磁誘導	誘導起電力が理解できる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第9回 ~10回	静電気	静電気に関するクーロンの法則が理解できる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
第11回 ~12回	コンデンサ	コンデンサの直並列接続が理解出来る	教科書を熟読する	15		
			ノートを整理する	15		
第13回 ~14回	コンデンサ	演習問題が溶ける	教科書を熟読する	15		
			ノートを整理する	15		
第15回 ~16回	問題演習	演習問題が溶ける	試験勉強をする	60		
	定期試験					
第17回 ~18回	正弦波交流	周波数、位相、実効値が理解できる	教科書を熟読する	15		
			ノートを整理する	15		
第19回 ~20回	交流のベクトル表示	交流のベクトル表示、和、差が理解できる	教科書を熟読する	15		
			ノートを整理する	15		
夏 学 期	第1回 ~2回	R、L、C回路	R、L、C単独の回路が理解出来る	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第3回 ~4回	R、L、C直列回路	直列回路の基本的な計算ができる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第5回 ~6回	R、L、C直列回路	直列回路の基本的な計算ができる	教科書を熟読する	15	
ノートを整理する				15		
第7回 ~8回	R、L、C直列回路	複素数によるベクトル表示が理解できる	試験勉強をする	60		
	定期試験					

秋学期	第1回 ~2回	交流回路の計算	複素数による交流回路の計算ができる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第3回 ~4回	交流回路の計算	複素数による交流回路の計算ができる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第5回 ~6回	半導体素子	ダイオード、トランジスタの動作が理解できる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第7回 ~8回	直流電源装置	半波整流、全波整流、平滑回路が理解できる	教科書を熟読する	15	
ノートを整理する				15		
第9回 ~10回	増幅回路	バイアス回路が理解できる	教科書を熟読する	15		
			ノートを整理する	15		
第11回 ~12回	増幅回路	増幅回路の動作が理解できる	試験勉強をする	60		
	定期試験					
冬学期	第1回 ~2回	増幅回路	等価回路、増幅度が理解できる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	9	
	第3回 ~4回	演算増幅器	演算増幅器の動作が理解できる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第5回 ~6回	演算増幅器	増幅度の計算ができる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第7回 ~8回	論理回路	論理回路の基本が理解できる	教科書を熟読する	15	
				ノートを整理する	15	
	第9回 ~10回	論理回路	論理回路の演習問題ができる	教科書を熟読する	15	
ノートを整理する				15		
第11回 ~12回	パルス回路	マルチバイブレータ、フリップフロップの動作が理解できる	教科書を熟読する	15		
			ノートを整理する	15		
第13回 ~14回	波形整形回路	クリッパ、リミッタの動作が理解できる	教科書を熟読する	15		
			ノートを整理する	15		
第15回 ~16回	演習	演習問題が解ける	試験勉強をする	60		
	定期試験					

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

Learning Support Plan (2015)

Course				Class			
英語総合技能II (General English Skills II -- Extensive Reading)				Global Information Technology- 4th Year			
Required or Elective	Credits	Semester	Classification	Instructor			
Elective	2	All	Lecture	Akihiro Tsuda(Spring, Summer, Fall, Winter) / Nhung Le (Spring, Fall, Winter)			
Keywords		Course Overview					
Extensive Reading		<p>In this class, you will read a lot of easy, enjoyable books. <u>You</u> get to choose what <u>you</u> want to read from a selection of hundreds of book at <u>your</u> level. The focus will be on reading for pleasure and general understanding. You will read to build speed and reading fluency, as well as for language development in all skills (reading, writing, listening and speaking) and for vocabulary enrichment. To help create more independent readers and develop the habit of reading, you will be required to do some of the reading at home in order to meet the reading goals. You will have Sustained Silent Reading (SSR) time in every class though, much of class time will be spent on in-class fluency tasks based on the book you just finished reading.</p>					
Textbook			Reference Materials		Related Subjects & Qualification Tests		
N/A			Penguin Graded Readers: Easy Starts, Level 1, Level 2, Level 3; Foundations Graded Readers; Scholastics Graded Readers; Graded Readers collection at KIT		N/A		
Evaluation Method							
Evaluation	Number of books read	In-class Follow-up tasks	Participation/ Effort/ Attitude/ Attendance			Total	Percentage
Spring	40	30	30			100	33%
Summer	40	30	30			100	17%
Fall	40	30	30			100	25%
Winter	40	30	30			100	25%
Evaluation (評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)							100
備考	<ul style="list-style-type: none"> ➤ The single most important factor in the grade is the number of books read. The goal is one book per week. Students will keep a weekly Reading Log to keep track of the books they have read, the number of books and the level at which they are reading. ➤ In-class fluency tasks give students a chance to share what they've read. ➤ speaking/active listening, attitude and effort, as well as attendance ➤ Ratio (Spring : Summer : Fall : Winter = 2 : 1 : 1.5 : 1.5) 						
Advice from Instructor to Students for Class							
<ul style="list-style-type: none"> ➤ Most every class will have with a 20-minute Sustained Silent Reading block so please come to class on time so you do not to disrupt quiet reading time. ➤ Bring a Reading Notebook (binder) and pencil. ➤ <u>Don't</u> bring a dictionary, just skip over words you don't know and focus on general understanding so you don't slow down your reading. ➤ If you are not enjoying a book, stop reading it and choose another one. ➤ Read a variety of books from different genres -- even ones you don't usually read. ➤ Take the summer vacation and winter vacation reading challenges. 							
Objectives							
①	SWBAT develop confidence and motivation in reading						
②	SWBAT be comfortable reading without stopping to look up unknown or difficult words						
③	SWBAT increase speed and fluency in reading						
Course Objectives			C				
Office Location			KTC 31-103				
Office Hours			16:00~ (Thursday)				

Class	Contents	Achievement Goals	Pre-study Review	Suggested time	Check	
Spring	1-2	Orientation; Introduction to Extensive Reading and ER Library; How to choose books	Review syllabus; Intro to ER; Learn to use the library and Weekly Reading Log; Find your reading level; Choose book (look at pictures/read blurb); SSR		20	
				Finish reading your new book.	30	
	3-4	How to Record & Rate Books; Reading Reflection & Extension	What do you think? Record book in Weekly Reading Log; Rate book; Choose a new book; SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	5-6	Reading reflection & extension Vacation reading (Extra Credit)	Genre & Setting; Record and rate book; Choose new book; SSR; Choose book(s) & Reaction Report for Vacation	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	7-8	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Blurb and Title Match, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	9-10	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Bookmark, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	11-12	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: The Best Part, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	13-14	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: The Best Character, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	15-16	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Picture Questions, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	17-18	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Character Map, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
19-20	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Climax and Resolution, SSR	Think about the important points from the last reading	20		
			Finish reading your new book.	30		
Summer	1-2	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: New Vocabulary, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	3-4	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Change The Ending, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	5-6	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Movie Poster, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
Finish reading your new book.				30		
7-8	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Movie Poster, SSR	Think about the important points from the last reading	20		
			Finish reading your new book.	30		
9-10	Self-evaluation	Ss can share their books in the activity: Penguinville ER Board Game, SSR	Think about the important points from the last reading	20		
			Finish reading your new book.	30		
Fall	1-2	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: You Can Quote Me, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
3-4	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Life's Up's and Down's	Think about the important points from the last reading	20		

			Finish reading your new book.	30		
5-6	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: What Comes Next?	Think about the important points from the last reading	20		
			Finish reading your new book.	30		
7-8	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Nice To Meet You!, SSR	Think about the important points from the last reading	20		
			Finish reading your new book.	30		
9-10	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Rate it!., SSR	Think about the important points from the last reading	20		
			Finish reading your new book.	30		
11-12	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Penguinville ER Board Game, SSR	Think about the important points from the last reading	20		
			Finish reading your new book.	30		
13-14	Self-evaluation	Ss can share their books in the activity: Christmas Gifts, SSR	Think about the important points from the last reading	20		
			Finish reading your new book.	30		
Winter	1-2	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: The Real-World Reading Project	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	3-4	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: New Year's Gift Money, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	5-6	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: The Story and You, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	7-8	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Read a book And See The Movie, SSR.	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	9-10	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Read a book And See The Movie, SSR	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	11-12	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Making ads of your favorite books for the next year students.	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
	13-14	Reading reflection & extension	Ss can share their books in the activity: Sharing ads of your favorite books for the next year students.	Think about the important points from the last reading	20	
				Finish reading your new book.	30	
15-16	Self-evaluation/ Closing	Questionnaire, Talk about Favorite Books, Reading Level 50 Book Challenge-Award Prizes	Think about the important points from the last reading	20		

Check(Self-Evaluation) :I understand well ← A B C D E → I don't understand at all

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
General English Skills 2 (Pop Culture – Discussion) (英語総合技能 I I (ポップカルチャー))				グローバル情報工学科 4年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Elective	履修 2	All Year	Lecture	Jenny Brown (Spring) Ali Jumaah (Summer, Fall, Winter)		
キーワード		科目概要				
Discussion, Debate, Pop Culture		In this class students will debate and discuss many issues relating to pop culture. Students will develop critical thinking and analytical skills along with their speaking techniques. Debate can be fun and useful in teaching students to give opinions, agree, disagree, and give reasons in a comfortable communicative setting.				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
N/A		① Handouts				
評価方法						
評価項目	Class work	Debate Projects	Participation		評価	学期の割合
春学期	40	30	30		100	2/6
夏学期	40	30	30		100	1/6
秋学期	40	30	30		100	1.5/6
冬学期	40	30	30		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> • Students will be evaluated on the accuracy and completion of class work and in class activities. • Students will be evaluated using project rubrics for the debates. • Students will be evaluated using a participation rubric. 					
受講上のアドバイス						
<p>Advice from Instructors to students</p> <ul style="list-style-type: none"> • Come to class on time with your binder and pencil • Respect your classmate when they talk • Say hello and good-bye every class • Ask questions • Listen to your classmates while talking • Don't worry about making mistakes, just talk. • Don't be shy • Cellphone on vibrate • Relax, have fun and smile! • Take notes • Be kind and friendly to everyone in class • Be responsible for making up missed work and finishing assignments 						
科目の達成目標						
①	Students will be able to develop their communicative, analytical and critical thinking skills.					
②	Student will be able to give opinions, agree, disagree, and give reasons in a comfortable communicative setting.					
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		KTC 31-103				
オフィスアワー		Thursday, 4:00-5:00				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to ...	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検	
春 学 期	第1, 2回	Introduction to the course.	Understand the syllabus and grading policy	Review the syllabus and grading policy	15	
	第3, 4回	School uniform	Learn about debate, opposition, agreeing, disagreeing, rebuttals; Research and take notes on the topic.	Think about the topic to be debated and your position	15	
				Review your notes and think of points in support of your position	15	
	第5, 6回	School uniform	Discuss both sides of the topic; Provide background information on the topic; Divide into debating teams	Review your notes and think of points opposed to your position	15	
				Think about the strong and weak points of your team's position	15	
	第7, 8回	School uniform	Examine the opposition's side of the debate; Prepare for the debate; Debate the topic	Think of ways to counter your opponents' arguments	15	
				Reflect on the debate; What went well, what went badly, what can you do better?	15	
	第9, 10回	Smoking	Research and take notes on the topic.	Think about the topic to be debated and your position	15	
				Review your notes and think of points in support of your position	15	
	第11, 12回	Smoking	Discuss both sides of the topic; Provide background information on the topic; Divide into debating teams	Review your notes and think of points opposed to your position	15	
				Think about the strong and weak points of your team's position	15	
	第13, 14回	Smoking	Examine the opposition's side of the debate; Prepare for the debate; Debate the topic	Think of ways to counter your opponents' arguments	15	
				Reflect on the debate; What went well, what went badly, what can you do better?	15	
	第15, 16回	Cell phone use in the classroom	Research and take notes on the topic.	Think about the topic to be debated and your position	15	
				Review your notes and think of points in support of your position	15	
	第17, 18回	Cell phone use in the classroom	Discuss both sides of the topic; Provide background information on the topic; Divide into debating teams	Review your notes and think of points opposed to your position	15	
				Think about the strong and weak points of your team's position	15	
第19, 20回	Cell phone use in the classroom	Examine the opposition's side of the debate; Prepare for the debate; Debate the topic	Think of ways to counter your opponents' arguments	15		
			Reflect on the debate; What went well, what went badly, what can you do better?	15		
夏 学 期	第1, 2回	Introduction	Research and take notes on the topic.	Think about the topic to be debated and your position	15	
				Review your notes and think of points in support of your position	15	

第3, 4回	Mini Debate 1 Kanazawa vs. Tokyo	Discuss both sides of the topic; Provide background information on the topic; Divide into debating teams	Review your notes and think of points opposed to your position	15	
			Think about the strong and weak points of your team's position	15	
第5, 6回	Mini Debate 1 Kanazawa vs. Tokyo	Examine the opposition's side of the debate; Prepare for the debate; Debate the topic	Think of ways to counter your opponents' arguments	15	
			Reflect on the debate; What went well, what went badly, what can you do better?	15	
第7, 8回	Mini Debate 2 Movies at home vs. Movies at the theater	Research and take notes on the topic; Discuss both sides of the topic; Provide background information on the topic; Divide into debating teams	Think about the topic to be debated and your position	15	
			Review your notes and think of points in support of and opposed to your position	15	
第9, 10回	Mini Debate 2 Movies at home vs. Movies at the theater	Examine the opposition's side of the debate; Prepare for the debate; Debate the topic	Think about the strong and weak points of your team's position and how to counter your opponents' arguments	15	
			Reflect on the debate; What went well, what went badly, what can you do better?	15	
第1, 2回	Should studying a foreign language be required?	Research and take notes on the topic.	Think about the topic to be debated and your position	15	
			Review your notes and think of points in support of your position	15	
第3, 4回	Should studying a foreign language be required?	Discuss both sides of the topic; Provide background information on the topic; Divide into debating teams	Review your notes and think of points opposed to your position	15	
			Think about the strong and weak points of your team's position	15	
第5, 6回	Should studying a foreign language be required?	Examine the opposition's side of the debate; Prepare for the debate; Debate the topic	Think of ways to counter your opponents' arguments	15	
			Reflect on the debate; What went well, what went badly, what can you do better?	15	
第7, 8回	Is studying grammar is more important that conversation skills?	Research and take notes on the topic.	Think about the topic to be debated and your position	15	
			Review your notes and think of points in support of your position	15	
第9, 10回	Is studying grammar is more important that conversation skills?	Discuss both sides of the topic; Provide background information on the topic; Divide into debating teams	Review your notes and think of points opposed to your position	15	
			Think about the strong and weak points of your team's position	15	
第11, 12回	Is studying grammar is more important that conversation skills?	Examine the opposition's side of the debate; Prepare for the debate; Debate the topic	Think of ways to counter your opponents' arguments	15	
			Reflect on the debate; What went well, what went badly, what can you do better?	15	
第13, 14回	College vs. High School	Research and take notes on the topic.	Think about the topic to be debated and your position	15	
			Review your notes and think of points in support of your position	15	

秋学期

冬学期	第1, 2回	College vs. High School	Discuss both sides of the topic; Provide background information on the topic; Divide into debating teams	Review your notes and think of points opposed to your position	15	
				Think about the strong and weak points of your team's position	15	
	第3, 4回	College vs. High School	Examine the opposition's side of the debate; Prepare for the debate; Debate the topic	Think of ways to counter your opponents' arguments	15	
				Reflect on the debate; What went well, what went badly, what can you do better?	15	
	第5, 6回	Gender	Research and take notes on the topic.	Think about the topic to be debated and your position	15	
				Review your notes and think of points in support of your position	15	
	第7, 8回	Gender	Discuss both sides of the topic; Provide background information on the topic; Divide into debating teams	Review your notes and think of points opposed to your position	15	
				Think about the strong and weak points of your team's position	15	
	第9, 10回	Gender	Examine the opposition's side of the debate; Prepare for the debate; Debate the topic	Think of ways to counter your opponents' arguments	15	
				Reflect on the debate; What went well, what went badly, what can you do better?	15	
	第11, 12回	Downloading Music	Research and take notes on the topic.	Think about the topic to be debated and your position	15	
				Review your notes and think of points in support of your position	15	
	第13, 14回	Downloading Music	Discuss both sides of the topic; Provide background information on the topic; Divide into debating teams	Review your notes and think of points opposed to your position	15	
				Think about the strong and weak points of your team's position	15	
	第15, 16回	Downloading Music	Examine the opposition's side of the debate; Prepare for the debate; Debate the topic	Think of ways to counter your opponents' arguments	15	
				Reflect on the debate; What went well, what went badly, what can you do better? Reflect on the year; How have your debate skills improved?	15	

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
インターンシップ				グローバル情報工学科 4年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
選択	履修 2	集中	実技	坂倉忠和				
キーワード		科目概要						
インターンシップ 企業		県内外の企業で実習を行い、社会の厳しさや専門技術の発展ぶりなど、学内では得られない貴重な知識や考え方を学ぶ。さらにインターンシップ先での貴重な体験を報告書にまとめ提出するとともに、報告会において、その成果を発表する。						
教科書		参考書		関連する科目・資格				
なし		① 企業のパンフレットなど ② 各専門科目の教科書や参考書		科目：キャリアデザイン 資格：なし				
評価方法							(%)	
評価項目	企業での評価	報告書	報告会				計	学年評価に対する割合
春学期								
夏学期	50	25	25				100	100
秋学期								
冬学期								
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)								100
備考	企業での評価書に記載の評価を50%、構内での報告書25%、インターンシップ報告会による評価を25%とした割合で総合評価を行う。							
受講上のアドバイス								
① インターンシップはアルバイトではないことを肝に銘じ、逆に企業の大きな負担になっていること、企業の好意で実習を受けさせてもらっていることを忘れないこと。 ② 遅刻は厳禁である。礼儀正しく行動すること。								
科目の達成目標								
①	社会や仕事について具体的にイメージできる。							
②	自分の適性について気付き、進路選択活動に活用できる。							
③	企業や業界についての知識を得る。							
④	現状の自分の足りない諸点を把握し、目標を明確にできる。							
⑤	社会人のマナーを理解できる。							
⑥	働くことに対する意識を高めることができる。							
関連する本校の学習・教育目標		人間性、国際性						
問い合わせ・質問先		2階206室						
オフィスアワー								

クラス番号 _____ 氏名 _____

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検
夏 学 期					

点検(自己評価):授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
ビジネスシステム				グローバル情報工学科 4年OP				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修 2	春/夏	講義	谷口萌未				
キーワード		科目概要						
企業ストラテジ、業務、情報システム		本授業において、企業活動の目的とそれを実現するための戦略を理解した上で、日々の企業業務に関する基本的な知識を勉強する。また、企業業務を効率よくサポートする情報システムの必要性を認識し、これらのWebシステムを構築、運用、保守する上で必要な基礎知識とプロセスを学習する。						
教科書			参考書		関連する科目・資格			
「やさしいITパスポート講座」、高橋麻奈、ソフトバンククリエイティブ					科目：情報処理Ⅱa、情報処理Ⅱb 資格：ITパスポート試験			
評価方法							(%)	
評価項目	定期試験	小テスト	ノート・レポート	授業態度			計	学年評価に対する割合
春学期	40	20	30	10			100	65
夏学期	50		40	10			100	35
秋学期	—	—	—	—	—	—	—	—
冬学期	—	—	—	—	—	—	—	—
学年評価（評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。）								100
備考	<p>年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。</p> <p>定期試験及び小テストは学習の成果を測定することを主とする。</p> <p>課題・宿題は提出状況と完成度を測定する。</p> <p>授業態度は授業への積極的な参加を評価する。</p>							
受講上のアドバイス								
<p>授業ではITパスポート試験範囲の一部を学習します。他の科目とうまく繋いでITパスポート試験の早期取得を目指しましょう。尚、受講上の注意点を以下に示します。必ず守ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業にノートPCを必ず持参すること。 2. 講義内容をまとめるB5サイズのノートを用意し、年間を通じて同じノートを使用する。 3. 授業中、しっかり講義を聞き、不明な点があれば、溜めずに聞くこと。 4. 課題を必ず各自で行い、提出はメ切厳守を徹底すること。 								
科目の達成目標								
①	企業活動の目的と戦略について理解できる。							
②	企業の業務、組織のイメージを大枠でつかめる。							
③	企業の財務諸表の概要が分かる。							
④	業務をサポートする様々な情報システムの名前と用途を覚えらる。							
⑤	情報システム開発全体の流れをつかめる。							
関連する本校の学習・教育目標			E：専門力、B：創造性					
問い合わせ・質問先			31号館（207）					
オフィスアワー			随時					

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段: 予習・下段: 復習)	時間	点検	
春学期	第1・2回	ガイダンス 企業のストラ テジ	授業の範囲、概要、到達目標を理解 できる。 企業活動の目的と戦略、組織のかた ちを理解できる。	企業のストラテジについて調査する。	20	
	第3・4回	業務のモデル 化と改善	業務流れの概要が分かる。 業務モデル化の手法が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	30	
	第5・6回	データの収 集と整理	データの収集や整理の意義と方法が 分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	30	
	第7・8回	統計と確率 グラフ	統計と確率の基礎が分かる。 グラフの種類と特徴が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	30	
	第9・10回	生産・販売・ 在庫管理	生産、販売、在庫の関係を理解し、 損益分岐点が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	30	
	第11・12回	財務管理	財務諸表の概要が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30	
講義内容を確認し、ノートをまとめる。				30		
第13・14回	経営管理	経営状態を把握するための諸指標の 概念が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30		
			講義内容を確認し、ノートをまとめる。	30		
第15～18回	工程管理 品質管理	WBS、PERT図の概要が分かる。 品質管理用ツールの概要が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30		
			講義内容を確認し、ノートをまとめる。	30		
	定期試験	(試験)				
第19・20回	春学期点検	学習の達成度を確認できる。	試験問題を見直し、標準解答を作る。	60		
夏学期	第1・2回	情報システム システム導入	業務をサポートする様々な業務シス テムの存在が分かる。 システム導入の計画を理解できる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30	
			講義内容を確認し、ノートをまとめる。	30		
	第3・4回	システム設計	使い易いシステムとはどんなものが分 かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	30	
	第5・6回	システム開発 システムテスト	システムの開発工程が分かる。 テスト工程について理解できる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30	
				講義内容を確認し、ノートをまとめる。	30	
第7・8回	システム運用 と保守 障害対策	システムの可用性についての諸指標が 分かる。 システム障害の対する備えについて方 法が分かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30		
			講義内容を確認し、ノートをまとめる。	30		
第9・10回	システム改良 ソフトウェアの 権利	ITILとSLAについて説明できる。 ソフトウェアの知的財産権の種類が分 かる。	教科書の関連ページと講義資料を読む。	30		
			講義内容を確認し、ノートをまとめる。	30		
	定期試験	(試験)		-		

秋学期	第1・2回						
	第3・4回						
	第5・6回						
	第7・8回						
	第9・10回						
	第11・12回						
	第13・14回						
冬学期	第1・2回						
	第3・4回						
	第5・6回						
	第7・8回						
	第9～12回						
	第13～16回						

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
情報処理Ⅲ				グローバル情報工学科 4年OP				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修 2	秋・冬	講義	Sara Jackson				
キーワード		科目概要						
Unix, Command Line, Operating Systems, Technical English		In the first three years at KTC, students have primarily become used to the operation of a graphical user interface (GUI) in operating systems such as Microsoft Windows. However, many complex web servers and networking devices require operators to have skill with a command line interface (CUI) such as those found in Unix operating systems. This course will focus on the acquisition and practice of the basic knowledge required of an entry-level Unix operator for using a Unix CUI. Material will be presented in English.						
教科書		参考書		関連する科目・資格				
1.) Handouts from the teacher		「UNIXの絵本」株式会社アंक		科目：情報システムⅢ 資格：LPIC試験、基本情報技術者試験				
評価方法							(%)	
評価項目	Assignments	Exams	Self-Assessments	Participation			評価	学期の割合
春学期								
夏学期								
秋学期	60	15	20	5			100	45%
冬学期	50	25	20	5			100	55%
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100%	
備考	<ul style="list-style-type: none"> Students will be evaluated based on their ability in three areas: achieving the goals of the homework assignments; thoughtfully reflecting on their own learning; and level of participation. There will be final exams based on class material. Homework assignments will be given each week. These assignments will be based on the lecture and handouts. Students are expected to complete the assignments before class to prepare themselves for the next lesson. Self-assessments will be performed periodically. Participation will be evaluated according to attendance record, active participation in classroom exercises, and an attitude assessment from the teachers. 							
受講上のアドバイス								
<p>本講義は学修単位であるため、2時間の授業に対して1時間分の課題が毎回出題される。この課題が提出されない場合は単位が認められないことがある。</p> <p>Please bring your textbook and materials for taking notes to class every day. Try your best to understand but don't be afraid to ask questions. Ask lots of questions. Most importantly, when you miss a class please see the teacher for the work you missed before the next class.</p>								
科目の達成目標								
①	Understand the differences between a command line interface and a graphical interface.							
②	Successfully apply UNIX commands to accomplish various tasks.							
③	Become familiar with UNIX operating systems.							
④	Acquire technical English from authentic texts.							
⑤	Explain one's learning process and identify possible barriers for making progress.							
関連する本校の学習・教育目標		創造性・専門力						
問い合わせ・質問先		2階207室						
オフィスアワー		火曜日 8限						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検
秋学期	第1~2回	Course Introduction	Get to know the syllabus, your teacher, and your learning style	—	—
				Make personal goals and compare them to the syllabus	10
	第3~4回	Introduction to Unix	Understand the basic traits of Unix operating systems	Review basics and history of UNIX	30
				Review traits of UNIX	30
	第5~6回	Command Line Basics	Learn the basics of operating a CUI, such as navigating the directory structure.	Review remote login and man pages	30
				Examine man pages	30
	Review navigation commands			30	
	Complete self-evaluation			15	
	第9~10回	Advanced Shell Commands	Study advanced commands for the shell window. Prepare and present a mini lesson on a command of your choice.	Review self-evaluation. Review search commands	40
				Examine search command man pages and prepare a mini lesson	30
	Present mini lesson			60	
	—			—	
	第11~12回	Review	Review the commands so far and prepare for the exam.	Study UNIX concepts and commands from class	60
—	—				
第13~14回	定期試験	Exam			
冬学期	第1~2回	Text Editing and Extraction	Learn about the different text editors and how to use them. Practice creating and manipulating documents.	Review text editors and commands	30
				Examine man pages for editing commands.	30
	第3~4回	Printing Commands	Practice displaying documents using various commands.	Review printing and output commands.	30
				Examine man pages for output commands.	30
	第5~6回	User Accounts and Groups	Understand the roles of user accounts and groups in an OS.	Review user account and group policy in UNIX.	30
				Review handouts on user and group accounts and roles.	30
	第7~8回	File and Directory Permissions	Learn how to control the security of files and directories with commands related to user permissions.	Review permissions commands.	30
				Examine man pages for permissions commands. Complete self-evaluation.	45
	第9~10回	Process Control and Scheduling	Discover how to control running programs and manage the scheduling of tasks. Prepare and present a mini lesson on a command of your choice.	Review self-evaluation results. Review process control commands.	35
				Examine man pages for process control commands.	30
	第11~12回	Shell Scripts	Understand the basics of writing a script to execute a series of commands. Practice making scripts to run multiple commands at once.	Review basics of writing and running custom scripts.	30
				Create a custom script to show the class.	60
	第13~14回	Additional Topics	Explore additional commands from the handouts. Choose extra topics to learn about and implement into an original script to show the class.	Present custom scripts and additional commands.	—
Examine additional material and prepare for review.				60	
第15~16回	Review	Review the commands so far and prepare for the exam.	—	—	
	定期試験	Exam			

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
人間と自然Ⅲ				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 1	集中講義	講義	井上恵介・藤澤 武			
キーワード		科目概要					
人間力		池の平の自然あふれる充実した環境のもとで合宿を行い、自然への理解を深めるとともに、級友との友情を深める。また、5年間の研鑽をまとめ、これから社会でその成果を発揮するために、各自が専攻する分野での先輩の経験を学ぶ。加えて、自らが研究している課題について、研究の意義・研究の進め方・発表の仕方について考え、学ぶ。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
なし			①学生便覧2015		科目：人間と自然Ⅰ 人間と自然Ⅱ 資格：なし		
評価方法 (％)							
評価項目	学科研修	講演	生活態度	出席状況		計	学年評価に対する割合
春学期							
夏学期	20	10	20	50		100	100
秋学期							
冬学期							
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<p>研修3日のうち、2日間以上出席した者について、本科目を履修したものと認め、成績評価を行う。出席状況については、2日間出席で30点、3日間出席で50点を付与する。学科研修、講演ならびに生活態度については、優秀なものには各々20点、10点、20点を付与し、態度・成果・貢献の度合いに応じて採点する。</p> <p>ただし、研修中に校則違反があった場合や研修態度が著しく悪い場合には、上記にかかわらず減点もしくは履修したと認めないこともある。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>①別に配布する池の平セミナーハウス研修の資料をよく読み、忘れ物のないように注意する。</p> <p>②健康管理に十分留意し研修に臨むこと。体調不良の場合は、本校集合時に必ず申し出ること。</p> <p>③健康保険証のコピーを必ず持参すること。</p> <p>④集合時間など集団生活のマナーを厳守すること。</p>							
科目の達成目標							
①							
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
関連する本校の学習・教育目標			人間性				
問い合わせ・質問先			(授業開講時) 池の平セミナーハウス1階・井上まで (それ以外) 高専2階31.210室・井上まで				
オフィスアワー							

クラス番号 _____ 氏名 _____

回	授業項目	授業の達成目標	点検
春学期	1	オリエンテーション	科目の目的・スケジュールならびにセミナーハウス利用の注意受け、3日間の学習の体制を整える。
	2	朝の集い	国旗・校旗の掲揚、体操および清掃分担発表を行い、研修に取り組む気持ちを新たにす。
	3	学科研修 ①	自然と工学に関する課題に関し、グループで討議する。
	4	学科研修 ②	学科研修 ① の討議結果をまとめる。
	5	学科研修 ③	池の平の豊かな自然に触れ、自然への理解を深める。
	6	講演	聴講内容をもとに、社会人として・技術者としてのあるべき姿を考える。
	7		
	8		
	9		
	10		

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
社会科学Ⅲ				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	履修 2	通年	講義	坂本 有			
キーワード		科目概要					
心理学入門、学習心理学、発達心理学、性格心理学、社会心理学		心理学は、心を科学的に探究する学問であり、教育、サービス業、製造業など種々の分野に応用されている。将来、社会に貢献すべき本校学生にとって、心理学を通して人間行動を理解することの意義は大きいと考えられる。本科目の目的は、心理学を通じて人間行動の法則性を学び、人間観を科学的な観点から養うことにある					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
① 「コンパクト新心理学ライブラリ1 心理学 第2版」、梅本堯夫他、サイエンス社			より理解を深めたい受講生へ向けた文献を授業中に紹介する		資格：心理学検定		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	小テスト	学習態度			計	学年評価に対する割合
春学期	50	30	20			100	25
夏学期	50	30	20			100	25
秋学期	50	30	20			100	25
冬学期	50	30	20			100	25
学年評価（評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。）							100
備考	<p>定期試験では、講義全体を通して習得した心理学の基礎概念、基礎用語、人間理解の方法についての知識と理解を確認する。</p> <p>各学期の途中で小テストを数回課して、理解度の確認を行う。</p> <p>学習態度は、授業態度や出欠状況確認のための一言カードへの記載内容などで評価する。学習態度、出席不良の者は、減点していく。</p>						
受講上のアドバイス							
「心理学」はカウンセリングなどの臨床心理学だけに限らず、さまざまな領域を扱う幅広い学問である。初めて学ぶ方がほとんどだと思われるが、先入観にとらわれず、さまざまな分野の心理学に興味を持って受講してほしい。適宜資料を配布するので、資料を綴じるためのファイルの用意が必要である。							
科目の達成目標							
①	心理学という学問やその歴史について理解することができる						
②	心理学における基礎概念や理論について理解することができる						
③	青年期の発達課題やその特徴を理解することができる						
④	心理学の視点から対人関係による影響や心理的な個人差について理解できる						
⑤	心理学における基礎用語に関する択一式の設問に正しく解答できる						
⑥	心理学の視点から人間行動の法則性を理解し、日常生活の具体例を挙げて説明できる						
関連する本校の学習・教育目標			人間性				
問い合わせ・質問先			2階218室（非常勤講師室）不在時は1階104室（教員室）宮野純光先生まで				
オフィスアワー			授業中に予約をしてください				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～2回	歴史と方法	人の心はどうしてわかるかの概略について理解できる 教科書pp. 1-3の読み直し	—	—	
				10		
	第3～4回	歴史と方法	心理学の歴史の概略について理解できる 第3-4回の配布資料の見直し	教科書pp. 4-9を熟読する	10	
				15		
	第5～6回	歴史と方法	心理学の研究法の概略について理解できる 第5-6回の配布資料の見直し	教科書pp. 10-17を熟読する	10	
				15		
	第7～8回	感覚と知覚	感覚の一般的性質について理解できる 第7-8回の配布資料の見直し	教科書pp. 21-27を熟読する	10	
				15		
	第9～10回	感覚と知覚	群化について説明できる 第9-10回の配布資料の見直し	教科書pp. 28-37を熟読する	10	
				15		
第11～12回	感覚と知覚	空間知覚と運動の知覚について理解できる 第11-12回の配布資料の見直し	教科書pp. 36-43を熟読する	10		
			15			
第13～14回	学習	学習とは何かについて理解できる 第13-14回の配布資料の見直し	教科書pp. 45-52を熟読する	10		
			15			
第15～16回	学習	学習におけるさまざまな原理を理解できる 第15-16回の配布資料の見直し	教科書pp. 52-60を熟読する	10		
			15			
第17～18回	学習	学習におけるさまざまな原理を理解できる 第17-18回の配布資料の見直し	教科書pp. 60-68を熟読する	10		
			15			
	定期試験					
第19回	自己点検	解説や配布資料をもとに定期試験での間違いを理解し、正しく解答できる 試験で間違えた箇所の見直し	—	—		
			20			
第20回	記憶	記憶とは何かについて理解できる 第20回の配布資料の見直し	教科書pp. 68-73を熟読する	10		
			15			
夏学期	第1～2回	記憶	記憶の種類について理解できる 第1-2回の配布資料の見直し	教科書pp. 74-79を熟読する	10	
				15		
	第3～4回	記憶	忘却について理解できる 第3-4回の配布資料の見直し	教科書pp. 80-85を熟読する	10	
				15		
	第5～6回	意識・思考・言語	意識について理解できる 第5-6回の配布資料の見直し	教科書pp. 89-94を熟読する	10	
15						
第7～8回	意識・思考・言語	言語について理解できる 第7-8回の配布資料の見直し	教科書pp. 94-103を熟読する	10		
			15			
	定期試験					

秋学期	第1～2回	動機づけと情動	動機づけについて理解できる	教科書pp. 105-115を熟読する	15	
				第1-2回の配布資料の見直し	15	
	第3～4回	動機づけと情動	動機と行動について理解できる	教科書pp. 116-1122を熟読する	10	
				第3-4回の配布資料の見直し	15	
	第5～6回	動機づけと情動	情動について理解できる	教科書pp. 122-133を熟読する	15	
				第5-6回の配布資料の見直し	15	
	第7～8回	性格	心理的な個人差について理解できる	教科書pp. 153-157を熟読する	10	
第7-8回の配布資料の見直し				15		
第9～10回	性格	人格の捉え方について理解できる	教科書pp. 158-163を熟読する	10		
			第9-10回の配布資料の見直し	15		
第11～12回	性格	人格検査について理解できる	教科書pp. 164-173を熟読する	10		
			第11-12回の配布資料の見直し	15		
		定期試験				
冬学期	第1回	自己点検	解説や配布資料をもとに定期試験での間違いを理解し、正しく解答できる	—	—	
				試験で間違えた箇所の見直し	20	
	第2回	発達	発達について理解できる	教科書pp. 135-140を熟読する	10	
				第2回の配布資料の見直し	10	
	第3～4回	発達	さまざまな発達理論について理解できる	教科書pp. 140-146を熟読する	10	
				第3-4回の配布資料の見直し	15	
	第5～6回	発達	青年期の特徴について理解できる	教科書pp. 146-147を熟読する	10	
				第5-6回の配布資料の見直し	15	
	第7～8回	発達	さまざまな発達理論について理解できる	教科書pp. 148-152を熟読する	10	
				第7-8回の配布資料の見直し	15	
	第9～10回	対人関係	対人魅力について理解できる	教科書pp. 175-180を熟読する	10	
				第9-10回の配布資料の見直し	15	
	第11～12回	対人関係	リーダーシップ理論について理解できる	教科書pp. 180-182を熟読する	10	
				第11-12回の配布資料の見直し	15	
	第13～14回	対人関係	対人関係論について理解できる	教科書pp. 182-186を熟読する	10	
第13-14回の配布資料の見直し				15		
第15～16回	対人関係	集団について理解できる	教科書pp. 186-192を熟読する	15		
			第15-16回の配布資料の見直し	15		
		定期試験				

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
社会科学Ⅲ				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	履修 2	通年	講義	吉岡由香			
キーワード		科目概要					
心理学入門、学習心理学、発達心理学、性格心理学、社会心理学		心理学は、心を科学的に探究する学問であり、教育、サービス業、製造業など種々の分野に応用されている。将来、社会に貢献すべき本校学生にとって、心理学を通して人間行動を理解することの意義は大きいと考えられる。本科目の目的は、心理学を通じて人間行動の法則性を学び、人間観を科学的な観点から養うことにある					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
① 「コンパクト新心理学ライブラリ1 心理学 第2版」、梅本堯夫他、サイエンス社			より理解を深めたい受講生へ向けた文献を授業中に紹介する		資格：心理学検定		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	小テスト	学習態度			計	学年評価に対する割合
春学期	50	30	20			100	25
夏学期	50	30	20			100	25
秋学期	50	30	20			100	25
冬学期	50	30	20			100	25
学年評価（評価は春,夏,秋,冬学期で行い、通知表は春,夏,秋,学年評価で示す。）							100
備考	<p>定期試験では、講義全体を通して習得した心理学の基礎概念、基礎用語、人間理解の方法についての知識と理解を確認する。</p> <p>各学期の途中で小テストを数回課して、理解度の確認を行う。</p> <p>学習態度は、授業態度や出欠状況確認のための一言カードへの記載内容などで評価する。学習態度、出席不良の者は、減点していく。</p>						
受講上のアドバイス							
「心理学」はカウンセリングなどの臨床心理学だけに限らず、さまざまな領域を扱う幅広い学問である。初めて学ぶ方がほとんどだと思われるが、先入観にとらわれず、さまざまな分野の心理学に興味を持って受講してほしい。適宜資料を配布するので、資料を綴じるためのファイルの用意が必要である。							
科目の達成目標							
①	心理学という学問やその歴史について理解することができる						
②	心理学における基礎概念や理論について理解することができる						
③	青年期の発達課題やその特徴を理解することができる						
④	心理学の視点から対人関係による影響や心理的な個人差について理解できる						
⑤	心理学における基礎用語に関する択一式の設問に正しく解答できる						
⑥	心理学の視点から人間行動の法則性を理解し、日常生活の具体例を挙げて説明できる						
関連する本校の学習・教育目標			人間性				
問い合わせ・質問先			2階218室（非常勤講師室）不在時は1階104室（教員室）宮野純光先生まで				
オフィスアワー			授業中に予約をしてください				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～2回	歴史と方法	人の心はどうしてわかるかの概略について理解できる 教科書pp. 1-3の読み直し	—	—	
				10		
	第3～4回	歴史と方法	心理学の歴史の概略について理解できる 第3-4回の配布資料の見直し	教科書pp. 4-9を熟読する	10	
				15		
	第5～6回	歴史と方法	心理学の研究法の概略について理解できる 第5-6回の配布資料の見直し	教科書pp. 10-17を熟読する	10	
				15		
	第7～8回	感覚と知覚	感覚の一般的性質について理解できる 第7-8回の配布資料の見直し	教科書pp. 21-27を熟読する	10	
				15		
	第9～10回	感覚と知覚	群化について説明できる 第9-10回の配布資料の見直し	教科書pp. 28-37を熟読する	10	
				15		
第11～12回	感覚と知覚	空間知覚と運動の知覚について理解できる 第11-12回の配布資料の見直し	教科書pp. 36-43を熟読する	10		
			15			
第13～14回	学習	学習とは何かについて理解できる 第13-14回の配布資料の見直し	教科書pp. 45-52を熟読する	10		
			15			
第15～16回	学習	学習におけるさまざまな原理を理解できる 第15-16回の配布資料の見直し	教科書pp. 52-60を熟読する	10		
			15			
第17～18回	学習	学習におけるさまざまな原理を理解できる 第17-18回の配布資料の見直し	教科書pp. 60-68を熟読する	10		
			15			
	定期試験					
第19回	自己点検	解説や配布資料をもとに定期試験での間違いを理解し、正しく解答できる 試験で間違えた箇所の見直し	—	—		
			20			
第20回	記憶	記憶とは何かについて理解できる 第20回の配布資料の見直し	教科書pp. 68-73を熟読する	10		
			15			
夏学期	第1～2回	記憶	記憶の種類について理解できる 第1-2回の配布資料の見直し	教科書pp. 74-79を熟読する	10	
				15		
	第3～4回	記憶	忘却について理解できる 第3-4回の配布資料の見直し	教科書pp. 80-85を熟読する	10	
				15		
	第5～6回	意識・思考・言語	意識について理解できる 第5-6回の配布資料の見直し	教科書pp. 89-94を熟読する	10	
15						
第7～8回	意識・思考・言語	言語について理解できる 第7-8回の配布資料の見直し	教科書pp. 94-103を熟読する	10		
			15			
	定期試験					

秋学期	第1～2回	動機づけと情動	動機づけについて理解できる	教科書pp. 105-115を熟読する	15	
				第1-2回の配布資料の見直し	15	
	第3～4回	動機づけと情動	動機と行動について理解できる	教科書pp. 116-1122を熟読する	10	
				第3-4回の配布資料の見直し	15	
	第5～6回	動機づけと情動	情動について理解できる	教科書pp. 122-133を熟読する	15	
				第5-6回の配布資料の見直し	15	
	第7～8回	性格	心理的な個人差について理解できる	教科書pp. 153-157を熟読する	10	
第7-8回の配布資料の見直し				15		
第9～10回	性格	人格の捉え方について理解できる	教科書pp. 158-163を熟読する	10		
			第9-10回の配布資料の見直し	15		
第11～12回	性格	人格検査について理解できる	教科書pp. 164-173を熟読する	10		
			第11-12回の配布資料の見直し	15		
		定期試験				
冬学期	第1回	自己点検	解説や配布資料をもとに定期試験での間違いを理解し、正しく解答できる	—	—	
				試験で間違えた箇所の見直し	20	
	第2回	発達	発達について理解できる	教科書pp. 135-140を熟読する	10	
				第2回の配布資料の見直し	10	
	第3～4回	発達	さまざまな発達理論について理解できる	教科書pp. 140-146を熟読する	10	
				第3-4回の配布資料の見直し	15	
	第5～6回	発達	青年期の特徴について理解できる	教科書pp. 146-147を熟読する	10	
				第5-6回の配布資料の見直し	15	
	第7～8回	発達	さまざまな発達理論について理解できる	教科書pp. 148-152を熟読する	10	
				第7-8回の配布資料の見直し	15	
	第9～10回	対人関係	対人魅力について理解できる	教科書pp. 175-180を熟読する	10	
				第9-10回の配布資料の見直し	15	
	第11～12回	対人関係	リーダーシップ理論について理解できる	教科書pp. 180-182を熟読する	10	
				第11-12回の配布資料の見直し	15	
	第13～14回	対人関係	対人関係論について理解できる	教科書pp. 182-186を熟読する	10	
第13-14回の配布資料の見直し				15		
第15～16回	対人関係	集団について理解できる	教科書pp. 186-192を熟読する	15		
			第15-16回の配布資料の見直し	15		
		定期試験				

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
文化・芸術・思想Ⅲ				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	2	通年	講義	大崎富雄			
キーワード		科目概要					
文化 方法 思考構造 面影		国際社会において最も重要なことは、自らの国全体についての豊富な知識と深い理解である。日本文化の構造を項目的な表層知識ではなく、そこに内在されているであろう、その本質と方法を抽出することが必要である。これらを一定の学域にとらわれることなく、様々な領域のこれまでの人類の知の集積を駆使しながら、日本文化の多面性を浮き彫りにしたい。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
		随時、紹介する。					
評価方法 (％)							
評価項目						計	学年評価に対する割合
春学期							
夏学期							
秋学期	80	15	5			100	25
冬学期	80	15	5			100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	成績は定期試験・課題・学習態度などを総合的に判断し評価する。学年末評価は各学期との平均とする						
受講上のアドバイス							
<ul style="list-style-type: none"> ・ノートは板書したものだけでなく、口頭での説明も書くこと。 ・授業で紹介する参考文献は読むように心がけること。 ・様々な事象を多角的に捉え、徹底的に思考する習慣をみにつけること。 							
科目の達成目標							
①	「人間の現在」について、その問題群を理解することができる。						
②	神話機能の本質構造について理解することができる。						
③	歴史、その断片からの記憶の再生、想起について理解することができる。						
④	対称性の哲学について理解することができる。						
⑤	日本文化の基層について理解することができる。						
⑥							
関連する本校の学習・教育目標		創造性					
問い合わせ・質問先		1階104室 (教員室)					
オフィスアワー		月曜日 16:00～17:30					

クラス番号 _____ 氏名 _____

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題	時間 (分/回)	点検
春 学 期	第1回				
		定期試験			
夏 学 期	第1回				
		定期試験			

秋学期	第1～2回	人間の現在	人間の現在について理解できる。		
	第3～4回	日本文化の方法論 I	日本文化の方法について理解できる。	日本文化の方法論の特質を理解する。	15
	第5～6回	日本文化の方法論 II	日本文化の方法について理解できる。	日本文化の編集性に関する事項を調べる。	15
				日本文化の編集的構造について整理する。	15
	第7～8回	神話論理 I	神話論理について理解できる。	文化人類学・民俗学の方法を調べる。	15
				文化人類学・民俗学の方法解釈を整理する。	15
	第9～10回	神話論理 II	神話論理について理解できる。	神話の基層的根拠について考察する。	15
				神話機能について整理する。	15
第11～12回	対称性の哲学 I	対称性の哲学について理解できる。	対称性の哲学について調べる。	15	
			対称性の哲学の特質を整理する。	15	
第13～14回	対称性の哲学 II	対称性の哲学について理解できる。	対称の哲学の応用テキストを調べる。	15	
			第1～14回の内容を整理し、再検討する。	15	
	定期試験				
冬学期	第1回	答案返却 自己点検	答案返却・解説および就学生化について、自己点検評価する。	試験を再検討する。	15
	第2～3回	日本的宗教の世界観 I	日本的宗教の特質について理解できる。	日本の「神」観念を調べる。	15
				日本の「神」の特質を整理する。	15
	第4～5回	日本的宗教の世界観 II	日本的宗教の特質について理解できる。	西洋的宗教について調べる。	15
				日本と西洋の宗教観を比較・整理する。	15
	第6～7回	日本建築の思想 I	日本的建築の思想的特質を理解できる。	日本建築の特質について調べる。	15
				「伊勢神宮」の建築的コンセプトを整理する。	15
	第8～9回	日本建築の思想 II	日本的建築の思想的特質を理解できる。	明治建築について調べる。	15
				日本建築様式の特質について整理する。	15
	第10～11回	日本の面影 I	日本文化の内在論理を理解できる。	「明治」の概要を調べる。	15
「明治」の時代状況を整理する。				15	
第12～13回	日本の面影 II	日本文化の内在論理を理解できる。	南方熊楠・ラフカディオ・ハーンについて調べる。	15	
			南方熊楠・ラフカディオ・ハーンについて整理する。	15	
第14～16回	日本文化の基層	日本文化の本質的基層を理解できる。	日本文化の基層について考察する。	15	
			第1～16回の内容を整理し、再検討する。	15	
	定期試験				

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
文化・芸術・思想Ⅲ				グローバル情報工学科 5年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
選択	履修 2	通年	講義	平泉紀房				
キーワード		科目概要						
古事記、日本書紀 神道、仏教、陰陽道		国際社会において最も重要なことは、自らの国自体についての豊富な知識と深い理解である。日本文化の構造を項目的な表層知識ではなく、そこに内在されるであろうその本質と方法とを抽出することが重要である。これらを一定の学域にとらわれることなく、さまざまな領域の知の集積を駆使しながら日本文化の多面性を浮き彫りにしたい。						
教科書		参考書			関連する科目・資格			
		必要に応じて、適宜紹介する。						
評価方法								(%)
評価項目	定期試験	レポート	学習態度				計	学年評価に対する割合
春学期	80	10	10				100	25
夏学期	80	10	10				100	25
秋学期								
冬学期								
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)								100
備考	<p>成績については定期試験の結果に、レポート及び学習態度を加味して評価する。 なお、学年末評価は各学期の平均とする。</p> <p>学習態度について、講義内容に関わる積極的な発言については、これを評価する。 欠席や居眠り、課題の未提出など受講態度不良の者については減点の対象とする。</p>							
受講上のアドバイス								
<p>講義には講義内容に即した項目を事前に調べたうえで臨むことを勧める。 講義内容について、理解が不十分と感じるところがあれば積極的に質問すること。 ノート作りは板書のみならず、口頭での説明も含めて各自で補完すること。</p>								
科目の達成目標								
①	古事記・日本書紀の編纂事業について理解できる。							
②	日本の神話（記紀神話）の概要について理解できる。							
③	神道の思想とその世界観について理解できる。							
④	神道と仏教の関わりについて理解できる。							
⑤	中世日本で形成された世界観について理解できる。							
⑥	宣教師から見た日本の世界観について理解できる。							
関連する本校の学習・教育目標			創造性					
問い合わせ・質問先			1階104室（教員室）					
オフィスアワー			火曜日 16:30～17:30					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1～2回	記紀の成立	古事記・日本書紀の編纂事業について理解できる。	記紀の概要を調べる 10		
			ノートを見直して補完する	10		
	第3～4回	記紀神話を読む	創世神話（国生～黄泉国）について理解できる	国生み神話の概要を調べる 10		
				ノートを見直して補完する	10	
	第5～6回		高天原神話（誓約～天岩戸）について理解できる	天の岩戸神話の概要を調べる 10		
				ノートを見直して補完する	10	
	第7～8回		天孫降臨神話（国譲～天孫降臨）について理解できる	天孫降臨神話の概要を調べる 10		
				ノートを見直して補完する	10	
	第9～10回	日本神話の諸相	伊勢の神話について理解できる	伊勢神宮の概要を調べる 10		
				ノートを見直して補完する	10	
	第11～12回		出雲の神話について理解できる	出雲大社の概要を調べる 10		
				ノートを見直して補完する	10	
	第13～14回		熊野の神話について理解できる	熊野三社の概要を調べる 10		
				ノートを見直して補完する	10	
	第15～16回	神道の世界	「ケガレ」の思想について理解できる	祓詞の概要を調べる 10		
				ノートを見直して補完する	10	
	第17～18回		諸神の変貌について理解できる	日本の祟り神について調べる 10		
				ノートを見直して補完する	10	
	定期試験					
第19～20回	一年のお祭り	日本の祝日と祭日について理解できる	日本の祝祭日の概要を調べる 10			
			試験を見直し、ノートを補完する	10		
夏学期	第1～2回	仏教の受容	仏教の伝来と日本での受容について理解できる	仏教の概要を調べる 10		
			ノートを見直して補完する	10		
	第3～4回	神仏の習合	「神身離脱」と「神仏習合」について理解できる	神仏習合の概要を調べる 10		
			ノートを見直して補完する	10		
	第5～6回	陰陽師の仕事	陰陽道の成立とその役割について理解できる	陰陽道の概要を調べる 10		
			ノートを見直して補完する	10		
	第7～8回	王権と神祇	中世日本で形成された世界観について理解できる	「王法」について調べる 10		
			ノートを見直して補完する	10		
第9～10回	カミスの日本	宣教師から見た日本の世界観について理解できる	戦国期の宣教師について調べる 10			
			ノートを見直して補完する	10		
	定期試験					
第11回	自己点検	夏学期で学習した内容のなかで理解不十分な箇所を発見し、克服する事ができる。	— 試験の間違った問題を見直す	10		

秋学期	第1回						
		定期試験					
冬学期	第1回						
		定期試験					

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
デザイン概論				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	履修 2	通年	実技	小高有普			
キーワード			科目概要				
エンジニアリングデザイン、デザインシンキング、コミュニケーションドローイング			日常生活の中で日々疑問を持ち、それを問題解決する。それはエンジニアとして必要不可欠な能力。これを会得すべく、数名のグループにより新しい発想、価値を創出して行くカリキュラム。実社会の中で行われるエンジニアリング活動同様に、数名によるアイデア創出や問題解決は、実践的な経験による社会人としてあるべき協調性、自主性、統括性、探究心などを身につけます。テーマに添った新しいものを、プロセスを踏んで生み出すことを習得します。				
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①適宜プリント配布							
評価方法 (％)							
評価項目	基礎演習	演習課題	作品		授業態度	計	学年評価に対する割合
春学期	80				20	100	25
夏学期	30	60			10	100	20
秋学期		85			15	100	25
冬学期			85		15	100	30
学年評価 (評価は春,夏,秋,冬学期で行い、通知表は春,夏,秋,学年評価で示す。)							100
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎課題①～基礎課題②の提出物、発表内容を基礎課題として評価する。 2. 演習課題～中間発表を演習課題として評価する。 3. 成果発表と最終提出物、発表内容を作品として評価する。 4. 授業内に配布するプリントは提出物です。内容状況から点数を付けます。 5. グループ内での非協力的な行動等があれば授業態度より減点とする。 6. 欠席・遅刻ごとに学習態度より減点します。(15分以上の遅刻は欠席扱いとする) 						
受講上のアドバイス							
<ol style="list-style-type: none"> 1. エンジニアが開発する際のプロセスを理解する。 2. 作業計画はチーム内で決め、役割も個々に平均的に与えること。 3. モデルに必要な道具は各自で揃えること。(学校にあるもの以外) 4. 調査、分析、まとめ、アイデアなどグループでの自主性が求められます。 							
科目の達成目標							
① 「ものやこと」をフリーハンドで描き、伝えることができる。							
② モデルを作りながら考え、最善方向へ導くことができる。							
③ 身の回りから感じる問題点を新しい価値として解決に変換することができる。							
④ アイデアを適切な手法で具現化することができる。							
⑤ モデルやパネルを通じ他者へアイデアを正確に伝えることができる。							
⑥ チームで協力し合い、1つの新しいものごとを生み出し、作品として表現達成することができる。							
関連する本校の学習・教育目標			創造性、専門力				
問い合わせ・質問先			3階315室 (小高)				
オフィスアワー			月、火、水曜日 17:30まで				

回	授業項目	授業の到達目標	予習	時間 (分/回)	点検	
			復習			
春学期	第1.2回	授業概要	エンジニアがすべきデザインについて理解出来る	課題の画像を集めておく。	10	
	第3.4回	基礎課題① 情報図	人の気持ちになって考えることが出来る。課題に添ったアイデアが出せる。アイデアを適切に伝える事が出来る。	アイデア出しをする	10	
	第5.6回			第2週で与えられたシートを完成しておく	10	
	第7.8回			アイデアについて決定しておく	20	
				第2週に絵で表現したものを説明できるようにしておく	10	
				アイデアを具現的にし、まとめておく	20	
				第4週での課題を仕上げる	20	
	第9.10回	基礎課題① 基礎モデル	基礎形態をきれいに作る事が出来る。	きれいに作る方法を考えておく	10	
	第11.12回			下描きを済ませる	20	
	第13.14回			2週で作成できるよう計画をたてる	10	
	3週目で完成するように作り込む			20		
			3週で作成できるよう計画をたてる	10		
			基礎モデルを仕上げておく	20		
第15.16回	基礎課題① アイデアモデル	アイデアを形にして検証できる。アイデアを形にし、表現することができる。	第8週の活動に必要な事柄を整理しておく	10		
第17.18回			第8週の計画した項目を仕上げる	20		
			第9週の活動に必要な事柄を整理しておく	10		
			第9週の計画した項目を仕上げる	20		
第19.20回	基礎課題① アイデアモデル	アイデアを形にして検証できる。アイデアを形にし、表現することができる。	第10週の活動に必要な事柄を整理しておく	10		
			アイデアモデルを仕上げる	20		
夏学期	第1.2回	基礎課題① 最終モデル(改善)	アイデアを作りながら改善し、提案することができる。説明データを作成する。	第11週の活動に必要な事柄を整理しておく	10	
	第3.4回			第11週の計画した項目を仕上げる	20	
				第12週の活動に必要な事柄を整理しておく	10	
	第5.6回	基礎課題② アイデア	日常のものごとから分析することが出来る。経験と情報収集から解へ導くことが出来る。	改善モデルを仕上げる	20	
	第7.8回			第13週の活動に必要な事柄を整理しておく	10	
	第9.10回			第13週の計画した項目を仕上げる	20	
				発表内容を整理しておく	10	
	第14週の計画した項目を仕上げる			20		
			前期提出物と計画の確認	10		
			第15週の計画した項目を仕上げる	20		

秋学期	第1.2回	演習課題 アイデア	新しいストーリーを描く。新しいコンセプトが出せる。	発表内容をまとめておく	10	
				ストーリーシートの完成	10	
	第3.4回	演習課題 アイデアの具現化	改善・情報収集及び発表用のデータを作成する。	第17週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				第17週の計画した項目を仕上げる	10	
	第5.6回	演習課題 発表	コンセプトの発表と評価、他グループの改善ができる。	第18週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				第18週の計画した項目を仕上げる	10	
	第7.6回	演習課題 計画と現状把握	計画及び現状からの分析ができる	第19週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				第19週の計画した項目を仕上げる	10	
	第9.10回	演習課題 テーマ設定	アイデアを出すことができる。情報、調査、検討のまとめができる。アイデアに対する分析、採用決定ができる。作業計画と役割分担を決める。 □	第20週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				第20週の計画した項目を仕上げる	10	
	第11.12回			第21週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				第21週の計画した項目を仕上げる	10	
	第13.14回	中間発表	テーマと内容評価、改善検討をする。	第22週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				第22週の計画した項目を仕上げる	10	
冬学期	第1.2回	演習課題 テーマ設定、詳細案	改善案検討具体案とその調査、検討をする。アイデアに対する分析、採用決定をする。作業計画と役割分担を決める。	発表内容を整理しておく	10	
				第23週までの作品内容の補足しておく	10	
	第3.4回	演習課題 アイデアの具現化	<ul style="list-style-type: none"> モデル作成 ムービー作成 3Dデータなど 	第24週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				第24週の計画した項目を仕上げる	10	
	第5.6回			第25週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				第25週の計画した項目を仕上げる	10	
	第7.8回			第26週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				第26週の計画した項目を仕上げる	20	
	第9.10回	発表準備	発表用資料作成/改善モデル作成 発表のための資料まとめ、原稿準備	第27週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				第27週の計画した項目を仕上げる	10	
	第11.12回			第28週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				第28週の計画した項目を仕上げる	10	
	第13.14回			第29週の活動で必要な事柄を整理しておく	10	
				発表に必要な準備をしておく(データ、資料など)	20	
第15.16回	成果発表/自己点検 自己評価	チームごとに発表する。発表と評価、自己点検	発表内容をまとめておく	10		
			活動全体について振り返る	10		

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
数理統計				グローバル情報工学科 5年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
選択	学修 2	通年	講義	松本昇久				
キーワード		科目概要						
確率、統計、推定、検定		自然界における偶然性は数学的には確率を用いて表現され、観察や実験から得られたデータは、この確率の概念を用いて解釈・処理されることによって、はじめて実用に耐えうる推定や検定を行うための道具となることができる。本科目は、理工学の実験分野において、偶然性に左右される現象を取り扱う際に必要となる統計的な知識・概念を学習し、さまざまなデータを統計的に解析・処理する方法を習得することを目的とする。						
教科書		参考書		関連する科目・資格				
① 「新確率統計」、 高遠節夫ほか5名、大日本図書		なし		科目：基礎数学Ⅰ [1年次]、 線形代数Ⅱ [3年次]、 資格：実用数学技能検定 (1級・準1級)				
評価方法							(%)	
評価項目	学期末試験	中間試験	演習課題	授業態度			計	学年評価に対する割合
春学期	30	30	30	10			100	25
夏学期	30	30	30	10			100	25
秋学期	30	30	30	10			100	25
冬学期	30	30	30	10			100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100	
備考	学期末試験・中間試験： 授業における講義内容と演習の成果を総合的に判断することを目的として、複数回の試験を実施する。これらの試験(100点満点)の平均の6割を評価に加える。 演習課題： 本講義は学修単位であるため、演習課題の提出が必須となっている。この演習課題は授業内容の理解度や演習量を判断するための材料として用い、評価の3割を占める。 授業態度： 授業を遅刻・早退・欠席した者、授業態度が不良の者については評価からの減点を行う。							
受講上のアドバイス								
① 日ち予お姿勢を身に付けること！ ② 学んだ箇所は必ず復習し、理解できなかった箇所は、理解できるよう常に努めること。 ③ 質問は遠慮なくすること！ただし、単に「わからない」ではなく「どの部分がどのように理解できないのか」を伝えること。 ④ 板書等を書きとめた授業ノートや、授業で配布された資料は試験や復習等で利用できるよう日頃から整理しておくこと。 ⑤ 課題等の提出物の期限は守ること								
科目の達成目標								
①	あるデータについて、その平均・分散・標準偏差を求めることができる。							
②	二項分布やポアソン分布について、その平均・分散・標準偏差を求めることができる。							
③	正規分布について、その平均・分散・標準偏差を求めることができる。							
④	標準正規分布表を用いて、確率の値を求めることができる。							
⑤	ある母集団について、その母平均や母分散の推定ができる。							
⑥	ある母集団について、その母平均や母分散の検定ができる。							
関連する本校の学習・教育目標		基礎力						
問い合わせ・質問先		2階215室(数理教員室)						
オフィスアワー		火曜日8限目						

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検
春学期	第1回	度数分布	度数分布等の用語の意味をつかむことができる。さらに、ヒストグラムの意味をつかみ、それを書くことができる。	教科書pp. 28-30を読み、度数分布等の用語とヒストグラムの意味をつかむ。	40
			教科書pp. 30問1、問2を解く。	60	
	第2回	代表値[1]	代表値としての平均の意味をつかみ、それを求めることができる。	教科書pp. 30-31を読み、平均の定義・性質を理解し、その求め方を習得する。	40
				教科書pp. 31問3、pp. 32問4を解く。	60
	第3回	代表値[2]	代表値としての中央値・最頻値の意味をつかみ、それを求めることができる。	教科書pp. 32を読み、中央値・最頻値の定義・性質を理解し、値を計算する。	40
				教科書pp. 33問5、6を解く。	60
	第4回	散布度[1]	さまざまな散布度（範囲・平均偏差・分散・標準偏差）について、その意味をつかみ、それらの値を求めることができる。	教科書pp. 34-35を読み、さまざまな散布度の定義を理解し、その値を計算する。	40
				教科書pp. 35例5、問7を解く。	60
	第5回	散布度[2]	分散と標準偏差の定義・性質について理解し、それらの値を求めることができる。	教科書pp. 36-38を読み、分散・標準偏差の性質と求め方を理解する。	40
				教科書pp. 37問8、pp. 38問9を解く。	60
第6回	四分位と箱ひげ図[1]	四分位と箱ひげ図の定義を理解し、その意味をつかむことができる。	教科書pp. 39-40を読み、四分位と箱ひげ図の定義を理解する。	40	
			教科書pp. 40例6、7を解く。	60	
第7回	四分位と箱ひげ図[2]	四分位と箱ひげ図を実際にかくことができる。	教科書pp. 40-41を読み、箱ひげ図を書く。	40	
			教科書pp. 41問10を解く。	60	
第8回	前項目までのまとめと復習	前項目までのまとめを行い、理解が不十分な箇所については、その部分を重点的に復習する。	理解が不十分な箇所の教科書・ノートの内容を精読し、その理解に努める。	40	
			教科書pp. 42-43練習問題1-A、1-Bを解く。	60	
	定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。			
第9回	自己点検 相関[1]	試験結果から理解が不十分な内容を把握し、それを習得するよう努める。 2次元のデータにおける相関について、その意味をつかむことができる。	教科書pp. 44-46を読み、相関・共分散・相関係数について理解する。	40	
			相関の内容を整理し、共分散・相関係数の定義式の意味を理解する。	60	
	相関[2]	共分散と相関係数の定義式を用いて、これらの数値を求めることができる。	教科書pp. 47例題1を解くことで、共分散・相関係数の値を定義式より求める。 教科書pp. 47問1を解く。	40 60	
夏学期	第1回	回帰直線[1]	最小2乗法と回帰直線の意味をつかむことができる。	教科書pp. 48-50を読み、最小2乗法から回帰係数が得られることを理解する。	40
			教科書pp. 50例題2を解く。	60	
	第2回	回帰直線[2]	回帰直線の方程式を求めることができる。	教科書pp. 50-51を読み、回帰直線の方程式の求め方を理解する。	40
				教科書pp. 50-51問2、3を解く。	60
	第3回	確率変数と確率分布[1]	確率変数が与えられたとき、その平均を求めることができる。	教科書pp. 55-57を読み、確率変数の平均の性質を理解し、その値を求める。	40
				教科書pp. 56-57問1、2、3、4を解く。	60
	第4回	確率変数と確率分布[2]	確率変数が与えられたとき、その分散と標準偏差を求めることができる。さらに、その確率変数を標準化することができる。	教科書pp. 57-58を読み、確率変数の分散と標準偏差の値を求め、標準化を行う。	40
				教科書pp. 58問5、6、7を解く。	60
	第5回	前項目までのまとめと復習	前項目までのまとめを行い、理解が不十分な箇所については、その部分を重点的に復習する。	理解が不十分な箇所の教科書・ノートの内容を精読し、その理解に努める。	40
				教科書pp. 53-54練習問題2-A、2-Bの該当する箇所の問題を解く。	60
	定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。			

秋学期	第1回	二項分布	二項分布を理解し、その平均と分散を求めることができる。	教科書pp. 59-60を読み、二項分布の意味を理解し、その平均と分散を求める。	40	
				教科書pp. 60問8、9、10、11を解く。	60	
	第2回	ポアソン分布	ポアソン分布を理解し、その平均と分散を求めることができる。	教科書pp. 61-63を読み、ポアソン分布の意味を理解し、その平均と分散を求める。	40	
				教科書pp. 62-63問12、13、14を解く。	60	
	第3回	連続型確率分布	連続型の確率分布において、確率密度関数から確率の値を、積分計算をすることで求めることができる。	教科書pp. 64-67を読み、確率密度関数を積分することで確率を求める。	40	
				教科書pp. 67問16を解く。	60	
	第4回	連続型確率変数の平均と分散	連続型の確率分布において、確率密度関数から平均、さらに、分散と標準偏差をその性質と積分計算をすることで求めることができる。	教科書pp. 68-69を読み、確率密度関数を積分することで平均と分散を求める。	40	
			教科書pp. 69問17、18を解く。	60		
第5回	正規分布[1]	正規分布を理解し、標準正規分布表を用いて確率の値を計算することができる。	教科書pp. 70-72を読み、正規分布を理解し、標準正規分布表を利用する。	40		
			教科書pp. 71例題6、pp. 72問19を解く。	60		
第6回	正規分布[2]	正規分布を標準化したのち、標準正規分布表を用いて確率の値を計算することができる。	教科書pp. 72-73を読み、正規分布の標準化を理解する。	40		
			教科書pp. 72例題7、pp. 73問20、21、22を解く。	60		
第7回	前項目までのまとめと復習	前項目までのまとめを行い、理解が不十分な箇所については、その部分を重点的に復習する。	理解が不十分な箇所の教科書・ノートの内容を精読し、その理解に努める。	40		
			教科書pp. 76-77練習問題1-A、1-Bの該当する箇所の問題を解く。	60		
		定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。			
冬学期	第1回	自己点検 二項分布と正規分布の関係	試験結果から理解が不十分な内容を把握し、それを習得するよう努める。 二項分布と正規分布は、 n が十分に大きくなるときには、近似することができることを理解する。	教科書pp. 74-75を読み、二項分布の正規分布による近似の方法を理解する。	40	
				教科書pp. 75例題8、問23、24を解く。	60	
	第2回	母集団と標本	母集団と標本に関するさまざまな用語を理解することができる。	教科書pp. 81-82を読み、母集団と標本に関する用語を理解する。	40	
				教科書pp. 82例3を読み、母集団と標本に関する理解を深める。	60	
	第3回	統計量と標本分布	統計量に関するさまざまな用語、さらに、大数の法則と中心極限定理について理解することができる。	教科書pp. 83-85を読み、大数の法則と中心極限定理を理解する。	40	
				教科書pp. 84-85問6、7、8を解く。	60	
	第4回	点推定	点推定に関する用語について、理解することができる。	教科書pp. 94-96を読み、点推定に関する用語を理解する。	40	
				教科書pp. 95-96問1、2を解く。	60	
	第5回	母平均の区間推定	母平均の区間推定について理解し、母平均の信頼区間を求めることができる。	教科書pp. 97-98を読み、区間推定を理解し、母平均の信頼区間を求める。	40	
			教科書pp. 98例3を読み、問3を解く。	60		
第6回	仮説と検定	仮説と検定に関する用語について理解することができる。	教科書pp. 107-109を読み、仮説と検定に関する用語を理解する。	40		
			教科書pp. 108問1を解き、検定に関する用語について理解を深める。	60		
第7回	母平均の検定	母平均の区間推定について理解し、母平均の検定をすることができる。	教科書pp. 110-112を読み、母平均の区間推定について理解し、検定を行う。	40		
			教科書pp. 111問2、pp. 112例題1、問3、問4を解き、検定について理解を深める。	60		
第8回	前項目までのまとめと復習	前項目までのまとめを行い、理解が不十分な箇所については、その部分を重点的に復習する。	理解が不十分な箇所の教科書・ノートの内容を精読し、その理解に努める。	40		
			教科書pp. 92-93練習問題2-A、2-B、pp. 123-124練習問題2-A、2-Bの該当する箇所の問題を解く。	60		
		定期試験	試験範囲の復習を行い、試験に備える。			

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
Advanced English II (Graphic Novels) (上級英語 I I (グラフィックノベル (劇画))				グローバル情報工学科 5年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Elective	履修 2	All Year	Lecture	Ian Stevenson (Spring, Fall, Winter), Jenny Brown (Summer)		
キーワード		科目概要				
Comics, graphic novels, literacy, narration, dialogue, character		Comics and graphic novels are popular for a reason. Through images they tell exciting stories; their pictures offer clues to interpret what we read, and their action-packed pages keep us reading. This genre of literature is vast and exciting, offering many opportunities for discovery of culture and language. In “Exploring English through Comics and Graphic Novels”, you will learn English through reading and discussing the popular literary form of comics and graphic novels. You will work to interpret visual symbols and vocabulary in comics to improve English reading, writing, listening and speaking skills. You will also create your own comics.				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
N/A		①Shhhh!, Jason ②KTC comic library ③class handouts		科目：上級英語 I		
評価方法						
評価項目	Classwork	Participation	Projects		評価	学期の割合
春学期	30	30	40		100	2/6
夏学期	30	30	40		100	1/6
秋学期	30	30	40		100	1.5/6
冬学期	30	30	40		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> • Students will be evaluated on the accuracy and completion of class handouts and participation in class activities. • Students will be evaluated using a participation rubric. • Students will be evaluated using project rubrics. 					
受講上のアドバイス						
<p>Read! Read! Read! Find comics you love and that are at a level that’s good for you and read them. Think about what you read. Think about characters, stories and problems. Write as much as you can about what you read and what you think about it.</p> <p>Speak English as much as you can. This is an Advanced English class and that means you should be using all the English you can and always try to use more!</p> <p>Share ideas freely. Speak up in class when you don’t understand or to answer questions. Don’t be afraid of drawing and writing. Your own comics tell stories no matter what the art looks like!</p>						
科目の達成目標						
①	Students will be able to create original comic books					
②	Students will be able to read, discuss and critique comic books					
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		KTC 31-103				
オフィスアワー		Wednesday, 3:00 – 5:00				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to ...	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検	
春学期	第1, 2回	Orientation	Complete a comic jigsaw, quiz and questionnaires; understand the class syllabus and goals;	Reflect on class syllabus and goals, identify spots where you are likely to have problems and how to solve them	15	
	第3, 4回	Comic Characters & Journals	Create a comic profile; Make and learn about comic journals	Think about what makes a good comic character	15	
				Think about your original comic character and how they would approach certain situations	15	
	第5, 6回	Comic Journals & Formats	Write an entry in your journal; Review a classmate's entry; understand comic vocabulary	Think about how your character would approach certain situations and reflect on the differences	15	
				Describe a comic book page using comic book vocabulary	15	
	第7, 8回	Comic Talk & "Make - A - Title"	Summarize comic strips in order to make a good title for the story	Review comic elements	15	
				Reflect on what makes a good summary	15	
	第9, 10回	Sequencing & Predicting: "Add - A - Panel"	Expand a comic by adding a panel that fits the story	Brainstorm ideas for a specific situation	15	
				Reflect on the challenges of writing for a specific situation	15	
	第11, 12回	Comic Writing: "Fill - It - Up"	Write their own text for a drawn comic	Brainstorm ideas for how you would approach a specific situation	15	
				Think about how you would approach certain situations and how it differs from comic character	15	
	第13, 14回	Comic Character Interviews	Write narrative for a comic book character that is true to the character	Think about how your character would approach certain situations	15	
Reflect on the differences between you and your character				15		
第15, 16回	Comic Character Interviews	Complete an interview in the role of their comic character	Practice speaking as your character	15		
			Reflect (again) on the differences between you and your character, have you discovered any new differences?	15		
第17, 18回	Comic Character Comic	Begin a short comic strip based on their own original character	Think about your character in an unusual situation	15		
			Identify and reflect on problems you are having with your comic strip	15		
第19, 20回	Comic Character Comic	Complete comic strip	Talk about problems you are having with your comic strip with classmates and get their feedback	15		

				Reflect on how you solved the problems	15		
夏 学 期	第1, 2回	Kanazawa Comic 1	(as a class) Research facts and images about a famous place in Kanazawa and then use this research to write a comic script about that place.	Think about how you have written for character and how it will differ from writing for place	15		
				Identify and reflect on problems you are having with your Kanazawa comic	15		
	第3, 4回	Kanazawa Comic 1	Assemble their research and writing in comic book form.	Talk about problems you are having with your Kanazawa comic with classmates and get their feedback	15		
				Reflect on the challenges of creating a comic book as a member of a group	15		
	第5, 6回	Kanazawa Comic 2	(as an individual) Research facts and images about a famous place in Kanazawa and then use this research to write a comic script about that place.	Identify potential trouble spots and how you will solve them in creating in your own comic book	15		
				Reflect on the challenges of creating a comic book alone so far	15		
	第7, 8回	Kanazawa Comic 2	Assemble their research and writing in comic book form.	Talk about problems you are having with your Kanazawa comic with classmates and get their feedback	15		
				Reflect on the comic book you created and how you can improve it	15		
	第9, 10回	Kanazawa Comic 2	Edit and comment on their comic books	Talk about your Kanazawa comic with classmates and get their feedback	15		
				Reflect on the challenges of creating a comic book alone	15		
秋 学 期	第1, 2回	Writing Narration 1	Write narration for selected wordless comic strips	Think about what your favorite comic character says and their actions	15		
				Reflect on the challenges of creating and writing narration	15		
	第3, 4回	Writing Narration 2 Preview <i>Shhhh!</i>	Write narration for a wordless comic; Understand key vocabulary for <i>Shhhh!</i>	Think about what your favorite character would say and do in certain situations	15		
				Review key <i>Shhhh!</i> vocabulary	15		
	第5, 6回	Wordless Comics: <i>Shhhh!</i>	Discuss and begin scripting their narration for their version of <i>Shhhh!</i>	“Read” the Wordless Comic: <i>Shhhh!</i> ;	15		
				Review the vocabulary list for <i>Shhhh!</i>	15		
	第7, 8回	Wordless Comics: <i>Shhhh!</i>	Collaborate with classmates to complete a basic script for <i>Shhhh!</i>	Complete a crossword puzzle to review words for <i>Shhhh!</i>	15		
				Read your comic.	15		
	第9, 10回	Wordless Comics: <i>Shhhh!</i>	Continue scripting, working to add descriptive details	Make a list of feeling and describing words you know.	15		
				Read your comic.	15		
	第11, 12回	Wordless Comics: <i>Shhhh!</i>	Complete scripting; Review grammar and pronunciation; Rehearse narration	Look for adjectives and feeling words in your comic. Add them to your list.	15		
				Read your comic.	15		
第13, 14回	Wordless Comics: <i>Shhhh!</i>	Record verbal narration of <i>Shhhh!</i>	Prepare a comic journal entry.	15			
			Compare <i>Shhhh!</i> to other comics you’ve read so far. Watch <i>Shhhh!</i> Animation	15			

冬学期	第1, 2回	Folk Tale 1	Read a Japanese folk tale in English	Think about your Japanese favorite folktale and character from folklore	15
				Reflect on the folktales and characters; What makes them good stories and characters	15
	第3, 4回	Folk Tale 2	Discuss the folk tale and how it would look in the present day	Think about the differences between old Japan and present day Japan	15
				Think about what would be a good folktale to update and what would be a good team	15
	第5, 6回	Comics Scratch from	Determine production teams and topics; Complete a “Narrative Template” with your comic production team	Think about how your folktale would look in modern times.	15
				Read your comic.	15
	第7, 8回	Comics Scratch from	Plot the story and begin scripting the story; Turn in draft	Reread your folktale. What’s the moral/lesson?	15
				Read your comic.	15
	第9, 10回	Comics Scratch from	Finish scripting the story and begin penciling; Correct grammar and spelling with the teacher; Complete title page	Note ideas for script in your comic.	15
				Read your comic.	15
	第11, 12回	Comics Scratch from	Complete penciling; Add narration and dialogue to pages	Prepare a comic journal entry. Does this story have a moral/lesson? What is it?	15
				Check your script to fix and add detail.	15
	第13, 14回	Comics Scratch from	Ink and color the pencil draft	Review the script again.	15
				Read the finished comics of your classmates.	15
	第15, 16回	Conclusion	Discuss the projects from this year. What made them successful or unsuccessful	Think about what you’ve learned and done this year.	15
Reflect on your reading and vocabulary growth. Choose a comic book to read in the coming year				15	

点検(自己評価): よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
Advanced English II Computers (上級英語 I I ・ コンピュータ)				グローバル情報工学科 5年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Elective	履修 2	All year	Lecture	Akihiro Tsuda(Spring, Summer, Fall, Winter) Nicholas Duff(Spring)		
キーワード		科目概要				
Computer fluency Word Programs Presentation		In this course, students will develop both computer and English skills in tandem through computer-based tasks. These tasks primarily involve the use of programs such as Excel, Word, and PowerPoint (PPT).				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
None		Instructor designed handouts Electronic documents Online resources		科目：上級英語 I		
評価方法						
評価項目	Projects	Tests	Participation		評価	学期の割合
春学期	70	20	10		100	2/6
夏学期	70	20	10		100	1/6
秋学期	70	20	10		100	1.5/6
冬学期	70	20	10		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> • Students will be graded on the completion and accuracy of computer-based projects and activities. These activities will be monitored during class time and reviewed for scoring once submitted. • Tests will require students to complete a specific set of computer-based tasks to demonstrate their computer competency in English. Tests will be submitted electronically for teacher evaluation and feedback. • Students' attitude, attendance, punctuality, and in-class performance will be scored on a rubric to determine the final participation grade. 					
受講上のアドバイス						
<p>Arrive to class on time and prepared. Students are expected to use the English operating system at all times. Ask questions when you don't understand instructions or coursework. Help and work well with your classmates when possible.</p> <p>If absent, see the teacher as soon as you return for make-up work.</p>						
科目の達成目標						
①	Improve the speed and accuracy of touch typing skills in English.					
②	Use English to present and format PPT, Excel, and Word documents with in-program tools and functions.					
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		KTC 31-103				
オフィスアワー		Monday 16:00 - 17:00				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to:	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検	
春学期	第1,2回	Syllabus and Introductions	Introduce themselves and understand the course expectations.	-	-	
			Re-read the syllabus.	10		
	第3,4回	Excel	Name the basic features of Excel in English; Record data and insert graphics in Excel.	Think of questions you may have concerning the syllabus.	5	
				Review Excel vocabulary.	15	
	第5,6回	Excel	Use conditional formatting in Excel to create a short test.	Review Excel vocabulary.	15	
				Think of your important tasks, chores, or goals.	5	
	第7,8回	Excel	Make an advanced TO-DO list with tables and charts.	Decide your top 10 most important tasks this month.	10	
				Brainstorm important dates for you this calendar year.	5	
	第9,10回	Excel	Create a calendar in Excel with date and time functions.	Decide 10 important dates/times that occur this month.	10	
				Review the Excel skills used in today's class.	5	
	第11,12回	Excel	Collect, analyze, and make predictions about given data.	Think of questions you may have about today's Excel skills.	5	
				Study Excel vocabulary.	15	
	第13,14回	Excel	Use formatting features to organize and plot information.	Study Excel vocabulary.	15	
				Think about your expenses. How much do you spend in a month?	10	
	第15,16回	Excel	Produce an expenses chart to track and manage finances using analytical add-ins.	Create a list of your monthly expenses and savings.	10	
				Review the Excel skills used in today's class.	5	
	第17,18回	Excel	Revisit and remember previously learned Excel skills.	Think of questions you may have concerning Excel skills.	5	
				Review Excel skills.	15	
第19,20回	Unit Test	Demonstrate Excel skills.	Review Excel skills.	15		
			-	-		
夏学期	第1,2回	Word	Understand the expectations and goals of the Kanazawa Restaurant Review project.	Brainstorm your favorite restaurants in Kanazawa.	-	
			Study Word vocabulary.	15		
	第3,4回	Word	Research and take notes on a popular Kanazawa restaurant.	Study Word vocabulary.	15	
				Visit, eat at, and takes notes on a Kanazawa restaurant.	45	
	第5,6回	Word	Type notes and organize the layout of a restaurant guide.	Look at restaurant review guides for design inspiration.	10	
				Think about the organization of your restaurant guide.	5	
	第7,8回	Word	Make corrections to and finish formatting a restaurant guide.	Review the Word skills used in class.	5	

				Make final edits or additions to your restaurant guide.	10	
	第9, 10回	Word	Edit and present a restaurant guide.	Practice presenting your restaurant guide out loud.	10	
				-	-	
秋 学 期	第1, 2回	PowerPoint	Understand PPT Music Project Expectations and goals.	-		
				Study PPT vocabulary and choose an English song.	15	
	第3, 4回	PowerPoint	Research, write questions, and take notes on an English song.	Study PPT vocabulary.	15	
				Review PPT notes. Think of any questions you may have concerning the project.	10	
	第5, 6回	PowerPoint	Create and format a PPT using multi-media and in-program tools.	Reflect on how you want to organize your PPT.	10	
				Think about how you plan to present the PPT project.	10	
	第7, 8回	PowerPoint	Review and present a PPT about music.	Practice presenting your Music PowerPoint out loud.	10	
				Brainstorm important goals in your life. What's your dream?	10	
	第9, 10回	PowerPoint	Use animation, hyperlinks, and embedded media in PPT.	Write 10 life goals.	10	
				Review the PPT skills used in today's class.	5	
	第11, 12回	PowerPoint	Review and delete comments in PPT; Present a PPT project.	Edit or make additions to your PPT project.	15	
				Review PPT skills.	15	
	第13, 14回	Unit Test	Demonstrate PPT skills.	Review PPT skills.	15	
				-	-	
冬 学 期	第1, 2回	Word	Understand the expectations and goals of the KTC Campus Guide project.	Think about your favorite programs and parts of the KTC Campus.	10	
				Study Unit vocabulary.	15	
	第3, 4回	Word	Research and take notes about KTC's faculties and features.	Study Unit vocabulary.	15	
				Visit and take pictures /notes on a program or part of KTC.	20	
	第5, 6回	Word	Type notes and organize the layout of the KTC Campus guide.	Reflect on how you want to organize your KTC guide.	5	
				Review the Word skills needed for the current project.	5	
	第7, 8回	Word	Accept and reject suggested corrections in Word; Finish formatting KTC Campus guide.	Think of any questions or concerns you may have about formatting and organizing your KTC Campus Guide.	5	
				Make final edits or additions to your KTC Campus Guide.	15	
	第9, 10回	Word	Use presentation skills to share the KTC Campus Guide.	Practice presenting your KTC guide out loud.	10	
				Reflect on your presentation. What went well? What points would you like to improve on?	10	
	第11, 12回	Integrated Project	Use Excel, Word, and PPT together to complete an	Think about which computer tasks have you enjoyed most.	5	

		integrated computer skills project in English.	Determine specific computer skills that you still find challenging or want to review.	10	
第13, 14回	Integrated Project		Think of any questions or concerns you may have about the Integrated Project.	10	
			Complete the computer proficiency <i>can do</i> checklist.	10	
第15, 16回	Integrated Project		Reflect on this course: are there any skills or tasks that you want to add? Which projects and skills would you recommend?	10	
			-		

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
Advanced English II (Conversation) (上級英語II(会話))				グローバル情報工学科 5年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Elective	履修 2	All year	Lecture	Sarah Lubold (Spring, Fall, Winter) Ali Jumaah (Summer, Fall, Winter)		
キーワード		科目概要				
conversation, opinions, extensive speaking, debate, small talk, communication skills, follow-up questions, body language, speaking fluency		Advanced English Conversation 2 will provide students with the opportunity to extend the speaking and listening they developed in AEC 1 English engaging real-world and debate-style, opinion-focused activities. Students will be asked to share their experiences, opinions and ideas with each other on a variety of topics in a variety of ways to improve fluency and confidence.				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
① <i>Impact Issues 3</i> , Day, Shaules, and Yamanaka, Pearson/Longman		① <i>Impact Issues 3</i> Self-study CD ② www.impactseries.com ③ Class papers ④ Internet resources		科目: 上級英語I		
評価方法						
評価項目	Tests/Quizzes/Projects	Classwork	Participation		評価	学期の割合
春学期	25	40	35		100	2/6
夏学期	25	40	35		100	1/6
秋学期	25	40	35		100	1.5/6
冬学期	25	40	35		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> • Rubric-based assessment speaking and listening tasks; vocabulary quizzes • Class worksheets, book work, partner conversations, video/media guides • Class attitude, respect for different opinions, task engagement, time management, use of resources 					
受講上のアドバイス						
<ol style="list-style-type: none"> 1) Come to class with a good attitude: say "hello" and "good-bye" to classmates and teachers, make eye contact, smile, relax, think about how much you can learn when you are positive. 2) Come to class prepared: bring your book, binder, your pencil. 3) Be open to trying new things, taking risks, working with new partners, and being uncomfortable. 4) <i>Remember that nervousness won't hurt you. You can learn to relax in stressful speaking contexts through practice, self-talk and visualization.</i> 5) Ask questions and communicate in English with the teacher when you aren't sure about vocabulary or goals: <i>What do you mean? What's this? How do you say...in English? What should I do? I don't understand.</i> 6) Be supportive of others' efforts and opinions. Be a good listener and learn to speak your mind in English with confidence and compassion! 						
科目の達成目標						
①	Students will be able to apply their growing knowledge of conversation strategies, apply tools for persevering during stressful speaking situations, and develop confidence in expressing their opinion of current events topics in English.					
②	Students will be able to demonstrate an understanding of fundamental verbal and physical communication skills through the development of spoken and kinesthetic features.					
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		31.103				
オフィスアワー		Mondays 4-5				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to...	授業の学習課題 (上段: 予習・下段: 復習)	時間 #of minutes for each class	点検
春学期	第1~2回	Introduction; Extensive Speaking	Review the syllabus, brainstorm opinion language; practice giving opinions; record first partner conversation	--	
				Review the syllabus and bring questions and materials to class.	15
	第3~4回	Unit 1: Cosmetic Surgery	Complete textbook pages 10-13; discuss and expand; Record second partner conversation	Reflect on first conversation with partner – what do you want to improve in your casual speaking?	15
				Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15
	第5~6回	Unit 2: Friends or Lovers?	Complete textbook pages 14-17; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15
				Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15
	第7~8回	Unit 3: I Don't Care	Complete textbook pages 18-21; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15
				Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15
	第9~10回	Extension: Environmental Issues and Opinions	Further explore topics of waste, endangered species, and world water/energy shortages; record conversation with partner	Brainstorm environmental problems, and some notes on how to help solve them.	15
				Watch a <i>TEDTalk</i> on an environmental topic of your choice. How does it change your understanding?	15
	第11~12回	Unit 4: Rules, Rules, Rules	Complete textbook pages 22-25; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15
				Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15
	第13~14回	Unit 5: Plagiarism	Complete textbook pages 26-29; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15
				Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15
第15~16回	Unit 6: Housework	Complete textbook pages 30-33; discuss and expand; record conversation with partner	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
第17~18回	Unit 7: The Unborn Child	Complete textbook pages 34-37; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	

第19~20回	Unit 8: Earning Money	Complete textbook 38-41; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
第1~2回	Unit 9: Body Art	Complete textbook pages 42-45; discuss and expand; record conversation with partner	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
第3~4回	Unit 10: Adult Children	Complete textbook pages 46-49; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
第5~6回	Unit 11: Naomi's Dilemma	Complete textbook pages 50-53; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
第7~8回	Unit 12: No Place Like Home	Complete textbook pages 54-57; discuss and expand; record conversation with partner	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
第9~10回	Unit 13: Career Choice	Complete textbook pages 58-61; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
第1~2回	Review Units 1-13	Use the topics from Units 1-13 to review expressions for sharing opinions and conversation	Practice forming opinion sentences for your ideas from Units 1-13.	15	
			Reflect on your ability to give and listen to information and opinions in English.	15	
第3~4回	Unit 14: Save Our Country	Complete textbook pages 62-65; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
第5~6回	Unit 15: High-tech Toys	Complete textbook pages 66-69; discuss and expand; record conversation with partner	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
第7~8回	Unit 16: A Woman's Place	Complete textbook pages 70-73; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	

夏
学
期

秋
学
期

			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15		
第9~10回	Erin Brokovich: Part 1	Watch first half of movie, and respond via comprehension/discussion guide	Watch a trailer of Erin Brokovich. What do you think the issues will be in this film?	15		
			Finish your comprehension/discussion guide.	15		
第11~12回	Erin Brokovich: Part 2	Watch first half of movie, and respond via comprehension/discussion guide; record reaction conversation with partner	Make a prediction – what will happen in the second half of the film? Brainstorm ideas for your partner conversation.	15		
			Finish your comprehension/discussion guide.	15		
第13~14回	Unit 17: The Art of Compromise	Complete textbook pages 74-77; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15		
			Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15		
冬学期	第1~2回	Unit 18: Can War make Love?	Complete textbook pages 78-81; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
				Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
	第3~4回	Unit 19: One-sided Love	Complete textbook pages 82-85; discussion; discuss and expand; conversation with partner	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
				Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
	第5~6回	Unit 20: My Split Family	Complete textbook pages 86-89; discuss and expand	Preview the reading on page one of this unit. Circle any vocabulary that you don't understand.	15	
				Visit www.impactseries.com and read other opinions on today's topic.	15	
	第7~8回	Introduction to Debate	Focus on the form and style of debate speaking; Michael Sandel's <i>The Lost Art of Democratic Debate</i> ; choose topics	Pre-watch Michael Sandel's <i>The Lost Art of Democratic Debate</i> and reflect.	20	
				Watch a <i>TEDTalk</i> debate of your choice, and write a note of the two different positions.	15	
	第9~10回	Debate Research and Preparation	Research topic and positions for class debate	Continue to develop your debate position.	15	
				Practice speaking your position as an opinion, then as a fact.	15	
	第11~12回	Debate Preparation and Practice	Prepare spoken positions for debate; Practice with your team	Review the different positions in your group's debate and look for weak points.	15	
				Practice speaking your position with confidence and a strong voice.	15	
	第13~14回	Debate Presentations	Present debate using opinion and fact delivery communication skills from this course	Reflect on your strategies for staying calm and relaxed during a public speaking situation.	15	
				Reflect on your speaking and how well you were able to stay calm during the debate presentation.	15	

第15~16回	Conclusion and Closing	Review and reflect upon themes and skills from the year; complete student questionnaire; record final partner conversation	Prepare some ideas for your final conversation with your partner.	15	
			Reflect on your ability to speak your own opinion and converse with others in English.	15	

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
英語資格技術				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	学修2	通年	講義	大原しのぶ			
キーワード		科目概要					
語順、リスニング、TOEIC、実用英検、工業英検、センター試験、観光英検		TOEICをはじめとして、実用英検、工業英検、センター試験、観光英検などさまざまな形式の資格試験から問題を抜粋し、語順に注目しながら違ったテスト形式の問題を解くことで英語力を向上させることを目的とする。また、学修科目なので、課題となるリスニングの問題を通してリスニング向上も目指す。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「徹底対策TOEIC TESTリスニング」、山下光洋・村松美映子・Peter Keyes・Wayne I Phippip, 鶴見書店		①「徹底対策TOEIC TESTリスニング」、山下光洋・村松美映子・Peter Keyes・Wayne I Phippip, 鶴見書店		資格：TOEIC, 工業英検、実用英検、センター試験、観光英検			
評価方法 (%)							
評価項目	定期試験	宿題	小テスト	授業態度		計	学年評価に対する割合
春学期	50	30	15	5		100	33%
夏学期	50	30	15	5		100	17%
秋学期	50	30	15	5		100	25%
冬学期	50	30	15	5		100	25%
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	定期試験：学習した内容のリーディング、文法、単熟語をその範囲とし、リスニングは含まない。 小テスト：各単元終了後に行われる文法小テストや単熟語の小テスト 宿題：学修の科目なので授業1時間に対して各1時間の予習・復習を必要とする。この予復習をリスニングの課題や次回の授業の予習プリントの形で宿題とし、授業の2日前に提出する。 授業態度：忘れ物も含み5%以上の減点もある。						
受講上のアドバイス							
本講義は学修単位であるため授業1時間に対して2時間分の予復習を必要とします。この予復習を課題の形で宿題として課し、これを怠ると単位が認められないことがあります。それ以上に、宿題を丁寧に授業に臨むのとそうでないのでは、授業の理解度、TOEICなどの資格試験の点数の伸びが全く違ってきますので、宿題は必ず丁寧に、年度末に年間の総合学習時間が分かるよう所定の用紙に時間数を記入して下さい。							
科目の達成目標							
①	リスニングの宿題をすることにより以前より英語を聞きとれるようになる						
②	英文の語順を理解できる						
③	TOEICの点数がすこしでも伸びる						
④	実用英検準2級に合格できる力がついたらと思いますか						
⑤	工業英検4級に合格できる力をつける						
⑥	毎週出される宿題に対して真面目に取り組む						
関連する本校の学習・教育目標		国際性					
問い合わせ・質問先		1階103室 (1階教員室)					
オフィスアワー		木曜日8限目					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 (上段：予習・下段：復習)	時間 (分/回)	点検	
春学期	第1回	授業概要の説明	どのように受講するか、どのように宿題をするか理解する 学習支援計画書の内容の確認	15		
	第2回	語順	英語の語順を理解する	Word Orderのハンドアウト、リスニングの宿題	50	
				学習した文法事項と単語の意味の確認	50	
	第3回	TOEIC Bridgeの文法練習問題	TOEIC Bridgeの文法の問題に慣れる	TOEIC Bridgeの文法問題、リスニングの宿題	50	
				学習した文法事項と単語の意味の確認	505	
	第4回		品詞（動詞、副詞、形容詞、名詞）の違いを理解する	品詞に関するハンドアウト、リスニングの宿題	50	
				学習した文法事項と単語の意味の確認	50	
	第5回	TOEICの文法練習問題	時制(tense)と相(aspect)を理解する	時制と相に関するハンドアウト、リスニングの宿題	50	
				学習した文法事項と単語の意味の確認	50	
	第6回		過去分詞と現在分詞を理解する	過去分詞と現在分詞のハンドアウト、リスニングの宿題	50	
学習した文法事項と単語の意味の確認				50		
第7回		出題されている単熟語を習得する	単熟語のハンドアウト、リスニングの宿題	50		
			学習した文法事項と単語の意味の確認	50		
第8回	実用英検準2級・2級文法問題	既習の文法事項を駆使し回答することで実用英検の文法パートに慣れる	実用英検準2級の過去問題	50		
			学習した文法事項と単語の意味の確認	50		
第9回	文法総復習	既習の文法事項を理解、習得したかの確認	春学期定期試験の復習プリント	50		
			復習内容の確認	50		
	定期試験					
第10回	自己点検	答案の返却・解説および自己点検する	試験で間違えたところをを再度見直す	50		
夏学期	第1回		語順に注目しながらパートIの英文の意味を正しく把握する	工業英検4級の過去問題	50	
			学習した内容の確認	50		
	第2回	工業英検4級・3級	語順に注目しながらパートIIIの英文の意味を正しく把握する	パートIIIのハンドアウト、リスニングの宿題	50	
				学習した内容の確認	50	
	第3回		語順に注目しながらパートVIの英文の意味を正しく把握する	パートIVのハンドアウト、リスニングの宿題	50	
				学習した内容の確認	50	
第4回		語順に注目しながらパートV, VIの英文の意味を正しく把握する	パートV, VIのハンドアウト、リスニングの宿題	50		
			学習した内容の確認	50		
第5回	工業英検総復習	工業英検に関して既習事項を理解、習得したかの確認	夏学期定期試験の復習プリント	50		
			復習内容の確認	50		
	定期試験					

秋学期	第1回	TOEIC Bridgeの講読問題	TOEIC Bridgeの講読問題に慣れる	TOEIC Bridgeの講読問題、リスニングの宿題	50
				学習した内容の確認	50
	第2回	TOEICの講読問題	TOEICの講読問題に慣れる	TOEICの講読問題、リスニングの宿題	50
				学習した内容の確認	50
	第3-4回		TOEICの講読問題の問題を解くテクニックを習得する	TOEICの講読問題、リスニングの宿題	各50
				学習した内容の確認	各50
	第5回	実用英検準2級の講読	語順に注目しながら問題の意味を正しく把握する	実用英検準2級の講読、リスニングの宿題	50
			学習した内容の確認	50	
第6回	実用英検2級の講読	語順に注目しながら問題の意味を正しく把握する	実用英検2級の講読、リスニングの宿題	50	
			学習した内容の確認	50	
第7回	講読に関して総復習	講読の問題を解くテクニックを理解、習得したかの確認	秋学期定期試験の復習プリント	50	
			復習内容の確認	50	
	定期試験				
冬学期	第1回	自己点検	答案の返却・解説および自己点検する	試験で間違えたところをを再度見直す	50
	第2回	センター試験	センター試験のリスニングの問題に慣れる	センター試験の過去問題	50
				学習した内容の確認	50
	第3回		センター試験の問題8～20のパートの解き方を理解する	センター試験の8～20の問題に関するハンドアウト	50
				学習した内容の確認	50
	第4回		センター試験の英作パートを理解し正しく英作できる	センター試験の英作パートのハンドアウト	50
			学習した内容の確認	50	
	第5回	センター試験の問題27～31のパートの解き方を理解する	センター試験の問題27～31の問題に関するハンドアウト	50	
			学習した内容の確認	50	
	第6回	観光英検3級	観光英検の問題に慣れる	観光英検3級の過去問題	50
			学習した内容の確認	50	
第7回		観光英検のパート3と4の解き方を理解する	観光英検パート3と4に関するハンドアウト	50	
			学習した内容の確認	50	
第8回	センター試験、観光英検の既習部分の総復習	冬学期既習事項を理解しているか確認する	冬学期定期試験の復習プリント	50	
			復習内容の確認	50	
	定期試験				

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
情報数学Ⅱ				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	坂倉忠和			
キーワード		科目概要					
グラフ理論、ゲーム理論、線形計画法、マルコフ連鎖、待ち行列		実社会では主観的な判断ではなく、客観的データに基づく合理的な判断が望まれる。このような判断を行うためには種々の事象をモデル化し、定量化する必要がある。本科目では情報工学に深く関連する数学的分野について、その概要を学び、将来、必要に応じてさらに深く学ぶことが出来る力を養成する。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
原則として毎授業時にプリントを配布する。			①「ORのはなし」, 大村平, 日科技連出版社		科目: 情報数学Ⅰ、情報システムⅡ 資格: なし		
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	課題・宿題				計	学年評価に対する割合
春学期	80	20				100	35
夏学期	80	20				100	15
秋学期	80	20				100	25
冬学期	80	20				100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	定期試験は各学期末に実施する。演習に対して、積極的に取り組むことが前提となっているため、取り組みに関する評価項目を設定しない。そのような取り組み姿勢が見られない場合には、全体の評価から減点する。課題や宿題においてコピーなどの不正が発覚した場合には、全体の評価の評価から大幅に減点する。また、自学自習を目的として、授業の設定水準よりも高度な自由課題を出すことがある。これらに取り組んだ場合には全体の評価に加点する。						
受講上のアドバイス							
① 授業用のノートを準備し、復習しやすいように丁寧に書くこと。 ② 演習問題には必ず納得するまで取り組むこと。 ③ 宿題は必ず実行し次の時間に提出すること。 ④ 質問は遠慮なくすること。							
科目の達成目標							
①	グラフ理論の基本的な問題を理解できる。						
②	意思決定理論の基本的な問題を理解できる。						
③	ゲーム理論の基本的な問題を理解できる。						
④	簡単な線形計画法の問題をシンプレックス法で解ける。						
⑤	マルコフ連鎖の定常分布を計算できるようになる。						
⑥	ケンドールの記号を使って、待ち行列のモデルを分類できるようになる。						
関連する本校の学習・教育目標	専門力, 創造性						
問い合わせ・質問先	2階206室						
オフィスアワー	火曜日16:30~17:30						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検	
春学期	第1~2回	集合論	集合論における基礎的な概念を理解できる。	—	15	
			ノートを整理する。			
	第3~4回	グラフ理論	グラフの定義が理解できる。	講義資料No.02を熟読する。	15	
			ノートを整理する。		15	
	第5~6回		グラフの基礎概念を理解できる。	講義資料No.03を熟読する。	15	
			ノートを整理する。		15	
	第7~8回		オイラーグラフとハミルトングラフの概要が分かる。	講義資料No.04を熟読する。	15	
			ノートを整理する。		15	
	第9~10回	平面的グラフに関する基本的な問題を理解できる。	講義資料No.05を熟読する。	15		
		ノートを整理する。		15		
	第11~12回	最小全域木に関する基本的な問題を理解できる。	講義資料No.06を熟読する。	15		
		ノートを整理する。		15		
	第13~14回	意思決定理論	簡単な意思決定問題が理解できる。	講義資料No.07を熟読する。	15	
	第15~16回		不確実性の下での意思決定が理解できる。	講義資料No.08を熟読する。	15	
			ノートを整理する。		15	
	第17~18回	総合演習(1)	第1回から第16回までの内容を定着させる。	— 春学期の演習問題を復習する。	60	
	定期試験					
第19~20回	ゲーム理論	2人定和ゲームが理解できる。	講義資料No.10を熟読する。	15		
			ノートを整理する。			15
夏学期	第1~2回	ゲーム理論	混合戦略が理解できる。	講義資料No.11を熟読する。	15	
			ノートを整理する。		15	
	第3~4回		2人非定和ゲームが理解できる。	講義資料No.12を熟読する。	15	
			ノートを整理する。		15	
	第5~6回	線形計画法	線形計画法の概要が分かる。	講義資料No.13を熟読する。	15	
			ノートを整理する。		15	
	第7~8回		シンプレックス法(フェーズII)が理解できる。	講義資料No.14を熟読する。	15	
			ノートを整理する。		15	
	第9~10回	総合演習(2)	第1回から第8回までの内容を定着させる。	— 夏学期の演習問題を復習する。	60	
		定期試験				

秋学期	第1～2回	線形計画法	シンプレックス表を作成できる。	講義資料No. 16を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第3～4回		シンプレックス法（フェーズⅠ）が理解できる。	講義資料No. 17を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第5～6回		線形計画法の応用問題が理解できる。	講義資料No. 18を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第7～8回	マルコフ連鎖	ランダムウォークが分かる。	講義資料No. 19を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第9～10回		定常分布を計算できる。	講義資料No. 20を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
第11～12回		マルコフ連鎖の用語が理解できる。	講義資料No. 21を熟読する。	15		
			ノートを整理する。	15		
第13～14回	総合演習（3）	第1回から第12回までの内容を定着させる。	—			
			秋学期の演習問題を復習する。	60		
	定期試験					
冬学期	第1～2回	マルコフ連鎖	吸収的マルコフ連鎖が理解できる。	講義資料No. 23を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第3～4回		定常分布と詳細均衡式から推移確率行列を構成できる。	講義資料No. 24を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第5～6回	待ち行列	待ち行列の考え方が分かる。	講義資料No. 25を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第7～8回		ケンドールの記号が理解できる。	講義資料No. 26を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第9～10回		M/M/1モデルの解が理解できる。	講義資料No. 27を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
第11～12回	M/Ek/1モデルの解が理解できる。	講義資料No. 28を熟読する。	15			
			ノートを整理する。	15		
第13～14回		待ち行列の応用問題が理解できる。	講義資料No. 29を熟読する。	15		
			ノートを整理する。	15		
第15～16回	総合演習（4）	第1回から第14回までの内容を定着させる。	—			
			冬学期の演習問題を復習する。	60		
	定期試験					

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
システム制御Ⅱ				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	田村景明			
キーワード		科目概要					
シーケンス制御, フィードバック制御, ロボット制御, モータ制御, arduino		システム制御Ⅰの授業内容を基礎として, シーケンス制御, フィードバックシステムの制御について学ぶ。また, 理解を深めるためarduinoマイコンを利用した車型ロボットの制御実験を行う。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「メカトロニクス概論1」, 舟橋宏明, 実教出版 ②配付資料		①「メカトロニクス入門」, 舟橋宏明, 岩附信行, 実教出版		科目: システム制御Ⅰ 資格: 組込みソフトウェア技術者試験			
評価方法							(%)
評価項目	課題	報告書	小テスト			計	学年評価に対する割合
春学期	30	20	50			100	25
夏学期	30	20	50			100	25
秋学期	30	20	50			100	25
冬学期	30	20	50			100	25
学年評価(評価は春, 夏, 秋, 冬で行い, 通知表は春, 夏, 秋, 学年評価示す。)							100
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・春夏学期の期間はアンバランスのため, 春学期は8週, 夏学期は7週として考える。 ・小テストは理解度確認のためであり, 年間10回程度行う。 ・学生便覧に記載された出席扱いの場合, 小テストの追試験を実施する。 ・授業は実験を中心とし, 2, 3人のグループ単位で実験室にて行う。 ・各学期, 欠課1回(50分), 遅刻, 早退1回につき, 評価項目に関係なくそれぞれ4点減点する。 ・学生便覧の諸規則を全うしない学生について, 注意しても改善が見られない場合は, 評価項目に関係なく減点する。 ・減点事項について, 特別な理由がある場合, 校長の指示に従う。 						
受講上のアドバイス							
<ul style="list-style-type: none"> ・減点項目のため点数不足により不合格となる場合もあることを自覚する。 ・実験はグループ内の者と協力して行うこと。 ・報告書は年間数回にわたり指定された内容をまとめ, 提出する。 ・実験結果を記録する手書きノートも用意するとよい。 							
科目の達成目標							
①	ポートを理解できる。						
②	機械の機構と運動の伝達のしくみを理解できる。						
③	シーケンス制御を理解できる。						
④	フィードバック制御を理解できる。						
⑤	PID制御を理解できる。						
⑥	自動走行ロボットを制御できる。						
関連する本校の学習・教育目標	専門力						
問い合わせ・質問先	31号館210号室						
オフィスアワー	16:30~17:30						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検
春学期	第1～2回	ガイダンス	授業内容の概要を理解できる。	—	
				授業内容を理解する。	15分
	第3～4回	ポート入出力 (1)	ポート入出力を理解できる。	教pp. 123-126, 配付資料を熟読する。	15分
				ポート入出力を理解する。	15分
	第5～6回	ポート入出力 (2)	実際のプログラムによるポート入出力を理解できる。	教pp. 126-132, 配付資料を熟読する。	15分
				プログラム表現を理解する。	15分
	第7～8回	ポート入出力 (報告書作成)	ポート入出力に関する内容をまとめ、報告書を作成できる。	資料を整理する。	15分
				報告書を作成する。	120分
	第9～10回	機械の機構と運動	機械の機構と運動を理解できる。	教pp. 186-194熟読する。	15分
				機械の機構と運動を理解する。	15分
第11～12回	力の伝動	力の伝動要素を理解できる。	教pp. 195-203	15分	
			力の伝動要素を理解する。	15分	
第13～14回	ねじと歯車	ねじと歯車を理解できる。	教pp. 204-210を熟読する。	15分	
			ねじと歯車を理解する。	15分	
第15～16回	機械系 (報告書作成)	機械系に関する内容をまとめ、報告書を作成できる。	資料を整理する。	15分	
			報告書を作成する。	120分	
第17～18回	ビデオ鑑賞 (報告書作成)	最近のメカトロニクスの話題のビデオから技術動向を調査できる。	—		
			ビデオ鑑賞の報告書を作成	120	
第19～20回	制御	制御について理解できる。	教pp. 136-142を熟読する。	15分	
			制御について理解を深める。	15分	
夏学期	第1～2回	シーケンス制御 (1)	シーケンス図を理解できる。	配布資料を熟読する。	15分
				シーケンス図を理解する。	15分
	第3～4回	シーケンス制御 (2)	保持回路を理解できる。	配布資料を熟読する。	15分
				保持回路を理解する。	15分
	第5～6回	シーケンス制御 (3)	優先回路、タイマ回路等を理解できる。	配布資料を熟読する。	15分
				回路を理解する。	15分
	第7～8回	シーケンス制御 (4)	防犯システムを理解できる。	配布資料を熟読する。	15分
				防犯システムを理解する。	15分
	第9～10回	シーケンス制御 (報告書作成)	シーケンス制御をまとめ、報告書を作成できる。	資料整理	15分
				報告書作成	120分

秋学期	第1~2回	プログラマブルコントローラ (PC) (1)	PCを理解できる。 ラダー図とプログラムを理解できる。	配布資料を熟読する。	15分	
				PCを理解する。	15分	
	第3~4回	プログラマブルコントローラ (PC) (2)	PCによる防犯システムのラダー図とプログラムを理解できる。	配布資料を熟読する。	15分	
				防犯システムを理解する。	15分	
	第5~6回	PC (報告書作成)	PCについてまとめ、報告書を作成できる。	資料整理	15分	
				報告書作成	120分	
	第7~8回	フィードバック制御 (1)	フィードバック制御を理解できる。	配布資料を熟読する。	15分	
				フィードバック制御を理解できる。	15分	
第9~10回	フィードバック制御 (2)	フィードバック制御と微分方程式の関係を理解できる。	配布資料を熟読できる。	15分		
			微分方程式の考え方を理解する。	15分		
第11~12回	PID制御	PID制御について理解できる。	配布資料を熟読する。	15分		
			PID制御を理解する。	15分		
第13~14回	フィードバック制御(報告書作成)	フィードバック制御についてまとめ、報告書を作成できる。	資料整理	15分		
			報告書作成	120分		
冬学期	第1~2回	ロボットの製作 (1)	無限回転サーボモータを理解できる。	配布資料を熟読する。	15分	
				サーボモータ制御を理解する。	15分	
	第3~4回	ロボットの製作 (2)	ロボットを組み立てることができる。	配布資料を熟読する。	15分	
				ハードウェアを完成させる。	15分	
	第5~6回	ロボットの製作 (3)	ロボットの制御プログラムを理解できる。	配布資料を熟読する。	15分	
				制御プログラムを完成させる。	15分	
	第7~8回	ロボットの製作 (4)	超音波センサの基礎実験を理解できる。	配布資料を熟読する。	15分	
				超音波センサを理解する。	15分	
	第9~10回	ロボットの製作 (5)	ON・OFF制御を理解できる。	配布資料を熟読する。	15分	
ON・OFF制御を理解する。				15分		
第11~12回	ロボットの製作 (6)	PID制御を理解できる。	配布資料を熟読する。	15分		
			PID制御を理解する。	15分		
第13~14回	ロボットの製作 (7)	障害物回避行動プログラムの制作	配布資料を熟読する。	15分		
			回避行動プログラムを理解する。	15分		
第15~16回	ロボットの製作 (報告書作成)	ロボット製作について、まとめ、報告書を作成できる。	配布資料を熟読する。	15分		
			報告書の作成	180分		

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
卒業研究				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 6	通年	実技	藤澤 武, 井上恵介, 今澤明男, 竹俣一也, 谷口萌未, 松下 臣人, マシュー・ベイリー, ロバート・ソングー, サラ・ジャクソン			
キーワード		科目概要					
ものづくり、研究、制作、創作、調査、卒業論文		4年次までに情報技術者の基礎となる専門科目を学び、英語によるコミュニケーション能力を育んできた。卒業研究はその集大成である。5年次の科目ともリンクしながら、各自が情報工学の各分野の課題から1つのテーマを選択し、少人数のグループ単位あるいは個人でそのテーマに取り組む。口頭やパネルディスカッションなどによる中間発表、学年末の研究論文の作成、発表などを通じて、取り組んだ結果を明確にする。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
必要に応じて、担当教員より資料の配布を行う。必要に応じて資料を購入しなければならないことがある。			必要に応じて、LCより参考図書を手に入る必要がある。		科目：これまでの科目すべて 資格：特になし		
評価方法							(%)
評価項目	報告会	課題	活動週報	活動態度	出席	計	学年評価に対する割合
春学期	50	15	15	10	10	100	20
夏学期	40	25	15	10	10	100	20
秋学期	50	15	15	10	10	100	30
冬学期	30	35	15	10	10	100	30
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの「報告会」の内訳は以下の通り： <ul style="list-style-type: none"> ・春、秋は予稿17、発表内容17、質疑応答10、発表態度6 ・夏は予稿13、発表内容13、質疑応答9、発表態度5 ・冬は予稿10、発表内容10、質疑応答6、発表態度4 ・学期ごとの「課題」の内訳は以下の通り： <ul style="list-style-type: none"> ・春、秋は進捗状況についてまとめた報告書15 ・夏は進捗状況についてまとめたポスター10、進捗状況についてまとめた報告書15 ・冬は最終成果をまとめたポスター10、研究論文25 ・「活動週報」は週ごとの活動の記録を評価し、「活動態度」は研究室内のゼミ等の貢献度を評価する。 						
受講上のアドバイス							
卒業研究での活動は、斥候による世界探索に似ている。行き着いた場所に蛮族がいるかもしれないし、誰も知らない貴重な自然遺産・高級資源があるかもしれない。また、一人では解決できない外交問題に遭遇するかもしれない。そのときには仲間や教員と十分な議論を行い、最終的には自分でやって下さい。							
科目の達成目標							
①	活動週報を書き続けることができる。						
②	報告会で発表できる。						
③	課題をこなすことができる。						
④	報告書を書くことができる。						
⑤	研究論文を仕上げることができる。						
⑥	自主的に取り組むことができる。						
関連する本校の学習・教育目標			創造性、専門力				
問い合わせ・質問先			配属先の指導教員				
オフィスアワー			授業中に予約して下さい。				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検
春学期	第1～6回	ガイダンス	(科目の性質上、詳細に記述することはできない) 教員に指示された事を行う。		
	第7～12回	活動継続	個別の目標を達成する。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。	
				教員に指示された事を行う。	
	第13～18回	活動継続	個別の目標を達成する。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。	
				教員に指示された事を行う。	
	第19～24回	活動継続	個別の目標を達成する。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。	
				教員に指示された事を行う。	
	第25～30回	活動継続	個別の目標を達成する。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。	
				教員に指示された事を行う。	
	第31～36回	活動継続	個別の目標を達成する。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。	
教員に指示された事を行う。					
第37～42回	発表準備	中間発表の準備を行う。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。		
			教員に指示された事を行う。		
第43～48回	中間発表会	中間発表を行う。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。		
			教員に指示された事を行う。		
第49～54回	活動継続	個別の目標を達成する。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。		
			教員に指示された事を行う。		
第55～60回	活動継続	個別の目標を達成する。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。		
			教員に指示された事を行う。		
夏学期	第1～6回	活動継続	個別の目標を達成する。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。	
				教員に指示された事を行う。	
	第7～12回	活動継続	個別の目標を達成する。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。	
				教員に指示された事を行う。	
	第13～18回	活動継続	個別の目標を達成する。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。	
				教員に指示された事を行う。	
第19～24回	発表準備	中間発表の準備を行う。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。		
			教員に指示された事を行う。		
第25～30回	中間発表	中間発表を行う。 教員に指示された事を行う。	教員に指示された事を行う。		
			教員に指示された事を行う。		

秋学期	第1～6回	活動継続	個別の目標を達成する。	教員に指示された事を行う。		
				教員に指示された事を行う。		
	第7～12回	活動継続	個別の目標を達成する。	教員に指示された事を行う。		
				教員に指示された事を行う。		
	第13～18回	活動継続	個別の目標を達成する。	教員に指示された事を行う。		
				教員に指示された事を行う。		
	第19～24回	活動継続	個別の目標を達成する。	教員に指示された事を行う。		
				教員に指示された事を行う。		
第25～30回	発表準備	中間発表の準備を行う。	教員に指示された事を行う。			
			教員に指示された事を行う。			
第31～36回	中間発表	中間発表を行う。	教員に指示された事を行う。			
			教員に指示された事を行う。			
第37～42回	活動継続	個別の目標を達成する。	教員に指示された事を行う。			
			教員に指示された事を行う。			
冬学期	第1～6回	活動継続	個別の目標を達成する。	教員に指示された事を行う。		
				教員に指示された事を行う。		
	第7～12回	活動継続	個別の目標を達成する。	教員に指示された事を行う。		
				教員に指示された事を行う。		
	第13～18回	活動継続	個別の目標を達成する。	教員に指示された事を行う。		
				教員に指示された事を行う。		
	第19～24回	活動継続	個別の目標を達成する。	教員に指示された事を行う。		
				教員に指示された事を行う。		
第25～30回	活動継続	個別の目標を達成する。	教員に指示された事を行う。			
			教員に指示された事を行う。			
第31～36回	発表準備	学年末発表会の準備を行う。	教員に指示された事を行う。			
			教員に指示された事を行う。			
第37～42回	学年末発表会	学年末発表を行う。	教員に指示された事を行う。			
			教員に指示された事を行う。			
第43～48回	提出書類などの準備	卒業論文・予稿の手直し、およびLC登録書を完成させる。	教員に指示された事を行う。			
			教員に指示された事を行う。			

点検（自己評価）：授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
システム開発演習Ⅱ				グローバル情報工学科 5年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	履修 2	通年	実技	Robert Songer, Matthew Bailey, Sara Jackson				
キーワード		科目概要						
Object-Oriented Programming, Java, Eclipse IDE, Localization, Project Management		This course continues topics from the 4 th -year System Development Laboratory I course. Students will study object-oriented software development by building applications with graphical user interfaces in the first semester. In the second semester they will work in a team to translate English software to Japanese. Instruction will be given in English with Japanese support.						
教科書		参考書		関連する科目・資格				
1.) Materials on the course website: http://cle2.kanazawa-tc.ac.jp/CLE2Hub2.0/ 2.) Handouts from the teacher		「Eclipse4.3ではじめるJavaプログラミング入門Eclipse 4.3Kepler対応」、掌田津耶乃、秀和システム		科目：システム開発演習Ⅰ、創造実験Ⅳ、コンピュータ演習Ⅲ 資格：Javaプログラミング能力認定				
評価方法							(%)	
評価項目	Assignments	Reviews	Self-Assessments	Team Project			評価	学期の割合
春学期	65	15	20	0			100	25%
夏学期	55	25	20	0			100	25%
秋学期	50	0	0	50			100	20%
冬学期	0	0	0	100			100	30%
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)								100%
備考	Students will be evaluated based on their ability in three areas: achieving the goals of programming assignments; thoughtfully reflecting on their own learning; and satisfying a role on a team to achieve project goals. There will be three programming assignments in the Spring and Summer. Two reviews will be given: one in Spring as an online quiz, and one in Summer as a practical test. Self-assessments will be performed periodically throughout the first 15 weeks. Finally, the team project will consist of a planning phase, a development phase, and a review phase. These involve presentations, peer assessments, and document submissions.							
受講上のアドバイス								
The teacher may mark you absent if you are doing something unrelated to the course. As long as you focus on the class, you are free to study the material in any way you like. This class is learning by doing. That means you will try and fail many times before you reach a goal. This is completely natural. Write about your failures in your self-evaluation and consider ways to do better. Above all, if you do not understand something, you should ask about it.								
科目の達成目標								
①	Clarify and explain object-oriented Java programming techniques for GUI applications							
②	Perform activities for identifying and investigating necessary information							
③	Explain one's learning process and identify possible barriers for making progress							
④	Effectively apply skills related to teamwork and communication							
⑤	Perform activities related to project management							
⑥	Clarify and explain concepts in software implementation							
関連する本校の学習・教育目標		創造性・専門力						
問い合わせ・質問先		2階211(ロバート)・209(マシュー)・207(サラ)室						
オフィスアワー		火曜日8限						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段: 予習・下段: 復習)	時間 (分/回)	点検
春学期	第1～2回	Class Introduction	Website usage, learning goals for the class and a vocabulary quiz	—	—
			Make personal goals and compare them to the syllabus	15	
	第3～4回	Introduction to Java Swingx	Make a “Hello World!” application for the console, then in a dialog box	Review Java programming topics from previous classes	20
				Examine the API documentation for JOptionPane	15
	第5～6回		Extend “Hello World!” into an English conversation program	Review the concepts and symbols related to flowcharts	15
				Complete self-evaluation and consider your answers	15
	第7～8回	Thinking in Objects	Review the window frame, layout, and label objects	Review your unclear points from the self-evaluation	10
				Examine the API documentation for JLabel and Font	20
	第9～10回		Begin an Icon Gallery application that displays icon images in a window	Examine the API documentation for JFrame and ImageIcon	20
				Complete self-evaluation and consider your answers	15
	第11～12回	Images and Labels Display	Review points from self-assessments and finish work on Icon Gallery	Review your unclear points from the self-evaluation	10
				Examine API documentation for JPanel and GridLayout	20
	第13～14回		Learn about programming scope and do a code review of Icon Gallery	Review the remaining steps for completing Icon Gallery	15
				Complete self-evaluation and consider your answers	15
	第15～16回	Programming Concepts Review	Take a quiz covering all the object-oriented concepts up to this point	Study object-oriented programming concepts from class	30
—				—	
第17～18回	Buttons and Actions	Try a sample program using buttons and action listeners	Examine the API documentation for JButton, ActionListener and(ActionEvent)	15	
			Review the JButtonExample program tutorial	15	
第19～20回		Extend the Button class to create buttons with state that turn on and off	Review the API for JButton	10	
			Examine the UML diagrams for the game prototype	15	
夏学期	第1～2回		Build a prototype for the button game using multiple buttons	Review algorithms for counting objects in a specified state	15
			Complete self-evaluation and consider your answers	15	
	第3～4回	Button Game Development	Review the Button Game goals and finish the prototype	Review your unclear points from the self-evaluation	10
				Confirm your understanding of the program design	15
	第5～6回		Use an array to build rows and columns of buttons	Review arrays and how to use them	15
				Complete self-evaluation and consider your answers	15
	第7～8回		Finish the Button Game and prepare for the test of practical skill	Review your unclear points from the self-evaluation	10
Submit your button game and confirm its completion				15	
第9～10回	Practical Skills Review	Complete a given programming task using concepts from previous classes	Review programming concepts from the past assignments	30	
			—	—	

秋学期	第1~6回	Testing & Debugging	Select topics and related activities in software quality assurance	Reflect on your background knowledge of software testing	10	
				Review the testing & debugging concepts from class	10	
	第7~8回	Team Formation	Prepare for a team project and choose team roles	—	—	
				Review the introduction of the project to come	15	
	第9~10回	Project Planning	Develop a schedule and a risk plan for software translation	Review the responsibilities of each role on the team	5	
				Work on the project schedule and risk management plan	15	
	第11~12回	Project Proposal	Prepare a project proposal presentation for an overseas customer	Finish your project schedule and risk management plan	15	
				Complete your project proposal presentation slides	15	
	第13~14回	Project Proposal Presentations	Present on the software translation project plan and schedule	Practice your project proposal presentation	20	
				Update your project plan from teacher feedback	15	
冬学期	第1~2回	Team Project Development Week 1	Begin following a prepared plan for project development	Review your project plan and role responsibilities	5	
				Check your progress and log your time on task	5	
	第3~4回	Team Project Development Week 2	Continue following the project schedule and record progress	Refresh your memory about your current progress	5	
				Check your progress and log your time on task	5	
	第5~6回	Team Project Development Week 3	Continue following the project schedule and record progress	Prepare to review your progress up to this point	15	
				Check your progress and log your time on task	5	
	第7~8回	Team Project Development Week 4	Continue following the project schedule and record progress	Refresh your memory about your current progress	5	
				Check your progress and log your time on task	5	
	第9~10回	Team Project Development Week 5	Continue following the project schedule and record progress	Refresh your memory about your current progress	5	
				Check your progress and log your time on task	5	
	第11~12回	Team Project Development Week 6	Finish project work and submit all deliverables	Refresh your memory about your current progress	5	
				Prepare your finished documents before the deadline	20	
	第13~14回	Post-Project Review	Review the project and analyze team performances	Check all your documents for the final review	15	
				Finish your presentation slides for the final review	15	
	第15~16回	Project Postmortem	Present team reviews of project performance	Practice your project review presentation	20	
				Reflect on your achievement of the class learning goals	15	

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
情報システムⅢ				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	竹俣一也			
キーワード		科目概要					
アセンブラ言語、機械語、OS		オペレーティングシステムはコンピュータを動作させるときの最も基本的なソフトウェアである。本講義では、ハードウェアの管理、ファイルシステム、プロセス管理といったオペレーティングシステムの基本機能について学習する。さらに、オペレーティングシステムの操作実習を通じて理解を深める。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
「アセンブリ言語の基礎」, 山崎 一生, 共立出版		独習アセンブラ, 日向俊二, 翔泳社		科目: 計算機システムⅢ 資格: 基本情報技術者試験			
評価方法 (％)							
評価項目	学期末試験	演習・宿題	小テスト	学習態度		計	学年評価に対する割合
春学期	40	20	30	10		100	33
夏学期	40	20	30	10		100	17
秋学期	40	20	30	10		100	23
冬学期	40	20	30	10		100	27
学 年 評 価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い, 通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備 考	<p>演習・宿題は学習内容の理解度を促進するために実施する。宿題(課題)は各自で実施し、提出したかどうかの確認のみを行う。なお、期限に遅れた場合は評価しない。</p> <p>宿題(課題)提出後、これらの宿題(課題)を各自で成し遂げたかを調べるために小テスト(ノート課題、提出遅延については評価しない)を実施し、各自の理解度を評価する。さらに期末試験で総合的な理解度を評価する。</p> <p>※欠席・遅刻毎に減点する(15分以上の遅刻は欠席扱いとする)。</p>						
受講上のアドバイス							
<p>コンピュータの内部でプログラムがどのように動いているのかを意識することで、よりコンピュータへの興味を持つことができます。</p> <p>① 宿題の提出期限は必ず守ること。 ② 宿題などは完成させてから提出すること。 ③ 授業用ノートとは別に課題提出用ノートを準備すること。</p>							
科目の達成目標							
①	コンピュータの計算の仕組みが理解できる						
②	コンピュータの動きを説明できる						
③	Windowsマシンにおけるアセンブラ言語のプログラムが理解できる						
④	WindowsマシンにおけるC言語のプログラムが理解できる						
⑤	オペレーティングシステムの役割が理解できる						
⑥							
関連する本校の学習・教育目標		創造性、専門力					
問い合わせ・質問先		3階315室(竹俣)					
オフィスアワー		水曜日17:30まで					

回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題	時間 (分/回)	点検	
春 学 期	第1,2回	授業概要	講義の目的を理解する	第1,2回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第3,4回	コンピュータの構成	コンピュータの基本的な構成について説明できる。 OSの役割について理解できる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第3,4回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第5,6回			テキストの該当するページを読む	10	
				第5,6回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第7,8回	演算装置のしくみ	プロセッサの動作について理解できる。	テキストの該当するページを読む	10	
	第7,8回のスライドで説明された宿題をする			10		
	第9,10回			テキストの該当するページを読む	10	
				第9,10回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第11,12回	コンピュータの動作(1)	アセンブラプログラミングを通して演算装置の働きを理解できる。 データの移動命令、算術演算命令を理解できる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第11,12回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第13,14回			テキストの該当するページを読む	10	
				第13,14回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第15,16回	総合演習	第1回から第14回までの内容を定着させる。	テキストの該当するページを読む	10	
第15,16回のスライドで説明された宿題をする	10					
第17,18回			テキストの該当するページを読む	10		
			第17,18回のスライドで説明された宿題をする	10		
定期試験						
第19,20回	コンピュータの動作(2)	分岐命令を理解できる。 シフト演算命令を理解できる。 ストリング命令を理解できる。	ここまで学んだことを整理する			
第19,20回のスライドで説明された宿題をする						
第21,22回			テキストの該当するページを読む	10		
			第21,22回のスライドで説明された宿題をする	10		
第23,24回			テキストの該当するページを読む	10		
			第23,24回のスライドで説明された宿題をする	10		
第25,26回	コンピュータの動作(3)	入出力命令が理解できる。 割り込み命令を理解できる。	テキストの該当するページを読む	10		
			第25,26回のスライドで説明された宿題をする	10		
第27,28回			テキストの該当するページを読む	10		
			第27,28回のスライドで説明された宿題をする	10		
第29,30回	総合演習	第19回から第28回までの内容を定着させる。	ここまで学んだことを整理する	10		
			第29,30回のスライドで説明された宿題をする	10		
定期試験						

秋学期	第31, 32回	C言語演習 (1)	C言語のインストールができる プログラム作成から実行までの動作が説明できる	テキストの該当するページを読む		
				第31, 32回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第33, 34回			テキストの該当するページを読む	10	
				第33, 34回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第35, 36回	C言語演習 (2)	C言語を使って一般的なアルゴリズムに対するプログラムが作成できる	テキストの該当するページを読む	10	
				第35, 36回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第37, 38回			テキストの該当するページを読む	10	
				第37, 38回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第39, 40回	C言語演習 (3)	C言語とアセンブラ言語を使って基本的なプログラムが作成できる	テキストの該当するページを読む	10	
				第39, 40回のスライドで説明された宿題をする	10	
第41, 42回			テキストの該当するページを読む	10		
			第41, 42回のスライドで説明された宿題をする	10		
第43, 44回	総合演習	第31回から第42回までの内容を定着させる。	ここまで学んだことを整理する	10		
			第43, 44回のスライドで説明された宿題をする	10		
		定期試験				
冬学期	第45, 46回	OS演習 (1)	OS開発の体験を通してOSの仕組みを理解できる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第45, 46回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第47, 48回			テキストの該当するページを読む	10	
				第47, 48回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第49, 50回	OS演習 (2)	OSの持つ各機能 (メモリ管理、ファイルシステムなど) について説明できる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第49, 50回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第51, 52回			テキストの該当するページを読む	10	
				第51, 52回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第53, 54回	OS演習 (3)	OSを自作し、その環境下でプログラムを実行できる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第53, 54回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第55, 56回			テキストの該当するページを読む	10	
				第55, 56回のスライドで説明された宿題をする	10	
	第57, 58回	総合演習	第45回から第56回までの内容を定着させる。	テキストの該当するページを読む	10	
				第57, 58回のスライドで説明された宿題をする	10	
第59, 60回			ここまで学んだことを整理する	10		
				10		
		定期試験				

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
ネットワークシステム				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	坂倉忠和			
キーワード		科目概要					
TCP/IP、プロトコル、Javaプログラミング		現在のインターネット技術は仕事や生活に大きな影響をもたらしている。これらの技術を支えているプロトコル群であるTCP/IPに焦点を当て、これらの仕組みについて学習する。また、Javaによる簡易な通信プログラムやサービスの作成を通じて、TCP/IPの働きの理解を深める。					
教科書		参考書		関連する科目・資格			
①「マスタリングTCP/IP 入門」, 竹下隆史ほか3名, オーム社		指定なし		科目: 計算機システムⅠ、コンピュータ演習Ⅲ 資格: ITパスポート試験			
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	課題・宿題				計	学年評価に対する割合
春学期	80	20				100	35
夏学期	80	20				100	15
秋学期	80	20				100	25
冬学期	80	20				100	25
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	定期試験は各学期末に実施する。演習に対して、積極的に取り組むことが前提となっているため、取り組みに関する評価項目を設定しない。そのような取り組み姿勢が見られない場合には、全体の評価から減点する。課題や宿題においてコピーなどの不正が発覚した場合には、全体の評価の評価から大幅に減点する。また、自学自習を目的として、授業の設定水準よりも高度な自由課題を出すことがある。これらに取り組んだ場合には全体の評価に加点する。						
受講上のアドバイス							
①ノートおよび演習プリントなどを綴じるためのファイルを用意すること。 ②演習課題や宿題の提出期限は必ず守ること。 ③演習には必ず納得するまで取り組むこと。 ④宿題などは完成させてから提出すること。							
科目の達成目標							
①	OSI参照モデルの概要が理解できるようになる。						
②	イーサネットの役割や仕組みなどの概要が理解できるようになる。						
③	IPプロトコルの役割や仕組みの概要が理解できるようになる。						
④	TCPの役割や仕組みなどの概要が理解できるようになる。						
⑤	簡単なソケットプログラミングができる。						
⑥	Telnetを用いることにより各種サービスを利用できるようになる。						
関連する本校の学習・教育目標	専門力, 創造性						
問い合わせ・質問先	2階206室						
オフィスアワー	金曜日16:30~17:30						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検	
春学期	第1～2回	ネットワークの基礎知識	ネットワークの歴史の概要が分かる。	—	15	
			ノートを整理する。			
	第3～4回		OSI参照モデルの概要が分かる。	教科書P20～58を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第5～6回	TCP/IPの基礎知識	TCP/IPプロトコルの階層モデルが分かる。	教科書P60～87を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第7～8回	データリンク	イーサネットの概要が分かる。	教科書P90～111を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第9～10回		無線通信およびPPPの概要が分かる。	教科書P112～132を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第11～12回	IPプロトコル	IPアドレスおよび経路制御の仕組みが分かる。	教科書P134～158を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
第13～14回		IPv6の概要が分かる。	教科書P159～179を熟読する。	15		
			ノートを整理する。	15		
第15～16回	IPに関連する技術(1)	DNS、ARP、ICMPの概要が分かる。	教科書P182～200を熟読する。	15		
			ノートを整理する。	15		
第17～18回	総合演習(1)	第1回から第16回までの内容を定着させる。	—	60		
			春学期の内容を復習する。			
	定期試験					
第19～20回	IPに関連する技術(2)	DHCP、NATの概要が分かる。	教科書P201～218を熟読する。	15		
			ノートを整理する。	15		
夏学期	第1～2回	TCPとUDP	TCPの概要が分かる。	教科書P220～238を熟読する。	15	
			ノートを整理する。	15		
	第3～4回		UDPの概要が分かる。	教科書P239～256を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第5～6回	ルーティングプロトコル	経路制御アルゴリズムの概要が分かる。	教科書P258～270を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第7～8回		BGPの概要が分かる。	教科書P270～282を熟読する。	15	
				ノートを整理する。	15	
	第9～10回	総合演習(2)	第1回から第8回までの内容を定着させる。	—	60	
				夏学期の内容を復習する。		
		定期試験				

秋学期	第1～2回	ソケットプログラミング	ソケットプログラミングの概要が分かる。	講義資料No. 01を熟読する。	15		
				ノートを整理する。	15		
	第3～4回	Telnet	Telnetの仕組みの概要が分かる。	講義資料No. 02を熟読する。	15		
				ノートを整理する。	15		
	第5～6回			簡単なTelnetプログラムを実装できる。	講義資料No. 03を熟読する。	15	
					ノートを整理する。	15	
	第7～8回	FTP	FTPの仕組みが分かる。	講義資料No. 04を熟読する。	15		
				ノートを整理する。	15		
	第9～10回			FTPにおけるコマンド送信プログラムを実装できる。	講義資料No. 05を熟読する。	15	
					ノートを整理する。	15	
第11～12回	FTPにおけるPASV機能を実装できる。			講義資料No. 06を熟読する。	15		
				ノートを整理する。	15		
第13～14回	総合演習(3)	第1回から第12回までの内容を定着させる。	—				
			秋学期の内容を復習する。	60			
	定期試験						
冬学期	第1～2回	FTP	ファイルの転送機能を実装できる。	講義資料No. 07を熟読する。	15		
				ノートを整理する。	15		
	第3～4回	電子メール	メールの送受信の仕組みが分かる。	講義資料No. 08を熟読する。	15		
				ノートを整理する。	15		
	第5～6回			コネクションの確立やデータ転送のためのクラスを実装できる。	講義資料No. 09を熟読する。	15	
					ノートを整理する。	15	
	第7～8回			簡単なメールクライアントを実装できる。	講義資料No. 09を熟読する。	15	
					ノートを整理する。	15	
	第9～10回	HTTP	HTTPの仕組みの概要が分かる。	講義資料No. 10を熟読する。	15		
				ノートを整理する。	15		
第11～12回	簡単なHTTPプログラムの仕組みが分かる。			講義資料No. 11を熟読する。	15		
				ノートを整理する。	15		
第13～14回	簡単なHTTPプログラムを実装できる。			講義資料No. 12を熟読する。	15		
				ノートを整理する。	15		
第15～16回	総合演習(4)	第1回から第14回までの内容を定着させる。	—				
			冬学期の内容を復習する。	60			
	定期試験						

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス				
メディア情報Ⅱ				グローバル情報工学科 5年				
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員				
必修	学修 2	通年	講義	坂倉忠和				
キーワード		科目概要						
マルチメディア、信号処理、音声、3DCG		当科目では、主としてデジタル信号処理技術の基礎を学ぶ。特に、音声に対する信号処理に焦点を当て、実際に演習を行うことで、信号処理に関する理解を深める。また、画像や音声などの情報を統合したマルチメディア情報の作成方法を学習する。						
教科書		参考書		関連する科目・資格				
授業時にプリントを配布する。		指定なし		科目：メディア情報Ⅰ 資格：マルチメディア検定ベーシック				
評価方法							(%)	
評価項目	定期試験	課題・宿題					計	学年評価に対する割合
春学期	80	20					100	35
夏学期	80	20					100	15
秋学期	80	20					100	25
冬学期	80	20					100	25
学年評価（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）								100
備考	定期試験は各学期末に実施する。演習に対して、積極的に取り組むことが前提となっているため、取り組みに関する評価項目を設定しない。そのような取り組み姿勢が見られない場合には、全体の評価から減点する。課題や宿題においてコピーなどの不正が発覚した場合には、全体の評価の評価から大幅に減点する。また、自学自習を目的として、授業の設定水準よりも高度な自由課題を出すことがある。これらに取り組んだ場合には全体の評価に加点する。							
受講上のアドバイス								
本講義は学修単位であるため、1時間の授業に対して2時間分の課題が毎回出題される。この課題が提出されない場合は単位が認められないことがある。 ① 配布プリントを綴じるためのファイルを用意し、授業時には必ず持参すること。 ② 課題は提出期限までに、必ず完成させて提出すること。 ③ 配布プリントや資料をしっかりと読み、まず、自分で良く考えること。								
科目の達成目標								
①	音の仕組みを簡単に説明できるようになる。							
②	プログラミングなどによって音声を作成できるようになる。							
③	簡単なモデリングができるようになる。							
④	レンダリングによって画像や動画を生成できるようになる。							
⑤	3DCGによる簡単なアニメーションを作成できるようになる。							
⑥	3DCGモデルを利用したプログラムを作成できるようになる。							
関連する本校の学習・教育目標		専門力, 創造性						
問い合わせ・質問先		2階206室						
オフィスアワー		火曜日16:30～17:30						

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検	
春学期	第1回	GUIプログラミング	簡易なアプリケーションを作成できる。	— 課題01を実施する。	120	
	第2回	音声の仕組み	音の仕組みの概要が分かる。	講義資料No. 02を熟読する。	20	
				課題02を実施する。	100	
	第3回	音声の再生	簡易な音声の再生プログラムを作成できる。	講義資料No. 03を熟読する。	20	
				課題03を実施する。	100	
	第4回	音声の録音	簡易な音声の録音プログラムを作成できる。	講義資料No. 04を熟読する。	20	
				課題04を実施する。	100	
	第5回	純音の作成	純音を作成することができる。	講義資料No. 05を熟読する。	20	
				課題05を実施する。	100	
	第6回	音の合成	種々の周波数の合成波を生成できる。	講義資料No. 06を熟読する。	20	
課題06を実施する。				100		
第7回	フーリエ解析	簡単な周波数分析を行うことができる。	講義資料No. 07を熟読する。	20		
			課題07を実施する。	100		
第8回	時間包絡	音声に対して時間包絡を設定することができる。	講義資料No. 08を熟読する。	20		
			課題08を実施する。	100		
第9回	総合演習(1)	第1回から第8回までの内容を定着させる。	— 課題09を実施する。	120		
	定期試験					
第10回	FM音源	FM理論の概要が分かる。	講義資料No. 10を熟読する。	20		
			課題10を実施する。	100		
夏学期	簡易シーケンサ	簡易シーケンサの仕組みが分かる。	講義資料No. 11を熟読する。	20		
			課題11を実施する。	100		
			テキストファイルからデータを取得することができる。	講義資料No. 12を熟読する。	20	
			課題12を実施する。	100		
	第3回	テキストデータから音声データを生成することができる。	講義資料No. 13を熟読する。	20		
			課題13を実施する。	100		
第4回	テキストデータを作成することができる。	講義資料No. 14を熟読する。	20			
		課題14を実施する。	100			
第5回	総合演習(2)	第1回から第4回までの内容を定着させる。	— 課題15を実施する。	120		
	定期試験					

秋学期	第1回	3DCG	3DCGの仕組みが分かる。	講義資料No. 16を熟読する。	20	
				課題16を実施する。	100	
	第2回	モデリング	基本操作ができる。	講義資料No. 17を熟読する。	20	
					課題17を実施する。	
	第3回		簡単な3DCGのモデリングができる。	講義資料No. 18を熟読する。	20	
					課題18を実施する。	
	第4回		やや複雑なモデリングを行うことができる。	講義資料No. 19を熟読する。	20	
				課題19を実施する。	100	
第5回	カメラとライティング	カメラやライティングなどの設定ができる。	講義資料No. 20を熟読する。	20		
			課題20を実施する。	100		
第6回	ボーン	ボーンの設定ができる。	講義資料No. 21を熟読する。	20		
			課題21を実施する。	100		
第7回	総合演習(3)	第1回から第6回までの内容を定着させる。	—			
			課題22を実施する。	120		
		定期試験				
冬学期	第1回	アニメーション	簡単なアニメーションを作成することができる。	講義資料No. 23を熟読する。	20	
				課題23を実施する。	100	
	第2回	3DCGの応用	ゲームエンジンの利用方法が分かる。	講義資料No. 24を熟読する。	20	
					課題24を実施する。	
	第3回		ゲームエンジンにおけるプログラムの基本構造が分かる。	講義資料No. 25を熟読する。	20	
					課題25を実施する。	
	第4回		リスナーによる簡単なイベント処理の仕組みが分かる。	講義資料No. 26を熟読する。	20	
					課題26を実施する。	
	第5回		3DCGモデルを取り込む方法が分かる。	講義資料No. 27を熟読する。	20	
				課題27を実施する。	100	
第6回	ゲームエンジン上でのアニメーションの再生方法が分かる。	講義資料No. 28を熟読する。	20			
			課題28を実施する。		100	
第7回	ゲームエンジン上で簡単なゲームを作成することができる。	講義資料No. 29を熟読する。	20			
			課題29を実施する。		100	
第8回	総合演習(4)	第1回から第7回までの内容を定着させる。	—			
			課題30を実施する。	120		
		定期試験				

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
ソフトウェア工学				グローバル情報学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	春夏	講義	藤澤武, ソンガー・ロバート			
キーワード			科目概要				
UML, オブジェクト指向, ソフトウェア品質			ソフトウェアの開発は、技術的・時間的・人的・その他の様々な制約の中で要求されている機能と品質実現しなくてはならない。そのための工学的な手法を学ぶ。				
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①「やさしい応用情報技術者講座」高梨麻奈, SBクリエイティブ			①「なぜ、あなたはJavaでオブジェクト指向開発ができないのか」小森裕介, 技術評論社		卒業研究		
評価方法 (%)							
評価項目	期末試験	評価課題				計	学年評価に対する割合
春学期	60	40				100	50
夏学期	60	40				100	50
秋学期							
冬学期							
学年評価 (評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)							100
備考	<p>評価課題とは授業項目にある評価課題および、評価対象にすると明示されたその他の課題やテストのことである。未提出の場合は0点となる。学習態度の評価として、以下の行為があった場合、1回につき最大2点の減点を行う。評価課題の採点基準は別途定める。</p> <p>1)遅刻, 途中退席, 2)教科書やノートPCなどの授業に必要な用品の不携帯, 3)その他, 授業態度として不適切と判断される行動や態度</p> <p>また、自由課題などを出すことがある。これらに取り組んだ場合には指定する学期の評価に加点する。</p>						
受講上のアドバイス							
教科書とノートPC, そして講義内容を記録するためにノートと筆記用具は必ず毎回持参すること。課題の提出期限は必ず守ること							
科目の達成目標							
①	ソフトウェア工学の必要性について説明できる						
②	ウォーターフォール開発モデルについて説明できる						
③	ソフトウェアの品質について説明できる						
④	開発フェーズに応じて適切なドキュメントが作成できる						
⑤	Explain aspects of a software engineering project in English						
⑥	Analyze the progress of a given development situation						
関連する本校の学習・教育目標			専門力, 創造性				
問い合わせ・質問先			2階209・211室				
オフィスアワー			金曜日8限				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 (分/回)	点検	
春 学 期	第1~4回	概論	教科書の該当箇所を熟読する	20		
			講義内容をA4一枚にまとめる	30		
	第5~8回	システムの開発の流れと品質	ソフトウェア開発のプロセスと品質について説明できる	教科書の該当箇所を熟読する	20	
				講義内容をA4一枚にまとめる	30	
	第9~12回	プログラミングの設計手法	オブジェクト指向プログラミングを理解し、クラス図が描ける	教科書の該当箇所を熟読する	20	
				講義内容をA4一枚にまとめる	30	
	第13~20回	要求分析	ユースケースを用いた要件定義書が作成できる	教科書の該当箇所を熟読する	20	
				講義内容をA4一枚にまとめる	30	
	第21~24回	外部設計	外部仕様書が作成出来る	教科書の該当箇所を熟読する	20	
				講義内容をA4一枚にまとめる	30	
第25~26回	内部設計	クラス図・シーケンス図を用いて仕様書が作成できる	教科書の該当箇所を熟読する	20		
			講義内容をA4一枚にまとめる	30		
第27~30回	プログラム設計	JavaDocを生成できる	前回の講義内容を復習する	30		
			講義内容をA4一枚にまとめる	30		
第31~34回	テスト	テストの必要性と作業内容を説明できる	講義内容をA4一枚にまとめる	20		
			検査手順をA4一枚にまとめる	30		
第35~36回	運用保守	運用と保守の違いと内容を説明できる	過去の講義内容を復習する	30		
			講義内容をA4一枚にまとめる	30		
	定期試験					
第37~40回	まとめ	ソフトウェアの各開発工程について解説できる				
			評価結果から課題を見つける	30		
夏 学 期	第1~4回	The Essence of Software Engineering	Introduction and language of the Software Engineering Methods and Theory kernel	Sketch the structure of the SEMAT kernel in your notes	30	
	第5~12回	Case Study	Examine a software development case study to understand an iteration with SEMAT	Review your notes on SEMAT	10	
				Finish questions from class and reflect on them	30	
	第13~18回	Self-Diagnosis	Analyze the health and progress of student projects	Think about the state of your own research project	10	
				Discuss the topics from class with your lab partners	30	
	第19~20回	Review	Review the class materials and prepare for the final exam	Finish your project review and turn it in	20	
Study for the final exam				30		
	定期試験					
	自己点検	テストを見直す				

秋学期						
冬学期						

点検（自己評価）：授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
情報・統計理論				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
必修	履修 2	通年	講義	今澤明男			
キーワード		科目概要					
確率、確率変数、確率分布、ベイズの定理、ベイズ統計、回帰分析、判別分析、情報量基準、クラスター分析、自己組織化マップ、多変量解析、ビッグデータ		コンピュータプログラミングやシステムの構築・運用だけが情報工学の対象ではない。情報をいかに活用するかも情報工学の重要な課題である。特に、ネット上で大量の情報がやり取りされ蓄積されるようになった現在、その重要性はますます高まっている。そこで、この授業では、情報理論ならびに現代統計理論から、特に情報活用の基礎となる理論ならびに技術について学び、それらの基本的な利用方法を身につける。					
教科書		参考書	関連する科目・資格				
指定せず		「道具としてのベイズ統計」 涌井良幸、日本実業出版社/「多変量解析がわかる」 涌井良幸・貞美、技術評論社	科目：数理統計、情報数学 I 資格：基本情報処理技術者				
評価方法							(%)
評価項目	定期試験	演習				計	学年評価に対する割合
春学期	80	20				100	33
夏学期	60	20				100	17
秋学期	80	20				100	25
冬学期	80	20				100	25
学 年 評 価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備 考	1) 「分かっている」より「できる」を重視して評価する。 そのため、定期試験に実技を含める場合がある。 2) 授業内容に関する重要な英語表現の理解も評価対象とする。 3) 普段の出欠・演習態度が不良の場合は、最大50点の減点をする。						
受講上のアドバイス							
1) 一見難しそうな内容ですが、分かりやすく噛み砕いて説明します。食わず嫌いをせずに、積極的に授業に参加してください。数学が苦手な人にも分かる授業を目指しています。 2) 統計解析ソフト“R”を用います。フリーですので各自のPCにインストールすることを勧めます。							
科目の達成目標							
①	確率とは何か明確に理解でき、単純な事象の確率を算出できる。						
②	単純な確率分布の発生メカニズムを理解し、実際の現象の確率分布を推測できるようになる。						
③	データを基に、ベイズ推定ができるようになる。						
④	コンピュータを用いて回帰分析・判別分析ができるようになる。						
⑤	コンピュータを用いてクラスター分析・自己組織化マップの作成ができるようになる。						
⑥	データを基にした統計的推定を行った場合の適切な報告書を書けるようになる。						
関連する本校の学習・教育目標		基礎力、専門力					
問い合わせ・質問先		2階206室 (今澤)					
オフィスアワー		火曜日16:30~17:30					

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検
春学期	第1～2回	授業概要説明	授業の目的・目標・方法・評価について理解する。	プリントによる復習	各15分
	第3～6回	確率の意味	確率の意味を理解し、単純な現象の確率を求めることができるようにする。	プリントによる復習	各15分
	第7～10回	確率の計算	状況に応じた確率の基本的な計算ができるようにする。	プリントによる復習	各15分
	第11～16回	確率変数と分布	確率変数の意味を理解し、基礎的な確率分布の発生メカニズムと特徴を理解する。	プリントによる復習	各15分
	第17回～18回	ベイズの定理 (1)	ベイズの定理の導出過程を理解し、ベイズの定理の意味を理解する。	プリントによる復習	各15分
	第19回～20回	ベイズの定理 (2)	ベイズの定理を多面的に検討し、ベイズの定理への理解を深める。	プリントによる復習	各15分
夏学期	第1～4回	ベイズの定理の確率推定への応用	ベイズの定理を用いて既知の確率から未知の確率を算出できるようにする。	プリントによる復習	各15分
	第5～10回	ベイズの定理の各種推定への応用	ベイズの定理を用いることで、得られた情報を有効に活用し、未知の事項を推定できるようにする。	報告書作成	各45分
		定期試験			
秋学期	第1～4回	データの扱い方	解析対象となる大量なデータの基礎的な取り扱い方を理解する。	プリントによる復習	各15分
	第5～10回	回帰分析と判別分析	回帰分析、判別分析を用いて、推定や判定ができるようにする。	プリントによる復習	各15分
	第11～14回	情報量基準によるモデル選択	統計的モデルの良さを、情報量基準を用いて判定できるようにする。	プリントによる復習	各15分
		定期試験			
冬学期	第1～4回	クラスター分析	大量のデータから情報を引き出し、結果を伝えるために必要な視点・手順と注意点を理解する。	プリントによる復習	各15分
	第5～8回	自己組織化マップ	自己組織化マップを用いて、データの分類を類似度にもとづいてできるようにする。	プリントによる復習	各15分
	第9～16回	データ解析の手順とレポート作成	大量のデータから情報を引き出し、結果を伝えるために必要な視点・手順と注意点を理解する。	報告書作成	各60分
		定期試験			

点検（自己評価）：よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス	
情報・ビジネス英語Ⅱ				グローバル情報工学科5年	
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員	
必修	履修 2	通年	講義	井上恵介、Matthew Bailey	
キーワード		科目概要			
ソフトウェア、プログラミング言語、IT分野		<p>本科目では、グローバルなビジネスオフィスでコミュニケーションをスムーズにするために必要な単語力や文化的知識も含めて学習する。授業では、簡単な課題・活動から始め、より高度なプロジェクトに展開する。これらの活動やプロジェクトは、英語の活用だけでなく、情報をまとめたり発表したりする能力の向上も目的としている。授業内の活動は基本的にチームで行う。一般的なビジネス英語の積極的な使用と、情報分野に関する技術的なコミュニケーション能力の向上を促進する。</p>			
教科書		参考書		関連する科目・資格	
指定なし。適宜資料を配布		指定なし		科目：情報・ビジネス英語Ⅰ	
評価方法 (％)					
評価項目	Exams	Quizzes	Assignments, Projects, Presentations	計	学年評価に対する割合
春学期	40	10	50	100	25%
夏学期	40	10	50	100	25%
秋学期	40	10	50	100	25%
冬学期	0	10	90	100	25%
学年評価 (評価は春,夏,秋,冬学期で行い、通知表は春,夏,秋,学年評価で示す。)					100%
備考	<p>There will be one exam at the end of each of the first three quarters. These three exams together will comprise 30% of the final grade. The fourth quarter will not include an exam. Throughout each quarter there will be occasional quizzes which will make up 10% of the final grade. The main body of work for the course will consist of assignments, projects and presentations which will comprise 60% of the final grade.</p>				
受講上のアドバイス					
<p>Students will be expected to participate in class and use English to the best of their ability. Unclear or difficult points will be clarified in Japanese. If a student has a question or a lack of understanding in a particular area they will be expected to request clarification in either English or Japanese. Outside class support will be available and students should come see the teachers to seek it out. Electronic or other dictionaries may be useful, but not strictly required, for some of the class content. Depending on the nature of the content, dictionaries may be disallowed from certain exams, quizzes or tests.</p>					
科目の達成目標					
①	Students can use English to gather requirements for a project.				
②	Students can understand and act on English-based error messages.				
③	Students can consume English documentation.				
④	Students can produce appropriate English documentation.				
⑤	Students can use English internet resources during an investigation.				
⑥	Students can give an effective technical presentation.				
関連する本校の学習・教育目標			国際性、専門力		
問い合わせ・質問先			2階209室 2階210室		
オフィスアワー			授業中に予約してください		

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間分	点検	
春学期	第1~2回	Introduction and Polite English Review	Class introduction, syllabus. Polite English review from Business English 1	Read Syllabus	5	
			Review polite English.	15		
	第3~4回	English Email Writing	Students can understand basic email writing in English, phrases and politeness levels.	Review email writing from Business English 1	10	
				Review class material on email writing.	10	
	第5~6回	Negotiation	Students can agree, disagree and negotiate with appropriate manners.	Review negotiation language from Business English 1	10	
				Review class material on negotiation.	10	
	第7~8回	Business Simulation	Students can apply negotiating skills in a business simulation game environment.	Prepare to play the business simulation game.	10	
				Reflect on business simulation game.	10	
	第9~10回	Requirements Gathering	Students can understand the objectives around requirements gathering and the basic process.	Search online about requirements gathering background.	10	
				Review class material on requirements gathering.	10	
第11~12回	User Types	Students understand about different types of users and their perceived needs and motivations.	Consider what you know about different types of users.	10		
			Review the class content on user types.	10		
第13~14回	Use Cases	Students can understand the different parts and purpose of a use case.	Recall what you know about use cases.	10		
			Review the class content on use cases.	10		
第15~16回	Requirements Gathering	Students will prepare for requirements elicitation by brainstorming their own requirements.	Consider what motivates you as a software user.	10		
			Review what you decided on in class for your requirements.	10		
第17~18回	Requirements Gathering	Students will perform and document the result of requirements elicitation.	Prepare to interview other students about requirements.	10		
			Review the result of your requirements elicitation.	10		
	定期試験					
第19~20回	English Programming Websites	Students understand about some of the popular English programming resources available on the internet.	Consider what popular programming websites you know about.	5		
			Review the resources presented in class.	10		
夏学期	第1~2回	English Programming Websites	Students can search for and gain information on English programming websites.	Investigate the web resources presented in class.	10	
			Review the resources presented in class.	10		
	第3~4回	English Programming Websites	Students can distinguish between useful and not useful information on English programming websites.	Investigate the web resources presented in class.	10	
				Review the resources presented in class.	10	
	第5~6回	Error Messages	Students understand the importance and role of English in programming error messages.	Consider your existing use of programming error messages.	10	
				Review the material presented about English in programming error messages.	10	
	第7~8回	Error Messages	Students can apply strategies for understanding the significance and meaning behind English error messages.	Prepare to consume English based programming error messages.	10	
				Review the material presented about English in programming error messages.	10	
	第9~10回	Error Messages	Students can resolve issues by using information provided in English error messages.	Consider your knowledge of programming APIs.	10	
				Review the material presented in class.	10	
	定期試験					

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

秋学期	第1~2回	API Reading	Students understand basics of consuming English API documentation. Review of Business English 1 Content.	Consider your existing knowledge of English APIs.	10	
				Review class materials.	10	
	第3~4回	API Reading	Students understand the direct role that programming construct names play in API readability.	Consider how you consume English API information.	10	
				Review the material presented in class.	10	
	第5~6回	API Reading	Students can apply strategies to speed up API consumption based on the programming construct names contained therein.	Consider new strategies for improving API consumption.	10	
				Review the material presented in class.	10	
	第7~8回	API Writing	Students can apply the basic concepts introduced regarding name choice and readability to revise an existing API.	Recall the information presented in the API reading unit.	10	
				Review how to apply this to your own APIs.	10	
第9~10回	API Writing	Students can develop their own English API based on a set of requirements.	Recall material about how to improve API readability.	10		
			Review your progress from class.	10		
第11~12回	API Writing	Students can finish developing their own English API based on a set of requirements.	Recall material about how to improve API readability.	10		
			Review your progress from class.	10		
第13~14回	API Writing	Students can evaluate other students' APIs based on understandability.	Prepare to evaluate other students' APIs.	10		
			Review your evaluation of other students APIs.	10		
	定期試験					
冬学期	第1~2回	Technical Presentations	Students can understand the role of visual aids and progressive, staged content in technical presentations.	Recall your existing technical presentation experience.	10	
				Review the content presented in class.	10	
	第3~4回	Technical Presentations	Students can evaluate the audience of a technical presentation and understand how this influences the content.	Recall your previous technical presentation audiences.	10	
				Review the content presented in class.	10	
	第5~6回	Technical Presentations Project	Topic Research - Students can choose an appropriate topic for a technical presentation and understand that topic.	Consider what topics are appropriate for technical presentations.	10	
				Review about your topic.	10	
	第7~10回	Technical Presentations Project	Students will develop a technical presentation.	Recall your presentation topic.	10	
				Review about your progress so far.	10	
第11~14回	Technical Presentations Project	Students will give and evaluate technical presentations.	Prepare to give a presentation and to evaluate other presentations.	10		
			Review your presentations content.	10		
第15~16回	Technical Presentations Project	Students will give and evaluate technical presentations as well as reflect on their evaluation.	Prepare to give a presentation and to evaluate other presentations.	10		
			Review your presentations content.	10		

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
International Communication II (国際コミュニケーションII)				グローバル情報工学科 5年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Required	履修 2	All Year	Lecture	Isaac Roelfsema (Spring, Fall, Winter), Jenny Brown (Spring, Summer), Ali Jumaah (Summer, Fall, Winter)		
キーワード		科目概要				
Speaking, Presentation, PowerPoint design, Poster presentation		In this course, students will further their understanding of the art of presentation. Students will work individually and collaboratively to design slides and posters as well as practice dynamic delivery strategies focusing on voice, eye contact, gesture and posture. Students will use elements of effective design principles to create visuals that are unique, simple, and creative.				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
① <i>Simple Presentation</i> , Garr Reynolds, 日経BP社		① www.ted.com ② www.slideshare.net ③ <i>Presentation Zen</i> , Garr Reynolds, 日経BP社		科目: 卒業研究		
評価方法						
評価項目	Class work	Participation	Presentation Design and Delivery		評価	学期の割合
春学期	30	25	45		100	2/6
夏学期	30	25	45		100	1/6
秋学期	30	25	45		100	1.5/6
冬学期	30	25	45		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> Class work is assessed based on successful completion and depth and breadth of understanding. Late assignments will lose 10% each day they are late. Participation is graded based on a check-list of classroom actions, attitudes and behaviors, at multiple times through-out the year. Presentation content and delivery is evaluated via rubrics/check-lists which outline specific project requirements and expectations. 					
受講上のアドバイス						
<ol style="list-style-type: none"> Come to class with a good attitude: say “hello” and “good-bye” to classmates and teachers, make eye contact, smile, relax, think about how much you can learn when you are positive. Come to class prepared: bring your book, binder, your pencil, a USB to back up work Be open to trying new things, taking risks, and being uncomfortable. Remember that nervousness won’t hurt you. You can learn to relax in stressful public speaking contexts through practice, self-talk and visualization. Be creative! Nurture your creative and artistic side. Draw, write, play and listen to music. <p>Look for and watch presentations online (Ted.com; SlideShare.net) and think about styles that you like.</p>						
科目の達成目標						
①	Students will be able to create and evaluate presentations based on design and public speaking principals learned in class.					
②	Students will be able formulate and present clear and meaningful messages in English.					
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		KTC 31-103				
オフィスアワー		Wednesday 4-5				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to...	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検	
春学期	第1-2回	Orientation & Introduction	Understand syllabus, grading policy; Make a toast to the new school year			
			Review the syllabi and make sure you understand.	10		
	第3-4回	Presentation Skills	Work in stations to remember and develop speech delivery skills: posture, gestures, eye-contact, and voice projection	Think about the delivery skills you practiced last year.	10	
			Review what you learned and remember to use these skills in all future presentations.	10		
	第5-6回	Imitate a Speech	Watch and analyze speaking mistakes; Think about your own speaking struggles; Find and imitate a good speech	Get materials needed for the class: book and file.	10	
			Think about the actions of a good speaker and try to use gestures in everyday conversations.	15		
	第7-8回	Presentation as Story	Watch excerpts from Garr Reynolds' <i>Simple Presentation</i> ; What's the story?	Reflect on the speech you imitated; notice and use those skills during your next project.	10	
			Read Opening & Part I of <i>Simple Presentation</i> by Reynolds.	10		
	第9-10回	Lessons from Kamishibai	Watch some Kamishibai and identify similarities between storytelling and presentation; Choose a story	Watch one of the Japanese speakers from p. 012.	10	
			Find a video on YouTube of a Kamishibai performance.	10		
	第11-12回	Kamishibai: The Pictures	Plan your narrative Create visuals for your Kamishibai story	Make a note of the key events in the story you watched. Draw or find some visuals to illustrate your story.	10	
			Review the key events in your story. Read through the folktale you've chosen carefully.	10		
	第13-14回	Kamishibai: The Drama	Examine effective physical storytelling skills; Practice	Read Part 4 of <i>Simple Presentation</i> .	15	
			Practice telling your story at home in front of a mirror.	10		
第15-16回	Kamishibai: Rehearsal	Review dramatic physical skills; Rehearse your Kamishibai	Practice again, trying to add more drama to your story.	10		
		Work on memorizing your story lines.	10			
第17-18回	Kamishibai: Show Time	Tell your story for your classmates; Self-evaluate	If possible, practice the storytelling with your partner.	10		
		Make note of the strengths and challenges of your presentation.	10			
第19-20回	Matchmaker	Write persuasively about a fictional character. Make short presentations about the characters	Think about what makes a good boyfriend/girlfriend.	10		
		Use persuasive language to win friends and influence people. Bring something for show and tell.	10			

夏 学 期	第 1 -2回	Selling a Story / Pitch a Product: Research	Start with short show and tell presentations; Think about successful products: advertising campaigns, designs and logos; Choose an object to market	Make a list of products/technology you use every day.	10		
				Write about life without one product from the pre-study.	10		
	第3-4回	Pitch a Product: Develop it!	Find or generate statistics about your “product;” Develop your pitch		Think about why the product you’ve chosen is important.	10	
					Write ideas for a slogan for your product.	10	
	第5-6回	Pitch a Product: Design it!	Create your product pitch PowerPoint		Survey others on their product usage.	10	
					Review your design and message.	10	
第7-8回	Pitch a Product: Say it!	Prepare your physical and verbal message; Rehearse		Draft note cards for you pitch.	10		
				Review note cards and check clarity and grammar.	10		
第9-10回	Pitch a Product: Sell it!	Deliver your pitch to prospective investors; Vote on the most successful pitch		Practice your pitch in front of a mirror/audience.	10		
				Reflect on your pitch. Was it successful? Why or why not?	10		
秋 学 期	第1-2回	Self-evaluation / Poem Recitation	Solidify speaking skills learned so far; Choose an English poem to memorize; Practice the poem	Free write about your learning so far in this class.	10		
				Write down some goals for improving your presentations.	10		
	第3-4回	TED Talks Introduction	Read and analyze Aesop’s fables; Watch TED Talks and think about delivery skills and topics		Read Part 2 of <i>Simple Presentation</i> and do Exercises.	10	
					Watch one of the recommended TED talks. How does it show good preparation?	10	
	第5-6回	TEDx KTC	Think about ideas you have worth sharing; Choose a topic; Research and plan; Craft your core message		Brainstorm your topic ideas. Who is your audience?	10	
					Think about a TED talk from class. Who is the audience? What does the presenter want? Think about your audience.	10	
	第7-8回	TEDx KTC	Decide format; Begin design template and visual mining		Read Part 3 of <i>Simple Presentation</i> .	10	
					Write about how “simplicity” and “simplistic” are different.	10	
	第9-10回	TEDx KTC	Incorporate key English presentation phrases and speech		Read p. 082. What are the four lessons in contrast?	10	
					Check your presentation for any of the errors on p. 084.	10	
	第11-12回	TEDx KTC	Finish speech writing and work memorization and practice		Review your written speech and notes out loud.	10	
					Practice for your presentation at least twice.	10	
	第13-14回	TEDx KTC Conference	TEDx KTC Conference Today		Rehearse your presentation with slides and no note cards.	10	
Write a reaction to your presentation.					10		

冬学期	第1-2回	Anime Eulogy	Choose an anime character and give a speech about how that character would be remembered if they passed away	Think about your favorite anime character. What are they known for? What is their personality?	15	
				Reflect on how you want people to remember you after you graduate from high school.	10	
	第3-4回	Capstone Poster Presentation	Review requirements for final poster presentation; Discuss your project	Write about what you know about last years' projects.	10	
				Track your progress on your project.	10	
	第5-6回		Work on a paper plan first; Design your template	Look at posters in the hallways of school. What do you notice about their design and content?	10	
				Review the main parts of your poster requirements.	10	
	第7-8回		Review lessons on design from <i>Simple Presentation</i> ; check your poster for good design principles; turn in your poster	Gather details to use in your poster.	15	
				Review your detail feedback and/or English.	10	
	第9-10回		Draft note cards; Practice delivery of Poster Presentation; Be an active attendee and ask follow-up questions	Check your poster for content requirements (use rubric). Review Part 4 of <i>Simple Presentation</i> . What's punch?	10	
				Work on remembering your presentation key words/phrases.	10	
	第11-12回		Capstone Poster Presentations	Presentation Make-ups/Retakes of Capstone Presentation	Rehearse your presentation.	10
					Reflect on your presentation strengths and challenges.	10
	第13-14回	Farewell Speech: Introduction and Prep	Reflect on their 5 years at KTC and write a short speech; Practice memorizing and using excellent gestures, posture, eye-contact, and voice projection	Think about your time at KTC. What memories do you have?	10	
				Practice your speech at home in front of a mirror. This is your final in-class chance to say something meaningful to your classmates.	10	
	第15-16回	Farewell Speech	Put finishing touches on speeches; Give farewell speech	Remember to use the presentations skills we have learned.	10	
				Use English, watch English movies, read English books and comics, don't let your ability slip.	10	

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
計算機システムⅢ				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	履修 2	秋/冬	講義	井上恵介			
キーワード		科目概要					
論理代数、順序回路、コンピュータ		近年の集積回路技術の急速な発達により、デジタル回路技術を応用したコンピュータが数々の分野に進出しており、技術者にとって論理回路やコンピュータの知識が重要になっている。本科目の前半は、論理代数や論理関数など“0”と“1”からなる数学とその性質の理解に重点を置いて講義を行う。後半は、論理回路の知識に基づいてコンピュータが計算をする仕組みについて講義を行い、効率の良いソフトウェアの開発や組み込みシステムの設計に必要な基礎知識の習得を目指す。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
① 「スイッチング回路理論演習」, 当麻 喜弘, コロナ社			指定しない		科目: コンピュータ演習Ⅱ 資格: 基本情報技術者		
評価方法 (%)							
評価項目	定期試験	課題				計	学年評価に対する割合
春学期							
夏学期							
秋学期	90	10				100	50
冬学期	90	10				100	50
学年評価 (評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。)							100
備考	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻、早退、それぞれ1回(50分)につき学期評価から2点減点。 欠課1回(50分)につき学期評価から4点減点。 無遅刻、無欠課、無早退、定期試験70点以上獲得の学生には当該学期の定期試験再試験の権利を与える。 各学期で「計」が49以下の学生には定期試験再試験の権利を与え、定期試験の点数が50点を超えた場合、その学期の「計」を50点とする。 						
受講上のアドバイス							
安全や健康に留意すること。							
科目の達成目標							
①	AND演算の定義を理解できる。						
②	OR演算の定義を理解できる。						
③	NOT演算の定義を理解できる。						
④	論理関数の簡単化の意味を理解できる。						
⑤	順序回路の意味を理解できる。						
⑥	AND演算の定義を理解できる。						
関連する本校の学習・教育目標	創造性, 専門力						
問い合わせ・質問先	2階210室						
オフィスアワー	授業中に予約して下さい。						

秋学期	第1~4回	論理代数	AND、NOT、ORなどの論理演算を理解できる。	授業で指示した予習をする。	10	
				授業で指示した課題をする。	30	
	第5~8回	論理関数の諸性質(1)	論理関数の基本性質を理解できる。	授業で指示した予習をする。	10	
				授業で指示した課題をする。	30	
	第9~12回	論理関数の諸性質(2)	論理関数の包含関係などの性質を理解できる。	授業で指示した予習をする。	10	
				授業で指示した課題をする。	30	
	第13~16回	論理関数の分解	論理関数の分解の意味を理解できる。	授業で指示した予習をする。	10	
				授業で指示した課題をする。	30	
第17~20回	論理関数の合成	論理関数の合成の意味を理解できる。	授業で指示した予習をする。	10		
			授業で指示した課題をする。	30		
第21~24回	論理関数の演習	演習で理解を深めることができる。	授業で指示した予習をする。	10		
			授業で指示した課題をする。	30		
第25~28回	前半のまとめ	前半の成果をまとめることができる。	授業で指示した予習をする。	10		
			授業で指示した課題をする。	30		
		定期試験				
冬学期	第1~4回	順序回路とその実現	順序回路の基本構成を理解できる。	授業で指示した予習をする。	10	
				授業で指示した課題をする。	30	
	第5~8回	状態の等価性と両立性の基礎	状態の等価性を理解できる。	授業で指示した予習をする。	10	
				授業で指示した課題をする。	30	
	第9~12回	コンピュータの基礎	コンピュータの基本的な知識について理解できる。	授業で指示した予習をする。	10	
				授業で指示した課題をする。	30	
	第13~16回	データの流れと制御の流れ	コンピュータ内の信号の流れと役割について理解できる。	授業で指示した予習をする。	10	
				授業で指示した課題をする。	30	
	第17~20回	高速化処理(1)	コンピュータを高速化する仕組みが理解できる。	授業で指示した予習をする。	10	
				授業で指示した課題をする。	30	
	第21~24回	高速化処理(2)	コンピュータを高速化する仕組みが理解できる。	授業で指示した予習をする。	10	
				授業で指示した課題をする。	30	
第25~28回	総合演習	演習で理解を深めることができる。	授業で指示した予習をする。	10		
			授業で指示した課題をする。	30		
第29~32回	後半のまとめ	後半の成果をまとめることができる。	授業で指示した予習をする。	10		
			授業で指示した課題をする。	30		
		定期試験				

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
Writing(英語作文技法)				グローバル情報工学科 5年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Elective	履修 2	All Year	Lecture	Nate Lurie (Spring, Fall, Winter) Jenny Brown (Summer)		
キーワード		科目概要				
writing process, composition, journals		Students will develop their writing skills in the writing process, organization, sentence writing, paragraph development, and punctuation. Students will work with the teacher, in pairs, in small groups and as a whole class to review and edit their writing. The composition skills will be applied to a variety of writing topics and types including personal stories, paragraphs, pamphlets, and poems. Students will also keep a free-writing journal. In preparation for writing, the students will read examples of the different types of writing.				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
		① Handouts				
評価方法						
評価項目	Journals	Classwork	Projects		評価	学期の割合
春学期	20	30	50		100	2/6
夏学期	20	30	50		100	1/6
秋学期	20	30	50		100	1.5/6
冬学期	20	30	50		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> • Student journals will be evaluated for effort, length and progression • Students will be evaluated on the accuracy and completion of class handouts and in class activities • Rough drafts and final drafts will be graded with rubrics 					
受講上のアドバイス						
<p>It is absolutely necessary to come to class regularly and on time. Classes will begin with 10 to 15 minutes of journal writing on various topics. You can't make up missed journals. If you miss class, it is your responsibility to make arrangements to meet the teacher outside of class to get missed class work and information about assignments.</p> <p>The focus of this class is about using and enjoying the writing process to create writing that you and your audience can enjoy. Finishing the final draft isn't the only goal of writing. Enjoy the process of recursive writing and you will be amazed at how your pieces improve from one stage to the next, until finally you're left with a final draft that is worthy of an audience.</p> <p>You CANNOT use on-line translation software – writing a sentence in Japanese and then putting it into a translation engine to be translated into English is not writing. Also, you CANNOT cut and paste from a website without crediting the source. If you do either, you will get a 0 for the assignment.</p>						
科目の達成目標						
①	Students will be able to feel comfortable writing in various styles.					
②	Students will be able to know the process of writing: how to go from a rough draft to a final draft.					
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		KTC 31-103				
オフィスアワー		Tuesdays 4:00-5:30				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to ...	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検	
春 学 期	第1-2回	Introductions	Understand and know the elements that go into writing Get needed materials	15		
	第3-4回	Personal Essay	Build a paragraph	Review the elements of writing	15	
				Write a paragraph on something important/life changing in your life	15	
	第5-6回	Personal Essay	Write a rough draft of a personal essay	Check paragraph	15	
				Reflect upon why it is important and what you have written so far. What is strong/weak? How will you rewrite it?	15	
	第7-8回	Personal Essay	Finish a final draft of a personal essay	Identify the underlying theme of your essay.	15	
				Reflect on the essay writing process and the importance of a theme that underlies your writing.	15	
	第9-10回	Summary Writing	Summarize – read and rewrite	Think about a news article/current event – reduce it to who, what, why, where, when and how.	15	
				Reflect on the tools needed to summarize.	15	
	第11-12回	Summary Writing	Read and summarize a magazine (rough draft)	Summarize something that happened to you.	15	
				Reflect upon the story that you have summarized. What’s strong/weak? How are you going to rewrite it?	15	
	第13-14回	Summary Writing	Read and summarize a magazine (final draft)	Summarize something that happened to someone else.	15	
				Reflect on your summary and the rewriting process.	15	
	第15-16回	Summary Writing	Research and summarize a Japanese festival (rough draft)	Think about your favorite Japanese festival – how would you summarize it?	15	
				Reflect upon the festival that you have summarized. What’s strong/weak? How are you going to rewrite it?	15	
	第17-18回	Summary Writing	Research and summarize a Japanese festival (final draft)	Summarize something you do at a Japanese festival.	15	
				Reflect on your festival summary and the rewriting process.	15	
第19-20回	Summary Writing/News Writing	Write a summary of a news story	Find an interesting news story	15		
夏 学 期	第1-2回	News Writing	Brainstorm: What makes a news article?	15		
			Review the elements of a news article	15		
	第3-4回	News Writing	News Story #1 (rough draft)	Summarize something that has happened to you recently	15	
				Reflect on news story #1. What’s strong/weak? How are you going to rewrite it?	15	
	第5-6回	News Writing	News Story #2 about the summer (rough draft)	Summarize something else that has happened to you recently	15	

			Reflect on news story #2. What's strong/weak? How are you going to rewrite it?	15	
第7-8回	News Writing	Report on your summer vacation (final draft)	Reflect on the 2 news stories you have written, which is stronger? Why?	15	
			Reflect on everything you have learned about the news	15	
第9-10回	News Writing	Report on September	Summarize something that happened to you since last class	15	

秋 学 期	第1-2回	Persuasive Writing	Learn what makes a persuasive essay	Brainstorm: What makes something persuasive?	15	
				Review the parts of a persuasive essay	15	
	第3-4回	Persuasive Writing	Write persuasive essay (rough draft)	Think of something you want to persuade someone about	15	
				Reflect on the persuasive essay What's strong/weak? How are you going to rewrite it?	15	
	第5-6回	Persuasive Writing	Write persuasive essay (final draft)	Summarize your persuasive essay	15	
				Reflect on the persuasive essay process	15	
	第7-8回	Poetry	Understand the elements of poetry.	Think of a poem you like	15	
				Review the elements of poetry	15	
	第9-10回	Poetry	Write a poem (rough draft)	Brainstorm vocabulary and ideas for your poem.	15	
				Review your poem. What's strong/weak?	15	
	第11-12回	Poetry	Write a poem (final draft)	Read your and others' poems. What's strong/weak?	15	
				Reflect on your poem and the rewriting process.	15	
	第13-14回	Dialogue/ Descriptive Writing	Descriptive and dialogue writing exercises	Think about a comic character that you like – what are things that this character says and does?	15	
				Reflect on what is good and bad dialogue and descriptive writing.	15	

冬 学 期	第1-2回	Dialogue/ Descriptive Writing	Write narration and dialogue for comic (rough draft)	Think about a comic character that you don't like. What are things that this character says and does?	15	
				Reflect on the dialogue and descriptive writing you have done. What is strong/weak? How are you going to redo it?	15	
	第3-4回	Dialogue/ Descriptive Writing	Write narration and dialogue for comic (final draft)	Identify the underlying theme of the comic you are writing.	15	
				Reflect on the similarities and differences between essays and dialogue/descriptive writing.	15	
	第5-6回	Short Story 1	Develop knowledge about Mr. Men stories	Think about a Mr. Men character. Based on the picture and name, describe the character and what he says.	15	
				Reflect on your story character and theme. What is strong/weak? How are you going to rewrite it?	15	
	第7-8回	Short Story 1	Write a Mr. Men story (rough draft)	Identify the underlying theme of your story. How is your character going to get to the end of the story?	15	

			Reflect on your story. What is strong/weak? How are you going to rewrite it?	15	
第9-10回	Short Story 1	Write a Mr. Men story (final draft)	Summarize your story.	15	
			Reflect on the part dialogue and descriptive writing plays in writing short stories.	15	
第11-12回	Short Story 2	Develop knowledge about Just So Stories	Think about animals and how they are unique.	15	
			Identify the underlying theme of your story. How is your character going to get to the end of the story?	15	
第13-14回	Short Story 2	Write a Just So Story (rough draft)	Think about the underlying theme of your story. Has it changed or stayed the same?	15	
			Reflect on your story. What is strong/weak? How are you going to write your final draft?	15	
第15-16回	Short Story 2	Write a Just So Story (final draft)	Summarize your story. Reflect on how the story has changed.	15	
			Reflect on the similarities and differences between essay and story writing.	15	

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス		
Discussion (Film)(英語討議技法)				グローバル情報工学科 5年		
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員		
Elective	履修 2	All Year	Lecture	Nate Lurie (Spring, Fall, Winter), Jenny Brown (Summer)		
キーワード		科目概要				
English film, critical thinking, social topics		Students will watch movies and have discussions with the topics introduced in the movies. In order to discuss these topics students should understand the story thoroughly. Students will learn how to express their opinions in English and gain cultural exposure. Students will reflect their learning by writing a movie review.				
教科書		参考書		関連する科目・資格		
① <i>Movie Time!</i> , By Eric Bray, 南雲堂		② Class Handouts				
評価方法						
評価項目	Participation/Effort/Attitude	Classwork	Projects		評価	学期の割合
春学期	50	30	20		100	2/6
夏学期	50	30	20		100	1/6
秋学期	50	30	20		100	1.5/6
冬学期	50	30	20		100	1.5/6
学年評価(評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。)						6/6
備考	<ul style="list-style-type: none"> • Student participation, effort and attitude in class will be graded with rubric • Students will complete comprehension and discussion questions for each film and will be graded with a rubric • Movie Review, Movie Summary, will be graded with rubrics 					
受講上のアドバイス						
Please come to class on time, with your materials (book, pencil, and folder) and be prepared to talk in English. When you miss a class, please talk to the teacher about scheduling a make-up movie viewing. 95% of the work in class is based on the films we watch, as a result, if you choose to sleep during the films, you cannot and will not pass the class.						
科目の達成目標						
①	Students will be able use critical thinking skills to discuss films on a deeper level.					
②	Students will be able to write a comprehensive film review.					
③	Students will be able to thoroughly summarize the plot of a film.					
④						
⑤						
⑥						
関連する本校の学習・教育目標		国際性				
問い合わせ・質問先		KTC 31-103				
オフィスアワー		Tuesdays 16:00-17:30				

回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to ...	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間 #of minutes for each class	点検	
春学期	第1-2回	Course Introduction, Units 1-2	Understand the syllabus and talk about favorite movie genres	Think about your goals for the class. What do you want to learn? Review the syllabus and bring questions to class.	15	
	第3-4回	<i>The Truman Show</i> Introduction	Discuss reality television	Finish Textbook Units 1 and 2.	15	
				Write a prediction for the second half of the film.	15	
	第5-6回	<i>The Truman Show</i>	Answer comprehension questions about <i>The Truman Show</i>	Review what you've seen so far.	15	
				Finish comprehension questions.	15	
	第7-8回	<i>The Truman Show</i> Discussion, Unit 3	Reflect on discussion questions about the <i>Truman Show</i> . Summarize a single scene in a movie.	Review your comprehension questions and the film plot.	15	
				Finish textbook unit 3.	15	
	第9-10回	<i>October Sky</i> Introduction	Discuss the early space program, coal mining towns in America in late 1950s.	Brainstorm: What do you know about the space race?	15	
				Write a prediction for the second half of the film.	15	
	第11-12回	<i>October Sky</i>	Answer comprehension questions about <i>October Sky</i>	Review what you've seen so far.	15	
Finish comprehension questions.				15		
第13-14回	<i>October Sky</i> Discussion, Unit 10	Reflect on discussion questions about <i>October Sky</i> . Summarize a movie as a series of scenes	Review your comprehension questions and the film plot.	15		
			Finish textbook unit 10.	15		
第15-16回	<i>Chuck</i>	Practice writing summaries using the first episode of <i>Chuck</i>	Review how to summarize a film	15		
			Finish summary writing about <i>Chuck</i>	15		
第17-18回	Silent Films 1	Summarize and give their opinions about silent films	Brainstorm: What is a silent film?	15		
			Reflect: What was important/difficult about having no words in a film? Did you like it?	15		
第19-20回	Summary Project	Write a detailed summary of a summary of one of the movies we watched so far this year.	Think about a movie you want to summarize	15		
夏学期	第1-2回	<i>The Breakfast Club</i> Introduction	Discuss thoughts about stereotypes in high school	Brainstorm: What is a stereotype? What are 3 examples?	15	
			Write a prediction for the second half of the film.	15		
	第3-4回	<i>The Breakfast Club</i>	Answer comprehension questions about <i>The Breakfast Club</i>	Review what you've seen so far.	15	
				Finish comprehension questions.	15	
	第5-6回	<i>The Breakfast Club</i> Discussion	Reflect on discussion questions about <i>The Breakfast Club</i>	Review your comprehension questions and the film plot.	15	
				Finish Discussion Questions	15	
第7-8回	Units 8-9, Character Study	Describe characters appearance and personality in English and write a detailed character study.	Think about how you would describe the characters in <i>The Breakfast Club</i>	15		
			Finish character study	15		

第9-10回	Review	Review material covered in first two semesters.	Review the year so far.	15	

秋学期	第1-2回	<i>Little Miss Sunshine</i> Introduction	Discuss about child beauty pageants.	Brainstorm: What do you know about fashion pageants?	15	
				Write a prediction for the second half of the film.	15	
	第3-4回	<i>Little Miss Sunshine</i>	Answer comprehension questions about <i>Little Miss Sunshine</i>	Review what you've seen so far.	15	
				Finish comprehension questions.	15	
	第5-6回	<i>Little Miss Sunshine</i> discussion, Unit 4	Reflect on discussion questions about <i>Little Miss Sunshine</i> , be able to give a reaction to a movie	Review your comprehension questions and the film plot.	15	
				Finish textbook unit 4.	15	
	第7-8回	<i>Kramer vs. Kramer</i> introduction	Discuss gender roles	Brainstorm: What makes a good/bad parent?	15	
				Write a prediction for the second half of the film.	15	
	第9-10回	<i>Kramer vs. Kramer</i>	Answer comprehension questions about <i>Kramer vs. Kramer</i>	Review what you've seen so far.	15	
				Finish comprehension questions.	15	
	第11-12回	<i>Kramer vs. Kramer</i> discussion, Unit 11	Reflect on discussion questions about <i>Kramer vs. Kramer</i> , be able to give their opinions on aspects of movies.	Review your comprehension questions and the film plot.	15	
				Finish discussion questions and any unfinished work for semester 2.	15	
	第13-14回	Unit 13, Rating and Recommendation project	Develop a personal rating system for grading movies and be able to give a recommendation	Brainstorm: What makes a good/bad movie?	15	
冬学期	第1-2回	Silent Films 2	Summarize and give their opinions about silent films	Review silent films from spring semester	15	
				Finish silent film summaries	15	
	第3-4回	<i>District 9</i> Introduction	Discuss race issues and the South African apartheid	Brainstorm: What do you know about racism?	15	
				Write a prediction for the second half of the film.	15	
	第5-6回	<i>District 9</i>	Answer comprehension questions about <i>District 9</i>	Review what we've seen so far	15	
				Finish comprehension questions	15	
	第7-8回	<i>District 9</i> Discussion	Reflect on discussion questions about <i>District 9</i>	Review your comprehension questions and the film plot.	15	
				Finish discussion questions	15	
	第9-10回	<i>The Secret Life of Walter Mitty</i> introduction	Understand the history of <i>Walter Mitty</i>	Brainstorm: What are you going to do in the future?	15	
				Write a prediction for the second half of the film.	15	
	第11-12回	<i>The Secret Life of Walter Mitty</i>	Answer comprehension questions about <i>Walter Mitty</i>	Review what you've seen so far.	15	
				Finish comprehension questions.	15	
	第13-14回	<i>The Secret Life of Walter Mitty</i> discussion	Reflect on discussion questions about <i>Walter Mitty</i>	Review your comprehension questions and the film plot.	15	
				Choose a movie on your own to write a film review	15	
第15-16回	Final Project	Write a comprehensive film review	Review the elements from the textbook to write film review.	15		

点検(自己評価):よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成27年度 学習支援計画書

科目名				クラス			
カレントイングリッシュ				グローバル情報工学科 5年			
必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員			
選択	学修 2	通年	講義	宇都宮隆子			
キーワード		科目概要					
ニュース英語関連語彙、英文記事、自律学習		英字新聞、インターネットで取り上げられている英文記事を題材にニュース英語の読み方を学ぶ。語彙をテーマ別に学び、語彙を増やすことも目標とする。また、BBCドキュメンタリー番組のDVDを使用し、リスニングを鍛えらるとともに、授業以外でも英文記事を自身で選び、読み進めることが求められる。重要と思われる単語の意味を調べ、大まかな内容把握を目指す。					
教科書			参考書		関連する科目・資格		
①BBC World Profile on DVD 森田彰 他、南雲堂 ②「たたかう英単語」学研教育出版、 学研			①英字新聞 ②英和辞典/辞書		科目：英語科目全般 資格：TOEIC、英検		
評価方法							
評価項目	定期試験	小テスト	課題・宿題	授業態度		評価	学年評価に対する割合
春学期	40	20	30	10		100	25%
夏学期	40	20	30	10		100	25%
秋学期	40	20	30	10		100	25%
冬学期	40	20	30	10		100	25%
学年評価（評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。）							100
備考	各学期の評価で、50点に満たない者に対しては補習を行う。 年度末の「学年評価」は各学期の「評価」に「学期の割合」を掛けたものの和とする。 定期試験および小テストの内容は、日ごろの学習成果を測定することを主とする。 宿題・課題は、英文記事課題、リスニング課題等への取り組みに対し評価する。 授業態度は、授業への取り組み、発表時などの積極的な態度を評価する。						
受講上のアドバイス							
①本講義は学修単位であるため、1時間の授業に対して2時間分の課題が毎回出される。この課題提出が不十分な場合、単位が認められないことがあるので十分注意すること。 ②本講義では授業以外で自発的に課題に取り組まなければならない。英字新聞、インターネット上の英文記事を定期的に読むよう心掛けること。また辞書を積極的に活用すること。							
科目の達成目標							
①	語彙数を増やし、ニュース英語を以前よりも理解できる。						
②	読み取りたい情報を、英文記事の中からすばやく読み取ることができる。						
③	英文記事を読むことに慣れ、要約をまとめることができる。						
④	英字新聞・インターネット上の英文記事を読む課題に積極的に取り組むことができる。						
⑤	英文記事を授業内外で読むことで、時事問題に対し以前よりも関心を持つことができる。						
⑥							
関連する本校の学習・教育目標			国際性				
問い合わせ・質問先			1階103号室（1F 教員室）				
オフィスアワー			月、水8限				

回	授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 (上段:予習・下段:復習)	時間	点検
春学期	第1回	英文ニュース英語の特徴	英字新聞の紙面構成、英文記事の特徴を理解することができる。 英文記事の特徴を理解する。	50分	
	第2回	テキストUnit 1	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。 DVDの内容と語彙を理解する。	Unit1の重要語彙を確認する。	60分
					60分
	第3回	「政治」関連の記事を読む	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。 「政治」の語彙を確認する。	「政治」の語彙を理解する。	50分
					60分
	第4回	Quiz1 / 英字新聞を読む	興味のある記事を選んで読み、大意をつかむことができる。 Quiz範囲の語彙を理解する。	英文記事を今一度理解する。	60分
					60分
	第5回	テキストUnit 3	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。 Unit3の重要語彙を確認する。	DVDの内容と語彙を理解する。	60分
					60分
	第6回	「政治」関連の記事を読む	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。 「政治」の語彙を確認する。	「政治」の語彙を理解する。	50分
				60分	
第7回	Quiz2 / 英字新聞を読む	興味のある記事を選んで読み、大意をつかむことができる。 Quiz範囲の語彙を理解する。	英文記事を今一度理解する。	60分	
				60分	
第8回	テキストUnit 4	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。 Unit4の重要語彙を確認する。	DVDの内容と語彙を理解する。	60分	
				60分	
第9回	テキスト・単語の復習	第1回から第8回までの内容を理解することができる。 第8回までの見直しを行う。	第8回までの内容を理解する。	60分	
				60分	
	定期試験				
第10回	テスト返し/ 自己評価	春学期授業と成果について自己評価できる。 第9回までの見直しを行う。	第9回までの内容を理解する。	60分	
				60分	
夏学期	第1回	「政治」関連の記事を読む	「政治」の語彙を確認する。	50分	
			「政治」の語彙を理解する。	60分	
	第2回	Quiz3 / 英字新聞を読む	興味のある記事を選んで読み、大意をつかむことができる。 Quiz範囲の語彙を理解する。	英文記事を今一度理解する。	60分
					60分
	第3回	テキストUnit 5	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。 Unit5の重要語彙を確認する。	DVDの内容と語彙を理解する。	60分
					60分
第4回	「経済」関連の記事を読む	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。 「経済」の語彙を確認する。	「経済」の語彙を理解する。	50分	
				60分	
第5回	Quiz4 / テキスト・単語復習	第1回から第4回までの内容を理解することができる。 Quiz範囲の語彙を理解する。	第4回までの内容を理解する。	60分	
				60分	
	定期試験				

秋学期	第1回	発表課題についての説明	発表課題の取り組み方について理解することができる。	英文記事を課題用を選ぶ。	60分	
				課題を理解し、準備を始める。	60分	
	第2回	「経済」関連の記事を読む	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。	「経済」の語彙を確認する。	50分	
				「経済」の語彙を理解する。	60分	
	第3回	課題リーディング発表1	選んだ記事を理解し、他人に意見を求めることができる。	記事を理解し、準備を行う。	60分	
				課題記事を今一度理解する。	60分	
	第4回	課題リーディング発表2	選んだ記事を理解し、他人に意見を求めることができる。	記事を理解し、準備を行う。	60分	
				課題記事を今一度理解する。	60分	
第5回	Quiz5 / テキストUnit 8	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。	Unit8の重要語彙を確認する。	60分		
			DVDの内容と語彙を理解する。	60分		
第6回	「社会」関連の記事を読む	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。	「社会」の語彙を確認する。	50分		
			「社会」の語彙を理解する。	60分		
第7回	Quiz6 / テキスト・単語復習	第1回から第7回までの内容を理解することができる。	Quiz範囲の語彙を理解する。	60分		
			第7回までの内容を理解する。	60分		
	定期試験					
冬学期	第1回	自己評価/「社会」関連の記事を読む	秋学期授業と成果について自己評価できる。/重要語彙を理解し大意をつかむことができる。	「社会」の語彙を確認する。	50分	
				「社会」の語彙を理解する。	60分	
	第2回	テキストUnit 9	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。	Unit9の重要語彙を確認する。	60分	
				DVDの内容と語彙を理解する。	60分	
	第3回	「生活」関連の記事を読む	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。	「生活」の語彙を確認する。	50分	
				「生活」の語彙を理解する。	60分	
	第4回	Quiz7 / 英字新聞を読む	興味のある記事を選んで読み、大意をつかむことができる。	Quiz範囲の語彙を理解する。	60分	
				英文記事を今一度理解する。	60分	
第5回	テキストUnit12	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。	Unit12の重要語彙を確認する。	60分		
			DVDの内容と語彙を理解する。	60分		
第6回	「文化・スポーツ」関連の記事を読む	内容理解に必要な重要語彙を理解し大意をつかむことができる。	「文化」の語彙を確認する。	50分		
			「文化」の語彙を理解する。	60分		
第7回	Quiz8 / 英字新聞を読む	興味のある記事を選んで読み、大意をつかむことができる。	Quiz範囲の語彙を理解する。	60分		
			英文記事を今一度理解する。	60分		
第8回	テキスト・単語の復習	第1回から第7回までの内容を理解することができる。	第7回までの見直しを行う。	60分		
			第7回までの内容を理解する。	60分		
	定期試験					

点検(自己評価): 授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない